本書の見かた

本書ではお車の各装置や装備の正しい取り扱いかたと、快適ドライブ情報やお手入れのしかた、万一のときの応急処置などを記載しています。

◎お車を安全・快適にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。

◎「警告」「注意」は安全のために特に重要です。よく読んでお守りください。

■本書の中で使用しているマークと意味は次のようになっています。

安全のために守っていただきたいこと。	
⚠ 警告	守らないと生命の危険又は重大な傷害につながるおそれがあります。
⚠ 注意	守らないと傷害又は事故につながるおそれがあります。
お車のために守っていただきたいこと。	
アドバイス	守らないと車両破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。
お車を使ううえで知っておいていただきたいこと。	
知識	知っておくとお車やいろいろな装備を上手に使うことができ便利です。

■グレードにより異なる装備又はオプションのため、すべての車に付いていない装備は★マークで表示しています。

■コントロールパネルのスイッチは＊＊スイッチ、操作画面に表示されるメニューや項目は＊＊と表示しています。

■参照して読んで頂きたいページなどを、🔍マークで表示しています。

■画面の表示が、車両の仕様により異なる場合があります。

■オートマチック車とは、マニュアルモード付電子制御7速ハイブリッドトランスミッション車を示します。

■日産販売会社で取り付けられた装備（ディーラーオプション）については、その装備に付属の取扱説明書をお読みください。

■点検・整備、保証については別冊のメンテナンスノートをお読みください。

■別冊のナビゲーションシステム取扱説明書も合わせてお読みください。

■その他、ご不明な点はカーライフアドバイザー（営業部員）にお申しつけください。

- 交通ルールやマナーを守って運転しましょう。
- 自然環境保護に配慮してください。
- 本書と別冊のメンテナンスノートはお車の中に保管してください。
- お車をゆずられるときは次に所有される方のために、本書をお車に付けておいてください。
- 車両の仕様変更により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

検索のしかた

お客さまが知りたい内容・項目を簡単に検索できるように、色々な検索方法を用意しています。

取り付け位置から探す

名称・タイトルから探す

警告灯・警告表示から探す

目次

4. 室内装備の使いかた

5. 車との上手なつきあいかた

6. 万一のとき

サービスデータ

さくいん

※別冊：ナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。

※別冊：ナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。

※別冊：ナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。
※車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。

ZSI0283

※別冊：ナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。
※車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。

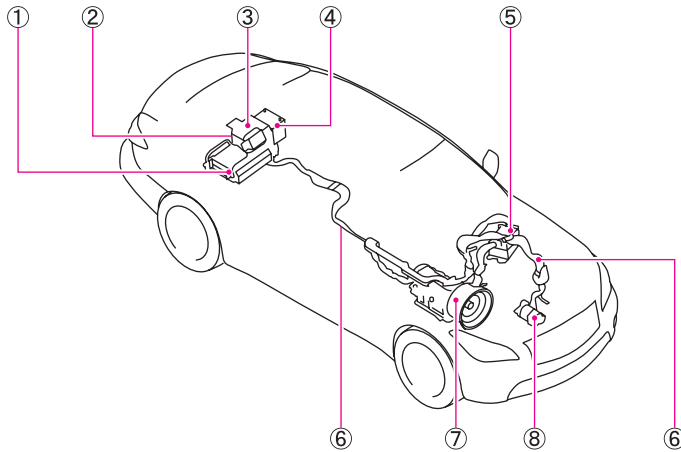
ZSI0291

※別冊：ナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。

必ずお読みください 1

お車を安全にお使いいただくため、必ず守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。
ご使用前には各章と合わせて必ずお読みください。

日産ハイブリッドシステムについて

この車両のハイブリッドシステムは、ガソリンエンジン、モーター、リチウムイオンバッテリーを効率的に組み合わせ、大幅な燃費向上と動力性能を達成させた日産独自の高性能ハイブリッドシステムです。

①リチウムイオンバッテリー
②サービス・プラグ
③DC/DCコンバーター
④12Vバッテリー
⑤インバーター
⑥高電圧配線（オレンジ色）
⑦モーター（トランスミッションに内蔵）
⑧電動エアコンコンプレッサー

⚠重要です。しっかりお読みください。

日産ハイブリッドシステムについて

ハイブリッドシステムの作動

メーター内の走行可能表示灯（P.122）が点灯していれば、ガソリンエンジンが停止していても発進できます。

発進・低速走行

モーターだけで走行します。

通常走行（中高速）

ガソリンエンジンとモーターを燃費効率が最適になるように自動制御します。
バッテリー残量が少ない場合は、走行しながらモーターで発電させ、リチウムイオンバッテリーに充電します。

急加速走行

ガソリンエンジンとモーターの両方を使い、力強く加速します。

減速時、制動時

タイヤの回転力をモーターで電気エネルギーに変換し、リチウムイオンバッテリーに充電します。（回生ブレーキ）

停止時

エンジンを停止し、ガソリンを節約します。

その他

低速走行中又は停車中でも次の場合はガソリンエンジンが始動します。

・リチウムイオンバッテリーの残量が少ないとき。
（発電のため）
・エンジン冷却水の温度が低いとき。
（暖機のため）
・セレクトレバーをPにし、運転席シートベルトを外して運転席ドアを開けたとき。
（電源ポジションのOFF忘れを防止するため）

効率のよい走行方法

●加減速はスムーズに行ってください。
急加速、急減速を控えるとリチウムイオンバッテリーの残量低下を抑えられます。

●長時間停車するときや車を離れるときはセレクトレバーを必ずPにしてください。また、渋滞走行時などはD又はマニュアルシフトゲートのままで走行してください。

●メーター（P.101）及びナビゲーションシステムの画面（別冊）に表示される燃費表示を参考にして走行してください。

⚠重要です。しっかりお読みください。

日産ハイブリッドシステムについて

回生ブレーキについて

●セレクトレバーが D 又はマニュアルシフトゲートで走行中に次の場合は、減速するとともにタイヤの回転力をモーターで電気エネルギーに変換し、リチウムイオンバッテリーを充電します。
・アクセルペダルから足を離しているとき。
・ブレーキペダルを踏んだとき。
・ブレーキシステム又はハイブリッドシステムに異常がないとき。

●指定以外のタイヤ・ロードホイールを装着した場合は、回生ブレーキが正常に作動しないことがあります。
P.177の「回生協調ブレーキ」も合わせてお読みください。

リチウムイオンバッテリーの充電について

●リチウムイオンバッテリーの残量が低下するとエンジンが始動し、自動的に充電を行うため、電気自動車のような外部からの充電は必要ありません。
ただし、車両を長期間放置すると少しずつ放電するため、少なくとも2～3か月に一度、約30分間は運転してください。(リチウムイオンバッテリーがダメージを受け、使用できなくなるおそれがあります。)
万一、リチウムイオンバッテリーがあがり、ハイブリッドシステムを始動できない場合は、日産販売会社に連絡してください。

●長時間停車するときや車を離れるときはセレクトレバーを必ずPにしてください。渋滞時などもD又はマニュアルシフトゲートで走行してください。Nのまま長時間放置するとシステムが停止する場合があります。

ハイブリッドシステム特有の音や振動について

ハイブリッドシステム始動後は、次のような特有の音や振動が発生する場合がありますが異常ではありません。

●エンジンルームからのモーター音
●ハイブリッドシステムの始動・停止による、車両後方からの音
●ガソリンエンジンの始動・停止による音や振動
●アクセルペダルから足を離したときやブレーキを踏んだときの作動音やモーター音
●急加速時のエンジン音
●リヤパーセル上にある空気取入口からのファンの作動音
●エアコンの作動音
●歩行者に車両の接近を知らせるための音を発します。
車両接近通報装置（VSPシステム）…P.178

⚠重要です。しっかりお読みください。

日産ハイブリッドシステムについて

注意事項について

・高電圧部品には触れない

●高電圧部位、サービス・プラグ、高電圧の配線（オレンジ色）及びそのコネクターに触れたり、取り外し、分解などは絶対に行わないでください。重大な傷害を受けるおそれがあります。

・リチウムイオンバッテリー冷却用空気取入口をふさがない

●リヤパーセル助手席側に、リチウムイオンバッテリーを冷却するための空気取入口があります。荷物や衣類などを置いて取入口をふさがないでください。また、液体や砂など、異物が入らないように注意してください。性能低下や車両故障につながるおそれがあります。

ZSS0048

・リチウムイオンバッテリーに水をかけない

●トランクルーム内にふたのないバケツや水槽など、水がこぼれるおそれがあるものは置かないでください。リチウムイオンバッテリーに水がかかると故障の原因になります。

・事故がおきたときは

P.340も合わせてお読みください。

●ハイブリッドシステムを停止し、車両が移動しないようにするため、次のようにしてください。

・ブレーキペダルを踏み、セレクトレバーをPにする。

・パーキングブレーキをかける。

・電源ポジションをOFFにする。

●車体が大きく破損・変形しているとき、破損の状態によっては漏電や感電のおそれがあります。高電圧部位（リチウムイオンバッテリーなど）及びこれらを接続する配線（オレンジ色）には絶対に触らないでください。

●万一、車両火災が発生したときは、消火器を使用して消火してください。水をかける場合には、消火栓などから水を大量にかけてください。

・車検、点検整備のとき

●必ず日産販売会社にご相談ください。

・廃車にするとき

●高電圧部品を搭載しているため、廃車する場合は必ず日産販売会社にご相談ください。

画面表示について

ハイブリッドシステムの作動状況や燃費に関する情報などを、メーター内の車両情報ディスプレイ（P.98）及びナビゲーションシステムの画面（別冊）に表示します。

⚠重要です。しっかりお読みください。

日産ハイブリッドシステムについて

エネルギーモニターについて

メーター内の車両情報ディスプレイ（P.98）とナビゲーションシステムの画面（別冊）にエンジン、リチウムイオンバッテリー及びタイヤ間のエネルギーの流れを表示します。
画面は実際の表示とは異なる場合があります。
※オレンジ色表示がエンジン、青色表示がリチウムイオンバッテリーのエネルギーの流れを示します。

	ナビゲーションシステム画面　※	車両情報ディスプレイ
リチウムイオンバッテリーのエネルギーで走行している状態 （青色表示）	ZSS0055	ZSS0063
回生ブレーキを使って、リチウムイオンバッテリーを充電している状態 （青色表示）	ZSS0056	ZSS0064
エンジンのエネルギーで走行と充電の両方をしている状態 （オレンジ色表示）	ZSS0057	ZSS0065
エンジンとリチウムイオンバッテリー、両方のエネルギーで走行している状態 （青色表示＋オレンジ色表示）	ZSS0058	ZSS0066

⚠重要です。しっかりお読みください。

日産ハイブリッドシステムについて

	ナビゲーションシステム画面 ※	車両情報ディスプレイ
エンジンのエネルギーで走行している状態（オレンジ色表示）	エネルギーモニター 戻る エンジン バッテリー 燃費・充電履歴 ZSS0059	– + ZSS0067
エンジンのエネルギーでリチウムイオンバッテリーを充電している状態（オレンジ色表示）	エネルギーモニター 戻る エンジン バッテリー 燃費・充電履歴 ZSS0060	– + ZSS0068
エンジンと回生ブレーキ、両方のエネルギーで充電している状態（青色表示＋オレンジ色表示）	エネルギーモニター 戻る エンジン バッテリー 燃費・充電履歴 ZSS0061	– + ZSS0069
エネルギーの流れがない状態	エネルギーモニター 戻る エンジン バッテリー 燃費・充電履歴 ZSS0062	– + ZSS0070
エンジンの作動状態（エンジン回転中は「エンジン」が点灯）	エンジン 停止中 ⇔ エンジン 回転中 ZSS0073	
リチウムイオンバッテリーの残量表示	少ない ⇔ 多い ZSS0071	– + 少ない ⇔ – + 多い ZSS0072

⚠重要です。しっかりお読みください。

お出かけまえには

日常点検は必ず実施

●車を安全にお使いいただくため、日常点検は必ず実施してください。
車の状態に応じて、適切な時期に実施することが法律で義務づけられています。
メンテナンスノートをお読みください。

●いつもと違うことに気がついたら日産販売会社で点検を受けてください。
（音、振動、臭い、水・油漏れなど）

TSC0614Z

タイヤの空気圧を点検する

●タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。日常点検でタイヤの空気圧を点検してください。
タイヤ空気圧の点検･･･P.304

車にあった燃料を補給

●指定以外の燃料は補給しないでください。

●軽油や有鉛ガソリン、粗悪な燃料を使用すると車に悪影響を与えます。

エンジン型式	指定燃料
VQ35HR	無鉛プレミアム（無鉛ハイオク）ガソリン

●無鉛プレミアムガソリンが入手できない場合、無鉛レギュラーガソリンも使用できますが、エンジン出力低下などの現象が発生します。

車庫や屋内ではハイブリッドシステムを作動させたままにしない

●車庫や屋内など換気が悪い所では、排気ガスが充満しやすいため、ハイブリッドシステムを作動させたままにしないでください。排気ガスには無色無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

●排気管に穴や亀裂がある場合や排気音に異常があるときは、日産販売会社で点検を受けてください。排気ガスが車内に侵入するおそれがあり危険です。

TSC0615Z

⚠重要です。しっかりお読みください。

お出かけまえには

正しい運転姿勢に調節

●走行前にシート、ハンドル、ヘッドレストの位置を正しい運転姿勢がとれるように調節し、ドアミラー、ルームミラーなどを後方視界が十分確認できる位置に調節してください。

正しい運転姿勢…P.59

シートベルトは正しく着用

●走行する前に必ず全員がシートベルトを着用してください。

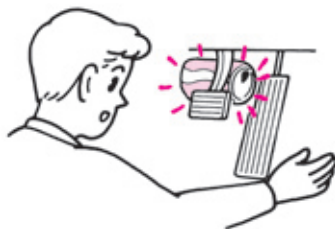
●シートベルトは正しく着用しないと、ベルトの効果が十分発揮できなかったり、ベルトによりケガをするおそれがあります。正しい着座姿勢で正しく着用してください。

TSC0616Z

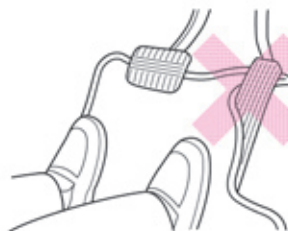
シートベルトの正しい着用…P.76

運転席足元には物を置かない

●足元のまわりにあき缶などの物を置かないでください。

●ブレーキペダルやアクセルペダルに物が挟まると、ペダルの操作ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

TCE0067Z

車に合わないフロアカーペットは使わない

●この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

ECE0065Z

フロアカーペット…P.285

⚠重要です。しっかりお読みください。

お出かけまえには

燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない

●ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まないでください。引火や爆発するおそれがあり危険です。

TSC0618Z

インストルメントパネルの上に物を置かない

●アクセサリーや芳香剤などを置かないでください。SRSエアバッグが作動したときの衝撃で飛び、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●走行中に移動しやすい物や、視界を妨げるような大きい物は置かないでください。安全運転の妨げになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

TSC0619Z

荷物を積みすぎない

●助手席や後席に荷物を重ねて積まないでください。急ブレーキなどのとき荷物が落ちてきて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

TSA5563Z

アクセサリーの取り付けに注意

●ウインドーにアクセサリーを取り付けると、視界の妨げになったり、吸盤がレンズの働きをして火災を起こしたり、SRSエアバッグが作動したときアクセサリーが飛んでケガをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

TSC0644Z

⚠重要です。しっかりお読みください。

お子さまを乗せるときは

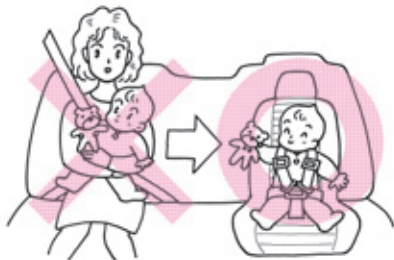
お子さまは後席に

●助手席に乗せるのは避けてください。お子さまの動作が気になったり、スイッチ、レバー類のいたずらなど安全運転の妨げになるおそれがあります。
また、助手席SRSエアバッグの格納部に近づいていると、万一の事故などでSRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

お子さまにもシートベルトを着用

●お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまを抱いていると、衝突時などに支えることができず重大な傷害を受けるおそれがあります。

シートベルトの着用のしかた･･･P.79

●シートベルトが首や顔に当たったり、腰骨に掛からないような小さなお子さまには、チャイルドシートをお使いください。

チャイルドシート…P.83

TSA5564Z

チャイルドシートは後席に

●チャイルドシートは後席に取り付け、走行する前に確実に固定されていることを確認してください。
固定方法及び取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

●助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けることはできません。SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。やむを得ず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

●チャイルドシートは使用していないときでもシートにしっかりと固定するか、荷室などに収納してください。室内に放置したままにすると、急ブレーキ時などに思わぬ事故につながるおそれがあります。

TSC0622Z

チャイルドシート…P.83

⚠重要です。しっかりお読みください。

お子さまを乗せるときは

ドア、ウインドーなどは大人が操作

●ドア、ウインドー、トランク、サンルーフなどの開閉は、お子さまには操作させないでください。開閉時に手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

●チャイルドセーフティドアロック（P.44）やパワーウインドーロックスイッチ（P.53）を使用し、お子さまが操作できないようにしてください。

●お子さまがトランクで遊んで、自らが閉じ込められてしまうと、重大な傷害を受けるおそれがあります。お子さまが車のまわりにいるときは、トランクに入り込まないように注意してください。

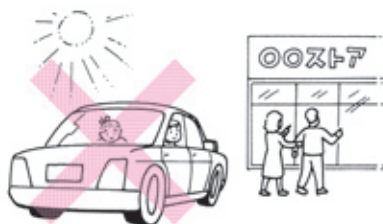
窓やサンルーフから手や顔を出さない

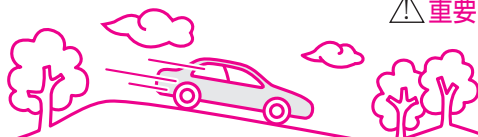
●お子さまが手や顔を出さないように注意してください。急ブレーキ時に窓枠などにぶつかったり、車外の障害物に当たったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

TSA5566Z

車内にお子さまだけを残さない

●車から離れるときは、必ずお子さまを一緒に降ろしてください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

●お子さまのいたずらで車の発進、火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

TSA5567Z

⚠重要です。しっかりお読みください。

走行するときは

車のためにならし運転を

●エンジン本体、駆動系などこの車両の持っている性能を十分に引き出すためには、ならし運転が必要です。
走行距離約2,000kmまでは適度な車速、エンジン回転数で運転してください。

走行中は電話をしない

●運転しながらのハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話などの使用はやめてください。周囲への注意力が低下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

TSC0646Z

走行中は電源ポジションをAcc又はOFFにしない

●走行中に電源ポジションをAcc又はOFFにすると、極度にハンドル操作力が重くなったり、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●電源ポジションをAcc又はOFFにすると、ハイブリッドシステムが停止状態になります。再始動は停車中にしかできません。

ZSS0024

長い下り坂ではエンジンブレーキを併用

●ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあり危険です。坂の勾配に応じてエンジンブレーキを併用してください。（エンジンブレーキとは走行中アクセルペダルから足を離したときに発生するブレーキ力です。）
●坂の勾配に応じてマニュアルモードを低速ギヤに入れます。
下り坂の走行…P.166

TSC1803Z

⚠重要です。しっかりお読みください。

走行するときは

雨天時の走行は速度を落とす

●路面がぬれると滑りやすくなります。
通常より注意して安全運転に心がけてください。

●わだちなどにできた水たまりに高速で進入すると、タイヤが水に乗った状態（ハイドロプレーニング現象）になり、ハンドルやブレーキが効かなくなり危険です。スピードを落として走行してください。特に摩耗したタイヤは、ハイドロプレーニング現象が起こりやすいので注意してください。

●冠水路など深い水たまりは走行しないでください。エンジン破損や車両故障につながるおそれがあります。

TCA0015Z

タイヤを傷つける運転をしない

●道路の縁石などにタイヤの側面を接触させたり、道路上の凹みや突起物の乗り越しなどは避けてください。タイヤを傷つけるおそれがあります。

水たまり走行後はブレーキの効きを確認

●水たまり走行後や洗車後は、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ブレーキペダルを軽く踏んで効きを確認してください。

●効きが悪いときは、周囲の安全に十分注意しながら低速で走行し、効きが回復するまでブレーキペダルを繰り返し軽く踏んでください。

TSC1804Z

滑りやすい路面を走行するときは慎重に

●ぬれた路面や凍結路、積雪路などではスピードを落としてください。

●急加速、急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキは避けてください。
タイヤがスリップしやすく、思わぬ事故につながるおそれがあります。

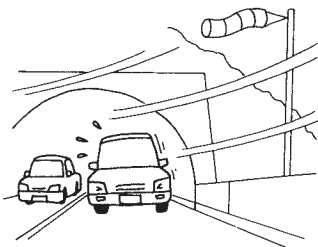
TSA5568Z

⚠重要です。しっかりお読みください。

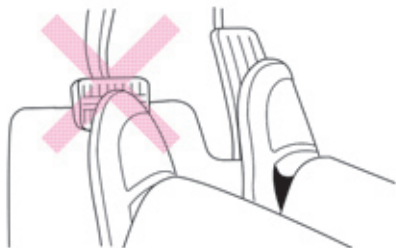
走行するときは

横風が強いときは

●横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握ってスピードを徐々に落としてください。

●トンネルの出口、橋の上、切り通しなどは特に横風が発生しやすいので注意してください。

TCA0018Z

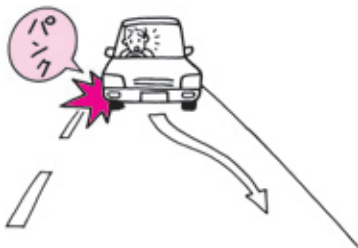
ブレーキペダルに足をのせたままにしない

●ブレーキペダルに足をのせたまま走行しないでください。ブレーキの部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

TCE0069Z

走行中に異常があったら

●警告灯（P.107、124）が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。
そのまま走行すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

●走行中にタイヤがパンクやバースト（破裂）したときは、あわてずにハンドルをしっかり握ってスピードを徐々に落とし、安全な場所に停車してください。急ブレーキや急ハンドルを行うと、車両がコントロールできなくなり危険です。

●床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに安全な場所に停車し、ブレーキ液や燃料の漏れ、マフラーなど車体下部の各部に損傷がないか確認してください。漏れや損傷がある場合は、日産販売会社に連絡してください。

TSC0632Z

⚠重要です。しっかりお読みください。

駐・停車するときは

燃えやすい物の上や近くに駐・停車しない

●枯れ草、紙、木材、油など燃えやすい物の上や近くには駐・停車しないでください。排気管や排気ガスは高温になるため着火するおそれがあり危険です。

TSA5570Z

車から離れるときは必ず電源ポジションをOFFにし、施錠する

●無人で車が動き出したり、盗難など思わぬ事故につながるおそれがあります。車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけ、電源ポジションをOFFにしてから施錠してください。

●お子さまや介護が必要な方を車内に残したままにしたり、貴重品を置いたままにしないでください。

●坂道駐車はパーキングブレーキを確実にかけ、セレクトレバーをPに入れてください。更にタイヤに輪止めをすると効果があります。

仮眠や長時間駐車するときは必ず電源ポジションをOFFにする

●無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故やエンジン過熱による火災などにつながるおそれがあり危険です。

●以下の状況では走行可能表示灯（P.122）が点灯したままの状態にしないでください。一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

・雪が積もった場所や降雪時
・壁などに囲まれた換気の悪い場所
・他車の排気口が近くにあるとき

TSA5571Z

ハンドルに力をかけた状態を長く続けない

●車庫入れなどで、ハイブリッドシステムを作動させたままハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けたり、ハンドル操作を繰り返すと、パワーステアリングシステムの過熱を防ぐためにシステムの働きを制限します。そのため一時的にハンドル操作力が重くなりますが、異常ではありません。

TSC1806Z

⚠重要です。しっかりお読みください。

オートマチック車を運転するときは

オートマチック車はその特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。
詳しくは、P.165の「オートマチック車の運転のしかた」も合わせてお読みください。

クリープ現象に注意

- 走行可能表示灯（P.122）が点灯しているとき、セレクトレバーをP、N以外に入れると、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。（これをクリープ現象といいます。）
- 停車中はブレーキペダルをしっかりと踏んでください。特に始動直後は、動く力が強くなりますので、しっかりと踏んでください。

TSC1809Z

キックダウンは適切に

- セレクトレバーがDで走行中にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、エンジン回転数が上がって、自動的に低速ギヤに切り替わり急加速します。（これをキックダウンといいます。）
- 滑りやすい路面や急カーブではキックダウン操作を避けてください。キックダウンすると、タイヤがスリップして思わぬ事故につながるおそれがあります。

ペダルの位置を確認

- ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。ハイブリッドシステムを始動させる前に必ずペダルの位置を確認してください。
- アクセルペダルとブレーキペダルは右足で操作してください。

TCE0071Z

セレクトレバーの操作は正しく確実に

- 発進時はブレーキペダルを踏んでセレクトレバーを操作してください。アクセルペダルを踏んだ状態で操作すると、急発進して危険です。
- 始動時、走行可能表示灯（P.122）が点滅から点灯に切り替わる前にセレクトレバーをP、N以外に入れると点滅したままとなり、発進できません。
- 後退したあとは、すぐセレクトレバーをRからNに戻す習慣をつけてください。

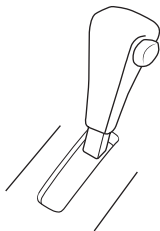
セレクトレバーの使いかた…P.160

⚠重要です。しっかりお読みください。

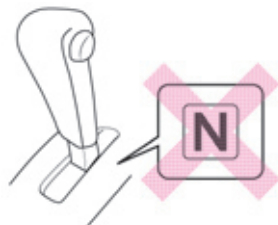
オートマチック車を運転するときは

セレクトレバー位置は目で確認

●ハイブリッドシステムを始動させるときはP、前進するときはD、後退するときはRにあることを目で確認してください。

●電源ポジションがONのとき、セレクトレバーをRに入れると、後退位置を知らせるブザーが車内で鳴ります。（車外の人に注意するものではありません。）

ESG0172Z

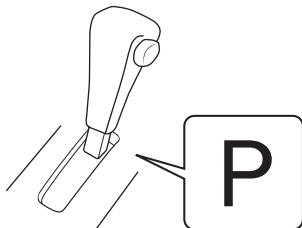
走行中はNにしない

●走行中にセレクトレバーをNにすると、エンジンとモーターによる駆動及びエンジンブレーキが効かなくなります。

ESG0173Z

無用な空吹かしはしない

●万一、セレクトレバーがP、N以外に入っていると、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

駐車するときはPにする

●走行可能表示灯（P.122）が点灯したまま、セレクトレバーがP、N以外に入っていると、クリープ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ESF0303Z

シフトロックシステム

よく理解して正しく操作してください。

●電源ポジションがONのときは、ロック装置が作動し、ブレーキペダルを踏んでいないと、Pからセレクトレバーを動かすことができません。

●セレクトレバーをPに入れないと、電源ポジションがLOCKになりません。

●セレクトレバーのボタンを押したままブレーキペダルを踏むと、セレクトレバーを動かせないことがあります。
ブレーキペダルを踏んでから、セレクトレバーのボタンを押してセレクトレバーを動かしてください。

⚠重要です。しっかりお読みください。

こんなことにも注意

違法改造はしない

●車の性能や機能に適さない部品を装着したり、自己流のエンジン調整や配線などを行わないでください。正常な性能を発揮できなかったり、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

●日産が国土交通省に届け出をした部品以外の物を装着すると、違法改造になることがあります。

TSA5573Z

●次のような場合には日産販売会社にご相談ください。

・**タイヤ、ロードホイールの交換**
指定以外のタイヤやロードホイールを装着しないでください。工場出荷時に装着される車両専用のアルミロードホイールには、専用の平座ナットを使用してください。性能や機能に支障をきたし、安全な走行ができなくなるおそれがあります。

・**電装品、無線機などの取り付け**
適切でない電装品や無線機などを取り付けないでください。電子機器部品に悪影響を及ぼしたり、誤った配線は故障や火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。
また、バッテリー端子に電装品やアース線などを直接つながないでください。12Vバッテリーがあがる可能性があります。
（詳しくは、日産販売会社へご相談ください。）

・**ハンドルの取り外しや交換**
ハンドルの取り外しや交換を不適切に行うと、SRSエアバッグが正常に作動しなかったり、不意に作動したりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

炎天下で駐車するときは

●炎天下で駐車するときは車内にライターや炭酸飲料の缶、サングラス、カメラなどを置いたままにしないでください。車内が高温になり、爆発したり変形するおそれがあります。

ガスライターにも注意

●操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどに入れておいたり、床やシートのすき間に落としたままにしないでください。荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して、火災につながるおそれがあります。

工具や布などの置き忘れに注意

●点検や清掃に使用した工具や布などを、エンジンルーム内に置き忘れないようにしてください。故障や車両火災につながるおそれがあります。

ラジエーターが熱いときはキャップを外さない

●ラジエーターやリザーバータンクが熱いときはキャップを外さないでください。
蒸気や熱湯が噴き出し危険です。

●冷却水の補給は温度が下がってから行ってください。

こんなことにも注意

冷却水に添加剤などは入れない

●モーター・インバーターなどの電気部品、エンジン・トランスミッションが破損するおそれがあるため、市販されている水漏れ防止剤などの添加剤を冷却水に入れないでください。

●冷却水は日産純正スーパーロングライフクーラントを必ずご使用ください。

タバコの吸いがらの火は消して

●タバコやマッチなどの火は確実に消し、灰皿のふたは必ず閉めてください。

●灰皿の中には吸いがらを入れすぎたり、燃えやすい物を入れないでください。

ESG0174Z

ブレーキペダルの高さ調整はしない

●ブレーキの効きが変化することがありますので、ブレーキペダルの高さは調整しないでください。ブレーキペダルの調整が必要な場合は、日産販売会社にご相談ください。

⚠重要です。しっかりお読みください。

こんなときは異常ではありません

ブレーキペダルを踏むと音がする

●朝一番及び長時間駐車後の走り始め、又は降雨後や洗車後など湿気が多いときにブレーキペダルを踏むと、“キー”という音がする場合があります。この音はブレーキパッドが水分を吸収し、表面の摩擦力が一時的に変化したためで異常ではありません。

●これらの音がときどきするのは異常ではありませんが、頻繁に音がする場合は、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

●ブレーキペダルを踏んだときや離したときにブレーキから音がする場合があります。この音はブレーキシステムによるもので異常ではありません。
また、ハイブリッドシステムが作動していない状態でブレーキペダルを踏んだときに、ブレーキペダルの操作力が重く感じたり、踏み込める量が少ないと感じることがあります。その後、ハイブリッドシステムを始動したときにブレーキ警告灯（赤色表示）（P.126）又はブレーキシステム警告灯（黄色表示）（P.128）の点灯がなく、ブレーキペダルの操作感が通常の状態に戻れば異常ではありません。

ヘッドランプなどのレンズ内面がくもる

●ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがあります。またヘッドランプ内と外気との温度差により、レンズ内面が結露することもあります。これは雨天時などに窓ガラスがくもるのと同様の現象で、機能上の問題ではありません。
また、レンズの構造上、レンズのふちに水滴が付着することがありますが、機能上の問題ではありません。
ただし、ランプ内に水がたまっている場合やレンズ内面に大粒の水滴が付着している場合は、日産販売会社にご相談ください。

⚠重要です。しっかりお読みください。

イベントデータレコーダ

車両データの記録・蓄積について

●この車両に装備されている以下システムの各コンピュータはEDR（イベントデータレコーダ）機能を備えています。
以下システムの各コンピュータは正常に作動しているかどうかを常に診断し、EDRで車両が衝突したときの車両データを記録・蓄積しています。

SRSエアバッグシステム

●SRSエアバッグシステムが作動したときに下記車両データを記録・蓄積します。
・エアバッグシステムの作動に関する情報
・エアバッグシステムの故障診断情報

ポップアップエンジンフード

●ポップアップエンジンフードが作動したときに下記車両データを記録・蓄積します。
・車両速度
・ポップアップエンジンフードの作動に関する情報
・ポップアップエンジンフードの故障診断情報

知識

●EDR（イベントデータレコーダ）は一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声や映像は記録しません。

データの扱いについて

●日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、EDRに記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することがあります。
なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを以下の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。
・車両の使用者の同意がある場合
・裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
・統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

走行する前に 2

インテリジェントキー

インテリジェントキー機能とは、インテリジェントキーを携帯することにより、キーを取り出すことなくドアの施錠・解錠やハイブリッドシステムの始動が可能になる大変便利なシステムです。従来通り、リモートコントロールエントリー機能も使えます。

注意

インテリジェントキーは運転者が必ず携帯してください。

- ハイブリッドシステムの始動やドアの施錠・解錠など、車を操作するためにはなくてはならないものです。大切に保管してください。

アドバイス

- インテリジェントキーは微弱な電波を使用しています。
  次のような使用環境では機能に障害が起こるため、インテリジェントキー機能やリモートコントロールエントリー機能が正常に作動しない場合があります。
  インテリジェントキーが正常に作動しないとき…P.158
  ・近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波を発生する設備があるとき。
  ・無線機や携帯電話などの無線通信機器を一緒に携帯しているとき。
  ・インテリジェントキーが金属性のものに接したり、覆われたりしているとき。
  ・近くで電波式リモートコントロールエントリーを使用しているとき。
  ・インテリジェントキーをパソコンなどの電化製品の近くに置いたとき。
  ・コインパーキングに駐車したとき。(車両検出用の電波の影響があるため)
  ・近くで電波式侵入警報装置を使用しているとき。
  ・極端に気温が低いとき。(電池の性能が低下するため)
- インテリジェントキーは電波法の認証に適合しています。次のことを必ずお守りください。
  ・電池を交換するとき以外は分解しない。(分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。)
  ・日本国内のみで使用する。
- インテリジェントキーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池の寿命は使用状況によりますが約2年程度です。電池が切れた場合、新しい電池と交換してください。(P. 39)
- インテリジェントキーの電池が切れたときは、応急処置としてハイブリッドシステムの始動やドアの施錠・解錠を行うことができます。
  インテリジェントキーが正常に作動しないとき…P.158
- インテリジェントキーをテレビやパソコンなどの電化製品の近くに置かないでください。
  電池を著しく消耗することがあります。
- 本車両は電気的にステアリングロックを制御しているため、電源ポジションがLOCKのときに12Vバッテリーがあがると、ステアリングロックの解除が行えなくなります。12Vバッテリーのバッテリーあがりには特に注意してください。
- 万一12Vバッテリーがあがったときは、すみやかに12Vバッテリーを充電してください。(P.318)

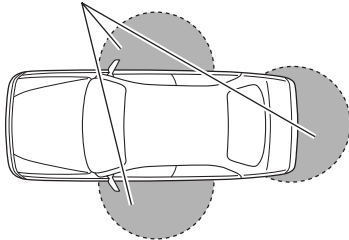
目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

インテリジェントキー機能について

車内及び車外の作動範囲内でインテリジェントキーを携帯しているときに操作できます。

■ドア施錠・解錠、及びトランク解錠の作動範囲

● 作動範囲は、各リクエストスイッチから周囲約80cm以内です。

ドアの施錠・解錠…P.41
トランクの解錠…P.45

ESF0500Z

アドバイス

● 車両（ドアガラスやドアハンドル、リヤバンパーなど）に近づきすぎている場合などは作動しないことがあります。
● 作動範囲は各リクエストスイッチを中心に約80cmの球状になっているため、地面近くや高い場所では作動しないことがあります。
● インテリジェントキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では、作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。

知識

● ドアを施錠・解錠すると、燃料補給口も連動して施錠・解錠されます。

キー連動室内照明システム

● 運転席ドアを解錠すると、トータルコーディネート室内照明が約15秒間点灯します。（P.268）

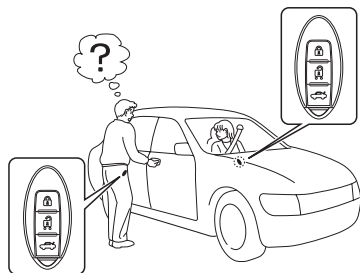
アンサーバック機能

● ドアの施錠・解錠時に、作動確認のためのブザーと非常点滅表示灯が作動します。（施錠時1回、解錠時2回）
● トランク解錠時に、作動確認のためのブザーが作動します。（解錠時4回）
● アンサーバック機能を停止することができます。日産販売会社にご相談ください。

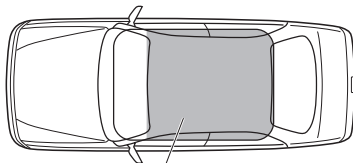
オートロック機能

● リクエストスイッチ（又はインテリジェントキーのドア解錠スイッチ）を押して、解錠後約30秒以内に以下のいずれの操作も行わなかった場合は、盗難防止のため自動的に全ドアが施錠されます。（施錠されるまでの間に、再度インテリジェントキーの解錠スイッチを押すと、その時点から約30秒後に施錠されます。）
・ドアを開ける。
・パワースイッチを押す。

知識

- インテリジェントキーが作動範囲内にあれば、インテリジェントキーを携帯している人以外でもリクエストスイッチを押して施錠、解錠ができます。
- 自車のインテリジェントキーが車内又はトランク内にあるときは、キー封じ込み防止のため、リクエストスイッチによるドアの施錠はできません。
  施錠したいときは、以下のことを行ってください。
  ・車内又はトランク内にあるインテリジェントキーを取り出し、リクエストスイッチを押す。
  ・リモートコントロールエントリー機能（P.37）又はメカニカルキー機能（P.38）で施錠する。

ZIC0653

■ハイブリッドシステム始動の作動範囲

作動範囲は、車両室内です。（トランク内は除きます。）

ESG0414Z

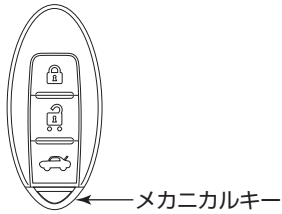
アドバイス

- インテリジェントキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では、作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。

知識

- トランク内は作動範囲ではありませんが、ハイブリッドシステムの始動が可能になることがあります。
- 車内でもインストルメントパネル上、グローブボックス内、ドアポケット内、リヤパーセル上などにインテリジェントキーがあるときは、ハイブリッドシステムの始動ができないことがあります。
- 車外でもドアやドアガラスに近づきすぎた場合は、ハイブリッドシステムの始動が可能になることがあります。

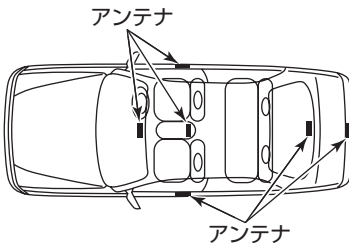
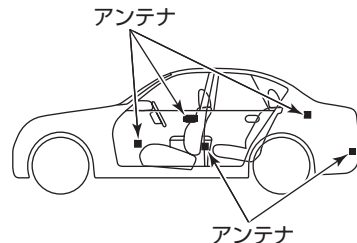
キーについて

●インテリジェントキー（メカニカルキー内蔵）が2個ついています。

ZIC0654

インテリジェントキーには以下の機能があります。

- インテリジェントキー機能（P.33）
- リモートコントロールエントリー機能（P.37）
- メカニカルキー機能（P.38）

⚠ 警告

- 植え込み型心臓ペースメーカー及び植え込み型除細動器（ICD）を使用している方は、アンテナから約22cm以内の範囲に装着部位が近づかないようにしてください。ドア開閉時、トランク開閉時、各リクエストスイッチ操作時、ハイブリッドシステム始動時などにインテリジェントキーの電波が植え込み型心臓ペースメーカー及び植え込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。

ZIC0033

ZIC0034

- 植え込み型心臓ペースメーカー及び植え込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用している方は、インテリジェントキーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があるため、医療電気製造業者などへ影響を確認してからご使用ください。
- 詳しくは、日産販売会社にお問い合わせください。

⚠ 警告

- 航空機内ではインテリジェントキーのスイッチを押さないでください。また、バッグなどに収納するときは、荷物などでスイッチが押されないようにしてください。万一スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあります。

アドバイス

- インテリジェントキーは送信機を内蔵している精密電子機器です。故障を防止するため、次のことをお守りください。
  - ・長時間高温になる場所に置かない。
  - ・分解しない。
  - ・無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしない。
  - ・水にぬらさない。
  - ・超音波洗浄器などにかけない。
  - ・磁気を帯びたキーホルダーなどを付けない。
  - ・テレビ、オーディオなど、磁気を帯びた機器の近くに置かない。
- インテリジェントキーはドアポケットに入れないでください。ドアを閉めるとき衝撃により破損するおそれがあります。またドアポケット内に一緒に入れておいた物がドアを閉めた衝撃で当たるなどして勝手にスイッチが入り、キーを車内に封じ込めるおそれがあります。

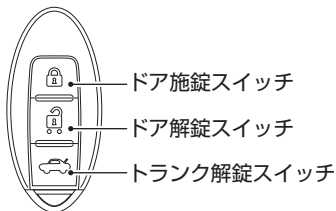
知識

- インテリジェントキーは同じ車両で最大4個まで使うことができます。ご購入やご使用開始方法については、日産販売会社にご相談ください。
- インテリジェントキーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちに日産販売会社にご相談ください。
- キー番号を打刻したタグは大切に保管してください。キー番号を日産販売会社に連絡すると購入できます。
- インテリジェントキーのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗又は故障が考えられます。日産販売会社にご相談ください。（電池の交換のしかた…P.39）

リモートコントロールエントリー機能について

離れたところ（約1m）から全ドア及び燃料補給口の施錠·解錠、トランクの解錠ができます。

■使いかた

●車に近づき、インテリジェントキーのスイッチを押します。
●リモートコントロールエントリー機能で施錠したあとは、必ず施錠されたことを確認してください。

ZIC0655

スイッチ	作　　動
ドア施錠スイッチ	全ドア及び燃料補給口を施錠します。
ドア解錠スイッチ	全ドア及び燃料補給口を解錠します。
トランク解錠スイッチ	約1秒間押し続けるとトランクが解錠します。

アドバイス

● 以下の場合は、解錠してもトランクリッドが半ドア状態になることがあります。その場合は、トランクオープン・リクエストスイッチで再度解錠し、手でトランクリッドを持ち上げてください。
・トランクリッドに雪やアクセサリーなどの重量物が付いているとき。
・トランクリッドが凍結しているとき。

知識

● ドアの施錠・解錠時にはキー連動室内照明システム、アンサーバック機能、オートロック機能が作動します。（P.33）
● ドア施錠スイッチを押したときに車外警報ブザーが“ピピピピ･･･”と鳴ったときは、ドアが施錠されていません。以下を確認し、再度施錠してください。
・いずれかのドアが半ドアになっていないか。
・ドアを閉める前にドア施錠スイッチを押していないか。

■作動しないとき

●次のような場合は、インテリジェントキーのスイッチを押しても作動しません。
・電源ポジションがAcc、ONのとき。
・ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき。（解錠のみできます。）
・インテリジェントキーが車内にあるとき。（解錠のみできます。）
・車から離れすぎているとき。
・インテリジェントキーの電池が切れているとき。

アドバイス

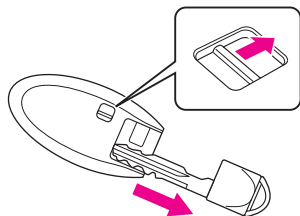
● 周囲の状況によっては、作動する距離が変わることがあります。確実に作動させるためには、車両から約1mまで近づいてください。

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

メカニカルキー機能について

インテリジェントキーの電池が切れたときや、12Vバッテリーがあがったときなどにドアの施錠・解錠ができます。

■メカニカルキーの取り外しかた

- インテリジェントキー裏側のロックを外しながらメカニカルキーを引き抜きます。

ESG0178Z

- 元に戻すときは、ロックが戻るまで確実に差し込みます。

注意

- インテリジェントキーは必ずメカニカルキーを内蔵した状態で携帯してください。

イモビライザー（盗難防止装置）

車両の盗難に対する防御性能を高めるために、インテリジェントキーに送信機を内蔵し、あらかじめ登録されているインテリジェントキー以外でのハイブリッドシステムの始動を禁止するシステムです。

- イモビライザーが働いているときは、セキュリティーインジケーター（P.121）が点滅します。

アドバイス

- 電源ポジションをONにしたときセキュリティーインジケーターが点灯し続ける場合は、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

知識

- インテリジェントキーに登録された信号は、インテリジェントキーごとに異なります。
- ハイブリッドシステムが始動できない場合は、一度電源ポジションをOFFにして、10秒以上経過してから再始動してください。
- 上記の操作を行ってもハイブリッドシステムが始動できない場合は、日産販売会社で点検を受けてください。

電池の交換のしかた

⚠ 警告

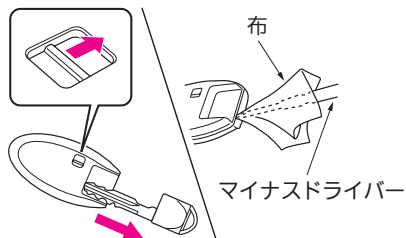
- 電池及び取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意してください。

アドバイス

- 電池交換の際、キーを破損するおそれがあります。日産販売会社での交換をおすすめします。

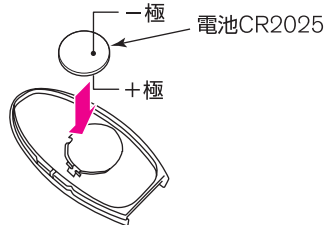
使用電池：リチウム電池CR2025

①インテリジェントキー裏側のロックを外しながら、メカニカルキーを引き抜きます。

②スリットにマイナスの精密ドライバーを差し込み、ひねって上下に分解させます。

ECG0008Z

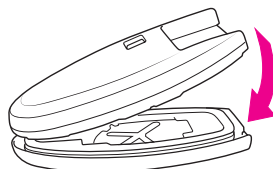
アドバイス

- 本体に傷をつけるおそれがあるため、ドライバーに布などを当てて外してください。ドライバーを奥に差し込みすぎると内部の基板を傷つけるおそれがあります。

③古い電池を取り外し、新しい電池の＋極を下側にしてはめ込みます。

ZIC0357

アドバイス

- 電池の＋極と－極は必ず正しい向きにしてはめ込んでください。
- 内部回路、電子端子などに触れないでください。故障の原因となります。

④上下を組み付けます。

ECG0026Z

アドバイス

- 電池交換後は、インテリジェントキーシステムの各機能が正常に作動するか必ず確認してください。

各部の開閉のしかた

ドア

警告

- ドアの開閉はお子さまにはさせないでください。手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- ドアを開けるときは、周囲の安全を十分確認してください。後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- 走行する前にドアを確実に閉めてください。走行中に突然ドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

- 車から離れるときは、盗難や事故防止のため、必ずハイブリッドシステムを停止し、施錠してください。

知識

- ドアハンドルを引きながら解錠しようとすると、ドアが解錠できないことがあります。一度ドアハンドルを戻すと自動的に解錠し、再度ドアハンドルを引くとドアを開けることができます。
- 運転席ドアを施錠・解錠すると、燃料補給口も連動して施錠・解錠されます。

キー連動室内照明システム

- 運転席ドアを解錠すると、トータルコーディネート室内照明が約15秒間点灯します。(P.268)

衝撃感知式ドアロック解除システム

- 電源ポジションがONのとき、車両が前後方向又は側面から強い衝撃を受けるとシステムが作動し、約3秒後に全ドアが自動的に解錠されます。衝撃の強さなどによっては、作動しないことがあります。システム作動後にシステムを解除させる(ドアをロックする)には、一旦電源ポジションをOFF にしてください。

電源ポジション連動ドアロック解除システム

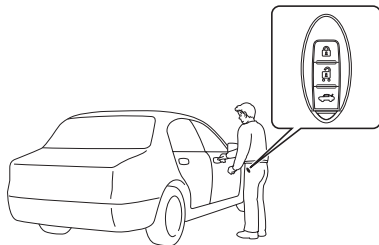
- 電源ポジションをONからOFFにすると全ドアが自動的に解錠されます。
- 電源ポジション連動ドアロック解除システムの作動・非作動を切り替えることができます。(工場出荷時は「非作動」に設定されています。)
  次の手順で設定を切り替えます。
  ①全ドアを閉めます。
  ②電源ポジションをONにします。
  ③電源ポジションをONにしたあと、20秒以内にドアロックスイッチの解錠側を5秒以上押し続け、作動と非作動を切り替えます。
  作動:非常点滅表示灯が2回点滅
  非作動:非常点滅表示灯が1回点滅

知識

車速検知式オート集中ドアロック

- 車速が約25km/h以上になると、全ドアが自動的に施錠されます。ただしそのあと解錠すると、再度施錠はされません。再度作動させるには、いずれかのドアを開けるか、電源ポジションをOFFにします。
- 衝撃感知式ドアロック解除システム作動後は、一旦電源ポジションをOFFにするまでは作動しません。
- 車速検知式オート集中ドアロック機能の作動・非作動を切り替えることができます。（工場出荷時は「作動」に設定されています。）
  次の手順で設定を切り替えます。
  ①全ドアを閉めます。
  ②電源ポジションをONにします。
  ③電源ポジションをONにしたあと、20秒以内にドアロックスイッチの施錠側を5秒以上押し続け、作動と非作動を切り替えます。
  作動：非常点滅表示灯が2回点滅
  非作動：非常点滅表示灯が1回点滅

■インテリジェントキー機能による施錠・解錠

キーを取り出すことなく施錠や解錠ができます。

ZIC0656

- インテリジェントキーを携帯しているとき、運転席ドア又は助手席ドアの施錠・解錠作動範囲内でドアハンドル・リクエストスイッチを押すと全ドアが施錠又は解錠します。
- 施錠したあとは、必ず施錠されたことを確認してください。

ZIC0038

知識

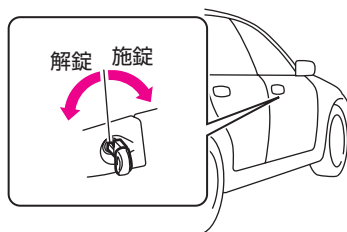
- インテリジェントキーを検知しているドアハンドル・リクエストスイッチでのみ施錠・解錠を行うことができます。
- ドアの施錠・解錠時にはアンサーバック機能、オートロック機能が作動します。（P.33）

作動しないとき

●次のような場合は作動しません。
- ・電源ポジションがAcc、ONのとき。
- ・ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき。
- ・インテリジェントキーが施錠・解錠作動範囲内（P.33）にないとき。
- ・携帯しているインテリジェントキー以外に自車のインテリジェントキーが車内又はトランク内にあるとき。（解錠のみできます。）
- ・インテリジェントキーの電池が切れているとき。（P.39）

■メカニカルキーによる施錠・解錠

車両前方に回すと施錠し、車両後方に回すと解錠します。

●運転席ドアを施錠・解錠すると、全ドアが同時に、施錠·解錠します。
メカニカルキー機能について…P.38

ZIC0284

知識

●カーアラームがセットされているときにメカニカルキーでドアを解錠して開けると、カーアラームが作動します。カーアラームの作動を停止するときは、電源ポジションをAcc又はONに切り替えてください。
カーアラーム（盗難防止装置）…P.48

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車とのじょうずなつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

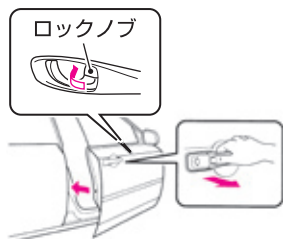
■リモートコントロールエントリー機能による施錠・解錠

●車に近づき、インテリジェントキーのスイッチを押します。

リモートコントロールエントリー機能について…P.37

■キーを使わない施錠

●前席ドアは車内のロックノブを押し込み、ドアハンドルを引きながらドアを閉めます。

●後席ドアは車内のロックノブを押し込み、そのままドアを閉めます。

ZIC0358

アドバイス

●キー封じ込み防止のため、キーを携帯していることを確認してから施錠してください。

キー封じ込み防止機能…P.49

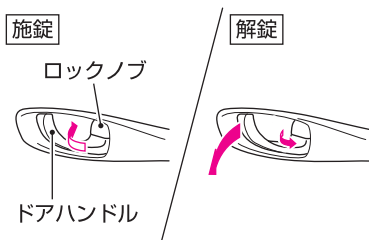
知識

●インテリジェントキーが車内にあるとき、運転席ロックノブ又はドアロックスイッチで施錠できません。

■ロックノブによる施錠・解錠

●車内のロックノブを押し込むと施錠し、手前に引くと解錠します。

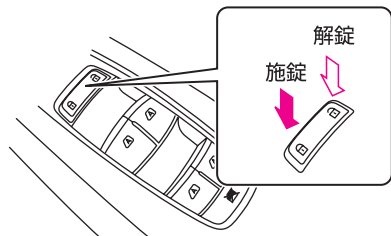
●運転席のロックノブで施錠・解錠すると、全ドアが同時に、施錠・解錠します。

●ドアを開けるときは、解錠後ドアハンドルを引きます。

ZIC0359

知識

●運転席ドアは、施錠したままでもドアハンドルを引くとドアが開けられます。そのとき、全ドアが同時に解錠します。

■ドアロックスイッチによる施錠・解錠

●運転席のドアロックスイッチを押すと、全ドアの施錠・解錠ができます。

ZIC0360

オートクロージャー

●自動的に後席ドアを全閉させる機能です。
閉めるとき、半ドア状態まで閉めると自動的に全閉します。

注意

- ドアを閉めるときは、手などを挟まないよう注意してください。
- オートクロージャー作動中は後席ドアが自動的に閉まるため、指を挟まないように注意してください。

知識

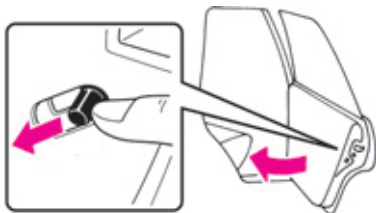
- ドアハンドルを引いたままドアを閉めると、オートクロージャーは作動しません。
- オートクロージャー作動中でも、ドアハンドルを引けば、手動で開けることができます。
- 手動でドアを全閉することもできます。

チャイルドセーフティドアロック

車内のロックノブの位置に関係なく、後席ドアを車内から開けられなくなります。

●お子さまを乗せるときに使います。

■施錠のしかた

●左右の後席ドアにあるロックレバーをLOCK側にしてドアを閉めます。

ESG0182Z

●ロックを解除するときは、ロックレバーを元に戻します。

■ドアを開けるとき

●ロック作動中にドアを開けるときは、車内のロックノブを解錠し、車外からドアハンドルを引きます。

知識

- 車内から開けるときは、窓ガラスを下げ、手を外に出して車外のドアハンドルを引きます。

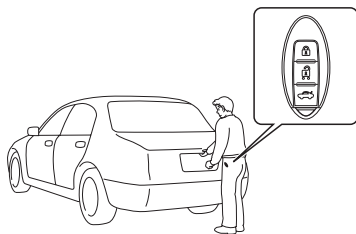
トランク

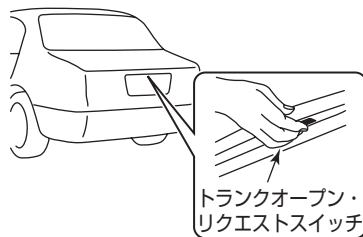
⚠ 警告

- トランクの中に人は乗らないでください。閉じ込められると、中から開けられません。お子さまが入らないように注意してください。重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 走行前に、トランクが確実に閉まっていることを必ず確認してください。トランクを開けたまま走行すると、車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

解錠のしかた

■インテリジェントキー機能による解錠

キーを取り出すことなくトランクの解錠ができます。

ZIC0657

●作動範囲内でトランクオープン・リクエストスイッチを押すとトランクが解錠します。

ZIC0394

作動しないとき

●次のような場合は作動しません。
・インテリジェントキーが解錠作動範囲内（P.33）にないとき。
・インテリジェントキーの電池が切れているとき。（P.39）

アドバイス

- インテリジェントキーの車内封じ込み防止のため、トランクを閉めるときは必ずインテリジェントキーを携帯していることを確認してください。
キー封じ込み防止機能…P.49

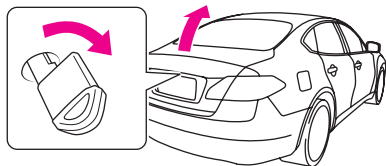
知識

- トランクの解錠作動範囲内にインテリジェントキーがあるときのみ、トランクを解錠することができます。
- トランクの解錠時にはアンサーバック機能（P.33）が作動します。
- インテリジェントキーをトランク内に封じ込めてしまった場合、トランクは施錠されずに開きます。
キー封じ込み防止機能…P.49
- インテリジェントキーがトランクに近づきすぎている場合は、トランクの解錠ができないことがあります。

■リモートコントロールエントリー機能による解錠

- トランクに近づき、インテリジェントキーのスイッチを約1秒間押し続けます。
リモートコントロールエントリー機能について…P.37

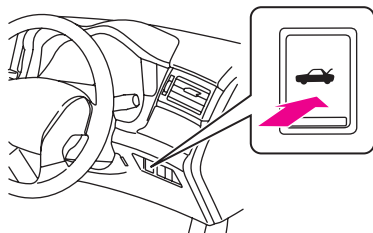
■メカニカルキーによる解錠

- メカニカルキーをキー穴に差し込み右に回すと解錠します。

ZIC0623

知識

- カーアラームがセットされているときにメカニカルキーでトランクを解錠すると、カーアラームが作動します。カーアラームの作動を停止するときは、電源ポジションをAcc又はONに切り替えてください。
カーアラーム（盗難防止装置）…P.48

■トランクオープナースイッチによる解錠

- トランクオープナースイッチを約1秒間押すと解錠します。

ZIC0362

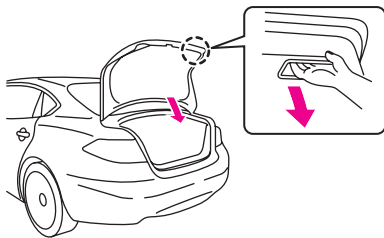
アドバイス

- 以下の場合は、解錠してもトランクリッドが半ドア状態になることがあります。その場合は、トランクオープン・リクエストスイッチで再度解錠し、手でトランクリッドを持ち上げてください。
  - ・トランクリッドに雪やアクセサリーなどの重量物が付いているとき。
  - ・トランクリッドが凍結しているとき。

知識

- カーアラームのセット中は、トランクオープナースイッチでの解錠はできません。
カーアラーム（盗難防止装置）…P.48

開閉のしかた

- 開けるときは、解錠後トランクリッドを持ち上げ、全開にします。
- 閉めるときは、トランクリッドを降ろし、軽く押しつけるとオートクロージャーが作動し、自動的に閉まります。

ZIC0363

⚠ 注意

- トランクリッドは必ず全開してください。途中で止めると突然閉まるおそれがあります。
- 風が強いときに開けると、風にあおられ急に閉まることがありますので特に注意してください。
- トランクを閉めるときは、手などを挟まないよう注意してください。

アドバイス

- キーをトランク内に置き忘れないでください。

オートクロージャー

自動的にトランクリッドをロックする機能です。
トランクリッドをロック直前まで閉めてから、軽く押しつけると作動します。

⚠ 注意

- オートクロージャー作動中はトランクリッドが自動的に閉まるため、指を挟まないように注意してください。

アドバイス

- 12Vバッテリーが弱っているとオートクロージャーが作動しないことがあります。その場合は、手で強く閉めるかハイブリッドシステムを始動してから閉め直してください。
- 荷物の積みすぎなどによりオートクロージャーで閉めきれない状態を繰り返すと、オートクロージャーが作動しなくなります。そのときは日産販売会社で点検を受けてください。

知識

- オートクロージャーを連続して作動させると保護機能が働き、一時的にオートクロージャーが作動しないことがあります。

カーアラーム（盗難防止装置）

ドアが不正な方法で解錠されたり、トランク又はエンジンフードを開けられたときに周囲に異常を知らせるシステムです。

アドバイス

- 車内に人が乗っている状態や、窓ガラスが開いた状態でもシステムは作動します。
  システム本来の目的以外の作動はまわりの迷惑となりますので作動させないでください。

■セットのしかた

①全ての窓ガラスを閉めたあと、電源ポジションをLOCKにし、全ドア、トランク、エンジンフードを閉めます。

②インテリジェントキー機能又はリモートコントロールエントリー機能で施錠します。

・準備状態になり、セキュリティーインジケーター（P.121）が点滅から点灯に変わります。

知識

- メカニカルキーで施錠した場合、カーアラームはセットされません。

●約30秒経過すると、自動的にセット状態になります。

・セキュリティーインジケーター（P.121）が点灯から点滅に変わります。

知識

- 準備状態のときに以下の操作を行うと、準備状態を解除します。
  - ・いずれかのドアを開けたとき。
  - ・電源ポジションをAcc又はONにしたとき。
- セット状態のときに以下の操作を行うと、セット状態を解除します。
  - ・いずれかのドアをインテリジェントキー機能又はリモートコントロールエントリー機能で解錠したとき。
  - ・電源ポジションをAcc又はONにしたとき。
- 以下の操作を行うと、準備状態又はセット状態を一時解除します。
  - ・準備状態又はセット状態のときにトランクをインテリジェントキー機能又はリモートコントロールエントリー機能で解錠したとき。
  - ・準備状態のときにエンジンフードを開けたとき。

  再度トランク又はエンジンフードを閉めると、カーアラームは準備状態になります。

■アラームの作動

- 不正な行為が行われると、約30秒間ホーンを鳴らすと共に非常点滅表示灯を点滅させ、周囲に異常を知らせます。
- 以下の不正な行為が行われると、約6秒後に盗難のおそれがあると判断し作動します。
  - ・インテリジェントキー機能又はリモートコントロールエントリー機能以外の方法で解錠し開けたとき。
  - ・エンジンフードを開けたとき。

知識

- メカニカルキー機能でドア解錠してからドアを開けると、カーアラームが作動します。

■アラームを停止するには

- カーアラーム作動中に次の操作を行うと、作動を停止します。
  - ・インテリジェントキー機能又はリモートコントロールエントリー機能でドア又はトランクを解錠する。
  - ・電源ポジションをAcc又はONにする。

知識

インテリジェントキーの電池が切れている場合は、インテリジェントキーの裏面をパワースイッチに接触させてから電源ポジションを切り替えてください。

- 約30秒経過し、アラーム作動が終了すると、再びセット状態になります。

キー封じ込み防止機能

インテリジェントキーを車内又はトランク内に入れたまま施錠することを防ぐ機能です。

アドバイス

- 次のような場所に置いているときは、キー封じ込み防止機能が作動しないことがあります。
  - ・インストルメントパネル上
  - ・グローブボックス内
  - ・ドアポケット内
  - ・リヤパーセルの上
  - ・スペアタイヤ付近
  - ・トランク内側の端
  - ・金属製のバッグの中
  - ・金属製のものの近く
- 周囲の電波環境によってはキー封じ込み防止機能が作動しないことがあります。
- インテリジェントキーが車外にあっても、車両（ドアやドアガラス、トランク、リヤバンパーなど）に近づけすぎた場合、キー封じ込み防止機能が作動することがあります。

- インテリジェントキーが車内又はトランク内にあるとき
  ⇒運転席ドアを開けた状態での運転席のロックノブ又はドアロックスイッチによる施錠ができません。（施錠後、すぐに全ドアが解錠されます。）

- ドアを開けた状態で運転席のロックノブ又はドアロックスイッチにより全ドアを施錠し、インテリジェントキーを車内又はトランク内に入れてしまったとき
  ⇒全ドアを閉めると、車外警報ブザーが“ピピピピ…”と鳴り、全ドアが解錠されます。

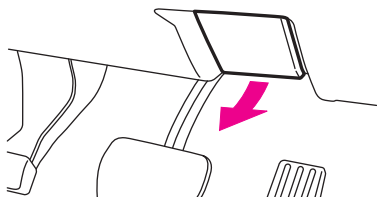
- 全ドアが施錠されているときに、インテリジェントキーをトランク内又は車内に入れてしまったとき
  ⇒トランクを閉めると、車外警報ブザーが“ピー”と鳴り、トランクが解錠されます。

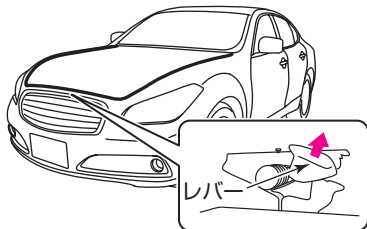
知識

- オートロック機能が作動しているときに、インテリジェントキーをトランク内又は車内に入れ、トランクを閉めた場合でも封じ込み防止機能は作動します。
- 車外警報ブザーは約10秒後に停止します。
- 車外警報ブザーが鳴っているときに以下の操作を行うと車外警報ブザーは停止します。
  - ・トランク内に封じ込めたインテリジェントキーを取り出し、再度トランクを閉めたとき。
  - ・いずれかのドアを開けたとき。
  - ・インテリジェントキーのドア施錠スイッチを押してドアを施錠したとき。
  - ・インテリジェントキーのドア解錠スイッチを押してドアを解錠したとき。
  - ・リクエストスイッチを押してドアを解錠したとき。

エンジンフード

■開けかた

①運転席右下にあるオープナーを引きます。
ロックが外れ、エンジンフードの先端が少し浮き上がります。

ZIC0384

②エンジンフード先端のすき間に手を入れ、レバーを押し上げながらエンジンフードを持ち上げます。

ZIC0625

⚠ 警告

- ポップアップエンジンフードが作動したときは、フードオープナーを引かないでください。
  フードオープナーを引くと、更にフードが上がり視界の妨げとなるため危険です。また、フードを無理に押し戻さないでください。手動では下げることができないため、フードが変形したり、思わぬケガをするおそれがあります。
  ポップアップエンジンフードが作動したときは、必ず日産販売会社にご相談ください。

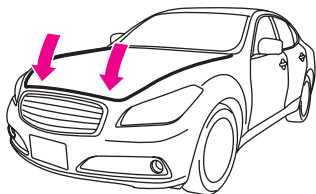
⚠ 注意

- 風が強いときに開けると、風にあおられますので、しっかり持ってゆっくり開けてください。
- エンジンフードを開けたときは、フードに頭などをぶつけないように注意してください。
- エンジンルーム内の作業をするときは、電源ポジションをOFFにし、走行可能表示灯 が消灯していることを確認してください。ハイブリッドシステム作動中にエンジンルーム内に手、衣服、工具などを入れると思わぬケガをするおそれがあります。
- 電源ポジションをOFFにした直後は、排気系部品、ラジエーター、インバーターなどの高温部に触れないでください。やけどをするおそれがあります。

アドバイス

- ワイパーアームを起こしたままエンジンフードを開けないでください。エンジンフードやワイパーを損傷します。

■閉めかた

エンジンフードをゆっくり降ろし、左右の前端を押しつけ、確実にロックします。

ZIC0626

⚠ 警告

- 走行前に、エンジンフードが確実に閉まっていることを必ず確認してください。両側ともロックされていないと、走行中エンジンフードが開いて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- エンジンフードを閉めるときは、手などを挟まないようにゆっくり降ろしてください。

パワーウインドー

電源ポジションがONのとき操作できます。

⚠ 警告

- 走行中は顔や手、物などを車外に出さないでください。車外のものに当たったり、急ブレーキ時に重大な傷害につながるおそれがあります。
- 窓ガラスを閉めるときは、手や首などを挟まないよう注意してください。
- お子さまを乗せているときは、パワーウインドーロックスイッチを押し込み、操作させないようにしてください。重大な傷害につながるおそれがあります。

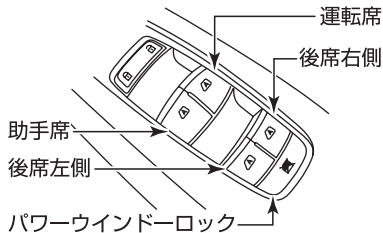
知識

- 運転席のパワーウインドーロックスイッチが押し込まれているときは、助手席・後席窓ガラスの操作ができません。

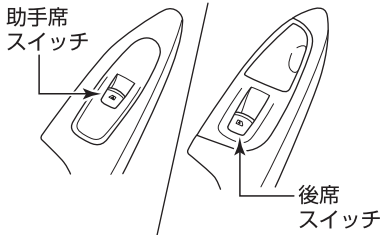
キーOFF後作動機構

- 窓ガラスは電源ポジションをAcc又はOFFにしたあとでも、約15分間は開閉することができます。ただし、その約15分間に運転席ドアを開けて閉める（ドアが開いているときは閉める）と、窓ガラスの開閉はできなくなります。

運転席スイッチ

運転席スイッチで、各席の窓ガラスの開閉ができます。

ZIC0366

助手席・後席スイッチ

助手席スイッチ、後席スイッチで自席の窓ガラスの開閉ができます。

ZIC0367

■開閉のしかた

- スイッチを押している間、開きます。
- スイッチを引き上げている間、閉まります。

■ワンタッチ開閉のしかた

窓ガラスは、ワンタッチで開閉できます。

- スイッチを強く押すと全開します。
- スイッチを強く引き上げると全閉します。
- 途中で止めたいときは、スイッチを操作した反対側に軽く押すか引きます。

■挟み込み防止機構

- 窓ガラスを自動で閉めているときやキーOFF後作動機構で閉めているときに、車体と窓ガラスの間に異物の挟み込みを感知すると、窓ガラスの上昇が停止し、自動で少し下降し止まります。
- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じような衝撃や荷重が窓ガラスに加わると作動することがあります。

⚠ 注意

- 窓ガラスを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。指などを挟まれないよう注意してください。

アドバイス

- 故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、窓ガラスを自動で閉めることができないときは、スイッチを上側へ引き続けて閉めてください。

■パワーウインドーのロックのしかた

- パワーウインドーロックスイッチを押し込むと、助手席と後席の窓ガラスの開閉ができなくなります。
- スイッチを押し戻すと開閉できます。

スイッチ位置	作　　動
ON	ロックされます。
OFF	ロックが解除されます。

■正常に作動しないとき

12Vバッテリーを外すと、窓ガラスの自動閉操作、挟み込み防止機構、キーOFF後作動機構が正常に作動しないことがあります。
以下の操作を行い、各席のパワーウインドーをそれぞれ初期設定してください。

①電源ポジションをONにします。
②運転席スイッチで初期設定したい窓ガラスを全開にします。（すでに全開しているときは、操作する必要はありません。）
③運転席スイッチで初期設定したい窓ガラスを全閉にします。
窓ガラスが全閉してから約3秒後に手を離します。
④正常に作動することを確認します。
・正常に作動しないときは、再度上記の操作を行ってください。

アドバイス

- 助手席・後席スイッチでもパワーウインドーをそれぞれ初期設定することができます。
- 上記の操作で作動できない場合は、早めに日産販売会社で点検を受けてください。

燃料補給口

燃料補給口は運転席側の車両後方にあります。

⚠ 警告

- 燃料補給時は、以下のことを必ずお守りください。
  - ・電源ポジションをOFFにする。
  - ・車のドアや窓を閉める。
  - ・タバコなどの火気を近づけない。
  - ・気化した燃料を吸わない。
- 補給作業を行う前に、金属部分に触れて身体の静電気を除去してください。放電による火花で燃料に引火したり、やけどをするおそれがあります。
- 補給作業はひとりで行ってください。作業中に車内に戻ったり、帯電している人や物に触れると再帯電するおそれがあります。
- キャップを開けるときはゆっくり回し、燃料タンク内の圧力を下げてから外してください。急に開けると、燃料が補給口から吹き返すおそれがあります。
- 給油ノズルは確実に給油口へ挿入してください。給油ノズルの挿入が浅いと、給油の自動停止が遅れるため、燃料が吹きこぼれ火災につながるおそれがあります。
- 給油ノズルの自動停止後は、給油の継ぎ足しをしないでください。継ぎ足しをすると、燃料があふれて火災につながるおそれがあります。
- ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

■燃料の補給

●燃料タンクの容量は、約70ℓです。

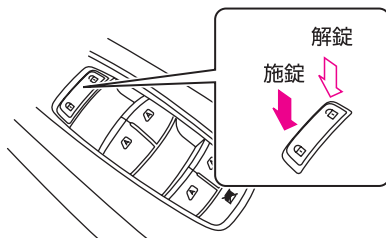
エンジン型式	指定燃料
VQ35HR	無鉛プレミアム（無鉛ハイオク）ガソリン

アドバイス

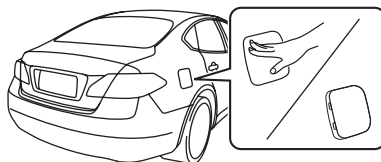
- 指定以外の燃料は補給しないでください。
- 無鉛プレミアムガソリンが入手できない場合、無鉛レギュラーガソリンも使用できますが、エンジン出力低下などの現象が発生します。

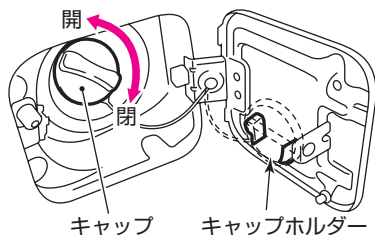
■開けかた

①運転席のドアロックスイッチを押して解錠します。

・燃料補給口のリッドロックは、ドアロックスイッチの施錠・解錠に連動します。

ZIC0360

②リッドを開けます。

・リッドの車両後方上側を押すとリッドが少し開きます。開いたすき間に手を入れて全開します。

ZIC0627

③キャップを左にゆっくり回して開けます。
・補給時、キャップはリッドの裏側に置きます。

ZIC0638

■閉めかた

①キャップを“カチッ、カチッ”と、2回以上音がするまで右に回して閉めます。
②リッドを閉めます。

警告

- キャップは確実に閉めてください。閉まっていないと走行中に燃料が漏れ、火災につながるおそれがあります。
- 日産純正品以外のキャップは使用しないでください。

電動ガラスサンルーフ

警告

- 走行中は顔や手、物などを車外に出さないでください。車外のものに当たったり、急ブレーキ時に重大な傷害につながるおそれがあります。
- サンルーフを開閉するときは、手や首などを挟まないよう注意してください。また、お子さまには操作させないでください。
  重大な傷害につながるおそれがあります。

TSA5575Z

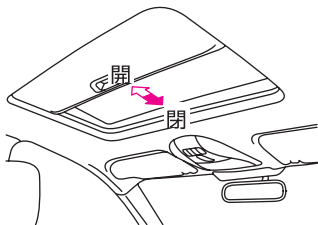
注意

- 運転中はサンルーフの開閉操作を行わないでください。前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。操作は信号待ちなどの停車中に行ってください。
- ルーフに水や雪などがあるときは開けないでください。突然の水や雪に驚き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

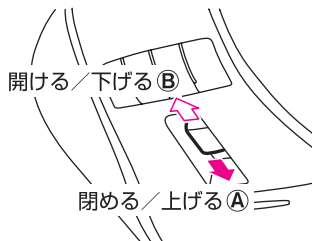
アドバイス

- 開口部に腰を掛けたり、荷物を載せるなど、大きな力をかけないでください。ルーフが変形するおそれがあります。
- 車から離れるときや洗車するときは、盗難や故障などを防ぐためサンルーフを必ず閉めてください。

■サンシェードの開閉

- 手動で開閉します。
- サンルーフを開けると連動して開きます。
- サンルーフを開けているときは、開けているところまで閉めることができます。

ZIC0371

■サンルーフの開閉

電源ポジションがONのとき操作できます。

ZIC0372

チルトアップのしかた

- スイッチをⒶ側に押すと、後部が上がります。
- スイッチをⒷ側に押すと、後部が下がります。

開閉のしかた

- スイッチをⒷ側に押すと、自動で全開します。
- スイッチをⒶ側に押すと、自動で全閉します。
- 途中で止めたいときは、再度スイッチを押します。

知識

- チルトアップしているときは、前後の開閉はできません。

■挟み込み防止機構

自動でサンルーフを閉めるときに、車体とサンルーフの間に異物の挟み込みを感知すると、サンルーフが停止し、自動で開き始めます。

⚠ 注意

- サンルーフを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。指などを挟まれないように注意してください。

アドバイス

- 故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、サンルーフを自動で閉めることができないときは、サンルーフスイッチを閉方向に繰り返し押して閉めてください。

知識

- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じような衝撃や荷重がサンルーフに加わると、挟み込み防止機構が作動することがあります。

■正常に作動しないとき

- サンルーフが正常に作動しないときは、以下の操作を行い初期設定し直してください。

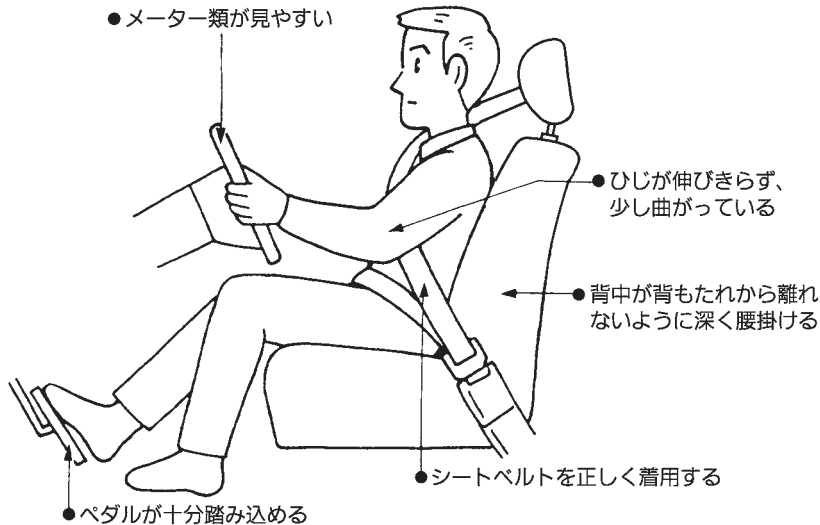
①サンルーフをチルトアップ状態にします。
・サンルーフが動かなくなるまでスイッチをⒶ側に繰り返し押し、チルトアップ状態にします。
②スイッチをⒶ側に押し続けます。
・サンルーフが上下に少し動くまでスイッチを押し続けます。
③スイッチをⒷ側に押し、全閉状態にしてから正常に作動するか確認します。

アドバイス

- 上記の操作で作動できない場合は、早めに日産販売会社で点検を受けてください。

ハンドル・シート・ミラーの調節について

正しい運転姿勢

正しい運転姿勢がとれるよう、ハンドル、シート、ミラーを調節してください。

TCD0008Z

⚠ 警告

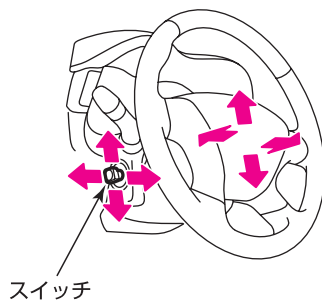
- ハンドル、シート、ミラーの調節は安全のため必ず走行前に行ってください。走行中に調節をすると前方不注意となり危険です。
- 調節したあとは確実に固定されたことを確認してください。ハンドルやシートが固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれを倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

- 調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。
- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 室内を清掃するときやシートの下に落とした物を拾うときなど、シートの下に手を入れるときは十分に注意してください。シートレールやシートフレームに当たりケガをするおそれがあります。

ハンドル

■電動チルト・テレスコピックステアリング

●スイッチを前後上下に押して調節します。

ZIC0374

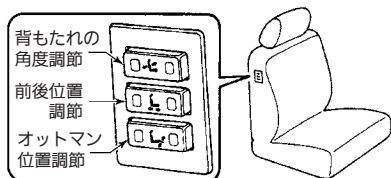
前席シート

シートの調節

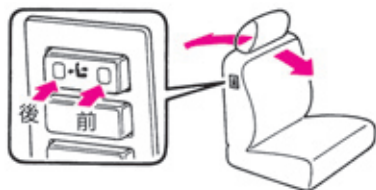
ZIC0376

調節箇所	スイッチ	操　作	装　備	
			運転席	助手席
前後位置 ESG0197Z	後ろへ　前へ ZIC0409	●調節したい方向にスイッチを動かします。	有	有
上下位置 ESG0199Z	全体が動く　前側が動く ZIC0410	●シート全体を調節するときはスイッチの後ろ側を、シートの前側を調節するときはスイッチの前側を動かします。	有	無
背もたれの角度 ESG0201Z	後ろへ　前へ ZIC0411	●調節したい方向にスイッチを動かします。	有	有
腰部の張り出し量 ESG0203Z	少ない　多い ZIC0645	●張り出し量を多くしたいときはスイッチの前側を、張り出し量を少なくしたいときはスイッチの後ろ側を押します。	有	無

助手席コントロールスイッチ

助手席シート背もたれの横に付いているスイッチで、運転席や後席から助手席シートを調節することができます。

ESA1392Z

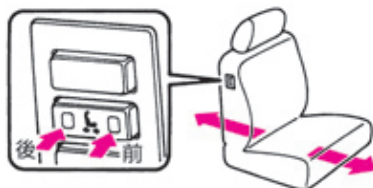
■背もたれの角度調節

●スイッチの前側を押すと前方に、後ろ側を押すと後方に傾きます。

TSC1813Z

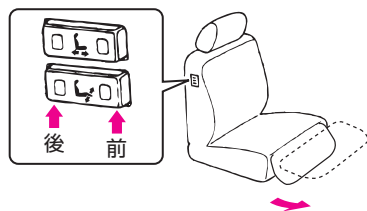
⚠ 注意

● 助手席に同乗者がいるときは、背もたれを必要以上に倒さないでください。万一のときシートベルトの機能が十分発揮されないことがあります。

■前後位置調節

●スイッチの前側を押すと前方に、後ろ側を押すと後方に動きます。

TSC1814Z

■オットマン位置調節

●スイッチの前側を押すと前方に、後ろ側を押すと後方に動きます。

ZIC0635

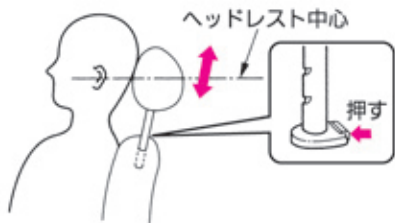
🔍助手席パワーオットマン機構…P.64

ヘッドレストの使いかた

■上下調節のしかた

ヘッドレストの中心が、耳の高さになるように調節します。

●上げるときは、そのままヘッドレストを引き上げます。

●下げるときは、ボタンを押しながらヘッドレストを下げます。

TCE0089Z

■脱着のしかた★

●取り外すときは、ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。

●取り付けるときは、ボタンを押しながらヘッドレストを差し込みます。

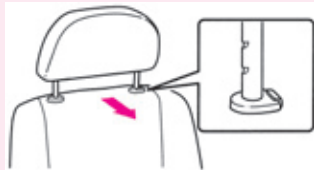
警告

● ヘッドレストは外したまま走行しないでください。万一のとき、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

アドバイス

● 後席プライベートシアターシステム付車のヘッドレストは脱着できません。
ヘッドレスト一体型ディスプレイについては、ナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。

注意

● 取り付けるときは、前後の向きを間違えないでください。

TSC0648Z

● 取り付けたあとは、ヘッドレストを持ち上げ、抜け出さないことを確認してください。万一のとき、ヘッドレストが効果を十分発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。

■前席アクティブヘッドレストについて

追突されたときに背もたれが乗員を受け止める力を利用して、ヘッドレストが瞬時に前方に移動します。

ヘッドレストの移動により、頭部の過度な後方への傾きを防ぎ、首への負担を軽減します。

いわゆる「むち打ち症」が多く発生するといわれている、低速から中速までの追突時に効果を発揮します。

TSC1817Z

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

⚠ 注意

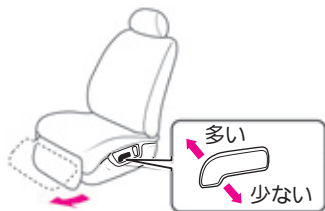
- ヘッドレストのステーにテーブル、テレビなどの用品を取り付けないでください。万一の追突時にアクティブヘッドレストの機能が損われるおそれがあります。

知識

- アクティブヘッドレストは、追突時のみ作動し、追突後は元の位置に戻ります。
- アクティブヘッドレストの調節方法は、通常のヘッドレストと同じです。正しく調節してください。

助手席パワーオットマン機構

シート下のオットマン（ふくらはぎ部）を調節することで、楽な姿勢をとることができます。また、足の疲労も軽減することができます。

①助手席を最後方へ動かします。
②スイッチの前側を上又は下に押して調節します。
③助手席シートの前後位置を調節します。

ESE0821Z

- 使用後は、格納位置に戻します。

⚠ 注意

- シート位置が前方に調節されたままオットマンを前方に調節すると、足を挟まれるおそれがあります。
- 乗降時及び使用後はシート下に格納してください。格納していないと、オットマンにつまずいて転倒するなど、思わぬケガをするおそれがあります。

アドバイス

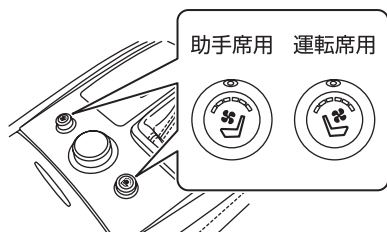
- オットマンの上には乗らないでください。破損するおそれがあります。

知識

- 助手席コントロールスイッチ（P.62）でもオットマンの位置調節ができます。

前席エアコンディショニングシート★

ハイブリッドシステムが作動しているときに使えます。
シート表面から温風又は冷風を出し、冷えや蒸れを軽減します。
運転席、助手席それぞれ別々に調節することができます。

- 冷やしたいときはダイヤルを左に回します。
  （ダイヤルの表示灯が点灯）
  ダイヤルを左に回すほど温度が下がり、風量も多くなります。
- 温めたいときは、ダイヤルを右に回します。
  （ダイヤルの表示灯が点灯）
  ダイヤルを右に回すほど温度が上がり、風量は自動制御されます。
- 止めるときは、ダイヤルを中立位置にします。
  （ダイヤルの表示灯が消灯）

ZIC0407

⚠ 注意

- 長時間の連続使用は低温やけどや冷やしすぎの原因となります。特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方、眠気をもよおす薬を服用された方、深酒や疲労の激しい方は注意して使ってください。
- シートに毛布や座布団をのせたり、日産純正以外のシートカバーを使わないでください。過熱のおそれがあります。
- 固くて重い物や突起がある物をシートにのせたり、ピンや針などの鋭い物でシートをつきささないでください。
- シート清掃時シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤の使用はやめてください。
- 水などをこぼしたときは、乾いた布ですぐにふき取ってください。

アドバイス

- ほこりなどを集じんするためのフィルターを装着しています。
  性能の低下を感じたときは、フィルターの目詰まりが考えられます。日産販売会社にご相談ください。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

パーソナルドライビングポジションメモリーシステム

●パーソナルドライビングポジションメモリーシステムは、以下の機能があります。
・シート及びハンドルの退避・復帰機能
・運転席連動ステアリング／ドアミラー自動調整システム
・メモリー機能
・インテリジェントキー連動機能
・各種設定連動機能

知識

● すべての機能は、セレクトレバーがPのときに作動します。
● ハイブリッドシステム始動時は作動が一時停止しますが、ハイブリッドシステム始動後に再開します。
● 以下のいずれかの操作を行うと作動が停止します。
・セレクトレバーをP以外にしたとき。（シートの復帰機能は停止しません。）
・シート、ハンドル、ドアミラーの調節スイッチを操作したとき。
・セットスイッチ、メモリースイッチのいずれかを押したとき。
● 運転席連動ステアリング/ドアミラー自動調整システムは、初期設定が非作動になっています。使用したいときは、設定を切り替えてください。（P.67）
● 12Vバッテリーを外すと、記憶された設定が消去されます。

シート及びハンドルの退避・復帰機能

運転席シートとハンドルが自動的に動き、乗り降りを楽にします。

■退避機能

●電源ポジションをOFFにして運転席ドアを開けると、運転席シートとハンドルが乗り降りしやすい位置に動きます。

■復帰機能

●電源ポジションをAccにすると運転席シートとハンドルが退避する前の位置に戻ります。

知識

● 退避した位置でシート又はハンドルを調節すると、復帰機能は作動しません。

運転席連動ステアリング/ドアミラー自動調整システム

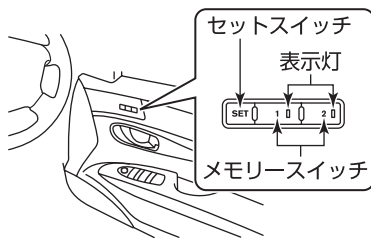
運転席シートを調節すると、ハンドル位置とドアミラー鏡面角度が連動して調整されます。

①セレクトレバーをPにします。
②電源ポジションをONにします。
③運転席シートの位置を調節します。
前席シート…P.61

知識

- シート前側の上下位置調節、及び腰部の張り出し量の調節では連動しません。またシートを微調節したときなど、再調整が不要な場合も連動しません。
- ハンドル位置、ミラー鏡面角度が作動範囲の限度まで調整されると、自動調整システムの作動が停止します。以下のいずれかの操作でシステムは復帰します。
  - ・メモリー機能を使用する。
  - ・インテリジェントキー連動機能を使用する。
  - ・約10km/h以上で走行する。

設定の切り替え

シート及びハンドルの退避・復帰機能と、運転席連動ステアリング/ドアミラー自動調整システムの作動・非作動をそれぞれ切り替えることができます。

ZIC0378

①電源ポジションを切り替えます。

設定する機能	電源ポジション
シート及びハンドルの退避・復帰機能	LOCK
運転席連動ステアリング/ドアミラー自動調整システム	Acc

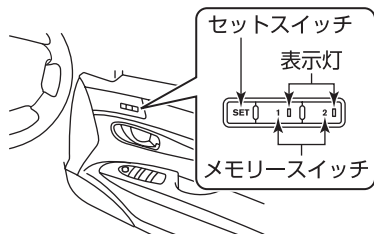
②セットスイッチを10秒以上押し続け、作動と非作動を切り替えます。

表示灯の点滅回数	設定状態
2回	作　動
1回	非作動

知識

- シート及びハンドルの退避・復帰機能はモニターの車両設定でも設定を切り替えることができます。

メモリー機能

2名分の運転ポジション（シート、ハンドル位置、ドアミラー鏡面角度）をスイッチに記憶させ、呼び出すことができます。

ZIC0378

■記憶のしかた

①セレクトレバーをPにします。
②電源ポジションをONにします。
③正しい運転姿勢がとれる運転ポジションに調節します。
ハンドル…P.60
前席シート…P.61
ドアミラー…P.73
④セットスイッチを押し、押してから5秒以内に記憶させたい方のメモリースイッチを1秒以上押します。
・記憶させたスイッチの表示灯が約5秒間点灯します。

知識

● セットスイッチを押したとき、記憶されていると約5秒間表示灯が点灯します。

■呼び出しかた

①セレクトレバーをPにします。
②電源ポジションをONにします。
③記憶を呼び出したいメモリースイッチを1秒以上押します。
・呼び出し中は、スイッチの表示灯が点滅し、完了すると約5秒間点灯します。

知識

● 運転席ドアを開けてから約45秒間は、電源ポジションの位置に関係なく呼び出すことができます。

インテリジェントキー連動機能

メモリースイッチに記憶させた運転ポジションをインテリジェントキーに登録すると、運転席ドアを解錠したときに登録した運転ポジションが自動的に呼び出されます。

■登録のしかた

①セレクトレバーをPにします。
②電源ポジションをLOCKにします。
③セットスイッチを押します。
（スイッチの表示灯が点灯）
④表示灯点灯中に記憶させたい方のメモリースイッチを押しながら、インテリジェントキーの解錠スイッチを押します。
（スイッチの表示灯が点滅）

■呼び出しかた

登録したインテリジェントキーを携帯し、運転席ドアハンドル・リクエストスイッチ又はリモートコントロールエントリー機能で解錠します。

●記憶させた運転ポジションが自動的に呼び出されます。

各種設定連動機能

車両とインテリジェントキーが連動することにより、車両が記憶した下記の各機能の設定状態をインテリジェントキーごとに呼び出すことができます。

・フォレストエアコン（P.250）
・ナビゲーションシステム（別冊）
・オーディオ（別冊）

■記憶のしかた

連動させたいインテリジェントキーで施錠します。

■呼び出しかた

①連動させたインテリジェントキーを携帯し、運転席ドアハンドル・リクエストスイッチ又はリモートコントロールエントリー機能で解錠します。
②電源ポジションをONにします。
・連動させた各機能の設定状態が自動的に呼び出されます。

知識

●設定が呼び出された場合は、ご使用のキーと連動しましたと表示されます。（前回呼び出した設定以外のインテリジェントキーと連動した場合のみ）
●同じ車両で最大2個のインテリジェントキーと連動させることができます。

後席シート

ヘッドレストの使いかた

■上下調節のしかた

ヘッドレストの上下調節のしかたは、前席シートと同じです。

ヘッドレストの使いかた…P.63

■脱着のしかた

ヘッドレストの脱着のしかたは、前席シートと同じです。

ヘッドレストの使いかた…P.63

リヤセンターアームレストの使いかた

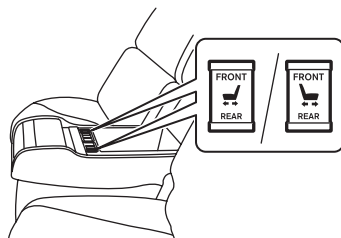
- アームレストを前に倒して使います。
- 格納するときは引き上げます。

TSE0331Z

※車種によりアームレストの形状は異なります。

後席パワーリクライニングシート★

シートの前後位置を左右別々に調節できます。

- リヤセンターアームレスト（P.275）を開けます。
- スイッチのFRONT側を押すと車両前方に、REAR側を押すと車両後方に動きます。

ZIC0391

⚠ 注意

- シートを調節しているときは、シートの下などの動いている部分に手、足などを入れないでください。思わぬケガをするおそれがあります。
- お子さまには操作させないでください。

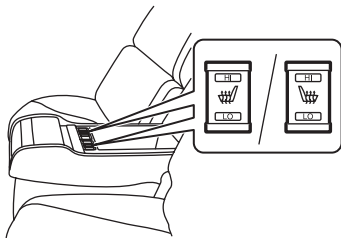
知識

- クッションの動きに合わせて背もたれ下部も傾きます。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

後席ヒーターシート★

ハイブリッドシステムが作動しているときに使えます。
後席シートを温めます。

●リヤセンターアームレスト（P.275）を開けます。
●スイッチのHI側、又はLO側を押します。
（スイッチの表示灯が点灯）
●早く温めたいときはスイッチのHI側を押します。温まってきたらスイッチのLO側を押して保温に切り替えます。
●止めるときは、スイッチの表示灯が点灯している側を押します。
（スイッチの表示灯が消灯）

ZIC0393

注意

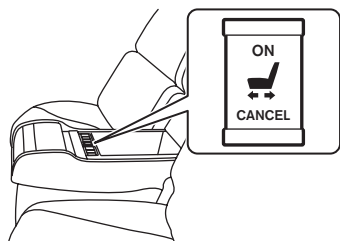
- 長時間の連続使用は低温やけどの原因となります。特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方、眠気をもよおす薬を服用された方、深酒や疲労の激しい方は注意して使ってください。
- シートに毛布や座布団をのせたり、日産純正以外のシートカバーを使わないでください。過熱のおそれがあります。
- 固くて重い物や突起がある物をシートにのせたり、ピンや針などの鋭い物でシートをつきささないでください。
- シート清掃時シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤の使用はやめてください。
- 水などをこぼしたときは、乾いた布ですぐにふき取ってください。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

後席オートリターン機構★

●後席ドアを開けると、開けた側のシートが一番後方へスライドし、乗り降りを楽にします。

TSA5601Z

●オートリターン機構を使わないときは、リヤセンターアームレストにあるスイッチのCANCEL側を押します。（左右席共にキャンセルされます。）
●元に戻すときはスイッチのON側を押します。

ZIC0368

⚠ 注意

●シート移動中は、シートの下などの動いている部分に手などを入れないでください。思わぬケガをするおそれがあります。

知識

●シートが移動中に以下の操作をした場合、移動が停止します。
・後席パワーリクライニングシートの前後位置を調節したとき。
・スイッチのCANCEL側を押したとき。

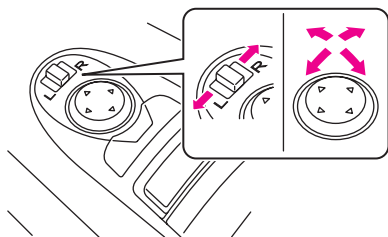
★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

ドアミラー

電源ポジションがAcc又はONのとき操作できます。

■角度調節のしかた

①左右切り替えスイッチを調整する側に動かします。（左側はL、右側はR）

②角度調整スイッチを前後・左右に押して、後方が十分確認できる位置に調節します。

ZIC0379

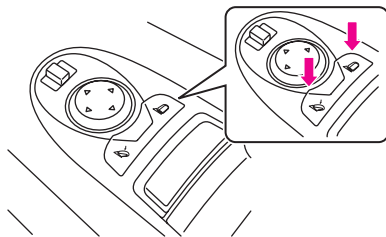
⚠ 警告

- 鏡面の調節は走行前に行ってください。走行中の調節は前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- ミラーの映像は実際より遠くに見えるので注意してください。

■格納するとき

- スイッチの左側を押すと、左右のミラー本体が格納されます。
- スイッチの右側を押すと、元に戻ります。

ZIC0380

⚠ 注意

- ミラーが動いているときは手を触れないでください。手を挟んだり、ミラーが故障する原因になるおそれがあります。
- ミラーを格納したまま走行しないでください。後方確認ができないため危険です。
- 手動で開閉すると走行中ミラーが前方又は後方に倒れるおそれがあります。手動で開閉したあとは、走行前に電動で開閉操作を行ってください。

アドバイス

- スイッチ操作を連続して行うと、途中で停止することがありますが、故障ではありません。しばらくしてから再度操作してください。
- 手動で開閉した場合、格納スイッチの位置により、電源ポジションをAcc又はONにしたときにミラーが動き出すことがあります。

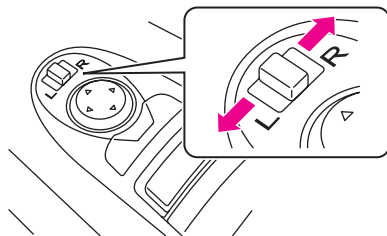
知識

ヒーター付ドアミラー

- 電源ポジションがONのときにリヤデフォッガースイッチ（P.152）を押すと、リヤウインドーガラスのくもりを取るのと同時にドアミラーの霜やくもりを取ります。

リバース連動下向ドアミラー

セレクトレバーをRにすると（後退時）、左右のドアミラーの角度が後輪の外側付近を映すように作動します。

①電源ポジションをONにし、左右切り替えスイッチを左右どちらかに動かします。（左右どちらに動かしても作動します。）

ZIC0385

②セレクトレバーをRにします。
③ドアミラーが下向きに作動します。

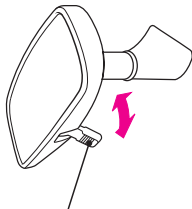
- セレクトレバーをR以外にするか、スイッチを中立位置にすると元の角度に戻ります。

知識

- 電源ポジションをON以外にしてもドアミラーは元の角度に戻ります。
- 使用している鏡面角度によっては、リバース時に鏡面が作動範囲まで動いたあとも動こうとしますが異常ではありません。

ルームミラー

通常は防眩切り替えレバーを前方に押した状態で使います。

- ミラー本体を持って、後方視界が十分確認できる位置に高さと角度を調節します。
- 後続車のヘッドライトがまぶしいときは、防眩切り替えレバーを手前に引くと反射が弱くなります。

ESG0417Z

⚠ 警告

- ミラーの調節は走行前に行ってください。また、防眩への切り替えは必要なときのみ行ってください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートベルトの着用のしかた

シートベルトの正しい着用

- 走行する前に全員が必ずシートベルトを着用してください。
- シートベルトは正しい姿勢で正しく着用しないと、シートベルトの効果が十分発揮できなかったり、ベルトによりケガなどをするおそれがあります。
- 次の使用方法、警告にしたがって正しく着用してください。

TCD0009Z

⚠ 警告

- 走行する前に全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。
- シートベルトを正しく着用しないと、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。着用するときは以下のことを必ずお守りください。
  - ・運転者は正しい運転姿勢で、同乗者は正しい着座姿勢で着用してください。
  - ・ベルトは1人用です。2人以上で1本のベルトを使わないでください。
  - ・ベルトはねじれた状態で着用しないでください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、万一のとき衝撃力が分散できず、局部的に強い力を受けることがあります。
  - ・腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。ベルトが腰骨からずれていると、腹部に強い圧迫を受けることがあります。
  - ・肩ベルトは脇の下を通さず、確実に肩に掛けてください。肩に十分掛かっていないと、上半身を拘束しないことがあります。
  - ・シートベルトをクリップなどで故意にたるみをつけ、身体から浮いた状態に調節しないでください。ベルトにたるみがあると、十分な効果を発揮しないことがあります。

⚠ 警告

- シートの背もたれを倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

TSC0653Z

- バックルや巻き取り装置の中に異物を入れないでください。シートベルトが正常に機能を発揮せず、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。
- 妊娠中や疾患のある方も、万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし、局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので医師に相談し、注意事項を確認してください。妊娠中の方は、腰ベルトを腹部から避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩ベルトは、確実に肩を通し、腹部を避けて胸部に掛かるように着用してください。
- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

TSC0654Z

- シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートをお使いください。
🔍チャイルドシート…P.83
- 一度強い衝撃を受けたシートベルトやベルト部分に傷がついたり破れたりしているシートベルトは、機能を十分発揮しないことがあります。事故などにより衝撃を受けたり傷がついた場合は、日産販売会社に点検を依頼してください。

⚠ 警告

- シートベルトの清掃は中性洗剤かぬるま湯で行い、乾かしてからお使いください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。ベルトの性能が落ち、シートベルトが機能を十分発揮しないことがあります。

知識

- 運転者がシートベルトを着用していないと、警告灯（P.129）や警報（P.143）が作動します。

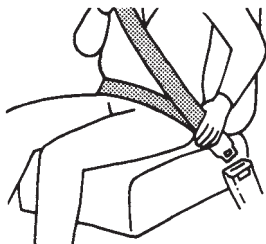
シートベルトの着用のしかた

ELR（緊急固定）付3点式シートベルト

通常は身体の動きに合わせて伸縮しますが、衝突時など強い衝撃を受けると、ベルトが自動的にロックし身体を固定します。

①タングを持ってベルトをゆっくり引き出します。

・ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。

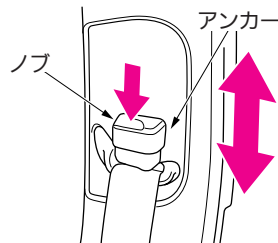
②ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に掛け、たるみがないように密着させます。

TCA0043Z

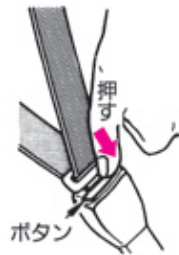
③ベルトがねじれないようにして、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。

TSC0655Z

④前席は、肩ベルトのアンカー位置の高さを調節します。

●ノブを押しながらアンカー部を上下させ、ベルトが肩に確実に掛かる位置に調節し手を離します。

●手を離したあと、“カチッ”と音がするまで動かし固定させます。

ECE0070Z

●外すときは、バックルのボタンを押し、タングを持ってゆっくり戻します。

TSC0656Z

警告

- 肩ベルトのアンカー位置は確実に肩に掛かるように調節してください。また、アンカーは確実に固定されていることを確認してください。ベルトが肩から外れたり、固定されていないと、万一のときシートベルトが十分効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

知識

テンションリデューサー機構（前席、後席★）

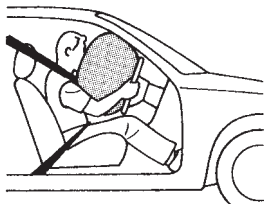
- 電源ポジションがONで、シートベルトを装着した状態から一旦シートベルトを30～50cm引き出すと、巻き取り力が弱くなり、圧迫感を軽減します。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト（後席中央を除く）

正面衝突など車両前方から強い衝撃を受けたとき、装着したシートベルトを瞬時に巻き取るプリテンショナーと乗員に加わるシートベルトの拘束力を一定レベルに保つロードリミッターが付いています。

●運転席・助手席SRSエアバッグシステムと同時に作動します。

SRSエアバッグが作動するとき・しないとき…P.92

TCA0050Z

⚠ 警告

- 使用方法は通常のシートベルトと同じです。正しく着用しないと、プリテンショナー及びロードリミッターの効果が十分発揮できず、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 電源ポジションをON後約7秒間はシステムチェックを行うため、プリテンショナーは作動しません。SRSエアバッグ警告灯が消灯してから走行してください。

■プリテンショナーシートベルト付車の取り扱いについて

運転席にはダブルプリテンショナー機構が付いています。ラップアウタープリテンショナーが腰部シートベルトの緩みを引き込み、肩部のロードリミッター付プリテンショナーと合わせて乗員の拘束性能を高めます。

⚠ 警告

- プリテンショナーシートベルトの部品や配線を修理したり、電気テスターを使ってプリテンショナーのシステムの回路診断をしないでください。誤って作動したり、正常に作動しなくなるおそれがあります。

⚠ 注意

- 廃車にするときやプリテンショナーシートベルトを廃棄するときは、必ず日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- プリテンショナーが作動したとき作動音や白煙が出ますが、火災ではありません。
- プリテンショナーは、一度作動すると再使用できません。衝突を起こしたときは必ず日産販売会社で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

前席緊急ブレーキ感応型プリクラッシュシートベルト

走行中、次のような場合に電動モーターでシートベルトを巻き取り、ベルトのたるみを減少させます。

・走行中（約15km/h以上）に運転者のブレーキ操作が緊急ブレーキであることをシステムが判断したとき。
・インテリジェントブレーキアシスト（P.240）が作動したとき。
・カーブを走行中（約30km/h以上）に車両が横滑りを起こしそうな状況であることをシステムが判断したとき。
・走行中（約60km/h以上）に運転者のハンドル操作が緊急回避であることをシステムが判断したとき。

警告

- 使用方法は通常のシートベルトと同じです。正しく着用しないと、システムの効果が十分発揮できず、重大な傷害につながるおそれがあります。
- システムを過信しないでください。常に周囲の状況、天候、路面状況に注意し、急ブレーキをかけなくても停止できるように心がけてください。

知識

コンフォート機能

- 次の場合には、電動モーターでシートベルトの巻き取りを補助します。
  ・シートベルトを着用したとき。
  ・シートベルトを外したとき。
  ・前席ドアを開けたとき。
- コンフォート機能を連続作動させると、システム保護のために一時的に連続作動が行えなくなります。約8分後に通常の作動に戻ります。
- シートベルトを外した場合に上記のシステム保護以外でシートベルトの巻き取りが作動しないときは、プリクラッシュシートベルトのシステムに異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

チャイルドシート

チャイルドシートについて

乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートの総称として「チャイルドシート」と呼んでいます。
チャイルドシートの固定機構を使ってチャイルドシートを固定することができます。

⚠ 注意

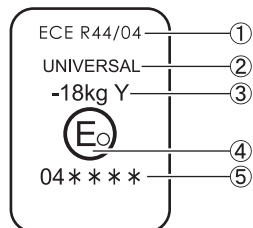
- お子さまの年齢や体格にあった、適切なチャイルドシートをお選びください。
- 固定方法及び取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

知識

- この車はECE R44※の基準に適合したISO FIX対応チャイルドシート固定専用アンカーを標準装備しています。

※ECE R44はチャイルドシートに関する国際法です。

ECE R44認可マークについて

ECE R44の基準に適合した汎用（ユニバーサル）チャイルドシートには、下記の認可マークが表示されています。必ずECE R44の基準に適合したチャイルドシートをお使いください。

ZIC0388

①法規番号
②チャイルドシートのカテゴリー（UNIVERSALは汎用品の認可であることを表します。）
③対象となるお子さまの体重範囲
④当該装置を認可した国番号
⑤当該装置認可番号

チャイルドシートの質量グループ

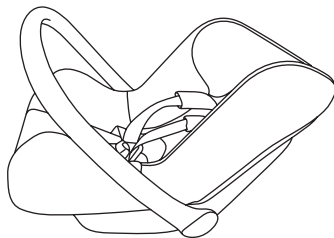
■質量グループについて

ECE R44の基準に適合するチャイルドシートはお子さまの体重により以下のように分類されます。

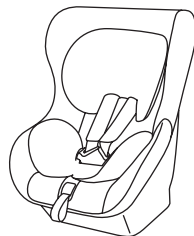
質量グループ	お子さまの体重
グループ0	10kgまで
グループ0^+	13kgまで
グループⅠ	9～18kgまで
グループⅡ	15～25kgまで
グループⅢ	22～36kgまで

チャイルドシートの種類（例）

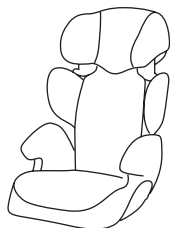
■乳児用チャイルドシート

●ECE R44基準のグループ0、0^+に相当します。

ZIC0381

■チャイルドシート

●ECE R44基準のグループ0^+、Ⅰに相当します。

ZIC0382

■ジュニアチャイルドシート

●ECE R44基準のグループⅡ、Ⅲに相当します。

ZIC0383

チャイルドシート適合表

チャイルドシートの固定方法には、シートベルトで取り付ける方法と、ISO FIX対応チャイルドシート固定専用アンカーで取り付ける方法があります。次の表から各着席位置でどのチャイルドシートが使用できるかを確認してください。

シートベルトで取り付けるチャイルドシートについて

■選択の目安

詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。

<table>
<tr><th rowspan="3">質量グループ</th><th colspan="5">着席位置</th></tr>
<tr><th colspan="2">前席（助手席）</th><th rowspan="2">後席
左右</th><th colspan="2">後席中央</th></tr>
<tr><th>ヘッドレスト一体型
ディスプレイ無車</th><th>ヘッドレスト一体型
ディスプレイ付車</th><th>後席パワーリクラ
イニングシート無車</th><th>後席パワーリクラ
イニングシート付車</th></tr>
<tr><td>0（10kgまで）</td><td>×</td><td>×</td><td>U</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>0+（13kgまで）</td><td>×</td><td>×</td><td>U</td><td>L</td><td>L</td></tr>
<tr><td>Ⅰ（9～18kg）</td><td>L</td><td>L</td><td>U</td><td>L</td><td>×</td></tr>
<tr><td>Ⅱ（15～25kg）</td><td>L</td><td>×</td><td>U</td><td>L</td><td>L</td></tr>
<tr><td>Ⅲ（22～36kg）</td><td>L</td><td>×</td><td>U</td><td>L</td><td>L</td></tr>
</table>

凡例

U　：この質量グループでの使用を認可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーのチャイルドシートに適合しています。

L　：以下の表に記載されている日産純正チャイルドシートの取り付けが可能です。

×　：チャイルドシートを取り付けることはできません。

■日産純正チャイルドシート

<table>
<tr><th>質量グループ</th><th>取り付け向き</th><th colspan="3">商品名</th></tr>
<tr><td>0（10kgまで）</td><td>－</td><td colspan="3">－</td></tr>
<tr><td>0+（13kgまで）</td><td>後向き</td><td rowspan="2">チャイルドセーフティシート
（E4 04443812）</td><td rowspan="2">ISO FIX対応チャイルドセーフティシート
（E4 04443716）</td><td>ISO FIX対応ベビーシート
（E4 04443717）</td></tr>
<tr><td>Ⅰ（9～18kg）</td><td>前向き</td><td>－</td></tr>
<tr><td>Ⅱ（15～25kg）</td><td>前向き</td><td colspan="3" rowspan="2">ジュニアセーフティシート
（E4 04443515）</td></tr>
<tr><td>Ⅲ（22～36kg）</td><td>前向き</td></tr>
</table>

注意

- 表に記載されていないチャイルドシートを使用するときは、チャイルドシート製造業者又は販売業者にご相談ください。

ISO FIX対応チャイルドシート固定専用アンカーで取り付けるチャイルドシートについて

■選択の目安

詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。

質量グループ	サイズ等級	固定具	車両ISO FIX位置	
			後席左右	後席中央
キャリーコット	F	ISO/L1	×	－
	G	ISO/L2	×	－
0（10kgまで）	E	ISO/R1	×	－
0^+（13kgまで）	E	ISO/R1	IL	－
	D	ISO/R2	×	－
	C	ISO/R3	×	－
Ⅰ（9～18kg）	D	ISO/R2	×	－
	C	ISO/R3	×	－
	B	ISO/F2	IUF	－
	B1	ISO/F2X	×	－
	A	ISO/F3	×	－
Ⅱ（15～25kg）	－	（1）	×	－
Ⅲ（22～36kg）	－	（1）	×	－

凡例
IUF ：この質量グループでの使用を認可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーのISO FIX対応前向きチャイルドシートに適合しています。
IL ：この質量グループでの使用を認可された、以下に記載されている「日産純正ISO FIX対応ベビーシート」に適合しています。
× ：チャイルドシートを取り付けることはできません。
（1） ：サイズ等級表示の無いチャイルドシートの各シート位置でのISO FIX対応チャイルドシート固定機構の取り扱いについては販売業者にご相談ください。

■日産純正ISO FIX対応チャイルドシート

質量グループ	サイズ等級	固定具	商品名	取り付け向き	カテゴリー
0^+（13kgまで）	E	ISO/ R1	日産純正ISO FIX対応ベビーシート	後向き	準汎用

⚠ 注意

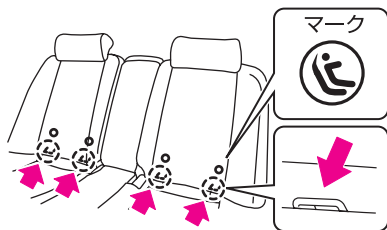
- 日産純正ISO FIX対応ベビーシートの取り付けには別売りのベースキットが必要です。
- ISO FIX対応のチャイルドシートをすでにお持ちの場合、ご使用前にECE R44の基準に適合していることを確認してください。適合していないチャイルドシートは取り付けられません。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

ISO FIX対応チャイルドシート固定専用アンカーについて

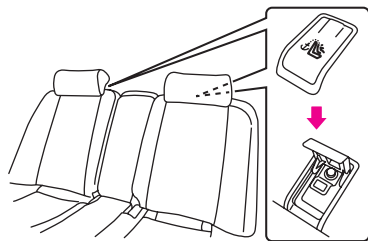
後席シート左右にはISO FIX対応チャイルドシートを取り付けるためのアンカー（固定装置）が装備されています。

> ⚠ **注意**
>
> ● ISO FIX対応チャイルドシートを取り付けるときは、ヘッドレストを最下段のロックする位置にしてください。また、後席パワーリクライニングシート付車は、シートの前後位置を最後方にしてください。

■アンカーの場所

●ISO FIX対応チャイルドシート用ロアアンカーは、マーク下側にあります。

ZIC0386

●テザーアンカーは、リヤパーセルにあります。

●ふたを開けて使います。

ZIC0628

●取り付けかた及び取り外しかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。

> ⚠ **警告**
>
> ● チャイルドシートを取り付けるときは、アンカー部周辺に異物がないことや、シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。異物やシートベルトなどをかみ込むとチャイルドシートが固定されず、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
>
> ● チャイルドシートは確実に固定してください。確実に固定されていないと、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

> **知識**
>
> ● シートカバーを装着するときは、スリットがあるものを使用してください。日産純正シートカバーをおすすめします。

SRSエアバッグ

SRSエアバッグの作動

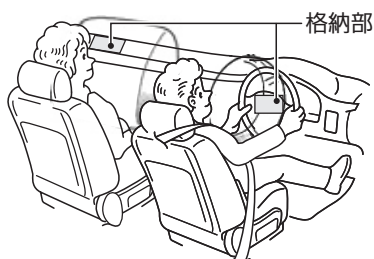
SRSエアバッグは、シートベルトと併用することで安全性を高めます。シートベルトは必ず着用してください。

※SRSとは、Supplemental Restraint Systemの略でシートベルトの補助拘束装置の意味です。

- 電源ポジションがONのとき作動可能です。

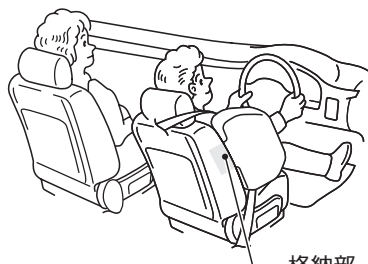
■運転席・助手席SRSエアバッグシステム

車両前方から強い衝撃を受けたときSRSエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の頭部にかかる衝撃を緩和するシステムです。

- 運転席SRSエアバッグは、ハンドル部に格納されています。
- 助手席SRSエアバッグは、助手席側インストルメントパネル部に格納されています。乗員がいなくても運転席と同時に作動します。

ESG0449Z

■運転席・助手席SRSサイドエアバッグシステム

車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側のSRSサイドエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の主に胸部にかかる衝撃を緩和するシステムです。

- SRSサイドエアバッグは、シート背もたれ側面（外側）に格納されています。助手席は乗員がいなくても作動します。

ESG0450Z

■SRSカーテンエアバッグシステム

車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側のSRSカーテンエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の主に頭部にかかる衝撃を緩和するシステムです。

- SRSカーテンエアバッグは左右のルーフサイドに格納されています。助手席側は乗員がいなくても作動します。

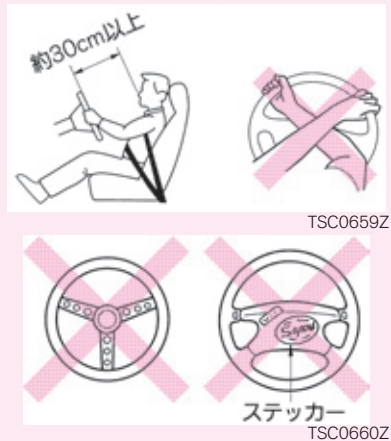
ESG0451Z

⚠ 警告

- SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置です。SRSエアバッグだけでは、身体の飛び出しなどを防止することはできません。SRSエアバッグの効果を発揮させるため、必ずシートベルトを正しい姿勢で正しく着用してください。
- 乗車するときは必ず次のことをお守りください。守らないと、SRSエアバッグが誤って作動したり正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ・ハンドルまわり、車両前部、インストルメントパネルまわり、前席シートまわり、センターピラー（ロックピラー）まわり、センターコンソールまわり、ルーフサイド部などのSRSエアバッグ格納部を修理するときは、日産販売会社にご相談ください。また、SRSエアバッグ格納部に傷がついていたりひび割れがあるときは、そのまま使用せず日産販売会社で交換してください。
  - ・SRSエアバッグ格納部に過度の衝撃を与えないでください。
  - ・電気テスターを使ってSRSエアバッグの回路診断をしたり、回路を変更しないでください。
  - ・エアロパーツなどを取り付けたりサスペンションを改造するときは、日産販売会社にご相談ください。不適正な改造をすると衝撃を正しく検知できません。

運転席SRSエアバッグシステム

- 必ず次のことをお守りください。守らないと、SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受けたり正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ・ハンドルから顔をできるだけ（約30cm以上）離し、ハンドルにもたれかかるなどSRSエアバッグ格納部に手や顔、胸などを不必要に近づけないでください。また、内がけでのハンドル操作はしないでください。
  - ・不適正なハンドルに交換したり、センターパッド部（SRSエアバッグ格納部）にステッカーなどを貼らないでください。
  - ・前面ガラスにアクセサリーなどを付けないでください。

TSC0659Z
TSC0660Z

⚠ 警告

助手席SRSエアバッグシステム

● 必ず次のことをお守りください。守らないと、SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受けたり正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

・インストルメントパネル（SRSエアバッグ格納部）に手や足を置いたり、顔や胸などを近づけないでください。また、お子さまをSRSエアバッグ格納部の前に立たせたりひざの上に抱いたりせず、後席に乗せてください。

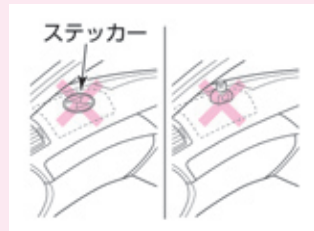
TSC0662Z

・チャイルドシートは後席シートに取り付けてください。やむを得ず助手席シートに取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

🔍チャイルドシート…P.83

TSG0026Z

・チャイルドシートは走行する前に確実に固定されていることを確認してください。固定方法及び取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

・インストルメントパネル上面にステッカーなどを貼ったり、アクセサリーや芳香剤などを置かないでください。

ZIC0408

運転席・助手席SRSサイドエアバッグシステム及びSRSカーテンエアバッグシステム

● 必ず次のことをお守りください。守らないと、SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受けたり正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

・ドアにもたれるなど、前席シート背もたれ側面（外側）のSRSサイドエアバッグ格納部及びSRSカーテンエアバッグ格納部に近づかないでください。特にお子さまが窓から腕を出したり、前席シートの背もたれを抱えたりしないように注意してください。

TSC0664Z

・前席ドアをガラスが割れるほど強く閉めないでください。SRSエアバッグが誤作動するおそれがあります。

TSC0663Z

⚠ 警告

・前席シートのSRSサイドエアバッグ格納部付近に傘やカバンなどを置かないでください。また、センターピラー（ロックピラー）まわり、ルーフサイド部などのSRSカーテンエアバッグ格納部付近に、アクセサリーやハンガーなどを取り付けないでください。
・シートカバーは前席シート背もたれ側面を覆わないものをお使いください。日産純正シートカバーをおすすめします。

⚠ 注意

- 電源ポジションをONにしたあと約7秒間はメーター内のSRSエアバッグ警告灯が点灯し、システムチェックを行うため、SRSエアバッグは作動しません。警告灯が消灯してから走行してください。
- SRSエアバッグは膨らんだあと高温になるため、30分以内はさわらないでください。やけどをするおそれがあります。
- SRSエアバッグは高温のガスにより高速で膨らむため、事故の状態によっては、擦過傷、打撲、やけどなどを負うことがあります。
- SRSエアバッグが膨らむとき､作動音や白煙が出ますが火災ではありません。また、発生するガスによりむせることがありますが毒性はありません。ただし、SRSエアバッグ作動時の残留物（カス）などが目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流してください。皮膚の弱い方などは、まれに皮膚に刺激を感じることがあります。
- 廃車にするときやSRSエアバッグを廃棄するときは必ず日産販売会社にご相談ください。SRSエアバッグの作動により、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

アドバイス

- SRSエアバッグは、一度膨らむと再使用できません。日産販売会社で交換してください。

知識

- 助手席SRSエアバッグが作動した衝撃で前面ガラスが割れることがあります。
- 運転席、助手席SRSエアバッグは膨らんだあとすぐにしぼむので、視界の妨げになることはありません。
- SRSエアバッグが作動すると非常点滅表示灯（P.148）が同時に作動します。

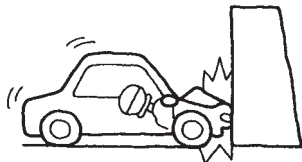
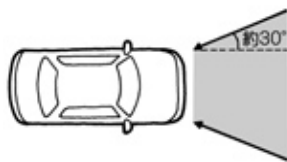
SRSエアバッグが作動するとき・しないとき

正面衝突時や側面衝突時において、乗員がシートベルトを正しく着用していても重大な傷害を受けるおそれのあるような衝撃を受けた場合に作動します。しかし衝撃が車体で吸収又は分散され、車両の損傷は大きくても乗員への衝撃が強くならない場合には、必ずしも作動するとはかぎりません。

■作動するとき

運転席・助手席SRSエアバッグシステム

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 25km/h以上の速度で厚いコンクリートのような壁に正面衝突したとき
- 車両前方左右、約30度以内の方向から強い衝撃（左図と同等）を受けたとき

TCA0063Z

TCA0064Z

次のような、車両下部に強い衝撃を受けたときも作動することがあります。（車両の損傷は少なくても乗員への衝撃は強いとき）

- 高速で縁石などに衝突したとき
- 深い穴や溝に落ち込んだとき
- ジャンプして地面にぶつけたとき

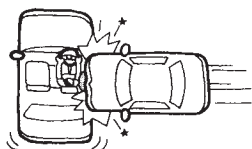
TCA0065Z

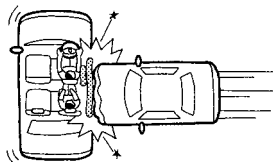
TCA0066Z

TCA0067Z

運転席・助手席SRSサイドエアバッグシステム、SRSカーテンエアバッグシステム

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 一般的な乗用車に25km/h以上の速度で側面に真横から衝突されたとき

〈SRSサイドエアバッグシステム〉

TCE0073Z

〈SRSカーテンエアバッグシステム〉

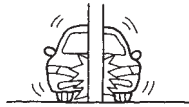
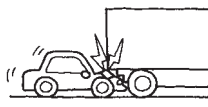
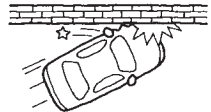
TCA0580Z

■作動しにくいとき

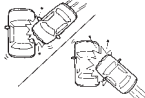
次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。
衝突したものが変形したり移動したときや、衝突したものの形状や衝突の状態によって衝突時の衝撃が緩められたときは、作動しにくくなります。

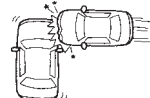
運転席・助手席SRSエアバッグシステム

- 停車している同クラスの車に約50km/h以下の速度で衝突したとき
- 衝突時に折れない電柱などに約30km/h以下の速度で正面衝突したとき
- トラックなどの荷台の下にもぐり込んだようなとき
- 斜め前方からガードレールなどに衝突したとき

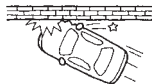
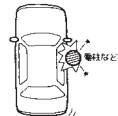
TCA0068Z

TCA0069Z

TCA0070Z TCA0071Z

運転席・助手席SRSサイドエアバッグシステム、SRSカーテンエアバッグシステム

- 側面に斜め方向から衝突されたとき
- 側面にバイクが真横から衝突したとき
- エンジンルーム（トランク）に衝突されたとき

TCA0581Z

TCA0492Z

TCA0077Z

- 横転、転覆したとき
- 斜め前方から衝突したとき
- 電柱などに衝突したとき

TCA0080Z

TCA0076Z

TCA0078Z

■作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

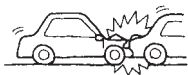
運転席・助手席SRSエアバッグシステム

- 横方向や後ろから衝突されたとき
- 横転、転覆したとき

運転席・助手席SRSサイドエアバッグシステム、SRSカーテンエアバッグシステム

- 停車中や走行中の車に正面衝突したとき
- 後ろから衝突されたとき

TCA0072Z

TCA0073Z

TCA0081Z

TCA0082Z

ポップアップエンジンフード

ポップアップエンジンフードの作動

歩行者と衝突し、ある一定のレベルを超えた衝撃が車両前部に加わったとき、エンジンフードの後端が瞬時に持ち上がり、エンジンフード下の部品との空間を広く保つことで歩行者の頭部がエンジンフードへ衝突したときの衝撃を緩和します。

●電源ポジションがONのとき作動します。

警告

- ポップアップエンジンフードの部品や配線を修理したり、電気テスターを使ってシステムの回路診断をしないでください。誤って作動したり、正常に作動しなくなるおそれがあります。
- フロントバンパーの交換やエアロパーツの取り付けなどを行うときは、日産販売会社にご相談ください。不適正な改造をすると衝撃を正しく検知できません。
- 不適正なエンジンフードに交換しないでください。正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ポップアップエンジンフードが作動したときは、フードオープナーを引かないでください。
  フードオープナーを引くと、更にフードが上がり視界の妨げとなるため危険です。
  また、フードを無理に押し戻さないでください。作動したフードは手動では下げることができないため、フードが変形したり、思わぬケガをするおそれがあります。
  ポップアップエンジンフードが作動したときは、必ず日産販売会社にご相談ください。
- フロントバンパーに衝撃が加わったときは、ポップアップエンジンフードが作動しなくてもセンサーが故障している可能性があるため、必ず日産販売会社にご相談ください。

注意

- 電源ポジションをON後、約7秒間はメーター内のポップアップエンジンフード警告灯が点灯し、システムチェックを行うため、ポップアップエンジンフードは作動しません。警告灯が消灯してから走行してください。
- 廃車にするときやポップアップエンジンフードのアクチュエータを破棄するときは、必ず日産販売会社にご相談ください。アクチュエータの作動により、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

アドバイス

- ポップアップエンジンフードは、一度作動すると再使用できません。日産販売会社で交換してください。

ポップアップエンジンフードが作動するとき・しないとき

■作動するとき

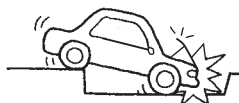
次のような衝撃を受けたときに作動します。

- 走行中、フロントバンパーに歩行者と同等、もしくはそれ以上の衝撃を受けたとき（作動するときの車の速度は車種によって異なる場合があります。また、衝突したときにフロントバンパーに痕跡が残らないような場合でも、ある一定のレベルを超えた衝撃が加われば作動します。）

次のような車両下部やバンパー下部に衝撃を受けたときも作動することがありますので、車両下部やバンパー下部に衝撃を受けそうな路面を走行するときは速度を落として注意して走行してください。

- 縁石に衝突したとき

ECH0016Z

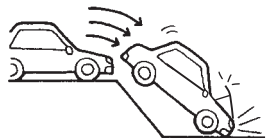
- 深い溝や穴に落ち込んだとき

ECH0017Z

- ジャンプして地面にぶつけたとき

ZIC0397

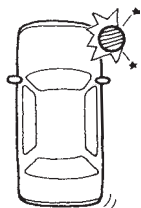
- 駐車場のスロープや落下物などにフロントバンパーをぶつけたとき

ZIC0398

- 踏み切りなどのうねりのある路面にフロントバンパーをぶつけたとき

ZIC0399

■作動しにくいとき

次のような場所に衝突したときは衝撃を感知しにくいため、作動しないことがあります。

- 走行中、フロントバンパーの左右の角や側面に歩行者がぶつかったとき（作動するときの車の速度は車種によって異なる場合があります。）

ECH0019Z

■作動しないとき

一度、ポップアップエンジンフードが作動したあとに衝突しても作動しません。
また、次のようなときにも作動しません。

- ポップアップエンジンフードが作動する速度の範囲外で走行中フロントバンパーに衝撃を受けたとき
（作動するときの車の速度は車種によって異なる場合があります。）
- 横方向や後ろから衝撃を受けたとき

TCA0072Z

- 横転、転覆したとき
（作動するときの車の速度は車種によって異なる場合があります。）

TCA0073Z

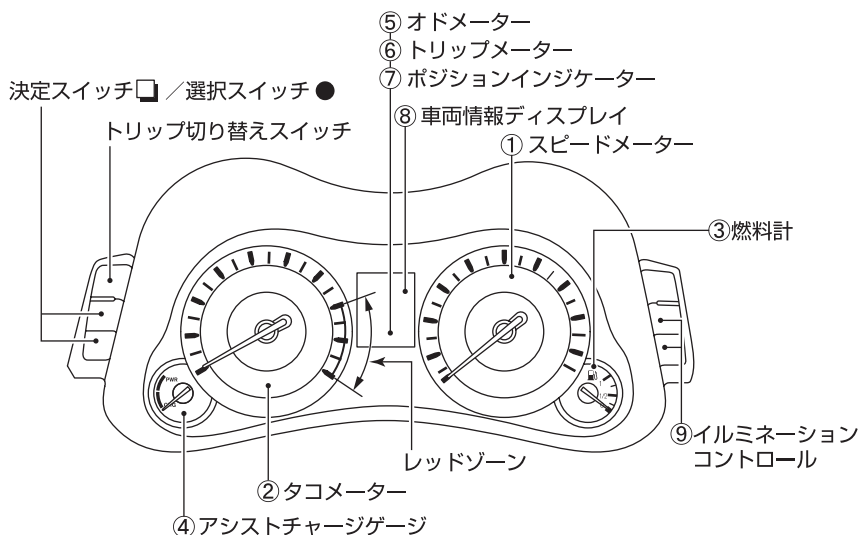
走行するとき 3

メーター・表示灯・警告灯の見かた

メーター

メーター内の装備は、車種、グレードなどの違いにより異なります。
電源ポジションをONにすると表示します。

知識

- メーター演出がONのときは、ハイブリッドシステムを始動させると指針がスイープ動作（スピードメーター及びタコメーターの指針が一度最大値付近を指し戻る）します。
メーター演出（ドライブコンピューター）…P.107
- 電源ポジションをOFFにしてからしばらくして指針が振れることがありますが故障ではありません。

①スピードメーター（速度計）
走行速度を表示します。

②タコメーター（エンジン回転計）
1分間あたりのエンジン回転数を表示します。

⚠ 注意
- レッドゾーン（赤色表示部）に入らないように運転してください。レッドゾーンではエンジンが過回転となり故障の原因になります。

③燃料計
燃料の残量を表示します。
- 燃料タンクの容量は約70ℓです。

知識
- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、表示が振れることがあります。

④アシストチャージゲージ
モーターの状態を表示します。
- 針が目盛りの中心からPWR側にあるときはモーターが駆動している状態であることを示しています。
- 針が目盛りの中心からCHG側にあるときはモーターが発電している状態であることを示しています。

⑤オドメーター（積算距離計）
総走行距離をkmで車両情報ディスプレイに表示します。

000000

ZPA0519

⑥トリップメーター（区間距離計）
🄰と🄱で2種類の区間走行距離をkmで車両情報ディスプレイに表示します。

🄰 0000.0

ZPA0475

※イラストは、🄰の表示です。

- トリップ切り替えスイッチを押すごとに🄰と🄱が切り替わります。
- リセットするときは0にしたいほうを表示させ、トリップ切り替えスイッチを約1秒以上押します。

知識
- 12Vバッテリーを外したときは、🄰と🄱の記憶が消去され0に戻ります。

⑦ポジションインジケーター
セレクトレバーのセット位置を車両情報ディスプレイに表示します。

ESG0224Z

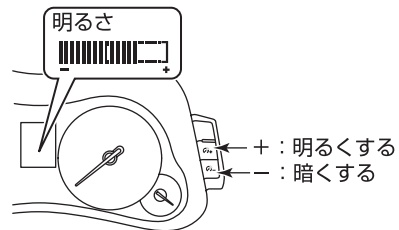
⑧車両情報ディスプレイ

以下の情報を表示することができます。

- オドメーター…P.99
- トリップメーター…P.99
- ポジションインジケーター…P.99
- イルミネーションコントロールレベル表示…P.100
- ドライブコンピューター…P.101
- インテリジェントキー表示・警告…P.116
- ドライブモードセレクター…P.169
- インテリジェントクルーズコントロール…P.188
- FCW（前方車両接近警報）…P.215
- インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）…P.219

⑨イルミネーションコントロール

電源ポジションがONのとき、車外の明るさに応じてメーター照明の明るさを調節できます。

- スイッチを押して調節します。
- 明るさのレベル表示は、車両情報ディスプレイに表示されます。

ZPA0878

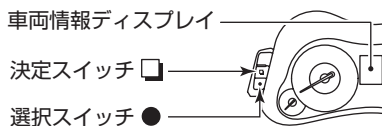
知識

- 12Vバッテリーを外すと調節した記憶は消去されます。

ドライブコンピューター

車両情報ディスプレイに表示されます。

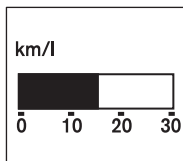
■切り替えかた

●決定スイッチ❏を押すごとに表示が切り替わります。

ZPA0477

■表示について

知識

- 表示される数値は、走行状況などにより実際の数値と異なる場合があります。
- ハイブリッドシステムが停止しているときや、インテリジェントキー表示・警告やインテリジェントクルーズコントロールなどの表示をしているときは、表示が一部異なります。

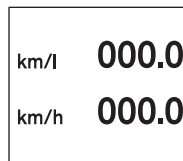
①瞬間燃費

ZPA0788

●走行中の瞬間燃費を表示します。

知識

- ナビゲーションシステムの画面（別冊）の瞬間燃費とは連動していません。

②平均燃費、平均車速

km/l 000.0
km/h 000.0

ZPA0815

●リセットしてから次にリセットするまでの平均燃費、平均車速を表示します。

●リセットするときは、選択スイッチ●を約1秒以上押します。（平均燃費と平均車速を同時にリセットします。）

知識

- 12Vバッテリー接続後やリセット後は「---」と表示します。
- 数値は約30秒ごとに更新します。
- ナビゲーションシステムの画面（別冊）の平均燃費とは連動していません。

③走行時間、走行距離

走行時間 00:00
走行距離 000.0

ZPA0816

- リセットしてから次にリセットするまでの走行時間、走行距離を表示します。
- リセットするときは、選択スイッチ●を約1秒以上押します。（走行時間、走行距離を同時にリセットします。）

④航続可能距離

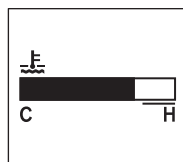
航続可能距離
0000km

ZPA0817

- 現在の燃料残量と平均燃費から航続可能な距離を表示します。
- 燃料残量警告（P.109）が表示されると、航続可能距離の距離表示が点滅します。
- 燃料残量警告表示後も燃料を補給しないと「----」と表示します。

知識

- 数値は約30秒ごとに算出しています。
- ナビゲーションシステムの画面（別冊）の航続可能距離と連動しています。

⑤水温計

ZPA0780

- エンジン冷却水の温度を表示します。オーバーヒート範囲は、Hマーク上部の横線です。

警告

- オーバーヒートを示したときは、ただちに安全な場所に車を止めて処置してください。そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。

オーバーヒートしたときは…P.317

⑥外気温

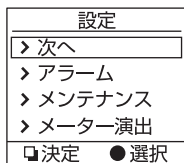
ZPA0818

- 外気温を表示します。

知識

- 次の場合には、正しく外気温が表示されないことがあります。
  - ・外気温が−30℃以下、又は60℃以上のとき。
  - ・停車又は低速走行（約20km/h以下）しているとき。
- 外気温が3℃以下になると「ICY」と表示します。

⑦設定

設定
> 次へ
> アラーム
> メンテナンス
> メーター演出
❏決定 ●選択

ZPA0819

●アラーム、メンテナンス、メーター演出を設定することができます。

知識

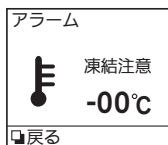
●以下の場合は、設定することができません。
・走行しているとき。
・インテリジェントキー表示・警告を表示しているとき。
・イルミネーションコントロールレベルを操作しているとき
・インテリジェントクルーズコントロールの表示をしているとき。

アラーム

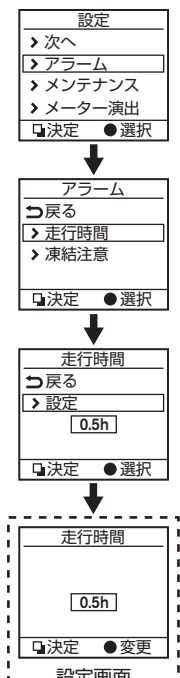
走行時間、凍結注意の表示を設定できます。

●走行時間
・設定した時間まで連続走行したことを知らせます。

ESH0073Z

●凍結注意
・外気温が3℃以下になったことを知らせます。

ESH0074Z

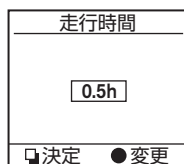
設定のしかた

●選択スイッチ●で項目を選び、決定スイッチ❏で決定して各設定画面にします。

ZPA0479

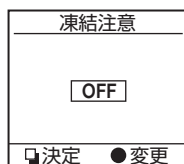
例：走行時間の設定の場合

知識

- 設定の最初の画面に戻るときは、決定スイッチ❏を約1秒以上押します。

〈走行時間の設定〉

ZPA0480

●最大6時間まで設定できます。
●走行時間の設定画面で選択スイッチ●を押して時間を切り替えます。
短く押す：
0.5h（30分）単位で切り替わる
長く（約1秒以上）押す：
1.0h（60分）単位で切り替わる
●設定しないときは、「－」にします。

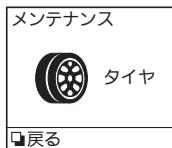
〈凍結注意表示の設定〉

ZPA0481

●凍結注意の設定画面で選択スイッチ●を押してON／OFFを切り替えます。
ON ：アラーム設定
OFF：アラーム解除

メンテナンス

各種交換時期の設定ができます。

●設定した距離を超えると、以下の表示で知らせます。

タイヤ

ESH0076Z

オイルフィルタ

ESH0077Z

オイル

ESH0075Z

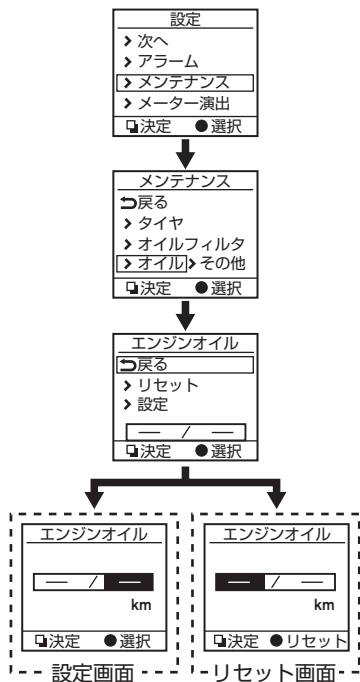
その他の部品

ESH0078Z

知識

- 走行距離を元にお知らせしているもので、実際の車両状態を示したものではありません。目安としてお使いください。
- 「その他」には、お好みの部品の交換時期を設定してください。

設定のしかた

●選択スイッチ●で項目を選び、決定スイッチ❏で決定して各設定画面、リセット画面にします。

例：エンジンオイルの設定の場合

> **知識**
> ●設定の最初の画面に戻るときは、決定スイッチ❏を約1秒以上押します。

〈距離の設定〉

●最大30,000kmまで設定できます。

●各設定画面で選択スイッチ●を押して距離を切り替えます。

短く押す：
500km単位で切り替わる

長く（約1秒以上）押す：
1,000km単位で切り替わる

●設定しないときは、「−」にします。

〈距離のリセット〉

●走行した距離をリセットできます。

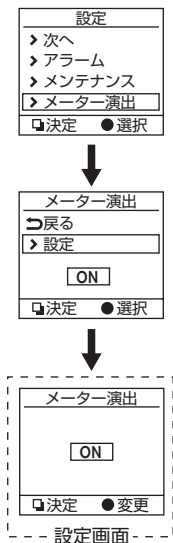
●リセット画面で選択スイッチ●を押して決定スイッチ❏で決定します。

> **知識**
> ●リセット後にもう一度選択スイッチ●を押すと、積算距離が元に戻ります。

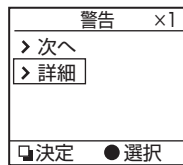
メーター演出

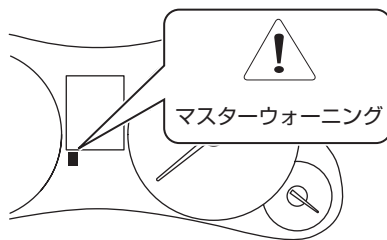
ハイブリッドシステムを始動させたとき、指針がスイープ動作（スピードメーター及びタコメーターの指針が一度最大値付近を指し戻る）するかしないかを設定することができます。

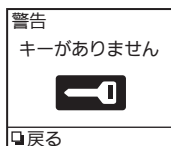
設定のしかた

●選択スイッチ●で項目を選び、決定スイッチ❏で決定して各設定画面にします。

ZPA0483

●メーター演出の設定画面で選択スイッチ●を押して切り替えます。
 ON ：メーター演出あり
 OFF：メーター演出なし

⑧警告

ZPA0487

●以下の内容を検知するとマスターウォーニング（P124）が点灯し、警告を表示します。
●警告が表示されたときは、すみやかに適切な処置をしてください。放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
●警告表示中に決定スイッチ❏を押すと、元の表示に戻す（また、処置されていない警告を確認する）ことができます。

ZPA0484

インテリジェントキー持ち出し警告

ESH0079Z

●電源ポジションがONのとき、インテリジェントキーが車外へ持ち出されると表示します。

➡ 処置

- インテリジェントキーが車外へ持ち出されていないか確認してください。
- 電源ポジションをOFF又はLOCKにしてください。

知識

- 次の場合に表示が消えます。
  ・インテリジェントキーが車内に戻ってきたとき。

ドア、トランク開き警告

ESH0561Z

●ドア又はトランクが確実に閉まっていないとき、開いている位置を表示します。

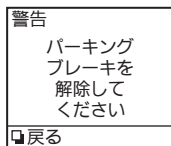
➡ 処置

- ドアやトランクを確実に閉めてください。

⚠ 注意

- 走行前に表示が消えていることを確認してください。ドア、トランクが完全に閉まっていない（半ドア）と走行中に突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

パーキングブレーキ戻し忘れ警告

警告
パーキング
ブレーキを
解除して
ください
戻る

ESH0081Z

- パーキングブレーキ（P.159）を戻し忘れたまま走行すると（約7km/h以上）、表示します。

➡ 処置

- すみやかにパーキングブレーキを解除してください。

アドバイス

- 走行するときは必ずパーキングブレーキを解除してください。

燃料残量警告

ESH0082Z

- 燃料が少なくなると表示します。残っている燃料で航続可能な距離を表示します。

➡ 処置

- すみやかに指定の燃料を補給してください。

アドバイス

- 燃料切れでエンジンが停止したときは、15ℓ以上給油してください。給油量が15ℓ未満の場合、システムが燃料切れと判断してハイブリッドシステムが始動できない場合があります。

知識

- 燃料の残量が約12ℓ以下で表示します。
- 車両姿勢、走行状況によっては、燃料がタンク内で移動するため、警告が表示されるタイミングが変わる場合があります。

キーシステム警告

ZPA0486

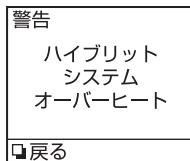
●ステアリングロックやインテリジェントキーのシステムに異常があると表示します。

➡ 処置

- 日産販売会社に連絡してください。ハイブリッドシステムが始動できないことや電源ポジションがLOCKから動かないことがあります。

インテリジェントキー…P.32

ハイブリッドシステムオーバーヒート警告

警告
ハイブリット
システム
オーバーヒート
戻る

ZPA0779

●ハイブリッドシステムの温度が異常に高くなると表示します。

➡ 処置

- すみやかに安全な場所に停車してください。すぐに停車できない場合は、急発進・急加速を避け、安全な場所まで移動して停車してください。表示が消えたら走行できます。
- 表示が消えたあと、またすぐに表示するようなときは、日産販売会社で点検を受けてください。

⚠ 注意

- 表示したまま走行を続けると、走行できなくなることがあります。その場合は、セレクトレバーをPに入れ、表示が消えるまでしばらく停車してください。このとき、P戻し警告（P.111）と交互に表示します。

アドバイス

- 表示したまま走行しないでください。ハイブリッドシステムが破損するおそれがあります。
- 上り坂ではクリープ現象を利用した停車や、アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つような停車はしないでください。トランスミッションが故障する原因となります。坂道で停車するときは、ブレーキペダルを踏んで停車してください。

P戻し警告

ESG0233Z

次のような場合に表示します。

- セレクトレバーがP以外のとき、電源ポジションをONからOFFにしたとき。
- 走行可能表示灯が点滅中にセレクトレバーを操作したとき。
- セレクトレバーがDで走行可能表示灯が点灯時に運転席ドアを開けたとき。
- ハイブリッドシステムの温度が異常に高くなり、走行できなくなったとき。
- セレクトレバーがNでリチウムイオンバッテリーの残量が少ないとき。
- 寒冷時に急減速してエンジンが停止したとき。
- 上記以外で、自動的にエンジンが始動できないような故障が発生したとき。

処置

- セレクトレバーをPにしてください。

知識

- P戻し警告を表示したときは、同時にブザーが鳴ります。
- 次の場合に表示が消えます。
  - ・セレクトレバーをPにしたとき。
  - ・電源ポジションをONにしたとき。

タイヤ空気圧警告

タイヤ
空気圧不足
点検して
下さい

ZPA0943

- タイヤ空気圧が低下すると、表示します。

処置

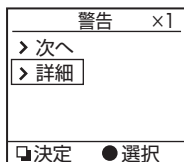
- 安全な場所に停車し、タイヤを確認してください。

知識

- タイヤ空気圧警告が表示された場合、タイヤ空気圧警告灯が点灯します。

タイヤ空気圧警告灯…P.137
タイヤ空気圧警報システム…P.306

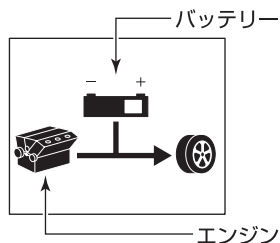
〈警告の確認のしかた〉

●選択スイッチ●で「詳細」を選び、決定スイッチ❏で決定します。

ZPA0487

●警告が複数ある場合は、決定スイッチ❏を押して表示を切り替えます。

知識

- 表示する警告がない場合は、上記画面は表示されません。

⑨エネルギーモニター

ZPA0820

●ハイブリッドシステムに関するエネルギーの流れを矢印の向きで表示します。

●バッテリーは、リチウムイオンバッテリーの残量を表示します。

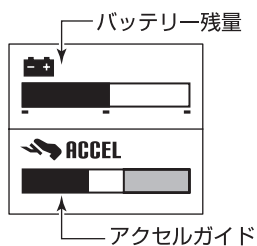
＋：残量が多い

−：残量が少ない

知識

- リチウムイオンバッテリーの残量は、走行状態により増減します。それに応じて残量表示も左右に増減します。
- ナビゲーションシステムの画面（別冊）に表示されるエネルギーモニターの簡易画面を表示します。

エネルギーモニターについて…P.14も合わせてお読みください。

⑩バッテリー残量／アクセルガイド

ZPA0821

バッテリー残量

● リチウムイオンバッテリーの残量を表示します。

知識

- リチウムイオンバッテリーの残量は、走行状態により増減します。それに応じて残量表示も左右に増減します。
- ナビゲーションシステムの画面（別冊）のバッテリー残量表示と連動しています。

アクセルガイド

●エコドライブをサポートするために、燃費のよいアクセルペダルの踏み加減を表示します。
●ドライブモードセレクター（P.169）でドライブモードをECOにしたとき、ECOドライブインジケーター（P.172）とECOペダル（P.236）が連動して作動します。

〈作動例〉

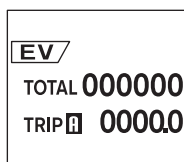
アクセルペダル踏み込み状態	エコ運転領域内	エコ運転領域を超えそうなとき	エコ運転領域を超えたとき
メーター内ECOドライブインジケーター	ECO（緑色点灯）	ECO（緑色点滅）	ECO（オレンジ色点灯）
アクセルガイド表示	ACCEL	ACCEL	ACCEL

ZPA0790

知識

●インテリジェントクルーズコントロールが作動しているときは、表示されません。

⑪EVモードオド／トリップメーター

EV
TOTAL 000000
TRIP A 0000.0

ZPA0785

※イラストはⒶの表示です。

EVモードオドメーター（積算距離計）

モーターのみで走行した総走行距離を表示します。

EVモードトリップメーター（区間距離計）

モーターのみで走行した区間距離を表示します。
TRIPⒶとTRIPⒷで2種類の区間を記録できます。

- トリップ切り替えスイッチを押すごとにⒶとⒷが切り替わります。
- リセットするときは0にしたい方を表示させ、トリップ切り替えスイッチを約1秒以上押します。

知識

- 12Vバッテリーを外したときは、ⒶとⒷの記憶が消去され0に戻ります。

インテリジェントキー表示・警告

●警告を表示したときは、同時に警報ブザーが鳴ります。
インテリジェントキー機能の警報について…P.138

■ハイブリッドシステム始動操作表示

ESG0226Z

●ブレーキペダルを踏みながらハイブリッドシステムを始動することを表示します。

➡ 処置

●ブレーキペダルを踏みながら、パワースイッチを押してください。

知識

●次の場合に表示が消えます。
・ハイブリッドシステムを始動したとき。
・電源ポジションをOFFにしてから約15秒経過したとき。
・リモートコントロールエントリー機能、又はリクエストスイッチでドアを施錠したとき。
・セレクトレバーがP以外になったとき。

■ステアリングロック未解除表示

ESG0227Z

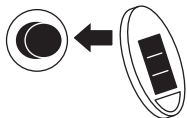
●ステアリングロックを解除できないときに表示します。

➡ 処置

●ハンドルを軽く左右に回しながらパワースイッチを押してください。

知識

●次の場合に表示が消えます。
・ステアリングロックを解除したとき。
・表示から約15秒経過したとき。

■インテリジェントキー非作動時ハイブリッドシステム始動表示

ZPA0489

●インテリジェントキーの電池が切れたときや、使用環境により、インテリジェントキーと車両の通信が正常に行われないときに表示します。

➡ 処置

●ブレーキを踏みながら、インテリジェントキーの裏面をパワースイッチに接触させてください。（P.158）

■インテリジェントキー電池切れ表示

ZPA0118

●インテリジェントキーの電池切れが近くなると電池の交換を知らせます。

➡ 処置

●新しい電池に交換してください。（P.39）

知識

●次の場合に表示が消えます。
・表示から約30秒経過したとき。
・電源ポジションをON以外にしたとき。

■インテリジェントキー持ち出し警告

ZPA0490

●電源ポジションがAccのとき、インテリジェントキーが車外へ持ち出されると表示します。

➡ 処置

●インテリジェントキーが車外へ持ち出されていないか確認してください。
●電源ポジションをOFF又はLOCKにしてください。

知識

- 次の場合に表示が消えます。
  - ・インテリジェントキーが車内に戻ってきたとき。

●インテリジェントキーを携帯していないときに表示します。

処置

- インテリジェントキーを携帯してください。

●携帯しているインテリジェントキーの電池が切れているときに表示します。

処置

- 新しい電池に交換してください。(P.39)

●登録されていないインテリジェントキーを携帯しているときに表示します。

処置

- 自車のインテリジェントキーであることを確認してください。

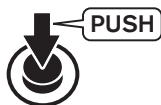
知識

- 表示から約5秒経過すると消灯します。

■キーシステム警告

ZPA0486

キーシステム警告…P.110をお読みください。

■電源ポジションOFF忘れ警告

ESG0234Z

- 電源ポジションがAccでP戻し忘れ警告の表示中に、セレクトレバーを操作してPにしたときに表示します。
- 上記を操作後、パワースイッチを押して電源ポジションをONにしたときに表示します。

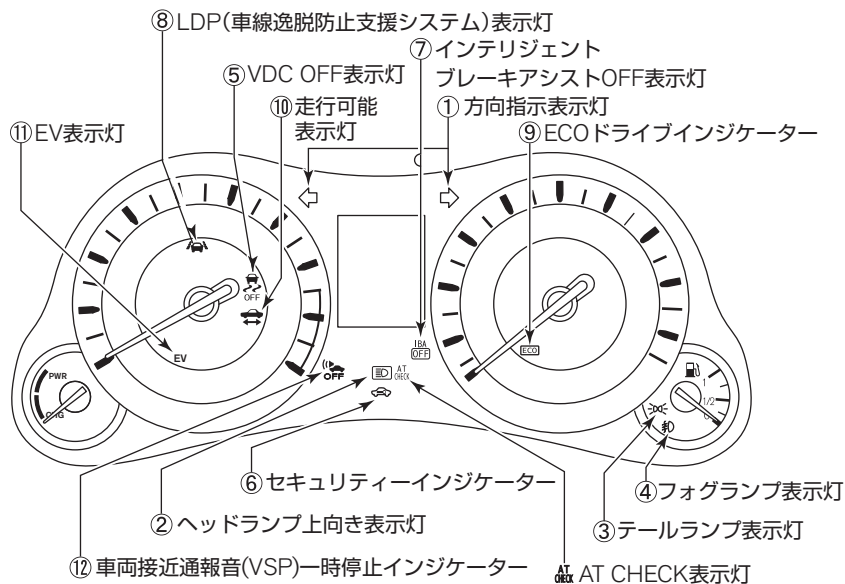
処置

- 電源ポジションをOFFにしてください。

知識

- 次の場合に表示が消えます。
  - ・電源ポジションをOFFにしたとき。
  - ・ハイブリッドシステムを始動したとき。
  - ・セレクトレバーをP以外にしたとき。

表示灯

メーター内の装備は、車種、グレードなどの違いにより異なります。
電源ポジションをONにすると表示します。

ZPA0979

知識

- 電源ポジションをONにすると、AT CHECK表示灯が約2秒間点灯し消灯しますが、表示灯のチェックのためで異常ではありません。

①方向指示表示灯

TCA0087Z

方向指示器又は非常点滅表示灯を作動させると点滅します。

知識

- 方向指示器のランプの電球が切れたときは点滅が速くなります。電球を交換してください。

電球(バルブ)を交換するときは…P.323

方向指示器スイッチ…P.148
非常点滅表示灯スイッチ…P.148

②ヘッドランプ上向き表示灯

TCA0089Z

ヘッドランプの上向きを点灯させると点灯します。

ヘッドランプの上向き、下向き切り替え…P.147

③テールランプ表示灯

TCC0014Z

車幅灯、尾灯、番号灯を点灯させると点灯します。

ライトの点灯・消灯…P.144

④フォグランプ表示灯

ESD0132Z

フォグランプを点灯させると点灯します。

フォグランプの点灯・消灯…P.147

⑤VDC OFF表示灯

ZPA0492

VDC OFFスイッチを押すと点灯します。

VDC…P.173

⑥セキュリティーインジケーター

TSC1941Z

電源ポジションがON以外のときに点滅します。

アドバイス

- 電源ポジションをONにしたあとも点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

イモビライザー（盗難防止装置）…P.38
カーアラーム（盗難防止装置）…P.48

⑦インテリジェントブレーキアシストOFF表示灯

IBA
OFF

ZPA0334

インテリジェントブレーキアシストをOFFにすると点灯します。

インテリジェントブレーキアシスト…P.240

⑧LDP（車線逸脱防止支援システム）表示灯（緑色点灯）

ZPA0359

●LDP（車線逸脱防止支援システム）がONのとき、緑色に点灯します。

LDP（車線逸脱防止支援システム）…P.179

オレンジ色に点灯・点滅したときや、緑色に点滅したときはLDP（車線逸脱防止支援システム）警告灯／LDW（車線逸脱警報）警告灯（P.133）をお読みください。

⑨ECOドライブインジケーター

ZPA0493

●ドライブモードセレクターでドライブモードをECOにして走行中に点灯又は点滅します。

ドライブモードセレクター…P.169
ECOペダル…P.236

⑩走行可能表示灯

ZPA0782

●電源ポジションがONのとき、走行できる状態になると、点灯します。（走行中も点灯し続けます。）

●ハイブリッドシステム始動時、走行可能な状態になるまで点滅します。

アドバイス

- 走行可能表示灯が点灯するまでは、セレクトレバーをPのままにしてください。

ハイブリッドシステムの始動のしかた…P.154

⑪EV表示灯

EV

ZPA0783

モーターのみで走行している間点灯します。

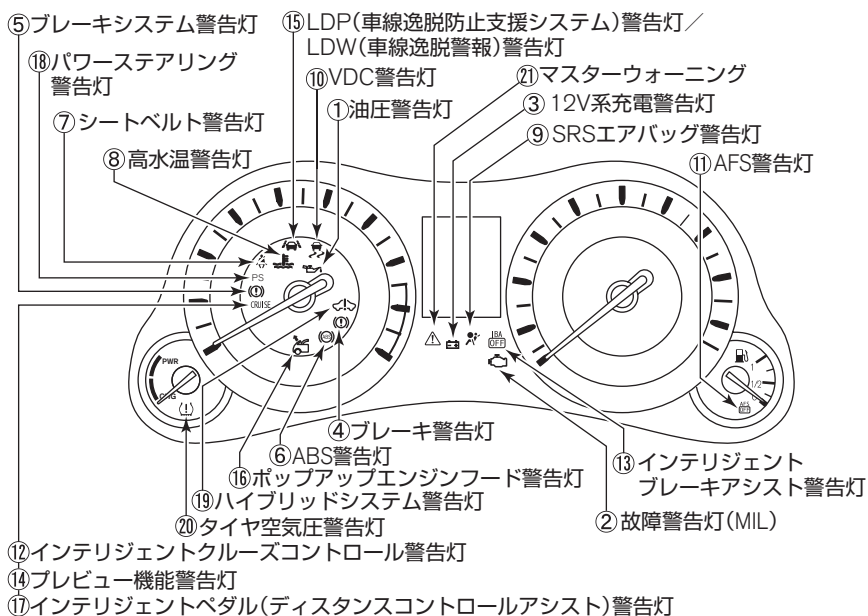
⑫車両接近通報音（VSP）一時停止インジケーター

ZPA0784

VSP一時停止スイッチを押すと点灯します。

車両接近通報装置（VSPシステム）…P.178

警告灯

警告灯が点灯又は点滅したときは、すみやかに適切な処置をしてください。
放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
メーター内の装備は、車種、グレードなどの違いにより異なります。
電源ポジションをONにすると表示します。

①油圧警告灯

TCA0097Z

電源ポジションをONにすると点灯し、ハイブリッドシステムが始動すると消灯します。

- エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。

➡ 処置

- 点灯したときは、ただちに安全な場所に停車してハイブリッドシステムを停止し、日産販売会社に連絡してください。

⚠ 注意

- 点灯したまま走行しないでください。エンジンを破損するおそれがあります。

②故障警告灯（MIL）

TCA0098Z

電源ポジションをONにすると点灯し、ハイブリッドシステムが始動すると消灯します。

- 電源ポジションがONのとき、エンジン電子制御システムに異常があると点灯又は点滅します。

➡ 処置

- 点灯又は点滅したときは、ただちに日産販売会社に連絡してください。

③12V系充電警告灯

TCA0099Z

電源ポジションをONにすると点灯し、ハイブリッドシステムが始動すると消灯します。

- 電源ポジションがONのとき、12Vバッテリーの充電系統に異常があると、点灯します。

➡ 処置

- 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。

⚠ 注意

- 点灯したまま走行しないでください。12Vバッテリーが破損したり、エンジンが不意に停止し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

④ブレーキ警告灯（赤色表示）

TCE0049Z

パーキングブレーキを解除しているとき、電源ポジションをONにすると数秒間点灯後、消灯します。

- 電源ポジションがONで、次のような場合に点灯します。
  - **・パーキングブレーキをかけたとき。**

➡ 処置

- 走行中はパーキングブレーキを解除してください。

⚠ 注意

- パーキングブレーキの解除のし忘れに注意してください。パーキングブレーキをかけたまま走行すると、パーキングブレーキ戻し忘れ警告（P.109）が表示され、パーキングブレーキ戻し忘れ警報（P.142）が鳴ります。

  - **・ブレーキ液が不足しているとき。**
    （パーキングブレーキを解除しているとき。）

➡ 処置

- パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。この場合はブレーキの効きが極度に悪くなっているおそれがあります。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。

・**ブレーキシステムに異常があるとき。**
（パーキングブレーキを解除し、ブレーキ液量が正常でブレーキシステム警告灯〔黄色表示〕と同時に点灯したとき。）

➡ 処置

● ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。この場合はブレーキの効きが極度に悪くなっているおそれがあります。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。

知識

● ブレーキシステムの電源系に異常があるときは、ブザーが鳴ります。

・**ブレーキシステムに異常があるとき。**
（パーキングブレーキを解除し、ブレーキ液量が正常でABS警告灯と同時に点灯したとき。）

➡ 処置

● ハイブリッドシステム始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

⚠ 警告

● パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、点灯したまま走行しないでください。また、ブレーキ液が規定量以下になっていたら走行しないでください。ブレーキの効きが極度に悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⑤ブレーキシステム警告灯（黄色表示）

TCE0049Z

ハイブリッドシステムを始動させると数秒間点灯後、消灯します。

> **⚠ 警告**
>
> ● ハイブリッドシステム作動中に、パーキングブレーキを解除してもブレーキ警告灯（赤色表示）とブレーキシステム警告灯（黄色表示）がともに点灯し続けるときは、走行しないでください。ブレーキの効きが極度に悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

● 次のような場合に点灯します。

・**電源ポジションがONで、ブレーキシステム及び以下の機能に異常があるとき。**
- **回生協調ブレーキ（P.177）**
- **ヒルスタートアシスト（P.177）**
- **ブレーキ効き感向上機能（P.176）**

➡ 処置

● 点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

・**ブレーキシステムに異常があるとき。**
（パーキングブレーキを解除し、ブレーキ液量が正常でブレーキ警告灯〔赤色表示〕と同時に点灯したとき。）

➡ 処置

● ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。このときは、ブレーキの効きが極度に悪くなっているおそれがあります。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。

知識

● ブレーキシステムの電源系に異常があるときは、ブザーが鳴ります。

⑥ABS警告灯

TSA1106Z

電源ポジションをONにすると数秒間点灯後、消灯します。

- 電源ポジションがONのとき、ABSのシステムに異常があると点灯します。

➡ 処置

- 電源ポジションをONにしても点灯しないとき、又はハイブリッドシステム始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- 点灯したときはABSは作動しませんが、ABSのない普通のブレーキ性能は確保されています。この場合は、滑りやすい路面でのブレーキ時や急ブレーキ時にタイヤがロックすることがあります。

ABS…P.244

⑦シートベルト警告灯

TCH0012Z

電源ポジションがONのとき、運転者がシートベルトを着用していないと点灯します。

➡ 処置

- 点灯したときはシートベルトを着用してください。

⚠ 警告

- 走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。

知識

- 点灯したまま走行すると、シートベルト非着用警報（シートベルトリマインダー）（P.143）が鳴ります。

⑧高水温警告灯

ESC0041Z

電源ポジションをONにすると約2秒間点灯後、消灯します。

●電源ポジションがONで、エンジン冷却水の温度が異常に高くなったとき点灯します。

➡ 処置

- 点灯したときは、ただちに安全な場所に車を止めて処置してください。
  オーバーヒートしたときは…P.317

⚠ 警告

- そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。

⑨SRSエアバッグ警告灯

TCA0335Z

電源ポジションをONにすると約7秒間点灯後、消灯します。

●電源ポジションがONのとき、SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯又は点滅を続けます。

➡ 処置

- 電源ポジションをONにしても点灯しないとき、又は約7秒間たっても点灯、点滅を続けるときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

⚠ 警告

- 電源ポジションをONにしても点灯しないときや、点灯、点滅を続けるときは、放置したまま走行しないでください。万一のときSRSエアバッグ、プリテンショナーシートベルトが正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

SRSエアバッグ…P.88
ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト…P.81

⑩VDC警告灯

ESH0408Z

電源ポジションをONにすると数秒間点灯後、消灯します。

- VDC作動中に点滅します。
- 電源ポジションがONのとき、以下のシステムに異常があると点灯します。
  - ・VDC（P.173）
  - ・**コーナリングスタビリティーアシスト**（P.176）
  - ・**左右制動力配分機能**（P.176）
  - ・**ブレーキアシスト機能**（P.238）

➡ 処置

- 点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- 点灯したときは、上記のシステムは停止しますが、それらのシステムのない普通の車として走行できます。滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

⑪AFS警告灯

ECE0028Z

電源ポジションをONにすると約1秒間点灯後、消灯します。

- 電源ポジションがONのとき、アクティブAFSシステムに異常があると点滅します。

➡ 処置

- 点滅したときは、日産販売会社で点検を受けてください。

アクティブAFSについて…P.145

⑫インテリジェントクルーズコントロール警告灯

CRUISE

ESA1445Z

電源ポジションをONにすると点灯し、ハイブリッドシステムが始動すると消灯します。

- ハイブリッドシステム作動中、インテリジェントクルーズコントロールのシステムに異常があると、“ピー”というブザー音とともにインテリジェントクルーズコントロールを解除します。

➡ 処置

- 点灯したときは安全な場所に停車して、一度ハイブリッドシステムを停止してから再度セット操作をしてください。

アドバイス

- 上記の操作をしてもセットできない、又は警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
  ※インテリジェントクルーズコントロール警告灯は、プレビュー機能警告灯とインテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）警告灯を兼用しています。

インテリジェントクルーズコントロール…P.188

⑬インテリジェントブレーキアシスト警告灯

IBA OFF

ZPA0334

電源ポジションをONにすると点灯し、ハイブリッドシステムが始動すると消灯します。

- ハイブリッドシステム作動中、インテリジェントブレーキアシスト、コーナリングスタビリティーアシストに異常があると“ピー”というブザー音とともに点灯します。
- ハイブリッドシステム作動中、インテリジェントブレーキアシストが一時的に作動しない状態にあるとき点灯します。（ブザー音は鳴りません。）

➡ 処置

- “ピー”というブザー音とともに点灯した場合は、安全な場所に停車し、一度ハイブリッドシステムを停止してから、センサー部が汚れていないか確認してください。汚れているときは、汚れている部分を柔らかい布で清掃してから、ハイブリッドシステムを再始動してください。センサー部が汚れていないときは、再度ハイブリッドシステムを始動してください。

アドバイス

- 上記の操作をしても表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

インテリジェントブレーキアシスト…P.240
コーナリングスタビリティーアシスト…P.176

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車とのじょうずなつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

⑭プレビュー機能警告灯

CRUISE

ESA1445Z

電源ポジションをONにすると点灯し、ハイブリッドシステムが始動すると消灯します。

- ハイブリッドシステム作動中、プレビュー機能に異常があると"ピー"というブザー音とともに点灯します。

処置

- 点灯したときは、安全な場所に停車して、一度ハイブリッドシステムを停止してから、再度ハイブリッドシステムを始動してください。

アドバイス

- 上記の操作をしても表示が点灯し続けるときは、装置の異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
  ※プレビュー機能警告灯は、インテリジェントクルーズコントロール警告灯とインテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）警告灯を兼用しています。
- ハイブリッドシステム作動中に警告灯が点灯したときは、プレビュー機能の作動は停止しますが、プレビュー機能のない普通のブレーキとして使えます。

ブレーキアシスト（プレビュー機能付）…P.238

⑮LDP（車線逸脱防止支援システム）警告灯／LDW（車線逸脱警報）警告灯（緑色点滅・オレンジ色点灯・オレンジ色点滅）

ZPA0359

電源ポジションをONにすると、約1秒間オレンジ色に点灯したあと緑色に約1秒間点灯し、消灯します。

- ハイブリッドシステム作動中、LDW（車線逸脱警報）に異常があると、オレンジ色に点灯します。
- ハイブリッドシステム作動中、LDP（車線逸脱防止支援システム）に異常があると、"ポー"というブザー音とともにオレンジ色に点灯します。
- LDP（車線逸脱防止支援システム）又はLDW（車線逸脱警報）がONのとき、走行車線の右側もしくは左側のレーンマーカーに近づくと、ブザー音とともにオレンジ色に点滅します。
- 炎天下に駐車したときなど、車線認識カメラが高温になり、LDW（車線逸脱警報）が作動できなくなると、警告灯がオレンジ色に点滅します。（温度が下がると自動的に消灯します。）
- 炎天下に駐車したときなど、車線認識カメラが高温になり、LDP（車線逸脱防止支援システム）が作動できなくなると、"ポー"というブザー音とともに警告灯がオレンジ色に点滅します。

●ハイブリッドシステム作動中、次のような場合はLDP（車線逸脱防止支援システム）が適切に作動できないおそれがあるため、自動的に作動を停止し、“ポー”というブザー音とともに緑色に点滅します。
・ドライブモードをSNOWにしたとき。
・ABS又はVDC（トラクションコントロールは含まない）が作動したとき。
・VDCをOFFにしたとき。

LDW（車線逸脱警報）…P.184
LDP（車線逸脱防止支援システム）…P.179

緑色に点灯したときはLDP（車線逸脱防止支援システム）表示灯（P.122）をお読みください。

➡ 処置

- オレンジ色に点灯したときは、安全な場所に停車して、一度ハイブリッドシステムを停止してから、再度ハイブリッドシステムを始動してください。
- 緑色又はオレンジ色に点滅を続けるときは、スイッチでシステムを一旦OFFにしたあと、正常に作動する条件で再びスイッチをONにしてください。

アドバイス

- 上記の操作をしても点灯、点滅を続けるときは、装置の異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

⑯ポップアップエンジンフード警告灯

ESH0559Z

電源ポジションをONにすると約7秒間点灯後消灯します。

●電源ポジションがONのとき、ポップアップエンジンフードの電子制御システムに異常があると点灯します。

➡ 処置

- 電源ポジションをONにしても点灯しないとき、又は約7秒間たっても点灯を続けるときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

⚠ 警告

- 電源ポジションをONにしても点灯しないときや、点灯を続けるときは、放置したままで走行しないでください。
  万一のときポップアップエンジンフードが正常に作動せず、歩行者の頭部への衝撃を緩和できないおそれがあります。

⑰インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）警告灯

CRUISE

ESA1445Z

電源ポジションをONにすると点灯し、ハイブリッドシステムが始動すると消灯します。
ハイブリッドシステム作動中、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）のシステムに異常があると、“ピー”というブザー音とともにシステムを解除します。

➡ 処置

- 点灯したときは、安全な場所に停車して、一度ハイブリッドシステムを停止してから再度インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）のスイッチをONにしてください。

アドバイス

- 上記の操作をしてもスイッチがONにならない、又は警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
  ※インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）警告灯は、インテリジェントクルーズコントロール警告灯とプレビュー機能警告灯を兼用しています。

インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）…P.219

⑱パワーステアリング警告灯

PS

TSA2076Z

電源ポジションをONにすると点灯し、ハイブリッドシステムが始動すると消灯します。

- ハイブリッドシステム作動中、パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。

➡ 処置

- 点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- 停車中又は極低速走行中にハンドル操作を繰り返したり、ハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けると、パワーステアリングシステムの過熱を防ぐためにシステムの働きを制限します。そのためハンドル操作力が重くなりますが、異常ではありません。
  ただし、さらにハンドル操作を続けると、パワーステアリングシステムは作動を停止します。その場合は、電源ポジションをOFFにし、しばらくハンドル操作を控えてください。パワーステアリングシステムの温度が下がってから、再度ハイブリッドシステムを作動させると元の状態に戻ります。
- パワーステアリングシステムが過熱するようなハンドル操作を繰り返すと、パワーステアリングシステムが故障する原因となります。

📖 **知識**

- 点灯しているときは、パワーステアリングは作動しませんが、マニュアルステアリングの性能は確保されています。この場合は、ハンドル操作力が重くなります。
- ハンドル操作時に、機械が作動するような音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

⑲ハイブリッドシステム警告灯

ZPA0787

電源ポジションをONにすると点灯し、ハイブリッドシステムが始動すると消灯します。

- モーターやハイブリッドシステムに異常があると点灯します。

➡ 処置

- 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。

- 走行中にリチウムイオンバッテリーの残量が低下し、走行できなくなるおそれがあると点滅します。

➡ 処置

- 点滅したときは、ブレーキを踏み、すみやかに安全な場所に停車してください。点滅が消えたあとは、走行可能な状態になります。

⑳タイヤ空気圧警告灯

ZPA0672

- 電源ポジションをONにすると約1秒間点灯後、消灯します。
- タイヤ空気圧警報システムに異常があると約1分間点滅後、点灯します。
- タイヤ空気圧が低下し、タイヤ空気圧警告を表示すると点灯します。

➡ 処置

- タイヤ空気圧警報システムに異常があったときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- タイヤ空気圧が低下したときは、安全な場所に停車し、タイヤを確認してください。

知識

- 温度による空気圧の変化や自然に空気圧が減少したときにも点灯しますが、適切な空気圧に調整して消灯すれば故障ではありません。
- 高速走行時はタイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅したあと点灯することがありますが、減速して消灯すれば故障ではありません。

タイヤ空気圧警告…P.111
タイヤ空気圧警報システム…P.306

㉑マスターウォーニング

ESG0221Z

- 車両情報ディスプレイに警告が表示されると点灯します。

➡ 処置

- 点灯したときは車両情報ディスプレイの警告表示を確認して、適切な処置をしてください。

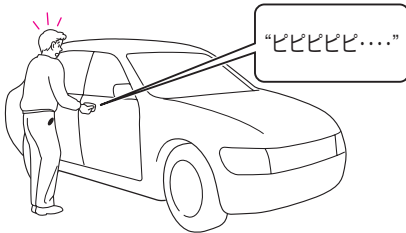
知識

- 警告された要因が処置されると消灯します。
- 車両情報ディスプレイの表示を切り替えても、警告された要因を処置しないとマスターウォーニングは消灯しません。

車両情報ディスプレイ（警告）…P.107

インテリジェントキー機能の警報について

インテリジェントキー機能では、誤操作などによる予期せぬ車両の動き出しや、車両盗難などを防ぐため、車内外で警報ブザーを鳴らします。

● 警報ブザーが鳴ったときは、必ず車両及びインテリジェントキーの確認を行ってください。

ESE0857Z

知識

● 警報と同時に車両情報ディスプレイにインテリジェントキー表示・警告（P.116）を表示する場合があります。

■ドア開閉時の警報

ドアを閉めたときに、車外警報ブザーが“ピッピッピッ”と鳴ったとき

ドアを閉めたときに、車内警報ブザーが“ピピッピピッピピッ”と鳴ったとき

● 電源ポジションがAcc又はONのまま、インテリジェントキーが車外へ持ち出されていませんか？
⇒インテリジェントキーを車内に戻してください。
⇒電源ポジションをOFF又はLOCKにしてください。

アドバイス

● インテリジェントキーがインストルメントパネル上、グローブボックス内、ドアポケット内、リヤパーセル上、トランク内などにあると警報ブザーが作動することがあります。

ドアを閉めたときに、車外警報ブザーが“ピー”と鳴り続けたとき

●セレクトレバーがP以外に入っているときに、インテリジェントキーが車外へ持ち出されていませんか？
⇒セレクトレバーをPにしてからインテリジェントキーを持ち出してください。

知識
- 車外警報ブザーはセレクトレバーをPに戻すと停止します。

運転席ドアを開けたときに、車内警報ブザーが“ポーン、ポーン…”と鳴ったとき

●電源ポジションがLOCKになっていますか？
⇒電源ポジションをLOCKにしてください。

知識
- 車内警報ブザーは下記のいずれかの操作を行うと停止します。
  ・電源ポジションをLOCKにする。
  ・運転席ドアを閉める。

ドアを閉めたときに、車外警報ブザーが“ピピピピ･･･”と鳴ったとき

●無意識にリクエストスイッチを押していませんか？
⇒リクエストスイッチに触れないようにしてドアを閉めてください。

■ドアの施錠及びトランク開閉時の警報

リクエストスイッチを押したときに、車外警報ブザーが“ピピピピ…”と鳴ったとき

●電源ポジションがOFF又はLOCKになっていますか？
⇒電源ポジションをOFF又はLOCKにしてください。

●インテリジェントキーを車内又はトランク内に置き忘れていませんか？
⇒インテリジェントキーを取り出してください。

●いずれかのドアが半ドアになっていませんか？
⇒ドアを閉め直してください。

●ドアを閉める前にリクエストスイッチを押していませんか？
⇒ドアを閉めてからリクエストスイッチを押してください。

知識
- 警報ブザーが鳴ったときは、施錠されていません。原因を確認し、再度施錠してください。
- 次の場合にインテリジェントキーのドア施錠スイッチを押しても警報ブザーが作動します。
  ・いずれかのドアが半ドアのとき。
  ・ドアを閉める前にドア施錠スイッチを押したとき。

トランクを閉めたときに、車外警報ブザーが“ピー”と鳴ったとき

- インテリジェントキーをトランク内又は車内に置き忘れていませんか？
  ⇒インテリジェントキーを取り出してください。

知識

- 車外警報ブザーは約10秒後に停止します。
- 車外警報ブザーが鳴っているときに以下の操作を行うと車外警報ブザーは停止します。
  ・トランク内又は車内のインテリジェントキーを取り出し、再度トランクを閉めたとき。
  ・いずれかのドアを開けたとき。
  ・インテリジェントキーのドア施錠スイッチを押して、ドアを施錠したとき。
  ・インテリジェントキーのドア解錠スイッチを押して、ドアを解錠したとき。
  ・リクエストスイッチを押してドアを解錠したとき。

■パワースイッチを押したときの警報

車内警報ブザーが“ピピピピピピッ”と鳴ったとき

- セレクトレバーがPになっていますか？
  ⇒セレクトレバーをPにしてください。

車内警報ブザーが“ピピッピピッピピッ”と鳴ったとき

- インテリジェントキーを携帯していますか？
  ⇒インテリジェントキーを携帯してください。
  ⇒携帯している場合は、電池を交換（P.39）してください。

■セレクトレバーをPにしたときの警報

車内警報ブザーが“ピピピピピピッ”と鳴ったとき

- 電源ポジションがOFFになっていますか？
  ⇒電源ポジションをOFFにしてください。

■警報ブザー音別一覧表

<table>
<tr><th colspan="2">警報ブザー音</th><th>車両情報ディスプレイ</th><th>何をしたときに鳴ったか？</th><th>確認すること</th></tr>
<tr><td rowspan="9">車外警報ブザー</td><td rowspan="7">ピピピピ…</td><td>—</td><td rowspan="4">リクエストスイッチを押したとき</td><td>電源ポジションがAcc又はONのままになっていませんか？</td></tr>
<tr><td>—</td><td>インテリジェントキーを車内又はトランク内に置き忘れていませんか？</td></tr>
<tr><td>—</td><td>いずれかのドアが半ドアになっていませんか？</td></tr>
<tr><td>—</td><td>ドアを閉める前にリクエストスイッチを押していませんか？</td></tr>
<tr><td rowspan="2">—</td><td rowspan="2">インテリジェントキーのドア施錠スイッチを押したとき</td><td>ドアを閉める前にドア施錠スイッチを押していませんか？</td></tr>
<tr><td>いずれかのドアが半ドアになっていませんか？</td></tr>
<tr><td>—</td><td>ドアを閉めたとき</td><td>無意識にリクエストスイッチを押していませんか？</td></tr>
<tr><td>ピッピッピッ</td><td>NO KEY / キーがありません</td><td>ドアを閉めたとき</td><td>電源ポジションがAcc又はONのまま、インテリジェントキーが車外へ持ち出されていませんか？</td></tr>
<tr><td>ピー</td><td>NO KEY / P SHIFT</td><td>ドアを閉めたとき</td><td>セレクトレバーがPになっていますか？</td></tr>
<tr><td rowspan="6">車内警報ブザー</td><td>ポーンポーン</td><td>BRAKE</td><td>運転席ドアを開けたとき</td><td>電源ポジションがAcc又はONのままになっていませんか？</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ピピッピピッピピッ</td><td rowspan="2">NO KEY / キーがありません</td><td>ドアを閉めたとき</td><td>電源ポジションがAcc又はONのまま、インテリジェントキーが車外へ持ち出されていませんか？</td></tr>
<tr><td>パワースイッチを押したとき</td><td>インテリジェントキーを携帯していますか？（※）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ピピピピピピッ</td><td>P SHIFT</td><td>パワースイッチを押したとき</td><td>セレクトレバーがPになっていますか？</td></tr>
<tr><td>PUSH</td><td>セレクトレバーをPにしたとき</td><td>電源ポジションがAcc又はONのままになっていませんか？</td></tr>
</table>

※：インテリジェントキーを携帯していても警報ブザーが鳴るときは、インテリジェントキーの電池を交換してください。（P.39）

警報装置

インテリジェントキー機能の警報については、P.138をお読みください。

■ブレーキパッド摩耗警報

ディスクブレーキのパッド（摩擦材）が摩耗すると、走行中にブレーキ付近から金属音（キーキー音）が発生します。

●金属音が発生したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

注意

- 金属音が発生したまま走行を続けると、ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。

■ヘッドランプ消し忘れ警報

ライトを点灯したまま、電源ポジションをAcc、OFF又はLOCKにして運転席ドアを開けると、ブザーが鳴ります。

ライトスイッチ…P.144

■フォグランプ戻し忘れ警報

ライトスイッチがAUTO位置かつフォグランプがONで電源ポジションをOFFにすると、約2秒間ブザーが鳴ります。

■リバースブザー

電源ポジションがONのとき、セレクトレバーをRにすると、車内でブザーが鳴ります。

知識

- ブザーを鳴らして、セレクトレバーがRに入っていることを運転者に知らせます。車外の人に対する警報ではありません。

■パーキングブレーキ戻し忘れ警報

パーキングブレーキを戻し忘れたまま走行すると（約7km/h以上）、ブザーが鳴ります。

●すみやかにパーキングブレーキを解除してください。

警告

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

パーキングブレーキ…P.159

■シートベルト非着用警報（シートベルトリマインダー）

運転者がシートベルトを着用していない状態で走行すると（約15km/h以上）、約90秒間ブザーが鳴ります。

警告

- 走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。

知識

- 走行前にメーター内のシートベルト警告灯（P.129）が消灯していることを確認してください。

スイッチの使いかた

ライトスイッチ

アドバイス

● ハイブリッドシステム停止時に長時間点灯させないでください。12Vバッテリーがあがりハイブリッドシステムの始動ができなくなります。

知識

● ライトを点灯したままハイブリッドシステムを停止して運転席ドアを開けると、ヘッドランプ消し忘れ警報（P.142）が鳴ります。

● 夜間など周囲が暗い場所で車から降りるときに以下のような操作を行うと、ライトが周囲を照らし便利です。

・電源ポジションがLOCK又はAccのとき、ライトスイッチを手前に1回引くと、ライトが約30秒間点灯したあと、自動的に消灯します。

・点灯中、ライトスイッチを手前に引くたびに点灯時間が約30秒間延長され、最大約2分間まで延長することができます。

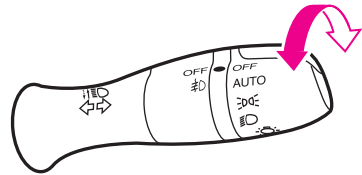
バッテリーセーバー（12Vバッテリー）

● ライトを点灯したままハイブリッドシステムを停止し、リモートコントロールエントリー機能又はリクエストスイッチで施錠すると12Vバッテリーのバッテリーあがりを防止するためライトが消灯します。（次回運転席ドアを開けるとライトが再点灯します。）

● ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがありますが異常ではありません。

ヘッドランプなどのレンズ内面がくもる…P.29

ライトの点灯・消灯

スイッチを回し、●の位置にマークを合わせると、次のように点灯・消灯します。

ZPA0496

スイッチ位置	ヘッドランプ（前照灯）	車幅灯・尾灯 番号灯
OFF	消　灯	消　灯
AUTO	自動点灯・消灯	
TCA0106Z	消　灯	**点　灯**
ECD0021Z	**点　灯**	**点　灯**

オートライトシステムの使いかた…P.146

■キセノンヘッドランプについて

光量が多く太陽光に近い白色であるため、明るく自然で見やすいヘッドランプです。

⚠ 警告

- キセノンヘッドランプは、点灯時高電圧になります。感電防止のため、ランプの分解、改造はしないでください。ランプの脱着、バルブの交換は、日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- ランプが切れかかったときには、一般の蛍光灯と同じように、著しく明るさが低下したり、点滅したり、赤味を帯びた色になることがあります。そのような現象が現れたときは、日産販売会社にご相談ください。

知識

- ヘッドランプ点灯時は、安定するまで若干明るさや色が変化することがあります。

オートレベライザー

- ヘッドランプが下向き点灯時に乗車人員や荷物量の違いにより車両姿勢が変化すると自動的に照射方向を調整するシステムです。

■アクティブAFSについて

ヘッドランプが自動的に進行方向を照射し、夜間走行時に曲路の視覚認識を高めるシステムです。

- ヘッドランプ点灯時、カーブや交差点などでハンドルを操作すると作動します。

⚠ 警告

- ランプの脱着、バルブの交換は、日産販売会社にご相談ください。

知識

- 左側はセレクトレバーがP、R以外のとき作動し、右側はセレクトレバーがP、R以外で、車速が約25km/h以上のとき作動し、車速が約5km/h以下になると作動を停止します。
- ハイブリッドシステム始動時、ヘッドランプが細かく動きますが、システムの作動をチェックしているためで異常ではありません。

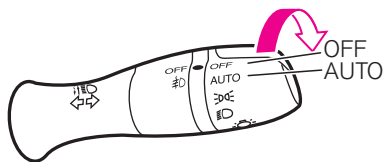
AFS警告灯…P.131

オートライトシステムの使いかた

■オートライトシステムについて

本車両のオートライトは、車外の明るさに応じてライトを自動的に点灯・消灯させるシステムです。

■使いかた

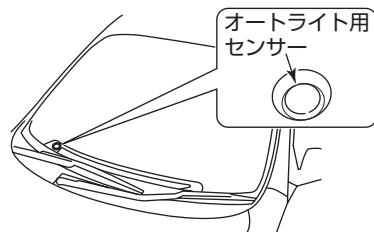
電源ポジションがONのときに使えます。

ZPA0497

- スイッチを回し、●の位置にマーク（AUTO）を合わせると、次のように点灯・消灯します。

車外＼ワイパー	作動中	停止
明るいとき	**点灯**	消灯
薄暗いとき	**点灯**	**点灯**
暗いとき	**点灯**	**点灯**

- 電源ポジションをOFFにすると消灯します。

アドバイス

- センサーの上に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。

ZPA0202

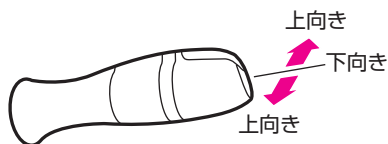
知識

- ワイパー作動時は、ワイパーが数回作動すると点灯します。
- ライトスイッチがAUTOのときフォグランプスイッチをONにすると、車外の明るさに関係なくフォグランプとヘッドランプが点灯します。

フロントワイパー連動・薄暮れ感知機能

- 夜間やトンネルなどの走行時に加え、歩行者事故等が多く発生している夕暮れ時や雨天でのフロントワイパー作動時もライトを点灯させることにより、自車両を目立たせ、周囲の歩行者やドライバーへの注意を喚起します。

ヘッドランプの上向き、下向き切り替え

- ヘッドランプ点灯時、スイッチを車両前方に押すと上向き（ハイビーム）になります。
  （メーター内の表示灯が点灯）
- スイッチを元の位置に戻すと下向き（ロービーム）になります。
- ライトスイッチの位置に関係なく、スイッチを手前に引いている間も、ヘッドランプの上向きが点灯します。

ZPA0327

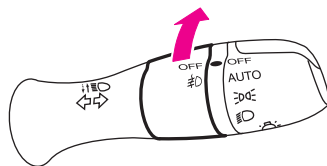
アドバイス

- 対向車があるときや市街地走行などでは下向きにしてください。

ヘッドランプ上向き表示灯…P.121

フォグランプの点灯・消灯

ライトが点灯しているときに使えます。
霧などで視界が悪いときに使います。

- スイッチの マークを●の位置に合わせると点灯します。
  （メーター内の表示灯が点灯）
- 消灯するときは、OFFに合わせます。
  （メーター内の表示灯が消灯）

ZPA0498

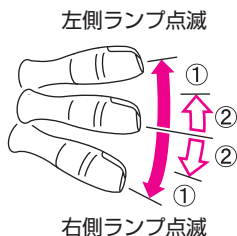
ライトの点灯・消灯…P.144
フォグランプ表示灯…P.121

方向指示器スイッチ

電源ポジションがONのとき使えます。

- スイッチを①の位置まで上又は下に動かすと、方向指示器のランプが点滅します。
（メーター内の表示灯が点滅）
- 車線変更などのときには、スイッチを②の位置まで上又は下に軽く押さえます。
スイッチを押さえている間は点滅し、手を離すと消灯します。

左側ランプ点滅

右側ランプ点滅

ZPA0328

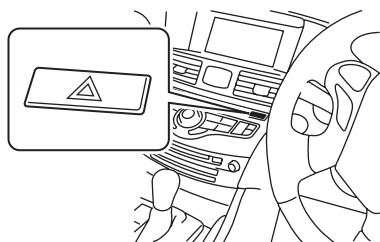
アドバイス

- 方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯の点滅が速くなったときは、方向指示器のランプの電球切れなどのおそれがあります。電球を交換してください。
電球（バルブ）を交換するときは…P.323

方向指示表示灯…P.120

非常点滅表示灯スイッチ

故障などでやむを得ず路上駐車するときや、非常時に使います。

- スイッチを押すと、すべての方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯（P.120）が点滅します。
- 止めるときは、もう一度スイッチを押します。

ZPA0499

アドバイス

- ハイブリッドシステム停止時に長時間点灯させないでください。12Vバッテリーがあがりハイブリッドシステムの始動ができなくなります。

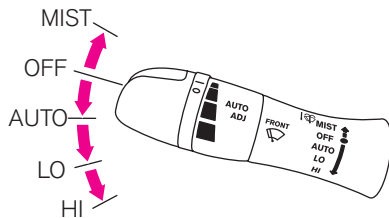
知識

- SRSエアバッグが作動するような衝撃を感知すると、非常点滅表示灯が自動的に点滅します。
非常点滅表示灯スイッチを押すと消灯しますが、2次災害を防ぐため、安全が確保できるまでは消灯しないことをおすすめします。
また、衝撃の大きさによっては、点滅しないことがあります。

ワイパー・ウオッシャースイッチ

電源ポジションがONのとき使えます。

ワイパーの使いかた

●スイッチを下げる（MISTは上げる）と、次のようにワイパーが作動します。
●止めるときは、OFFの位置に戻します。

ZPA0500

スイッチ位置	作　動
MIST	1 回 作 動
OFF	停　止
AUTO	自 動 制 御
LO	低速連続作動
HI	高速連続作動

アドバイス

- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ワイパーに雪が積もり、破損するおそれがあります。
- ワイパー作動中、雪などの障害物によりワイパーが作動できなくなると、モーター保護のためにワイパーの作動が停止することがあります。その場合は、スイッチをOFFにし障害物を取り除いたあと、モーターが冷えるまで（約1分程度）待ってから、再度スイッチをONにしてください。ワイパーが作動を開始します。
- 凍結などでブレードがガラスに張り付いているときは、作動させないでください。ワイパーが損傷したり、モーターが故障するおそれがあります。
- ガラスが乾いているときは、ウオッシャー液を噴射してからワイパーを使ってください。ガラスが乾いた状態でワイパーを使用すると、ガラスやブレード（ゴム部）を傷つけるおそれがあります。

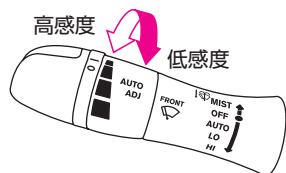
知識

- MISTの位置では、スイッチを押し上げている間ワイパーは作動し、手を離すと自動的にOFF位置に戻り停止します。
- ウオッシャースイッチを操作したあと、ガラスに残ったウオッシャー液をふき取るため、約3秒後に一度ワイパーが作動します。
- ライトスイッチがAUTO位置のときにワイパーが数回作動すると、車外の明るさに関係なくライトが点灯します。
  オートライトシステムの使いかた…P.146

■雨滴感知式ワイパー

●スイッチ位置がAUTOのとき、ルームミラー部にある雨滴感知センサーによって降雨を感知し、降雨量と車速に応じて作動（低速及び高速）の調節を自動で行います。

センサー感度

●センサーの感度を調節するときは、スイッチを回します。

ZPA0501

高感度：雨滴感知センサーの感度が高くなります。
低感度：雨滴感知センサーの感度が低くなります。

⚠ 注意

●電源ポジションがONでスイッチ位置をAUTOにしているとき、雨滴感知センサー上部のフロントガラスに手で触れたり、水分を含んだ布などを近づけるとワイパーが作動することがあります。ケガをしたり、ワイパーの破損につながるおそれがありますので、注意してください。また、洗車時には、スイッチ位置を必ずOFFにしてください。

ZPA0042

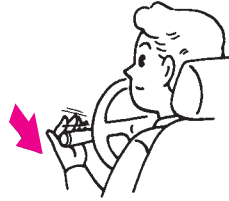
アドバイス

- 降雨時でも雨滴が雨滴感知センサーにあたらないと、雨滴感知センサーが降雨を検知しないためワイパーが作動しない場合があります。
- 雨滴感知センサーに泥、指紋、油膜、虫などが付着したり、排気ガスをあびたりするとワイパーが作動することがあります。また、夜間などは目視しづらいわずかな水滴も検知し、ワイパーが作動することがあります。
  降雨時以外はなるべくスイッチ位置をOFFにしてください。
- フロントガラスに撥水処理を施している場合は、施工していないときに比べ、雨滴が流れやすくなるため、雨滴感知センサーが降雨量が多いと感知してワイパーの作動回数が多くなる場合があります。
- ワイパーブレードの長さや形状が異なると、正常に作動しないことがあります。サイズにあった日産純正品をおすすめします。

知識

- 電源ポジションがONのとき、スイッチ位置をAUTOにすると、1回ワイパーが作動し、その後は雨滴量に応じてワイパーが作動します。
- スイッチ位置をAUTOにしているとき、電源ポジションをONにすると、雨滴感知センサーが雨滴を検知した場合のみワイパーが作動します。

ウオッシャーの使いかた

- スイッチを手前に引くとウオッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。

ECG0033Z

警告

- 寒冷時は、ウインドーガラスに吹きつけられたウオッシャー液が凍結し、視界を妨げ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
  ウオッシャー液を噴射する前に、ヒーターを使ってウインドーガラスを温めてください。また、ウオッシャー液は外気温に合わせた希釈割合にしてください。
  ウオッシャー液の濃度点検…P.290

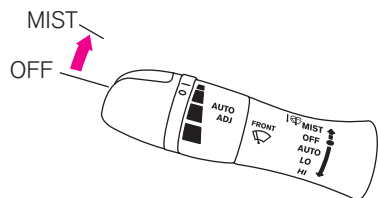
アドバイス

- ウオッシャー液が出ないときは、そのままで30秒以上作動させないでください。モーターが故障する原因となります。
- ウオッシャー液を補給しても液が出ないときは、日産販売会社にご相談ください。

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車とのじょうずなつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

ワイパーアームを起こすとき

寒冷時の駐車やワイパー交換などのときに起こします。

①セレクトレバーをPにします。
②ワイパースイッチをMIST側に2回素早く上げます。（ワイパーアームが途中で止まります。）
③ワイパーアームを起こします。

ZPA0530

●元に戻すときは、ワイパーアームを倒してから、MIST側に1回上げます。

アドバイス

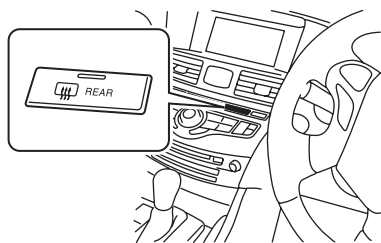
- ワイパーアームを起こした状態でワイパーを作動させると破損するおそれがあります。

リヤデフォッガースイッチ

電源ポジションがONのとき使えます。

リヤウインドーガラス内側のくもりやドアミラーの霜やくもりを取るときに使います。

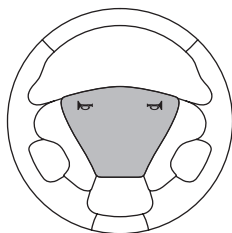
●スイッチを押すと約15分間作動します。
（スイッチの表示灯が点灯）

●作動を止めるときは、スイッチをもう一度押します。
（スイッチの表示灯が消灯）

ZPA0502

アドバイス

- 連続して長時間使用しないでください。消費電力が大きいため12Vバッテリーのバッテリーあがりの原因になります。
- リヤデフォッガースイッチを押すと、ドアミラーヒーターも同時に作動します。

ホーンスイッチ

- ハンドルのラッパマークがあるパッド面を押すと、ホーンが鳴ります。

ZPA0954

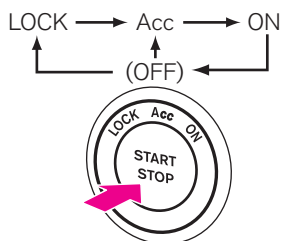
運転のしかた

ハイブリッドシステムの始動のしかた

パワースイッチ

■電源ポジションの切り替えかた

インテリジェントキーを携帯しているとき、ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押すと電源ポジションが切り替わります。

●電源ポジションがOFFのとき、いずれかのドアを開けるか、又は閉めるとLOCKに切り替わります。

ZPA0394

電源ポジション	働　き
LOCK	ステアリングロックが作動する位置
Acc	オーディオ、ドアミラーなどが使える位置
ON	すべての電装品が使える位置
(OFF) ※消灯	電源が切れる位置

アドバイス

- 12Vバッテリーのバッテリーあがりを防止するため、以下の条件がそろった状態で約60分経過すると自動的に電源がOFFになります。
  - ・電源ポジションがAccのとき。
  - ・全ドアが閉まっているとき。
  - ・セレクトレバーがPのとき。
- ハイブリッドシステムが停止しているときに、電源ポジションをAcc又はONにしたまま長時間放置しないでください。12Vバッテリーがあがり、ステアリングロックの解除ができなくなります。

知識

- インテリジェントキーの電池が切れているときは、電源ポジションを切り替えることができません。対処方法については、以下のページをお読みください。
  インテリジェントキーが正常に作動しないとき…P.158
  電池の交換のしかた…P.39
- パワースイッチを押したときに「ステアリングロック未解除表示」（P.116）が表示されたときは、ハンドルを軽く左右に回しながらパワースイッチをもう一度押してください。

ハイブリッドシステムの始動・停止のしかた

■始動のしかた

運転するときは、インテリジェントキーを運転者が必ず携帯してください。
インテリジェントキーが作動範囲内にあるとき、キーを取り出すことなくハイブリッドシステムの始動ができます。

ハイブリッドシステム始動の作動範囲…P.34

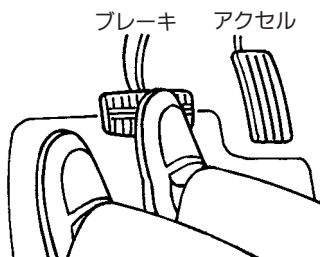
⚠ 警告

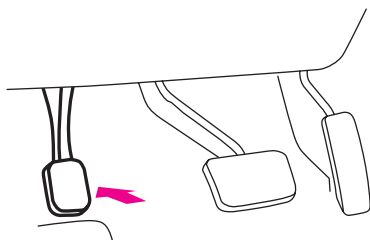
- 換気の悪い車庫や屋内では、暖機運転をしないでください。排気ガスによる一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。
- ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。

⚠ 注意

- ハイブリッドシステムの始動は、必ず運転席に座って行ってください。車外から行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

①アクセルペダルとブレーキペダルの位置を確認します。

・正しい運転姿勢（P.59）がとれるようにハンドル、シート位置を調節します。

TCA0579Z

②パーキングブレーキがかかっていることを確認します。

ZPA0309

③セレクトレバーがPにあることを確認します。

・セレクトレバーがNでも始動できますが、安全のため必ずPで始動してください。

④ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
⑤アクセルペダルを踏まずに、パワースイッチを押します。
⑥メーター内の走行可能表示灯 (P.122) が点滅し、その後点灯します。
(点灯すれば走行可能です。)
・走行可能表示灯 が点灯しないときは、一旦電源ポジションをOFFにしたあと、10秒間待ってからパワースイッチを押してください。

アドバイス

- 走行可能表示灯が点滅中は、セレクトレバーをPから動かさないでください。
- 走行可能表示灯が点灯していれば、ガソリンエンジンが停止していてもモーターで発進可能です。
- 走行中に再始動することはできません。必ず停車して始動してください。
- 緊急時以外は走行中にパワースイッチの操作を行わないでください。(走行中にパワースイッチを3連打以上、又は2秒間押し続けるとハイブリッドシステムが停止します。)

知識

- ハイブリッドシステムの始動を連続して行うと保護機能が作動し、ハイブリッドシステムを始動できなくなることがあります。その場合は、1分以上待ってから再度パワースイッチを押して始動してください。

■停止のしかた

①停車後、セレクトレバーをPにします。
②パワースイッチを押します。
・電源ポジションがOFFになり、ハイブリッドシステムが停止します。

注意

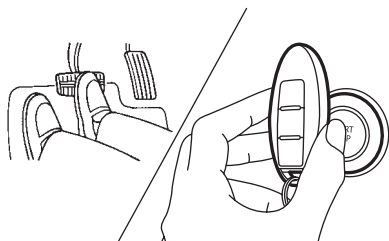
- 車から離れるときは以下のことをお守りください。
  - ・セレクトレバーをPに入れる。
  - ・電源ポジションをLOCKにする。

アドバイス

- セレクトレバーをPに戻す前にパワースイッチを押すとLOCKになりません。(P戻し警告 (P.111) が表示)
ハイブリッドシステムを停止するときは、必ずセレクトレバーをPにしてからパワースイッチを押してください。

■インテリジェントキーが正常に作動しないとき

インテリジェントキーの電池が切れたときや、使用環境によりインテリジェントキーと車両の通信が正常に行われないときには、以下の手順でハイブリッドシステムを始動してください。

①セレクトレバーがPにあることを確認し、ブレーキペダルを踏みます。
②インテリジェントキーの裏面を、パワースイッチに接触させます。

ZPA0396

③LOCKの表示が点灯してから約10秒以内に、ブレーキペダルを踏んだままパワースイッチを押すとハイブリッドシステムが始動します。
・ブレーキペダルから足を離してパワースイッチを押すと、電源が切り替わります。

アドバイス

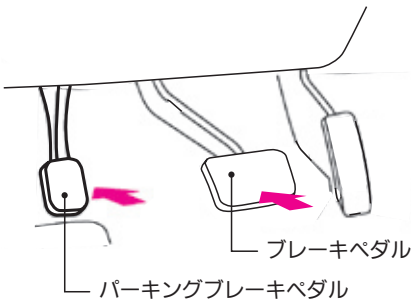
- 上記の操作で始動できない場合は、早めに日産販売会社へ連絡してください。

- ハイブリッドシステムを停止するときは、通常のときと同じように、セレクトレバーをPにしてからパワースイッチを押してください。

知識

- ドアの施錠・解錠は、メカニカルキーを使って行ってください。(P.42)
- インテリジェントキーの電池が切れたときは、早めに電池を交換してください。(P.39)

パーキングブレーキ

●パーキングブレーキをかけるときは、右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをいっぱいに踏み込みます。

●解除するときは、右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルを“カチッ”と音がするまで踏み、ゆっくりと離します。

警告

● パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

● 駐車するときは、必ずパーキングブレーキをかけてください。
● パーキングブレーキをかけたあとに、パーキングブレーキをかけ直したいときは、一度解除してから踏み込み直してください。

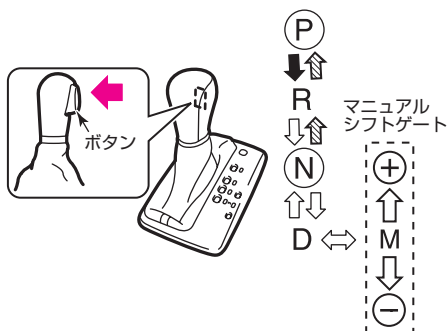
知識

● パーキングブレーキをかけると後輪が固定されます。
● パーキングブレーキをかけたまま走行すると、パーキングブレーキ戻し忘れ警告（P.109）が表示され、パーキングブレーキ戻し忘れ警報（P.142）が鳴ります。

セレクトレバーの使いかた

■各セレクトレバー位置の働き

セレクトレバー位置	働き
P パーキング	**駐車及びハイブリッドシステムを始動するときの位置** 電源ポジションをOFF又はLOCKに切り替えることができます。 （P以外では電源ポジションをLOCKにできません。）
R リバース	**後退するときの位置** 車内でブザーが鳴り運転者に知らせます。 （車外の人に注意するものではありません。）
N ニュートラル	**動力が伝わらない状態の位置** （Nでも停車中であればハイブリッドシステムを始動できますが、安全のためPで始動してください。）
D ドライブ	**通常走行するときの位置** 速度に応じて1速～7速に自動変速します。また走行状況によってアダプティブシフトコントロール（P.162）が働き、より適切に変速します。
マニュアルモード	**マニュアルモード走行するときの位置** 走行中に手動でシフトポジションを切り替えることができます。

■セレクトレバーの操作

セレクトレバー操作	
➡（黒矢印）	ブレーキペダルを踏んだままボタンを押して操作します。
⇨（白矢印）	ボタンを押さずにそのまま操作します。
⇨（斜線矢印）	ボタンを押して操作します。

ZPA0397

⚠ 警告

- 次のような操作は、トランスミッションを破損し、思わぬ事故につながるおそれがありますので、絶対にしないでください。
  - ・車が完全に停止する前にPに入れる。
  - ・車を前進させているときにRに入れる。
  - ・車を後退させているときにD、マニュアルシフトゲートに入れる。

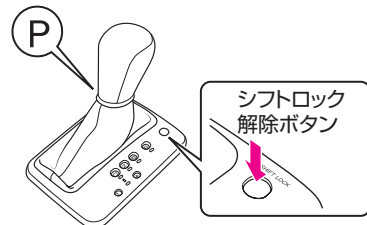
アドバイス

- ⇨印の操作は、ボタンを押さないで操作する習慣をつけてください。ボタンを押して操作すると、意に反してP、Rに入れてしまうおそれがあります。
- Pから操作するとき、ボタンを押したままブレーキペダルを踏むと、セレクトレバーを動かせないことがあります。ボタンは、ブレーキペダルを踏んでから押してください。

■シフトロック解除ボタンの使いかた

万一セレクトレバーをPから動かせないときに使います。

①安全のためパーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏み続けます。

②先の細い物などでシフトロック解除ボタンを押しながらセレクトレバーのボタンを押して、セレクトレバーを動かします。

ZPA0013

アドバイス

- セレクトレバーをPから動かせないときは、シフトロックシステム（P.26）などの故障が考えられます。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

■アダプティブシフトコントロール

急な上り下りや、カーブが連続するような道路状況でも快適で安全な走りを実現できるよう自動的に適切なギヤチェンジを行います。

上り坂やカーブでの制御

変速回数の少ないなめらかな走行ができるように、坂の勾配やカーブに応じて低速ギヤを保持します。

下り坂での制御

フットブレーキを使う回数を低減させるように坂の勾配に応じて低速ギヤに切り替えます。

スポーティな走行での制御

アクセルペダルを踏み込んだときにもたつきのないスムーズな加速が得られるように、加減速を繰り返すような連続するカーブでは低速ギヤを保持します。

⚠ 注意

- トランスミッションが、走行開始直後で暖まっていないときや、低速で高負荷な走行を繰り返し過熱しているときは制御が作動しない場合があります。その場合には必要に応じてセレクトレバーをマニュアルモードに入れ、シフトダウンしてください。

マニュアルモードの使いかた

セレクトレバーを操作すると、マニュアルモードになります。
(ポジションインジケーターに、シフトポジション位置を表示します。)

知識

- 安全や走行性能を確保するために、セレクトレバーを操作しても希望するギヤに変速しなかったり、シフトポジションが自動的に切り替わる場合があります。
- セレクトレバーを操作しても希望するギヤに変速しない場合は、シフトポジションインジケーターが点滅し、ブザーが鳴ります。
- 車両が停止すると、1速へ自動的にシフトダウンします。

■各シフトポジション位置の働き

シフトポジション	働き
1	1速に固定されます。より強いエンジンブレーキが必要なときに使います。
2	2速に固定されます。強いエンジンブレーキが必要なときに使います。
3	3速に固定されます。エンジンブレーキが必要なときに使います。
4	4速に固定されます。下り坂で軽いエンジンブレーキをかけたいときなどに使います。
5	5速に固定されます。上り坂でなめらかな走行をしたいときなどに使います。
6	6速に固定されます。
7	7速に固定されます。

■各シフトポジションの限界速度

シフトポジションを切り替えるときは、エンジンを回転させすぎないために、下表の速度を超えないようにしてください。

(単位：km/h)

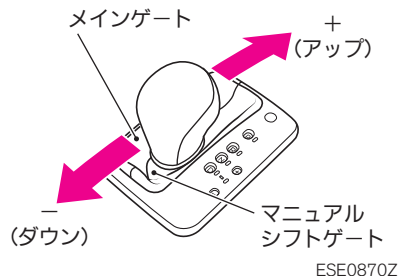
エンジン型式	シフトポジション					
	1	2	3	4	5	6
VQ35HR	65	100	160	180	180	180

注意

- 限界速度を超えると、エンジンが破損するおそれがあります。

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

■切り替えかた

●セレクトレバーをマニュアルシフトゲートに入れ、前後に操作します。
・シフトポジションアップ：
セレクトレバーを＋（アップ）側に動かします。
・シフトポジションダウン：
セレクトレバーを－（ダウン）側に動かします。

■解除のしかた

●セレクトレバーをマニュアルシフトゲートからメインゲートに戻します。

オートマチック車の運転のしかた

オートマチック車は、クラッチ操作が無くギヤチェンジを自動化してあるため、運転操作が簡単になりますが、オートマチック車特有の取り扱いかたがありますので、運転の基本操作を十分理解して、正しく操作する習慣をつけてください。

■発進のしかた

通常の発進

①ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだまま、セレクトレバーを動かします。
前進するときはD、又はマニュアルシフトゲートに入れます。
・後退するときはRに入れます。
・セレクトレバー位置を、目で確認してください。

⚠ 警告

● 発進時は、絶対にアクセルペダルを踏んだままのセレクトレバー操作をしないでください。急発進して、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

● セレクトレバーがP、N以外にあると、クリープ現象で車が動き出します。ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

②パーキングブレーキを解除します。
③ブレーキペダルを徐々にゆるめたあと、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。

急な上り坂での発進

①セレクトレバーの位置を、目で確認します。
②パーキングブレーキをかけたままで、ブレーキペダルを徐々にゆるめます。
③アクセルペダルをゆっくり踏み、車が動き出す感触を確認します。
④パーキングブレーキを解除し、発進します。

知識

● 急な上り坂で発進するとき、ヒルスタートアシスト（P.177）が作動します。

■走行のしかた

⚠ 注意

- 走行中はセレクトレバーをNにしないでください。エンジンブレーキが全く効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションが故障する原因となります。

通常の走行

- セレクトレバーをDに入れたまま走行します。
- アクセルペダルとブレーキペダルの操作だけで加速、減速を行います。
  アクセルペダルの踏みかげんと走行速度や走行状況などにより、適切なギヤに自動変速されます。

急加速したいとき

- アクセルペダルをいっぱいに踏み込みます。
  キックダウンし急加速します。

上り坂の走行

- 速度が下がってきたら、セレクトレバーはDのままでアクセルペダルを踏み込みます。
  坂の勾配に応じて、自動的に低速ギヤに切り替わり、低速ギヤを保持します。
- アクセルペダルの踏みかげんと走行速度により、キックダウンすることがあります。
- 自動変速の回数が多いときは、坂の勾配に応じてマニュアルモード（P.163）に入れると、変速回数が少ない、なめらかな走行ができます。

アドバイス

- 上り坂ではクリープ現象を利用した停車や、アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つような停車はしないでください。トランスミッションが故障する原因となります。坂道で停車するときは、ブレーキペダルを踏んで停車してください。

知識

- 極端に低車速で走行すると、車速がわずかに変化する場合がありますがシステム特有の動きで異常ではありません。

下り坂の走行

エンジンブレーキを併用して走行します。

- セレクトレバーがDのときブレーキペダルを踏むと坂の勾配に応じてシフトダウンし、エンジンブレーキが効きやすい状態にします。
- 坂の勾配に応じて、マニュアルモード（P.163）に入れます。
  強いエンジンブレーキが必要な場合は、マニュアルモードの2速又は1速にします。
- 勾配のゆるい下り坂では、マニュアルモードの4速又は3速にすると、軽いエンジンブレーキが得られます。

警告

- セレクトレバーがDのとき、低速ギヤを保持してエンジンブレーキが効きやすい状態に制御しますが、スピードが出すぎるときは坂の勾配に応じてマニュアルモードに入れてください。フットブレーキだけを使い続けると、フットブレーキに負担がかかり、過熱してブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。必ずエンジンブレーキを併用してください。
- 走行開始直後でトランスミッションの油温が暖まっていないときや、アクセルペダルを深く踏み込んだ高負荷な状態で長く走り続けると低速ギヤを保持しない場合があります。その場合には、坂の勾配に応じてマニュアルモードを低速ギヤに入れてください。
- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキは効かせないでください。タイヤがスリップするおそれがあり危険です。
- リチウムイオンバッテリーの充電状態によっては、減速度合いが小さくなる場合があります。

■停車のしかた

- セレクトレバーはDのままで、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
- 上り坂では、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 停車時間が長くなるときは、セレクトレバーをNに入れます。

警告

- 停車中の空吹かしはしないでください。万一、セレクトレバーがP、N以外にあると急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。停車後の再発進は、セレクトレバーの位置を、目で確認してください。

アドバイス

- 上り坂ではクリープ現象を利用した停車や、アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つような停車はしないでください。トランスミッションが故障する原因となります。坂道で停車するときは、ブレーキペダルを踏んで停車してください。

■駐車のしかた

①車を完全に停止させます。
②ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけます。
③セレクトレバーを**P**に入れ、目で確認します。
・セレクトレバーを**P**に入れると駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。
④電源ポジションをOFFにします。

⚠ 注意

- 車から離れるときは、必ずセレクトレバーを**P**に入れ、ハイブリッドシステムを停止してください。ハイブリッドシステムが作動したままで、セレクトレバーが**P**、**N**以外に入っていると、クリープ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■そのほかに気をつけること

⚠ 警告

- 坂道などでセレクトレバーを**D**、マニュアルシフトゲートに入れたまま惰性での後退をしたり、**R**に入れたまま惰性での前進をしないでください。故障の原因や思わぬ事故につながるおそれがあります。

車を少し移動させるとき

- 車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダル、アクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

車を後退させるとき

- 後退時は身体をひねった状態となり、ペダルの操作を間違うおそれがあります。ブレーキペダルが確実に踏める姿勢をとるようにしてください。
- 少し後退したときなどは、セレクトレバーを**R**に入れたことを忘れてしまうことがあります。後退したあとは、すぐセレクトレバーを**N**に戻す習慣をつけてください。

ドライブモードセレクター

ドライブモードセレクターは4通りのドライブモード（STANDARD、SPORT、ECO、SNOW）を備え、モードを選択することにより、エンジンやモーター、トランスミッションなどが各モードに適した特性で制御するシステムです。

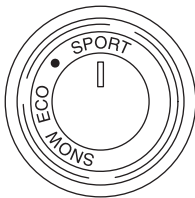
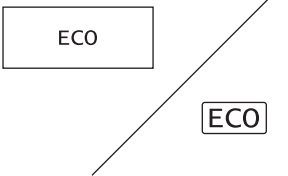
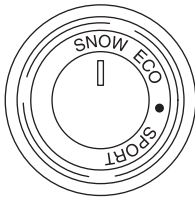
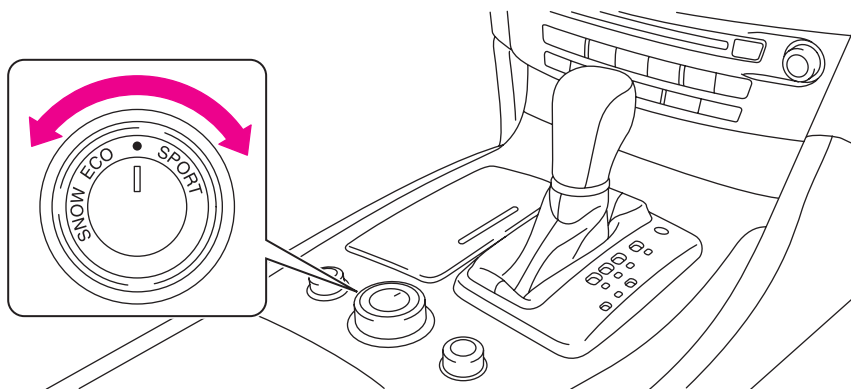
■ドライブモードの働き

ドライブモード	特徴	推奨する使用環境
STANDARD（●）	幅広い走行環境に適したドライブモード	通常走行時 ※1
SPORT ※2	レスポンスが良い特性のドライブモード	登坂時やワインディングなどで、スポーティーな走行をしたいとき
ECO ECOペダル…P.236 モニターの項目の選択方法については、ナビゲーションシステム取扱説明書「基本的な操作のしかた」をお読みください。	おだやかな特性のドライブモード	燃費を考慮したおだやかな走行をしたいとき ※3、4
SNOW	滑りやすい路面環境に適したドライブモード	雪道やぬかるみなどの滑りやすい路面を走行するとき

※1　通常時はSTANDARDで走行することをおすすめします。
※2　SPORTに入れたままだと燃費が悪化することがあります。
※3　運転のしかたによっては必ずしも燃費が向上するわけではありません。
※4　燃費向上に適したドライブモードのため、加速力が低下することがあります。

モードセレクター

■モードの切り替えかた

ハイブリッドシステム作動中にスイッチを回して切り替えます。
モードを切り替えると、車両情報ディスプレイ（P.98）に切り替わったモードが約2秒間表示されます。
（ドライブモードがECOで走行しているときは、メーター内のECOドライブインジケーターが点灯します。）

- 走行状態によってはモードがすぐに切り替わらないことがあります。

■各モードでのスイッチ位置とディスプレイ表示

ドライブモード	スイッチ位置	車両情報ディスプレイ／メーター内表示灯
STANDARD	SNOW ECO SPORT ZPA0403	STANDARD ZPA0404
SPORT	SPORT ECO SNOW ZPA0405	SPORT ZPA0406
ECO ECOペダル…P.236 モニターの項目の選択方法については、ナビゲーションシステム取扱説明書「基本的な操作のしかた」をお読みください。	SNOW ECO SPORT ZPA0407	ECO / ECO ZPA0408
SNOW	SNOW ECO SPORT ZPA0409	SNOW ZPA0410

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車とのつきあい上手な
万一のとき
サービスデータ
さくいん

■ECOドライブインジケーター

メーター内にあります。
ドライブモードセレクターでドライブモードをECOにしたときに、点灯・点滅します。
アクセルペダルの操作に応じて表示灯の点灯・点滅や表示色を変えることで、エコドライブをサポートします。

表示灯	説明
ECO ZPA0411 （緑色点灯）	エコ運転領域内のときに緑色点灯します。
ECO ZPA0412 （緑色点滅）	エコ運転領域を越えそうなとき、緑色点滅します。
ECO ZPA0411 （オレンジ色点灯）	エコ運転領域を越えたときに緑色点滅からオレンジ色点灯に変わります。

知識

以下の場合は、ECOドライブインジケーターが作動しません。
・セレクトレバーがRのとき。
・低車速又は高車速のとき。
・インテリジェントクルーズコントロールが作動しているとき。

VDC（ビークルダイナミクスコントロール）

走行中、滑りやすい路面や障害物の緊急回避などのときには、車両が横滑りや尻振りを起こすことがあります。
VDCは横滑りや尻振りを起こしそうになると横滑り状態をセンサーが判別し、ブレーキ制御及びエンジンとモーターの出力を制御をすることにより走行時の車両安定性を向上させるシステムです。

- VDCが実際に作動しているとき、メーター内のVDC警告灯が点滅します。
- VDCシステム内のトラクションコントロール機能のみが作動しているときもVDC警告灯が点滅します。
- VDC警告灯が点滅したときは、車両が滑りやすい状態になっていますので特に慎重に運転してください。

VDC警告灯…P.131

⚠ 注意

- この装置は車両の走行安定性を向上させるもので事故を防止するものではありません。VDCの作動にも限界があるため、滑りやすい路面やコーナーの手前では特にスピードを落とし安全運転に心がけてください。
- 下記部品を純正品以外に交換したり、改造したときにVDC警告灯が点灯することがあります。
  その場合は、VDCが正常に作動しないことがあります。
  ・サスペンション関係部品（ショックアブソーバー、ストラット、スプリング、ブッシュ類など）
  ・タイヤ、ホイール（指定サイズ以外）
  ・ブレーキ関係部品（パッド、ローター、キャリパーなど）
  ・エンジン関係部品（マフラー、ECM〔エンジンコントロールモジュール〕など）
  ・車体補強関係部品（ロールバー、タワーバーなど）
- サスペンション、タイヤ、ブレーキなどの関係部品が著しく摩耗及び劣化した状態で走行すると、VDC警告灯が点灯することがあります。その場合は、VDCが正常に作動しないことがあります。
- 駐車場の入り口などにあるターンテーブルや動くものの上に車があるとき、VDC警告灯が点灯することがあります。この場合はターンテーブルなど動くものの上から降りてからハイブリッドシステムを始動し直してください。

⚠ 注意

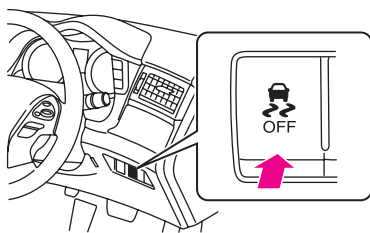
- 極端に傾いた特殊な路面（サーキット路に見られるバンクなど）を走行するとVDC警告灯が点灯することがあります。その場合は、VDCが正常に作動しないことがありますので、そのような路面を走行しないでください。
- VDC付車でも雪道などでは冬用タイヤやタイヤチェーンを装着してください。

知識

- VDCには「ブレーキLSD」機能があります。これは、滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、空転している駆動輪にブレーキをかけることにより、もう一輪の駆動力を確保するLSD（リミテッドスリップデフ）機能です。作動時は、ブレーキの作動により音や振動が発生する場合がありますが、異常ではありません。

■VDC OFFスイッチの使いかた

VDCの作動をやめたいときに使います。

- VDC OFFスイッチを押すと、VDCの働きを停止します。
（メーター内の表示灯が点灯）
- もう一度スイッチを押すか、ハイブリッドシステムを再始動するとVDCは作動を回復し、表示灯が消灯します。

ZPA0413

アドバイス

- VDCが作動すると発進時や加速時に車体及びペダルにわずかな振動と作動音が発生しますが異常ではありません。
- ぬかるみや新雪から脱出するときなどは、スリップ状態を感知し、アクセルペダルを踏み込んでもハイブリッドシステムの出力が上がらないことがあります。このようなときは、VDC OFFスイッチを押してシステムをOFFにしてください。
- VDC OFFスイッチを押すと、ABS機能及びブレーキLSD機能を除くVDCのすべての機能（トラクションコントロールを含む）が停止します。

知識

- 電源ポジションをONにしたときや、ハイブリッドシステム始動後最初の発進時に、エンジンルームからモーターなどの音が聞こえることがありますが、システムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

アクティブスタビリティーアシスト

⚠ 注意

- アクティブスタビリティーアシストは、すべての走行環境において効果があるわけではないため、機能を過信せず安全運転に心がけてください。

コーナリングスタビリティーアシスト機能

山道や高速道路のカーブで、運転者のハンドル操作やブレーキ操作に応じて、4輪それぞれのブレーキ制御及びエンジンとモーターのトルクを調整することによって、車両の動きをより滑らかにすると同時に、応答性を高めるなどして、安定感のあるコーナリングを実現します。

- ドライブモードセレクターでドライブモードをSPORTに設定すると、STANDARDに対し、各輪のブレーキ制御特性を変更することにより、運転者が挙動をコントロールする領域が広がります。
- VDC OFFスイッチを押すと、コーナリングスタビリティーアシストの機能は停止します。

ブレーキ効き感向上機能

走行状態に応じて、運転者のブレーキ踏力に対する制動力を補正することによって、運転者の意思を反映するように『効きが良い』と感じられるブレーキ効き感を得ることができます。

左右制動力配分機能

ブレーキ操作時、カーブの大きさに応じて各車輪の制動力配分を制御することで、しっかりしたブレーキをかけることができます。

回生協調ブレーキ

セレクトレバーがD又はマニュアルシフトゲートで走行中にブレーキペダルを踏んでも回生ブレーキによる制動力が十分に得られないときは、摩擦ブレーキを制御することにより制動力を発生させます。

知識

- 以下の場合は回生協調ブレーキが作動しません。
  - ・ハイブリッドシステム又はブレーキシステムに異常があるとき。
  - ・ABS又はVDCが作動しているとき。

P.12の「回生ブレーキ」も合わせてお読みください。

ヒルスタートアシスト

急な上り坂での発進時に、ブレーキペダルからアクセルペダルへの踏み替えの間に発生する車両の後退を抑制し、発進を容易にするシステムです。

- セレクトレバーがP、N以外のとき、ブレーキペダルから足を離すと、約2秒間ブレーキ力を保持します。

注意

- この装置は上り坂での発進を補助するものですが、機能を過信しないでください。凍結した坂や泥状の上り坂での発進はとくに安全運転に心がけてください。
- この装置はブレーキペダルから足を離すと約2秒間ブレーキ力を保持しますが、その後ブレーキ力が解除されます。停車するときはブレーキペダルを踏み続けてください。駐車するときは確実にセレクトレバーをPに入れ、パーキングブレーキをかけてください。

アドバイス

- セレクトレバーを動かした直後は、ブレーキを踏んだ状態で約1秒待ってから発進してください。
  セレクトレバーをPからD又はNからDに動かした直後は、ヒルスタートアシストが作動しないことがあります。

知識

- ヒルスタートアシストが作動しないときは、ブレーキシステム警告灯（黄色表示）（P.128）、VDC警告灯（P.131）のいずれかが点灯します。

車両接近通報装置（VSPシステム）

歩行者の車両接近に対する認識を向上するためにモーター走行時に車両接近通報音を発し、車外の人に車両の接近を知らせるシステムです。
通常はONにしてください。

■システムの作動

車速に応じて音の高さを変え、車両の加速または減速などの走行状態を表現します。

●以下の場合でエンジンが停止しているときに、音を発します。
・発進から車速30km/hまでの加速をしているとき。
・減速して車速25km/h以下になったとき。
・セレクトレバーをRにしたとき。

■車両接近通報音（VSP）一時停止スイッチの使いかた

●VSP一時停止スイッチを押すと、システムが一時停止状態になります。
（メーター内のVSP一時停止インジケーターが点灯）

●もう一度VSP一時停止スイッチを押すと、システムが作動状態になります。
（メーター内のVSP一時停止インジケーターが消灯）

🔍車両接近通報音（VSP）一時停止インジケーター…P.123

ZPA0795

⚠注意

●周囲に音を出して注意を知らせる必要が明らかにない以下のような特別な場合を除いては、VSP一時停止スイッチを使用しないでください。
・高速道路で渋滞しているとき。
・早朝や夜遅い時間に住宅街を走行するとき。

知識

●VSPシステムは、一旦電源ポジションをOFFにし、再度ONにすると一時停止状態が自動的に解除されます。

LDP（車線逸脱防止支援システム）

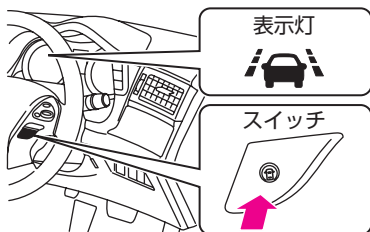
車速が約70km/h以上で走行車線の右側もしくは左側のレーンマーカーに近づいたときに、警報とともにVDC（P.173）の機能を用いてブレーキを制御し、車両の向きを変える方向に制御力を短時間発生させ、運転者が自車を車線内に戻す操作を促すシステムです。

※レーンマーカーとは、車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。

⚠ 注意

- LDP（車線逸脱防止支援システム）は車線からの逸脱を自動的に回避したり、車線内での走行を自動的に維持するシステムではありません。
- LDP（車線逸脱防止支援システム）には限界がありますので、機能を過信しないでください。
  脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意及び雨、霧などの視界不良を補助するものではありません。周囲の状況に応じてハンドル操作を行い、常に安全運転に心がけてください。
- LDP（車線逸脱防止支援システム）を使用するときは、急なハンドル操作を避けてください。思わぬ事故につながるおそれがあります。またLDP（車線逸脱防止支援システム）を使用しないときはシステムをOFFにしてください。
- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので、システムを使用しないでください。
  - ・悪天候（雨、霧、雪、風など）のとき。
  - ・凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき。
  - ・急なカーブ、急な上り坂・下り坂が繰り返されるとき。
  - ・工事中の道路や車線規制がある道路を走行するとき。
  - ・車線の幅が狭い道路を走行するとき。
  - ・摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤ、タイヤチェーンを装着しているときや、純正品以外のタイヤを使用しているとき。
  - ・純正品以外のブレーキ部品やサスペンション部品を使用しているとき。
- 次のような状況では、レーンマーカーを正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。
  - ・検出しにくいレーンマーカー（不明瞭なレーンマーカー、黄色のレーンマーカー、一般的でないレーンマーカー、水たまり・汚れ・雪などで隠れているレーンマーカー）がある道路を走行するとき。
  - ・急なカーブのある道路を走行するとき。
  - ・消されたレーンマーカーがまだ見えている道路を走行するとき。
  - ・道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき。（これらのものをレーンマーカーとして検出して警報したり、制御する場合があります。）
  - ・車線の分岐・合流のある道路を走行したとき。
  - ・自車がレーンマーカーに対してまっすぐに走行していないとき。
  - ・先行車との車間距離が短く、車線認識カメラの検出範囲が遮られるとき。
  - ・雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき。
  - ・汚れなどでヘッドランプの明るさが不十分なときやヘッドランプの光軸調整が適切に行われていないとき。
  - ・前方から強い光（太陽光など）を受けているとき。
  - ・急な明るさの変化が起こったとき。（トンネルの出入り口など。）
- 状況によっては外部の騒音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

■使いかた

①スイッチを押して、システムをONにします。
（メーター内の表示灯が緑色に点灯します。）

ZPA0420

②車速が約70km/h以上になると、作動を開始します。

知識

● ステアリングにあるスイッチを押すと、LDP（車線逸脱防止支援システム）とインテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）（P.219）のON／OFFを同時に切り替えることができます。

● 以下の操作をすると、ステアリングにあるスイッチを押したときに使用するシステムを設定することができます。

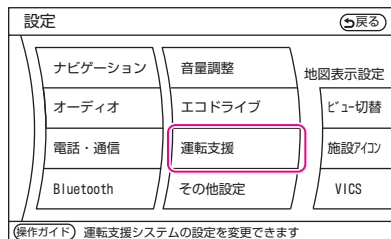
モニターの項目の選択方法については、ナビゲーションシステム取扱説明書「基本的な操作のしかた」をお読みください。

①ナビゲーションシステムの 設定 スイッチを押します。

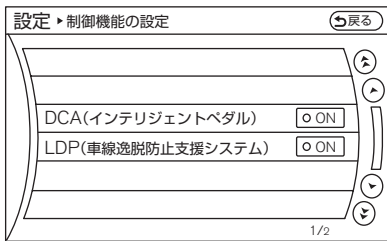
ZPA0020

② 運転支援 を選択します。

ZPA0952

知識

③ 制御機能の設定 を選択します。

ZPA0947

④ステアリングにあるスイッチを押したときに使用したいシステムをONに設定します。

ZPA0504

- LDP（車線逸脱防止支援システム） の設定がOFFになっているときは、ステアリングにあるスイッチを押してもLDP（車線逸脱防止支援システム）を作動させることができません。
- 制御機能の設定 の中の項目がすべてOFFに設定されているときに、ステアリングにあるスイッチを押すとメーター内のLDP（車線逸脱防止支援システム）表示灯とインテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）表示灯が点滅し、作動しないことをお知らせします。
- 全ての設定をONにする を選択すると、運転支援 で設定できるすべての機能がONになります。
- ナビゲーションシステムのON／OFF設定は、ハイブリッドシステムを停止しても再度設定を変更するまで、その状態が維持されます。
- ハイブリッドシステムを停止するとLDP（車線逸脱防止支援システム）は自動的にOFFになります。

■システムの作動

走行車線の右側もしくは左側のレーンマーカーに近づくと、ブザー音、表示とともにブレーキ制御を行い、車両の向きを変える方向に制御力を短時間発生させ、自車を車線内に戻す操作を促します。

（ブザーが“ポポポポ、ポポポポ…”と鳴り、メーター内の警告灯がオレンジ色に点滅します。）

🔍LDW（車線逸脱警報）…P.184

ZPA0357

知識

- 以下の場合は、警報もブレーキ制御も行いません。
  - ・方向指示器を使用しているとき。（方向指示器を解除した後、約2秒間は作動しません。）
  - ・車速が約70km/hを下回っているとき。
- 以下の場合は、ブレーキ制御を行いません。
  - ・ブレーキペダルを踏んでいるとき。
  - ・車線変更に相当する程度に、ハンドル操作をしたとき。
  - ・インテリジェントクルーズコントロール接近警報が鳴っているとき。
  - ・FCW（前方車両接近警報）が作動しているとき。
  - ・インテリジェントブレーキアシストが作動しているとき
  - ・非常点滅表示灯を作動させているとき。
  - ・カーブ路でスピードを出して走行しているとき。
- ブレーキ制御しているときに、運転者がアクセルペダルを踏み増すと、ブレーキ制御を中止します。
- ブレーキ制御が作動したときに、音がすることがありますが、異常ではありません。

■警告表示

ZPA0357

- 次の場合は、“ポー”というブザー音とともにメーター内の警告灯が緑色に点滅し、自動的に作動が停止します。
  - ・ドライブモードをSNOWにしたとき。
  - ・ABS又はVDC（トラクションコントロールは含まない）が作動したとき。
  - ・VDCをOFFにしたとき。
- 炎天下に駐車したときなど、車線認識カメラが高温になった場合は、メーター内の警告灯がオレンジ色に点滅し、自動的に作動が停止します。

処置

- LDP（車線逸脱防止支援システム）を再び作動させる場合は、停止したときの状態が改善されてから、スイッチでシステムを一旦OFFにしたあと、再びシステムをONにしてください。

アドバイス

- 上記の操作をしてもONにできない、又は表示が点滅し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

●LDP（車線逸脱防止支援システム）に異常があると、“ポー”というブザー音とともにメーター内の警告灯がオレンジ色に点灯し、自動的に作動が停止します。

➡ 処置

- 点灯したときは、安全な場所に停車し、一度ハイブリッドシステムを停止してから、再びLDP（車線逸脱防止支援システム）をONにしてください。

アドバイス

- 上記の操作をしてもONにできない、又は表示が点滅し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

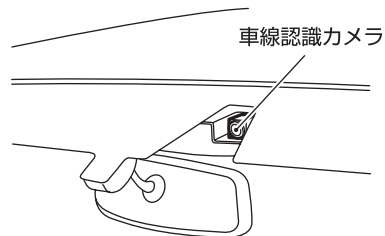
■車線認識カメラの取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

●ルームミラー上方に装着されている車線認識カメラ周辺部のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。

●車線認識カメラ周辺にステッカー（透明なものを含む）を貼ったり、アクセサリーなどを取り付けないでください。

●インストルメントパネル上に鏡などの光を反射しやすいものや白い紙などを置かないでください。太陽光が反射し、カメラの検知性能に影響がでるおそれがあります。

●車線認識カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。また、レンズに触れたり、車線認識カメラを固定しているネジを取り外さないでください。故障、誤作動の原因になります。
事故などで車線認識カメラ周辺部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。

LDW（車線逸脱警報）

車速が約70km/h以上で走行車線の右側もしくは左側のレーンマーカーに近づいたときに、警報によって運転者に注意を促します。

※レーンマーカーとは、車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。

⚠ 注意

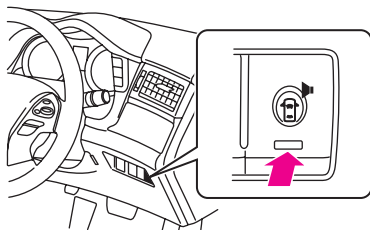
- LDW（車線逸脱警報）には限界がありますので、機能を過信しないでください。脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意及び雨、霧などの視界不良を補助するものではありません。周囲の状況に応じてハンドル操作を行い、常に安全運転に心がけてください。

⚠ 注意

- 次のような状況では、レーンマーカーを正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。
  - ・検出しにくいレーンマーカー（不明瞭なレーンマーカー、黄色のレーンマーカー、一般的でないレーンマーカー、水たまり·汚れ·雪などで隠れているレーンマーカー）がある道路を走行するとき。
  - ・急なカーブのある道路を走行するとき。
  - ・消されたレーンマーカーがまだ見えている道路を走行するとき。
  - ・道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき。（これらのものをレーンマーカーとして検出して警報する場合があります。）
  - ・車線の分岐・合流のある道路を走行したとき。
  - ・自車がレーンマーカーに対してまっすぐに走行していないとき。
  - ・先行車との車間距離が短く、車線認識カメラの検出範囲が遮られるとき。
  - ・雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき。
  - ・汚れなどでヘッドランプの明るさが不十分なときやヘッドランプの光軸調整が適切に行われていないとき。
  - ・前方から強い光（太陽光など）を受けているとき。
  - ・急な明るさの変化が起こったとき。（トンネルの出入り口など。）
- 状況によっては外部の騒音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

■使いかた

●スイッチを押すごとにON／OFFが切り替わります。

スイッチの表示灯	ON／OFF状態
点灯	ON
消灯	OFF

ZPA0421

知識

●スイッチを押すとFCW（前方車両接近警報）も同時にON／OFFします。

●以下の操作をすると、スイッチを押したときに使用するシステムを設定することができます。

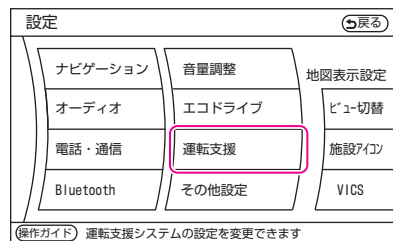
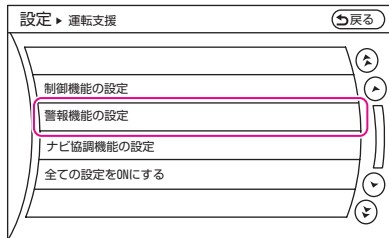
モニターの項目の選択方法については、ナビゲーションシステム取扱説明書「基本的な操作のしかた」をお読みください。

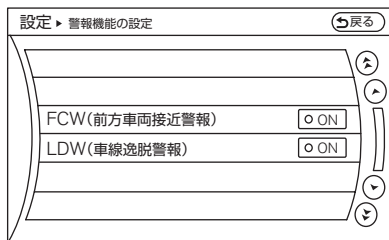
①ナビゲーションシステムの 設定 スイッチを押します。

ZPA0020

②運転支援を選択します。

ZPA0952

知識

③警報機能の設定を選択します。

ZPA0948

④スイッチを押したときに使用したいシステムをONに設定します。

ZPA0949

- LDW（車線逸脱警報）の設定がOFFになっているときは、スイッチを押してもLDW（車線逸脱警報）を作動させることができません。
- 警報機能の設定の中の項目がすべてOFFに設定されているときに、スイッチを押すとスイッチの表示灯が点滅し、作動しないことをお知らせします。
- 全ての設定をONにするを選択すると、運転支援で設定できるすべての機能がONになります。
- ナビゲーションシステムのON／OFF設定は、ハイブリッドシステムを停止しても再度設定を変更するまで、その状態が維持されます。

知識

- 炎天下に駐車したときなど、車線認識カメラが高温になったときは、メーター内の警告灯がオレンジ色に点滅し、一時的に作動が停止します。（車内の温度が下がると、自動的に作動が復帰します。）

ZPA0357

■システムの作動

●走行車線の右側もしくは左側のレーンマーカーに近づいたときに、警報によって運転者に注意を促します。
（ブザーが“ポポポポ、ポポポポ…”と鳴り、メーター内の表示灯がオレンジ色に点滅します。

ZPA0357

知識

● 以下の場合は、警報を行いません。
・方向指示器を使用しているとき。（方向指示器を解除した後、約2秒間は作動しません。）
・車速が約70km/h以下を下回っているとき。

■警告表示

●LDW（車線逸脱警報）に異常があると、メーター内の警告灯がオレンジ色に点灯し、自動的に作動が停止します。

ZPA0359

処置

● 点灯したときは、安全な場所に停車して、一度ハイブリッドシステムを停止してから、再度ハイブリッドシステムを始動してください。

アドバイス

● 上記の操作をして表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

■車線認識カメラの取り扱い

P.183をお読みください。

インテリジェントクルーズコントロール

インテリジェントクルーズコントロールには、以下のような機能があります。

- 先行車を検出していない場合は、運転者がセットした車速で定速走行します。
- 先行車を検出している場合は、先行車との距離を測定し、運転者がセットした車速を上限として車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行います。

詳しくは、P.189をお読みください。

ナビ協調機能

- ナビゲーションシステムからの情報をもとに、運転者がセットした車速を上限として、前方のカーブの大きさに応じた車速で走行できるように車速制御を行います。

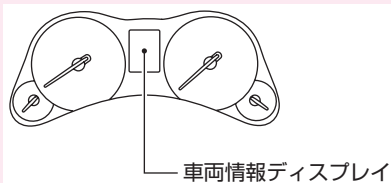
詳しくは、P.205をお読みください。

定速制御機能

- 運転者がセットした車速（約40km/h～100km/h）で定速走行します。
（車間距離の制御は、行いません。）

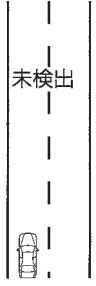
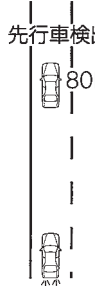
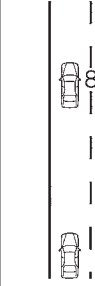
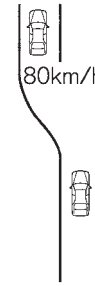
詳しくは、P.210をお読みください。

⚠ 注意

- 機能によって制御内容が異なります。
インテリジェントクルーズコントロールを使用するときは、どの機能が選択されているかを車両情報ディスプレイで必ず確認してください。

ZPA0423

インテリジェントクルーズコントロール

先行車との距離を測定し、運転者がセットした車速を上限として車速に応じた車間距離を自動的に保ちながら走行することができます。
セレクトレバーがD又はマニュアルモードのときに以下の制御を行います。

- 先行車を検出していないときは、運転者がセットした車速（約32km/h～100km/h）で定速走行します。
- 先行車を検出しているときは、運転者がセットした車速（約32km/h～100km/h）を上限として、車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。
また、先行車両が停止したときには、自車もそれに応じて停止します。
（停止後はシステムが自動的に解除されます。）
- 先行車を検出しなくなったときは、セットした速度までゆっくりと加速し、定速走行を行います。
なお、車速が約24km/hを下回っている場合は、システムが自動的に解除されます。

⚠ 注意

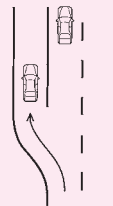
- インテリジェントクルーズコントロールは高速道路や自動車専用道路でご使用ください。
- インテリジェントクルーズコントロールにより停止までブレーキ制御を行いますが、停止状態を保持する機能はありません。自車が停止したとシステムが判断すると、ブザー音とともにブレーキ制御が解除され、クリープ現象によりゆっくりと車両が動き出します。停止状態を保持するためのブレーキ操作は、必ず運転者が行ってください。（先行車との車間距離が短いときや下り坂で追従走行しているときなど、状況により停止できない場合もあります。）

	定速走行	**減速走行**	**追従走行**	**加速走行**
走行状況	先行車を検出していないとき	設定した車速より遅い先行車が検出されたとき	設定した車速より遅い先行車に追従するとき	設定した車速より遅い先行車を検出しなくなったとき
例	100km/hに設定	100km/hで定速走行時に、80km/hの先行車を検出したとき	100km/hに設定しているときに、80km/hの先行車がいるとき	100km/hに設定しているときに、80km/hの先行車を検出しなくなったとき
	未検出 TSA1598Z 100km/h (設定車速)	先行車検出 80km/h TSA1599Z 100km/h →80km/h	80km/h TSA1600Z 80km/h	80km/h TSA1601Z 80km/h →100km/h (設定車速)

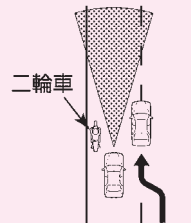
⚠ 注意

- インテリジェントクルーズコントロールには限界がありますので、機能を過信しないでください。脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意及び雨・霧などの視界不良を補助するものではありません。先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転に心がけてください。
- インテリジェントクルーズコントロールの減速能力には限界がありますので、自車の前へ他車が割り込んだときや先行車が急ブレーキをかけたとき、下り坂で追従走行しているときなどは、十分に減速できず先行車に接近することがあります。この場合は、ブザー音及び表示による警報で注意を促します。

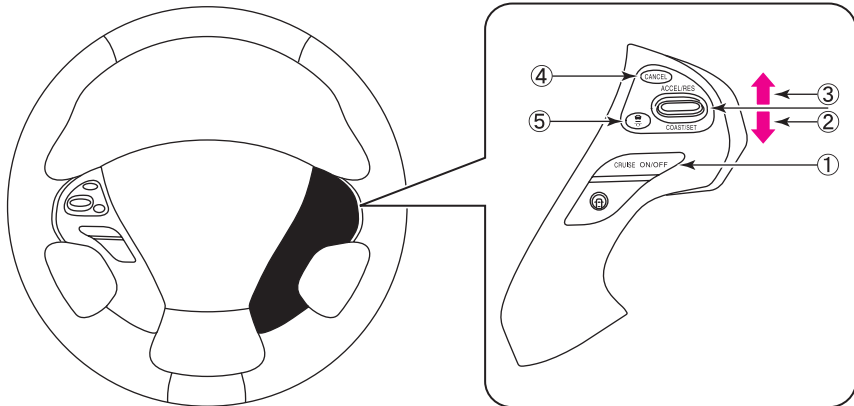
⚠ 注意

- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますのでインテリジェントクルーズコントロールを使わないでください。
  - **交通量の多い道や急カーブのある道**
    道路状況にあった速度で走行できないため事故につながるおそれがあります。
  - **凍結路や積雪路など滑りやすい路面**
    タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。
  - **悪天候（雨、霧、雪など）のとき**
    先行車との車間距離が正確に検出できない場合があります。ワイパーを高速（HI）で作動させるとインテリジェントクルーズコントロールは自動的に解除されます。（ワイパースイッチがAUTO位置でワイパーが高速で作動しているときを含む）
  - **前方からの強い光（太陽光など）を受けたとき**
    先行車との距離が正確に検出できない場合があります。
  - **センサー部に雨滴、雪などが付着しているとき**
    先行車との距離が正確に検出できない場合があります。
  - **急な下り坂**
    先行車を検出していない場合はインテリジェントクルーズコントロールの制御によるブレーキ操作を行わないため、セットした車速を超えてしまうおそれがあります。
    また、先行車を検出していて追従走行している場合には、ブレーキが過熱してしまうおそれがあります。
  - **急な上り坂、下り坂が繰り返される道**
    先行車を正確に検出できず、先行車に近づきすぎて思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - **頻繁な加減速により、車間距離が保ちにくい交通状況のとき**
    交通状況にあった速度で走行できないため、事故につながるおそれがあります。
- 高速道路などで、インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリアなどに進入する（本線から出る）とき本線上でインテリジェントクルーズコントロールによりセット車速よりも遅い車速で走行する先行車に追従走行している場合には、自車又は先行車の車線変更などで、自車線上に先行車を検出しなくなることによりセット車速まで自動的に加速するため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

TSA1602Z

⚠ 注意

- 停止中の車両や自車速より極端に遅い車両に対しては、インテリジェントクルーズコントロールによる制御も接近警報も行いません。料金所や渋滞の最後尾で停車中の車両や極端に速度の遅い車両などには十分注意してください。
- 急な割り込み車両や、歩行者などの車両以外のものに対しては、制御又は接近警報を行いません。
- この機能は先行車のリフレクター（反射器）を主に検出しているため、次の場合には、先行車を正確に検出できず、車間距離が適切に保てなくなる場合があります。周囲の状況に十分注意し、必要に応じてブレーキ操作をしてください。
  - ・先行車のリフレクターが高い位置にある車（トレーラーなど）のとき
  - ・先行車の後部が著しく汚れているとき
  - ・先行車や他車線の車が路上の水や雪などを巻き上げて走っているとき
  - ・先行車や他車線の車からの排煙（黒煙）がひどい場合や、走行道路周辺で煙が発生して前方の視界が十分に見通せないとき
  - ・先行車がリフレクター部にフィルムなどを貼った車やリフレクターが付いていない車、リフレクター部が破損している車のとき
  - ・後席やトランクに極端に重い荷物を積んだとき
  - ・急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行しているとき
- 近距離ではセンサーの検出エリアが狭いため、自車線の端を走行する二輪車を検出できなかったり、間近に割り込んでくる先行車の検出が遅れたりして、車間距離が適切に保てない場合があります。

ESA1691Z

- センサーの汚れを自動的に判定する機能を備えておりますが万全ではありません。状況によってはセンサーが汚れていても判定できない場合があります。また雪、氷などが付着したときも判定できない場合があります。このような状況では、車間距離が適切に保てなくなるおそれがありますので、常に前方に注意して走行してください。また、センサー部はいつもきれいにしておいてください。
  なお、汚れを判定した場合は、インテリジェントクルーズコントロールは自動的に解除されます。
- 道路形状（カーブ路、カーブの出入り口、車線規制や工事中などで車線の幅が狭くなっている道）や自車の状況（ステアリング操作、車線内の位置、事故や故障で走行が不安定な場合など）によっては、一時的に先行車を検出できなくなったり、隣の車線の車両や周辺のものを検出して制御したり、警報が作動する場合があります。
  また、一時的に先行車を検出できず、先行車に近づく場合があります。

■ステアリングスイッチ（インテリジェントクルーズコントロール）

ZPA0424

①メインスイッチ
インテリジェントクルーズコントロールのON・OFFができます。

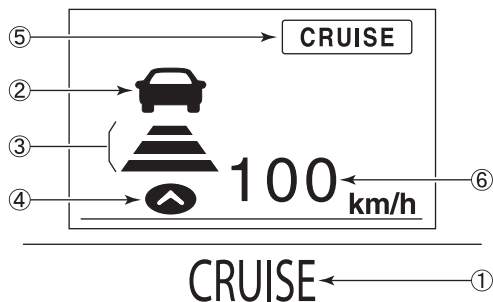
②セット/コーストスイッチ（下押し）
- インテリジェントクルーズコントロールのセットができます。
- 設定車速を下げることができます。

③リジューム/アクセラレートスイッチ（上押し）
- インテリジェントクルーズコントロールを解除後、解除前の設定車速に再びセットすることができます。
- 設定車速を上げることができます。

④キャンセルスイッチ
- インテリジェントクルーズコントロールの解除ができます。

⑤車間設定スイッチ
- 車間設定を「長」「中」「短」の3段階に切り替えることができます。

■表示灯・警告灯・車両情報ディスプレイ

車両情報ディスプレイはメーター内にあります。

①インテリジェントクルーズコントロール警告灯（オレンジ）
インテリジェントクルーズコントロールのシステムに異常があることをお知らせします。

②先行車検出表示
先行車検出の有無をお知らせします。

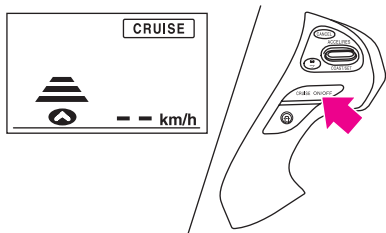
③車間設定表示
車間設定スイッチで設定した車間設定を表示します。

④自車マーク

⑤クルーズ表示灯
メインスイッチがONになっていることをお知らせします。

⑥設定車速表示
設定した車速を表示します。

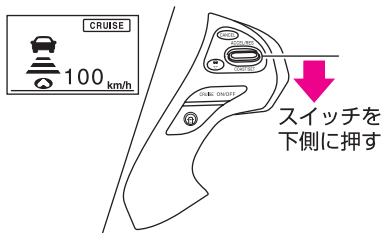
■セットのしかた

①メインスイッチを押してインテリジェントクルーズコントロールをONにします。（1.5秒未満押す）（クルーズ表示灯、車間設定表示、設定車速表示が点灯し、セット待機状態になります。）

ZPA0426

②設定したい車速まで加速又は減速します。

③セット/コーストスイッチ側に押します。

・スイッチを押したときの車速が設定車速になります。

・車速が約32km/h以下で先行車を検出しているときにスイッチを押した場合、設定車速は32km/hになります。（先行車検出の有無、車間設定、設定車速が表示）

ZPA0427

④制御を開始します。

⚠ 注意

● インテリジェントクルーズコントロールを使用しないときは、メインスイッチをOFFにしてください。間違ってスイッチを押してしまった場合、インテリジェントクルーズコントロールがセットされてしまい思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

● 以下の場合は車両情報ディスプレイが約2秒間点滅し、セットすることができません。

・車速が約32km/hを下回っていて、先行車を検出していないとき。

・セレクトレバーがD又はマニュアルモード以外のとき。

・ワイパーを高速（HI）で作動させているとき。（ワイパースイッチがAUTO位置でワイパーが高速で作動しているときを含む）

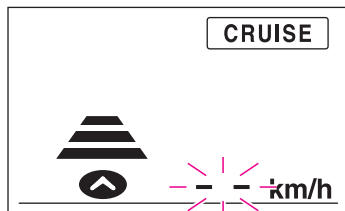
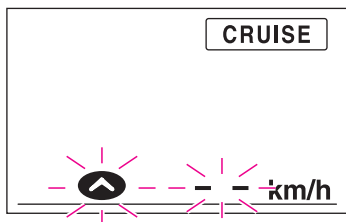
・パーキングブレーキがかかっているとき。

・ブレーキを踏んでいるとき。

・前方から強い光（太陽光など）を受けているとき。

ZPA0428

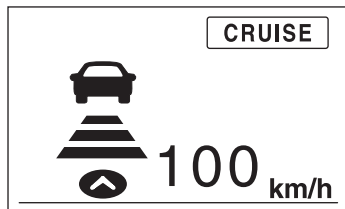
目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車とのじょうずなつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

知識

- 以下の場合は“ピー”というブザー音とともに、車両情報ディスプレイが点滅し、セットすることができません。
  - ・ドライブモードをSNOWにしているとき。
    （インテリジェントクルーズコントロールを使用するときは、ドライブモードをSNOW以外のモードに変更したあと、メインスイッチを一旦OFFにし、再度①から操作し直してください。）
    ドライブモードセレクター…P.169
  - ・VDCをOFFにしているとき。
    （インテリジェントクルーズコントロールを使用するときは、VDCをONにしたあと、メインスイッチを一旦OFFにし、再度①から操作し直してください。）
    VDC…P.173
  - ・ABS又はVDC（トラクションコントロールを含む）が作動しているとき。
  - ・タイヤが空転しているとき。
    （インテリジェントクルーズコントロールを使用するときは、上記の状態が改善されてから、メインスイッチを一旦OFFにし、再度①から操作し直してください。）

ZPA0429

- ハイブリッドシステムを停止するとインテリジェントクルーズコントロールは自動的に解除されます。
- 車間設定はハイブリッドシステムを始動するたびに「長」に設定されます。「中」又は「短」に切り替えたいときは車間設定スイッチを操作します。
  車間距離設定の変えかた…P.199

■システムの作動

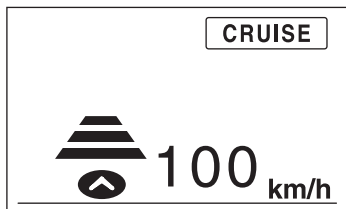
先行車を検出しているとき

運転者が設定した車間距離を保つように制御します。
（先行車検出表示が点灯）

ZPA0430

知識

- 設定車速（約32km/h～100km/h）を上限とする範囲で制御します。
- インテリジェントクルーズコントロールの制御によりブレーキが作動したときは、自車の制動灯が点灯します。
- ブレーキが作動したとき、音がすることがありますが異常ではありません。

先行車を検出しなくなったとき

設定車速までゆっくりと加速し、定速走行します。
（先行車検出表示が消灯）

ZPA0431

知識

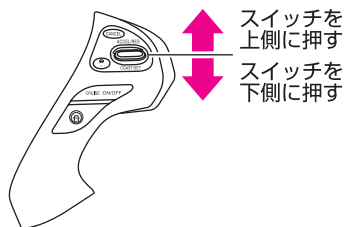
- 設定車速までの加速中に先行車を検出すると、再び車間制御を行います。
- 設定車速までは機能の制御によって加速しますが、素早く加速したいときはアクセルペダルを踏んで加速してください。
- 車速が約24km/hを下回ったときに、先行車を検出しなくなると自動的に制御を解除します。

■設定車速の変えかた

⚠ 注意

- 車間制御しているときは、先行車に合わせた車速に制御されるため、リジューム/アクセラレートスイッチ側に押して、設定車速を上げても加速しません。
  しかしこのとき機能上は設定車速を変更しているため、先行車を検出しなくなるとその設定した車速まで加速します。設定車速は車両情報ディスプレイの設定車速表示を確認しながら変更してください。

設定車速を変えたいとき

- 設定車速を上げたいときは、リジューム/アクセラレートスイッチ側（上側）に押します。
- 設定車速を下げたいときは、セット/コースト側（下側）に押します。

ZPA0432

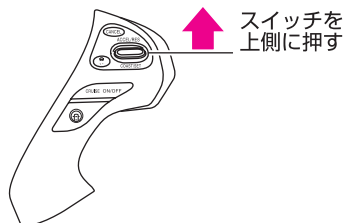
一時的に加速、減速をしたいとき

加速したいとき

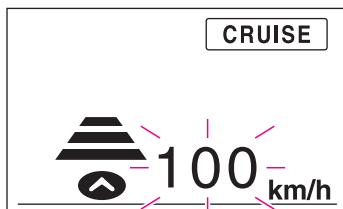
- アクセルペダルを踏むと、加速します。
  アクセルペダルを離すと、元の制御状態に戻ります。

> ⚠ **注意**
>
> - アクセルペダルを踏んでいるときは、インテリジェントクルーズコントロールによるブレーキ操作も警報も行いません。
>   インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）がONの場合、アクセルペダルを踏んでいるときはインテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）が作動します。
>   詳しくは、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）…P.219をお読みください。

減速したいとき

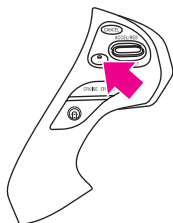
- ブレーキペダルを踏むと、減速（制御が解除）します。
  （設定車速表示の車速値が消灯し、セット待機状態になります。）
- 解除前の設定車速で再びセットしたいときは、リジューム/アクセラレートスイッチ側に押します。
  （車両情報ディスプレイが再びセット状態の表示になります。）

ZPA0433

> ⚠ **注意**
>
> - 通常、車間制御中は先行車の速度に合わせて自動的に加速、減速を行います。しかし車線変更などで加速が必要なときや、先行車が急減速したり、他車が割り込むなどして先行車に接近しそうになったときなどはアクセルペダル、又はブレーキペダルを踏んで周囲の状況に応じた適切な加速、減速を行ってください。

> **知識**
>
> - アクセルペダルを踏んで加速した場合や、セット/コーストスイッチで設定車速を下げた場合などで設定車速より実際の車速の方が高くなったときは、設定車速表示が点滅します。
>
>
>
>
> ZPA0434
>
> - アクセルペダルを戻したあとに定速走行し、車速が設定車速となった場合や、車間制御で車速が設定車速以下となったときは、設定車速が点灯状態に戻ります。

■車間距離設定の変えかた

先行車との車間距離を交通状況に応じて選ぶことができます。制御中又はセット待機状態のときに車間設定を切り替えることができます。

● 車間設定スイッチを押すごとに「長」→「中」→「短」→「長」の順に切り替わります。

ZPA0435

車間設定	ディスプレイ
長	CRUISE 100 km/h ZPA0436
中	CRUISE 100 km/h ZPA0437
短	CRUISE 100 km/h ZPA0438

アドバイス

● ハイブリッドシステムを停止すると、車間設定は「長」に戻ります。
（ハイブリッドシステムを始動するたびに初期の車間設定は「長」になります。）

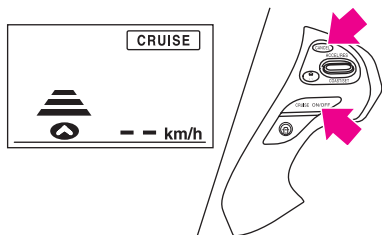
知識

● 各制御は車速に応じて変わり、車速が高いほど長くなります。

● 車速100km/hで走行しているとき、車間設定での制御車間距離の目安は次のとおりです。

長：約60m
中：約50m
短：約40m

■解除のしかた

●次の操作でインテリジェントクルーズコントロールが解除されます。
- ・キャンセルスイッチを押す。
- ・メインスイッチを押す。
- ・ブレーキペダルを踏む。

ZPA0439

知識

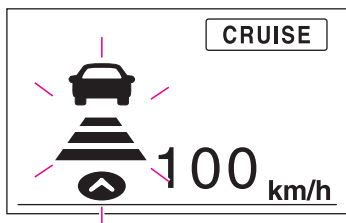
●キャンセルスイッチで解除したときやブレーキペダルを踏んで解除したときは、セット待機状態になります。

●次の場合は“ピー”というブザー音とともに制御が自動的に解除されます。
- ・先行車を検出していない場合に、車速が約24km/hを下回ったとき。
- ・インテリジェントクルーズコントロールにより自車が停止したとき。
- ・セレクトレバーをD又はマニュアルモード以外にしたとき。
- ・パーキングブレーキをかけたとき。
- ・ドライブモードをSNOWにしたとき。
- ・ワイパーを高速（HI）で作動させたとき。
（ワイパースイッチがAUTO位置でワイパーが高速で作動しているときを含む）
- ・ABS又はVDC（トラクションコントロールを含む）が作動したとき。
- ・VDCをOFFにしたとき。
- ・前方から強い光（太陽光など）を受けたとき。
- ・センサー部が汚れ、車間距離の測定が困難になったとき。
- ・タイヤが空転したとき。

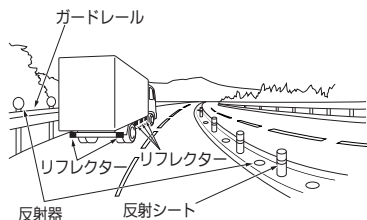
■接近警報

車間制御中に先行車の減速度合いが大きい場合や他車の割り込みなどによって、十分な減速ができない状態で先行車に接近したときは、次のようにブザーと車両情報ディスプレイの表示によって運転者に注意を促します。

この場合は、ブレーキを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。

- 先行車に接近し、車間距離が十分でないと判断されるときは
  - ・ブザーが“ピッ、ピッ、ピッ、ピッ…”と鳴ります。
  - ・車両情報ディスプレイの先行車検出表示、車間設定表示が点滅します。

ZPA0440

⚠ 注意

- 警報ブザーが頻繁に鳴るような状況では、インテリジェントクルーズコントロールを使用しないでください。
- 短い車間距離でも、次の場合には警報が作動しないことがあります。
  - ・先行車との相対速度が小さいとき。（ほぼ同じ速度で走っているとき）
  - ・先行車の方が自車より速いとき。（車間距離が次第に離れていくとき）
  - ・他車が至近距離に割り込んできたとき。
- 料金所や渋滞の最後尾で停車中の車両や、自車速より極端に車速が遅い車両に対しては警報が作動しません。
- 道路形状（カーブ路、カーブの出入り口、車線規制や工事中などで車線の幅が狭くなっている道）や、自車及び周辺車両の状況（ステアリング操作、車線内の位置、事故や故障で走行が不安定な場合など）によっては、一時的に隣車線の車両のリフレクターや、車道脇に設置されている反射器、反射シート、ガードレールの反射器などを検出して、接近警報が作動する場合があります。

ESD0984Z

■警告表示

●次の場合は、“ピー”というブザー音とともにインテリジェントクルーズコントロールが自動的に解除され、インテリジェントクルーズコントロール警告灯及び車両情報ディスプレイの一部が点灯又は点滅しセットできなくなります。

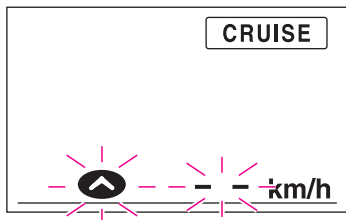
・ABS又はVDC（トラクションコントロールを含む）が作動したとき。

・VDCをOFFにしたとき。

・ドライブモードをSNOWにしたとき。

・タイヤが空転したとき。

・前から強い光（太陽光など）を受けたとき。

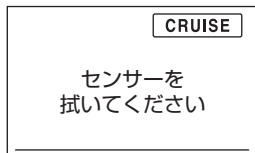
⇒車両情報ディスプレイの一部が点滅します。

ZPA0429

➡ 処置

●制御が解除されたときの状態が改善されてから、メインスイッチでシステムを一旦OFFにしたあと、再びセット操作を行ってください。

アドバイス

●上記の操作をしてもセットできない、又は表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

・センサー部が汚れ、先行車の検出が困難になったとき。

ZPA0442

処置

- 点灯したときは、安全な場所に停車して、一度ハイブリッドシステムを停止してから、汚れている部位を柔らかい布で清掃し、再度セット操作を行ってください。

アドバイス

- 上記の操作をしてもセットできない、又は表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

・インテリジェントクルーズコントロールに異常があるとき。
⇒警告灯が点灯します。

CRUISE

ESA1445Z

処置

- 点灯したときは、安全な場所に停車して、一度ハイブリッドシステムを停止してから再度セット操作を行ってください。

アドバイス

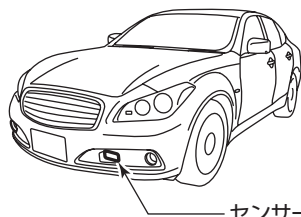
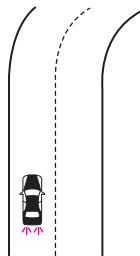
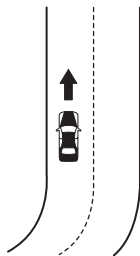
- 上記の操作をしてもセットできない、又は表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

■センサー部の取り扱い

●システムを正しく作動させるために、以下のことをお守りください。

・バンパー開口部に装着されているセンサー部はいつもきれいにしておいてください。
汚れているときは、柔らかい布で傷つけないように注意してふき取ってください。
センサー本体の窓部が著しく汚れた場合は、日産販売会社にご相談ください。

・センサー及びセンサー部周辺に強い衝撃を与えないでください。また、センサーにある軸調整ネジ部に触れたり、分解したりしないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでセンサー取り付け部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。

・センサー部周辺には、ステッカー（透明なものを含む）を貼ったりアクセサリーなどを取り付けないでください。故障、誤作動の原因になります。

ZPA0946

ナビ協調機能

●ナビゲーションシステムからの情報をもとに、運転者がセットした車速（約32km/h〜100km/h）を上限として、前方のカーブの大きさに応じて自車の車速を制御することで、運転者の加速・減速操作を支援する機能です。
具体的には以下の制御を行います。

・前方のカーブの大きさに応じて、緩やかに減速します。
・カーブ路を出て直線路になると、再びセット車速まで加速します。

作動条件

●ナビ協調機能は、以下の条件が全て満たされている場合に作動します。
・ナビ協調機能がONのとき。
・インテリジェントクルーズコントロールを使用して、定速走行しているとき。（先行車を検出していないとき）
・ナビゲーションシステムによる目的地へのルートガイドを行っていて、そのルート上を走行しているとき。

走行状況	**減速走行** カーブ路に近づいたとき	**加速走行** カーブ路を出て直線路へ戻ったとき
例	ZPA0018 前方のカーブに応じて減速	ZPA0019 セット車速まで加速

⚠ 注意

●ナビ協調機能は、高速道路や自動車専用道路でご使用ください。
●ナビ協調機能は、前方のカーブの大きさに応じて、システムの減速能力の範囲内で減速するものであり、カーブを自動的に走行したり、法定速度を遵守した走行を支援するものではありません。
法定速度を守り、安全にカーブを走行するためのブレーキ操作は、必ず運転者が行ってください。

⚠ 注意

- ナビ協調機能には限界があります。また、状況により作動しない場合がありますので、ナビ協調機能を過信しないでください。
  脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意及び雨・霧などの視界不良を補助するものではありません。
  周囲の状況に十分注意し、安全運転を心がけてください。
- ナビ協調機能の減速能力には限界があります。十分に減速できないとシステムが判断した場合は、ブザー及び表示による警報で注意を促します。
- ナビ協調機能の減速により車速が約24km/hを下回った場合、インテリジェントクルーズコントロールは自動的に解除されます。(ナビ協調機能による減速制御も解除されます。)
- この機能はナビゲーションシステムからのカーブ情報を利用しているため、ナビゲーションシステムの位置検出が正しく行えない状況や、ナビゲーションシステムの地図に無い道路を走行しているとき、車線規制や工事などで、ナビゲーションシステムの地図情報と実際の道路形状が異なっているときなどには、制御や警報のタイミングがずれたり、適切に制御や警報を行えない場合があります。周囲の状況に十分注意し、必要に応じてブレーキまたはアクセル操作を行って走行してください。
  🔍詳しくは、ナビゲーションシステム取扱説明書「知っておいていただきたいこと」をお読みください。

■ナビ協調機能のON・OFF設定

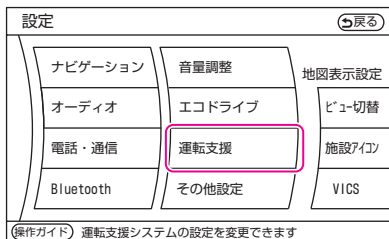
モニターの項目の選択方法については、ナビゲーションシステム取扱説明書「基本的な操作のしかた」をお読みください。

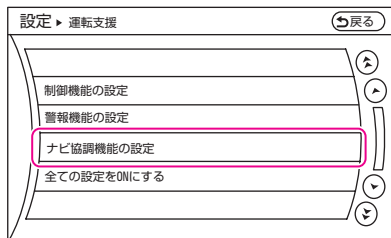
※車種により、画面表示が一部異なります。

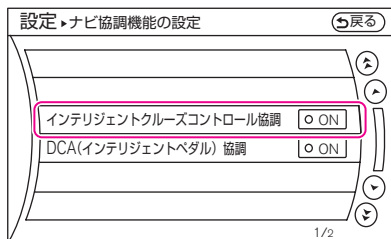
ON／OFFのしかた

①設定スイッチを押します。

ZPA0020

②運転支援を選択します。

ZPA0952

③ナビ協調機能の設定を選択します。

ZPA0950

④インテリジェントクルーズコントロール協調を選択し、ON／OFFを選択します。

ZPA0444

⚠ 注意

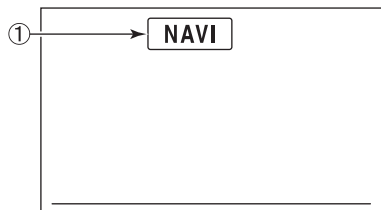
- ナビ協調機能を使用しないときは、設定をOFFにしてください。
- 設定をOFFにした場合、ナビ協調機能による制御も警報も行いません。
  ナビ協調機能を作動させたいときは、設定をONに戻してください。

知識

- 全ての設定をONにするを選択すると、運転支援で設定できるすべての機能がONになります。
- ナビ協調機能のON・OFF設定は、ハイブリッドシステムを停止しても、再度設定を変更するまで、その状態が維持されます。

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車とのじょうずなつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

■車両情報ディスプレイ

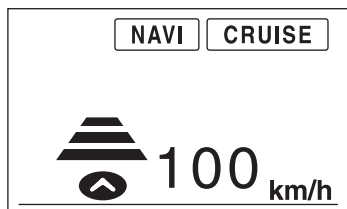
車両情報ディスプレイはメーター内にあります。

ZPA0447

①ナビ協調機能表示

制御対象となるカーブを検出している場合、点灯します。

■ナビ協調機能の作動

制御対象となるカーブを検出しているとき

前方のカーブの大きさに応じて緩やかに減速します。
（ナビ協調機能表示が点灯します。）

ZPA0448

知識

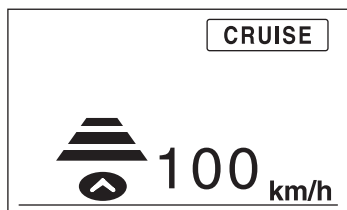
- ナビ協調機能の制御によりブレーキが作動したときは、自車の制動灯が点灯します。

注意

- ナビ協調機能は、ルートガイド中のルート上を走行している場合にのみ作動します。ルートガイドを開始していないときや、ガイド中のルートと異なる道路を走行している場合、ナビ協調機能は作動しません。
- ナビ協調機能作動中に先行車を検出した場合は、先行車に対する車間制御を優先するため、ナビ協調機能は作動しません。
  （ナビ協調機能表示が消灯します。）
  機能によって制御内容が異なりますので、作動中の機能を車両情報ディスプレイの表示で必ず確認してください。
- ナビ協調機能の減速により車速が約24km/hを下回った場合、インテリジェントクルーズコントロールは自動的に解除されます。（ナビ協調機能による減速制御も解除されます。）

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

制御対象となるカーブを検出しなくなったとき

カーブ路を出て直線路になると、再びセット車速までゆっくりと加速し、定速走行します。
(ナビ協調機能表示が消灯します。)

ZPA0449

知識

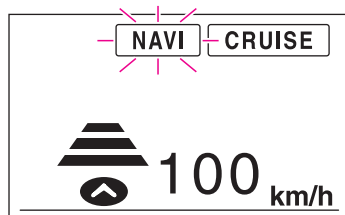
- 設定車速までの加速中に、減速対象となるカーブを新たに検出すると、再び減速制御を行います。
- 設定車速までは機能の制御によって加速しますが、すばやく加速したいときはアクセルペダルを踏んで加速してください。

注意

- アクセルペダルを踏んでいるときは、ナビ協調機能によるブレーキ制御も警報も行いません。

■警報及び警告表示

- ナビ協調機能により十分に減速できないとシステムが判断した場合は、次のようにブザーと車両情報ディスプレイの表示によって運転者に注意を促します。
  この場合は、ブレーキを踏んで減速し、適切な車速で走行してください。

  ・ブザーが“ピッ、ピッ、ピッ、ピッ…”と鳴ります。
  ・車両情報ディスプレイのナビ協調機能表示が点滅します。

ZPA0450

定速制御機能

セレクトレバーがD又はマニュアルモードのとき、アクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行することができます。
約40km/h～100km/hの間で任意の速度にセットできます。

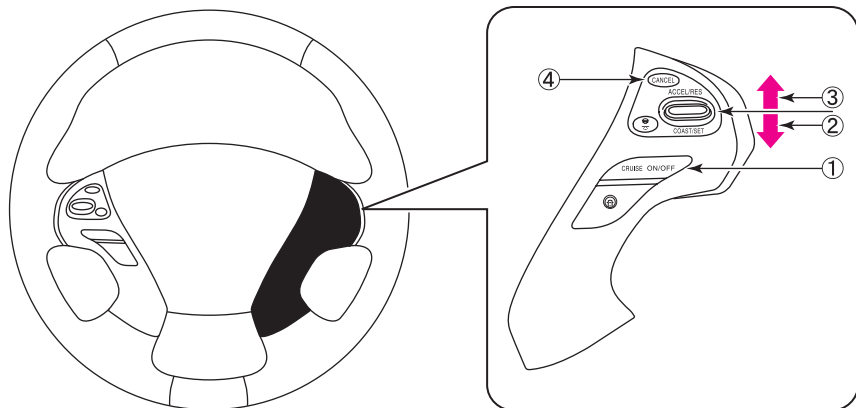
注意

- 定速制御中は車間制御を行わないため、ブレーキ操作も警報も行いません。
先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転に心がけてください。
- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので定速制御機能を使わないでください。

・**交通量の多い道や急カーブのある道**
交通状況にあった速度で走行できないため事故につながるおそれがあります。

・**凍結路や積雪路など滑りやすい路面**
タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。

・**急な下り坂**
急な下り坂ではエンジンブレーキが十分効かないため、セットした速度を超えてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ステアリングスイッチ（定速制御機能）

ZPA0451

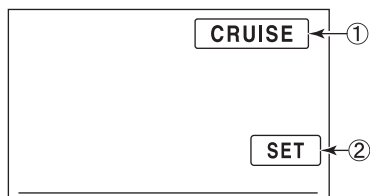
①メインスイッチ
定速制御機能のON・OFFができます。

②セット/コーストスイッチ（下押し）
・定速制御機能のセットができます。
・設定車速を下げることができます。

③リジューム/アクセラレートスイッチ（上押し）
・定速制御機能を解除後、解除前の設定車速に再びセットすることができます。
・設定車速を上げることができます。

④キャンセルスイッチ
・定速制御機能の解除ができます。

■表示灯・警告灯・車両情報ディスプレイ

車両情報ディスプレイはメーター内にあります。

ZPA0885

①クルーズ表示灯

メインスイッチがONになっていることをお知らせします。

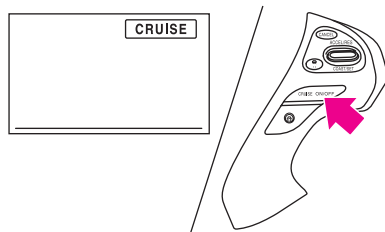
②セット表示灯

定速制御機能で走行していることをお知らせします。
(設定車速をセットすると点灯します。)

知識

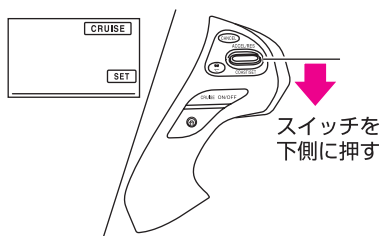
- 定速制御機能に異常があると、セット表示灯が点滅します。

■セットのしかた

①メインスイッチを約1.5秒以上押し続けて定速制御機能をONにします。
(クルーズ表示灯が点灯し、セット待機状態になります。)

ZPA0453

②設定したい車速まで加速又は減速します。

③セット/コーストスイッチ側に押します。

・スイッチを押したときの車速が設定車速になります。
(セット表示灯が点灯)

ZPA0454

④制御を開始します。

注意

- 定速制御機能を使用しないときは、メインスイッチをOFFにしてください。間違ってスイッチを押してしまった場合、定速制御機能がセットされてしまい思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

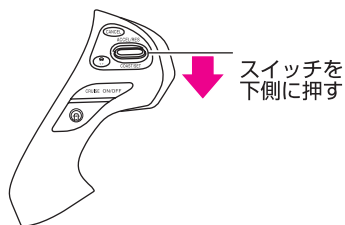
- 定速で走行中、アクセルペダルを踏むと加速しますが、アクセルペダルを戻すとセットした速度で定速走行に戻ります。
- インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）がONの場合は、メインスイッチを1.5秒以上押し続けても､定速制御機能には切り替わりません。定速制御機能を使用するときは、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）を一旦OFFにし、再度①から操作し直してください。

インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）…P.219をお読みください。

■設定車速の変えかた

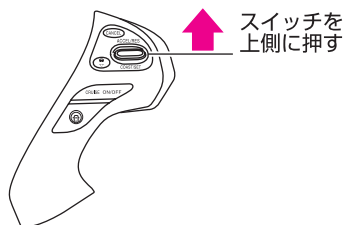
定速走行中に次の操作をします。

ペダルで変えるとき

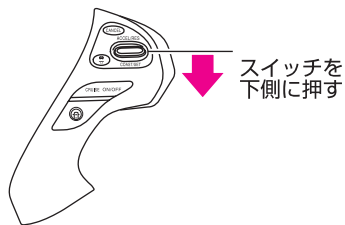
①アクセルペダル又はブレーキペダルを踏み、速度を変えます。
②希望の速度になったら、セット/コーストスイッチ側に押します。

ZPA0892

ステアリングスイッチで変えるとき

設定車速を上げたいとき

①リジューム/アクセラレートスイッチ側に押し続けると加速します。
②希望の速度になったら、手を離します。

ZPA0433

設定車速を下げたいとき

①セット/コーストスイッチ側に押し続けると減速します。
②希望の速度になったら、手を離します。

ZPA0892

一時的に加速、減速をしたいとき

加速したいとき

●アクセルペダルを踏むと、加速します。

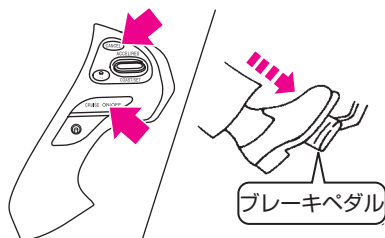
減速したいとき

●ブレーキペダルを踏むと、減速（制御を解除）します。

もう一度、定速走行に戻したいとき

解除前の設定車速で再びセットしたいときは、リジューム/アクセラレートスイッチ側に押します。
（車速が約40～100km/hのとき戻せます。）

■解除のしかた

●次の操作で定速制御機能が解除されます。
・キャンセルスイッチを押す。
・メインスイッチを押す。
・ブレーキペダルを踏む。

ZPA0464

知識

●キャンセルスイッチで解除したときやブレーキペダルを踏んで解除したときは、セット待機状態になります。

●次の場合は定速制御機能が自動的に解除されます。
・車速が約30km/h以下になったとき。
・設定車速より約13km/h以上車速が低下したとき。
・セレクトレバーをD又はマニュアルモード以外にしたとき。
・VDC（トラクションコントロールを含む）が作動したとき。
・タイヤが空転したとき。

知識

●定速制御機能に異常があると、セット表示灯が点滅します。

FCW（前方車両接近警報）

FCW（前方車両接近警報）は自車線前方にいる車両に接近したときに警報で注意を喚起するシステムです。
FCW（前方車両接近警報）は、以下の条件のとき作動します。
・自車の車速が約15km/h以上のとき。
・自車の車速が自車線前方にいる車両の車速より約15km/h以上高いとき。

注意

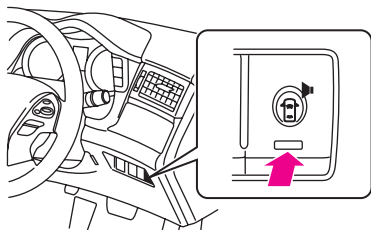
- FCW（前方車両接近警報）は、衝突回避システムではありませんので、常に安全運転を心がけてください。
- FCW（前方車両接近警報）には限界がありますので、機能を過信しないでください。脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意及び雨・霧などの視界不良を補助するものではありません。
  前方の車両との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転に心がけてください。
- 急な割り込み車両、歩行者や動物、道路上の落下物に対しては、システムは作動しません。
- 前方の車両との距離が極端に短い場合には、システムは作動しません。
- 次のような場合には、システムは作動しません。
  ・前方から強い光（太陽光など）を受けたとき。
  ・センサー窓部が汚れているとき。
- このシステムは前方の車両のリフレクター（反射器）を主に検出しているため、次の場合には前方の車両を正確に検出できず、システムが作動しない場合があります。
  ・前方の車両のリフレクターが高い位置にある車（トレーラーなど）のとき。
  ・前方の車両の後部が著しく汚れているとき。

注意

  ・悪天候（雨、霧、雪など）のとき。
  ・前方の車両や他車線の車が路上の水や雪などを巻き上げて走っているとき。
  ・前方の車両や他車線の車からの排煙（黒煙）がひどいときや、走行道路周辺で煙が発生して前方が十分に見通せないとき。
  ・前方の車両がリフレクター部分にフィルムなどを貼った車やリフレクターが付いていない車、リフレクター部が破損している車のとき。
  ・後席やトランク中に極端に重い荷物を積んでいるとき。
  ・急な加減速を行っているとき。
  ・急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行しているとき。
  ・前方の車両が二輪車のとき。
- 道路形状（カーブ路、カーブの出入り口）や、自車の状況（ステアリング操作、車線内の位置）、前方の車両の状況（車線内の位置）によっては、システムが作動しない場合があります。
- 前方の車両のそばの反射器（ガードレールの反射器や隣車線の車両のリフレクターなど）を検出してしまうおそれがあります。
- 自車走行線の近くに反射物や路面標識、白いレーンマーカーなど反射しやすいものがあると、システムが検出してしまうおそれがあります。
- センサーの汚れを自動的に判定する機能を備えておりますが万全ではありません。状況によってはセンサーが汚れていても判定できない場合があります。また雪、氷などが付着したときも判定できない場合があります。このような状況では、システムが作動しないおそれがありますので、センサー部はいつもきれいにしておいてください。
- 状況によっては外部の騒音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

■使いかた

●スイッチを押すごとにON／OFFが切り替わります。

スイッチの表示灯	ON／OFF状態
点灯	ON
消灯	OFF

ZPA0421

知識

●スイッチを押すとLDW（車線逸脱警報）も同時にON／OFFします。

●以下の操作をすると、スイッチを押したときに使用するシステムを設定することができます。

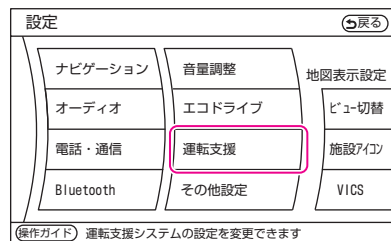
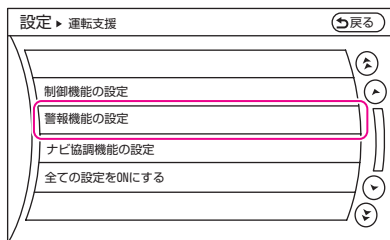
モニターの項目の選択方法については、ナビゲーションシステム取扱説明書「基本的な操作のしかた」をお読みください。

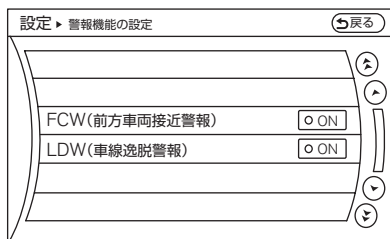
①ナビゲーションシステムの 設定 スイッチを押します。

ZPA0020

②運転支援を選択します。

ZPA0952

知識

③（警報機能の設定）を選択します。

ZPA0948

④スイッチを押したときに使用したいシステムをONに設定します。

ZPA0949

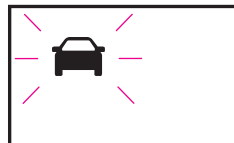
- （FCW（前方車両接近警報））の設定がOFFになっているときは、スイッチを押してもFCW（前方車両接近警報）を作動させることができません。
- （警報機能の設定）の中の項目がすべてOFFに設定されているときに、スイッチを押すとスイッチの表示灯が点滅し、作動しないことをお知らせします。
- （全ての設定をONにする）を選択すると、（運転支援）で設定できるすべての機能がONになります。
- ナビゲーションシステムのON／OFF設定は、ハイブリッドシステムを停止しても再度設定を変更するまで、その状態が維持されます。

■システムの作動

- 自車が前方の車両に接近するおそれがあるときに警報によって運転者に注意を促します。
（ブザーが“ピピピピ…”と鳴り、車両情報ディスプレイの先行車検出表示が点滅します。）

ZPA0362

■警告表示

IBA
OFF

ZPA0334

●次の場合は、メーター内の警告灯が点灯し、自動的に作動が停止します。
・センサー部が汚れ、前方の車両との距離の測定が困難になったとき。
・FCW（前方車両接近警報）に異常があるとき。

●前方から強い光（太陽光など）を受けた場合は、メーター内の警告灯が点灯し、一時的に作動が停止します。（状況が改善されると、自動的に作動が復帰します。）

➡ 処置

● “ピー” というブザー音とともに点灯した場合は、安全な場所に停車し、一度ハイブリッドシステムを停止してから、センサー部が汚れていないか確認してください。汚れているときは、汚れている部分を柔らかい布で清掃してから、ハイブリッドシステムを再始動してください。センサー部が汚れていないときは、再度ハイブリッドシステムを始動してください。

アドバイス

● 上記の操作をしても表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

■センサー部の取り扱い

P.204をお読みください。

インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）

先行車との車間距離や相対速度に応じてブレーキを制御するとともに、アクセルペダルを踏んでいる場合には、アクセルペダルを押し戻す力を発生させることで、運転者の車間距離維持操作を支援するシステムです。

ナビ協調機能

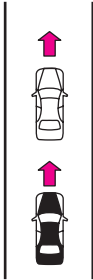
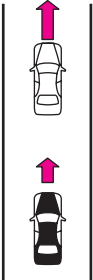
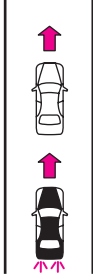
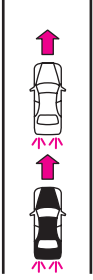
- ナビゲーションシステムからの情報をもとに前方のカーブの大きさに応じてブレーキを制御するとともに、アクセルペダルを踏んでいる場合には、アクセルペダルを押し戻す力を発生させることで、運転者の減速操作の支援を行います。
詳しくは、P.231をお読みください。

インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）

一定速走行するとき、加速したいとき

- 運転者自身がアクセルペダルを踏んで走行します。

追従走行中の先行車に近づいたとき

- 運転者がアクセルペダルを戻すと、システムが滑らかにブレーキをかけて減速します。また先行車両が停止したときには、自車もそれに応じて停止します。
- 運転者がアクセルペダルを踏んだままの場合は、システムがペダルを押し戻す方向に力を発生させ、アクセルペダルを戻す操作を支援します。

運転者によるブレーキ操作が必要だとシステムが判断したとき

- ブザーと表示で注意を促すとともに、運転者がアクセルペダルを踏んだままのときは、アクセルペダルを押し戻す力を発生させ、運転者がアクセルペダルからブレーキペダルへ踏み替える操作を支援します。

⚠ 注意

- システムにより停止までブレーキ制御を行いますが、停止状態を保持する機能はありません。自車が停止したとシステムが判断すると、ブザー音とともにブレーキ制御が解除され、クリープ現象によりゆっくりと車両が動き出します。停止状態を保持するためのブレーキ操作は、必ず運転者が行ってください。
- アクセルペダルを踏んでいるときは、システムの制御によるブレーキ操作は行いません。

《作動例》

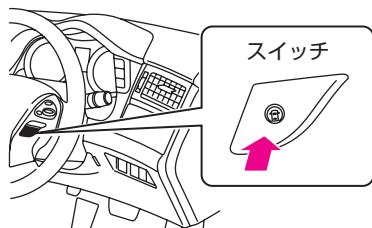
先行車が一定速度で走行している場合	先行車が加速した場合
運転者のアクセル操作により走行します。 ZPA0027	運転者のアクセル操作により加速します。 ZPA0028
先行車に近づいた場合	**運転者によるブレーキ操作が必要だと判断した場合**
運転者がアクセルを戻すと減速します。 アクセルを踏んだままの場合は、ペダルを押し戻す力を発生させ、アクセルを戻す操作を支援します。 ZPA0029	ブザーと表示で注意を促すとともに、アクセルを踏んだままの場合は、ペダルを押し戻す力を発生させ、ブレーキへの踏み替え操作を支援します。 ZPA0030

⚠ 注意

- インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）には限界がありますので、機能を過信しないでください。脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意及び雨・霧などの視界不良を補助するものではありません。また、追突を防止する機能はありません。
- インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）の減速能力には限界がありますので、自車の前へ他車が割り込んだときや先行車が急ブレーキをかけたとき、先行車との車間距離が十分でないとき、下り坂で追従走行しているときなどは、十分に減速できず先行車に接近することがあります。
  先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転に心がけてください。
- 先行車が停止した場合、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）によるブレーキ制御により停止まで制御を行いますが、状況（先行車との車間距離が短いときや、下り坂を走行しているときなど）により停止できないことがあります。このような場合には、停止させるためのブレーキ操作を、必ず運転者が行ってください。
- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）を使わないでください。
  - **凍結路や積雪路など滑りやすい路面**
  - **悪天候（雨、霧、雪など）のとき**
    先行車との車間距離が正確に検出できない場合があります。
  - **前方からの強い光（太陽光など）を受けたとき**
    先行車との車間距離が正確に検出できない場合があります。
  - **センサー部に雨滴、雪などが付着しているとき**
    先行車との車間距離が正確に検出できない場合があります。
  - **急な下り坂**
    先行車を検出していてブレーキ制御をしている場合、ブレーキが過熱してしまうおそれがあります。
  - **急なカーブ、急な上り坂、下り坂が繰り返される道**
    先行車を正確に検出できず、先行車に近づきすぎて思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 思わぬ事故につながるおそれがありますので、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）を使用しない場合はシステムをOFFにしてください。

⚠ 注意

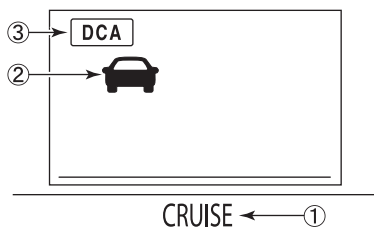
- 停止中の車両や自車速より極端に遅い車両に対しては、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）による制御も接近警報も行いません。料金所や渋滞の最後尾で停車中の車両や極端に速度の遅い車両などには十分注意してください。
- 急な割り込み車両、歩行者や自転車などの車両以外のものに対しては、制御又は接近警報を行いません。
- このシステムは先行車のリフレクター（反射器）を主に検出しているため、次の場合には､先行車を正確に検出できず､適切な作動ができない場合があります。
  - ・先行車のリフレクターが高い位置にある車（トレーラーなど）のとき
  - ・先行車の後部が著しく汚れているとき
  - ・先行車や他車線の車が路上の水や雪などを巻き上げて走っているとき
  - ・先行車や他車線の車からの排煙（黒煙）がひどい場合や、走行道路周辺で煙が発生して前方の視界が十分に見通せないとき。
  - ・先行車がリフレクター部にフィルムなどを貼った車やリフレクターが付いていない車、リフレクター部が破損している車のとき
  - ・後席やトランク内に極端に重い荷物を積んだとき
  - ・急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行しているとき
- 近距離ではセンサーの検出エリアが狭いため、自車線の端を走行する二輪車を検出できなかったり、間近に割り込んでくる先行車の検出が遅れたりして、適切な作動ができない場合があります。
- センサーの汚れを自動で判定する機能を備えておりますが､万全ではありません。状況によってはセンサーが汚れていても判定できない場合があります。また雪、氷などが付着したときも判定できない場合があります。このような状況では、適切な作動ができなくなるおそれがありますので、常に前方に注意して走行してください。また、センサー部はいつもきれいにしておいてください。なお、汚れを判定した場合は、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）は自動的に作動を中止します。
- 道路形状（急な上り坂や下り坂、カーブ路、カーブの出入り口、車線規制や工事中などで車線の幅が狭くなっている道）や自車の状況（ステアリング操作、車線内の位置、事故や故障で走行が不安定な場合など）によっては、一時的に先行車を検出できなくなったり、隣の車線の車両や周辺のものを検出して制御したり、警報が作動する場合があります。また、一時的に先行車を検出できず、適切な作動ができなくなる場合があります。

■ステアリングスイッチ（インテリジェントペダル〔ディスタンスコントロールアシスト〕）

ZPA0457

スイッチ

- システムのON／OFFができます。

■表示灯・警告灯・車両情報ディスプレイ

車両情報ディスプレイはメーター内にあります。

ZPA0458

①インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）警告灯（オレンジ）

インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）に異常があることをお知らせします。

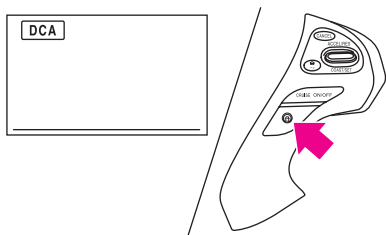
②先行車検出表示

先行車検出の有無をお知らせします。

③インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）表示灯

インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）がONになっていることをお知らせします。

■使いかた

①スイッチを押してシステムをONにします。
（表示灯が点灯します。）

ZPA0459

②車速が約5km/h以上になると、制御を開始します。

知識

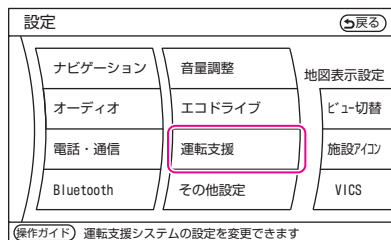
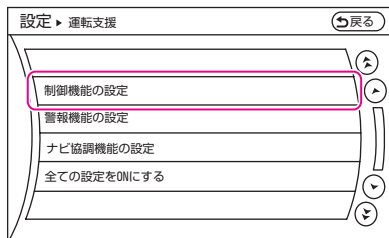
- ステアリングにあるスイッチを押すと、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）とLDP（車線逸脱防止支援システム）のON／OFFを同時に切り替えることができます。
- 以下の操作をすると、ステアリングにあるスイッチを押したときに使用するシステムを設定することができます。
  モニターの項目の選択方法については、ナビゲーションシステム取扱説明書「基本的な操作のしかた」をお読みください。

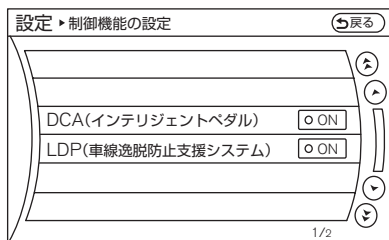
①ナビゲーションシステムの 設定 スイッチを押します。

ZPA0020

② 運転支援 を選択します。

ZPA0952

知識

③（制御機能の設定）を選択します。

ZPA0947

④ステアリングにあるスイッチを押したときに使用したいシステムをONに設定します。

ZPA0504

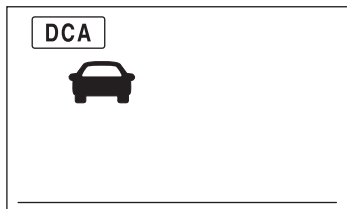
- （DCA（インテリジェントペダル））の設定がOFFになっているときに、ステアリングにあるスイッチを押してもインテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）を作動させることができません。
- （制御機能の設定）の中の項目がすべてOFFに設定されている場合に、ステアリングにあるスイッチを押すとメーター内のインテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）表示灯とLDP（車線逸脱防止支援システム）表示灯が点滅し、作動しないことをお知らせします。
- （全ての設定をONにする）を選択すると、（運転支援）で設定できるすべての機能がONになります。

知識

- ナビゲーションシステムのON／OFF設定は、ハイブリッドシステムを停止しても、再度設定を変更するまで、その状態が維持されます。
- ハイブリッドシステムを停止するとインテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）は自動的にOFFになります。

■システムの作動

先行車を検出したとき

●先行車検出表示が点灯します。

ZPA0460

先行車に近づいたとき

●アクセルペダルを戻すと、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）がブレーキをかけ減速します。先行車が停止した場合は、停止まで制御を行います。

●運転者がアクセルペダルを踏んだままの場合は、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）がペダルを押し戻し、アクセルペダルを戻す操作を支援します。

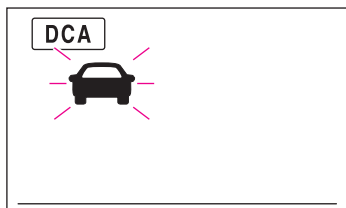
注意

- 先行車検出表示が点灯していないときは、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）による制御も警報も行いません。
- アクセルペダルの踏み方や踏み込み量により、アクセルペダルを押し戻す力が十分に発生できない場合があります。
- インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）の制御により自車が停止したときは、“ピー”というブザー音とともにシステムは自動的に作動を中止します。（車速が再び約5km/hを上回ると、自動的に作動が復帰します。）
- 停止状態を保持する機能はありません。自車が停止したときは、ブレーキを踏んで車両を停止させてください。また、状況によって停止できない場合があります。必要に応じてブレーキを踏み、車両を停止させてください。

知識

- インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）の制御によりブレーキが作動したときは、自車の制動灯が点灯します。
- ブレーキが作動したとき、音がすることがありますが異常ではありません。

運転者によるブレーキ操作が必要だとシステムが判断したとき

●ブザー音と車両情報ディスプレイの表示とともに、アクセルペダルを押し戻す力を発生させ、アクセルペダルからブレーキペダルへの踏み替え操作を支援します。
・ブザーが“ピッ、ピッ、ピッ…”と鳴ります。
・車両情報ディスプレイの先行車検出表示が点滅します。

ZPA0461

■運転者操作時の作動

●次の場合は運転者の操作を優先します。
・アクセルペダルを踏み増したとき。
・ブレーキペダルを踏んでいるとき。

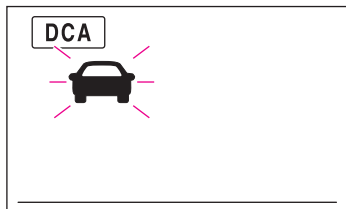
⚠ 注意

- アクセルペダルを押し戻す力が発生（ペダル制御）しているときに、運転者がアクセルペダルを踏み増すと、ペダル制御を中止します。
- アクセルペダルを踏んでいるときは、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）の制御によるブレーキ操作は行いません。
- ブレーキペダルを踏んでいるときは、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）の制御によるブレーキ操作も警報も行いません。
（先行車検出表示が消灯します。）
- インテリジェントクルーズコントロールをセットしたときは、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）の作動が中止されます。

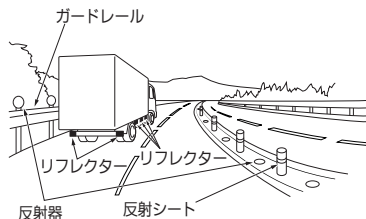
■接近警報

先行車の減速度合いが大きい場合や他車の割り込みなどによって、十分な減速ができない状態で先行車に接近したときは、次のようにブザーと車両情報ディスプレイの表示によって運転者に注意を促します。

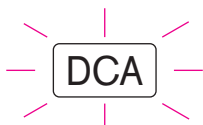
この場合は、ブレーキを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。

・ブザーが“ピッ、ピッ、ピッ…”と鳴ります。
・車両情報ディスプレイの先行車検出表示が点滅します。

ZPA0461

⚠注意

- 警報ブザーが頻繁に鳴るような状況では、システムを使用しないでください。
- 短い車間距離でも、次の場合には警報が作動しないことがあります。
  - ・先行車との相対速度が小さいとき。（ほぼ同じ速度で走っているとき）
  - ・先行車のほうが自車より早いとき。（車間距離が次第に離れているとき）
  - ・他車が至近距離に割り込んできたとき。
- 料金所や渋滞の最後尾で停車中の車両や、自車速より極端に車速が遅い車両に対しては警報が作動しません。
- 道路形状（カーブ路、カーブの出入り口、車線規制や工事中などで車線の幅が狭くなっている道）や、自車及び周辺車両の状況（ステアリング操作、車線内の位置、事故や故障で走行が不安定な場合など）によっては、一時的に隣車線の車両のリフレクターや、道路脇に設置されている反射器、反射シート、ガードレールの反射器などを検出して接近警報が作動する場合があります。

ESD0984Z

■警告表示

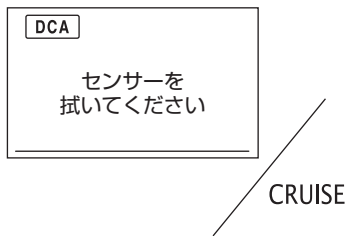
●次の場合は、“ピー”というブザー音とともにインテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）表示灯が点滅し、自動的に作動が停止します。
- ・ドライブモードをSNOWにしたとき
- ・ABS又はVDC（トラクションコントロールを含む）が作動したとき
- ・VDCをOFFにしたとき
- ・前方から強い光（太陽光など）を受けたとき

ZPA0398

➡ 処置

●インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）を再び作動させる場合は、停止したときの状態が改善されてから、スイッチでシステムを一旦OFFにしたあと、再びシステムをONにしてください。

アドバイス

●上記の操作をしてもONにできない、又は表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

●次の場合は“ピー”というブザー音とともに車両情報ディスプレイに「センサーを拭いてください」と表示され、警告灯が点灯し、自動的に作動が停止します。
- ・センサー部が汚れ、車間距離の測定が困難になったとき

ZPA0463

➡ 処置

●点灯したときは、安全な場所に停車して、一度ハイブリッドシステムを停止してから、汚れている部位を柔らかい布で清掃し、再びインテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）をONにしてください。

アドバイス

●上記の操作をしてもONにできない、又は表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

●次の場合は“ピー”というブザー音とともに警告灯が点灯し、自動的に作動が停止します。
・インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）に異常があるとき

CRUISE

ESA1445Z

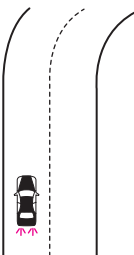
➡ 処置

- 点灯したときは、安全な場所に停車して一度ハイブリッドシステムを停止してから、再びインテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）をONにしてください。

アドバイス

- 上記の操作をしてもONにできない、又は表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

■センサー部の取り扱い

インテリジェントクルーズコントロールのセンサー部の取り扱い…P.204をお読みください。

ナビ協調機能

●ナビゲーションシステムからの情報をもとに前方のカーブの大きさに応じてブレーキを制御するとともに、アクセルペダルを踏んでいる場合には、アクセルペダルを押し戻す力を発生させることで、運転者の減速操作の支援を行う機能です。

作動条件

●ナビ協調機能は、以下の条件が満たされている場合に作動します。
・インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）を使用しているとき。
（先行車を検出していないとき）
・ナビ協調機能がONのとき。（P.233）

〈作動例〉

走行状況	カーブ路に近づいた場合	
例	ZPA0018	カーブに近づいた場合は、運転者がアクセルを戻すと、カーブの大きさに応じて滑らかにブレーキをかけ減速します。 運転者がアクセルを踏んだままの場合には、アクセルペダルを押し戻す力を発生させ、運転者がアクセルペダルを戻す操作を支援します。

⚠ 注意

- ナビ協調機能は、前方のカーブの大きさに応じて、システムの減速能力の範囲内で減速するものであり、カーブを自動的に走行したり、法定速度を遵守した走行を支援するものではありません。
  法定速度を守り、安全にカーブを走行するためのブレーキ操作は、必ず運転者が行ってください。
- アクセルペダルを踏んでいるときは、システムの制御によるブレーキ操作は行いません。

注意

- ナビ協調機能には限界があります。また、状況により作動しない場合がありますので、ナビ協調機能を過信しないでください。
  脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意及び雨・霧などの視界不良を補助するものではありません。
  周囲の状況に十分注意し、安全運転に心がけてください。
- ナビ協調機能の減速能力には限界があります。十分に減速できないとシステムが判断した場合は、ブザー及び表示による警報で注意を促します。
- この機能はナビゲーションシステムからのカーブ情報を利用しているため、ナビゲーションシステムの位置検出が正しく行えない状況や、ナビゲーションシステムの地図に無い道路を走行しているとき、車線規制や工事などで、ナビゲーションシステムの地図情報と実際の道路形状が異なっているとき（詳しくは、ナビゲーションシステム取扱説明書「知っておいていただきたいこと」をお読みください）、分岐路等前方に複数の道路がある場合には制御や警報のタイミングがずれたり、適切に制御や警報を行えない場合があります。周囲の状況に十分注意し、必要に応じてブレーキまたはアクセル操作を行って走行してください。
- カーブ走行路での運転支援を目的としているので、それ以外の道路（カーブと認識されないＴ字路や交差点）では作動しません。
- 道路形状（急な上り坂や下り坂のカーブ路など）によっては、制御や警報のタイミングがずれたり、適切に制御や警報を行えない場合があります。
- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので、システムを使わないでください。
  - ・凍結路や積雪路など滑りやすい路面
  - ・急な下り坂でカーブが連続する道

  カーブを検出していてブレーキ制御をしている場合、ブレーキが加熱してしまうおそれがあります。
- 道路から自車マークが外れた状態から、道路上に戻ってきたあとしばらくの間は制御が作動しない場合があります。
  - ・駐車場を出たあと
  - ・SA（サービスエリア）、PA（パーキングエリア）を出たあと
  - ・地図にない道路を走行したあと

■ナビ協調機能のON・OFF設定

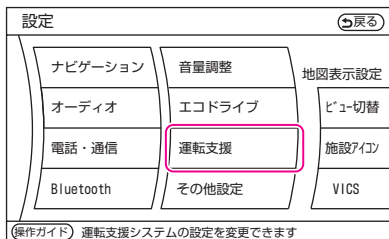
モニターの項目の選択方法については、ナビゲーションシステム取扱説明書「基本的な操作のしかた」をお読みください。

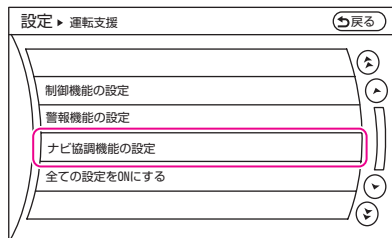
※車種により、画面表示が一部異なります。

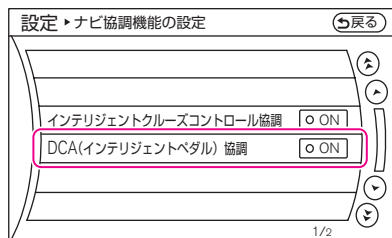
ON／OFFのしかた

①設定スイッチを押します。

ZPA0020

②運転支援を選択します。

ZPA0952

③ナビ協調機能の設定を選択し、機能のON／OFFを選択します。

ZPA0950

④DCA（インテリジェントペダル）協調を選択し、ON／OFFを選択します。

ZPA0505

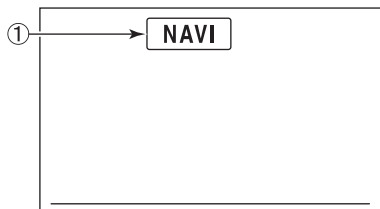
注意

- ナビ協調機能を使用しないときは、設定をOFFにしてください。
- 設定をOFFにした場合、ナビ協調機能による制御も警報も行いません。
  ナビ協調機能を作動させたいときは、設定をONに戻してください。

知識

- 全ての設定をONにするを選択すると、運転支援で設定できるすべての機能がONになります。
- ナビ協調機能のON／OFF設定は、ハイブリッドシステムを停止しても、再度設定を変更するまで、その状態が維持されます。

■車両情報ディスプレイ

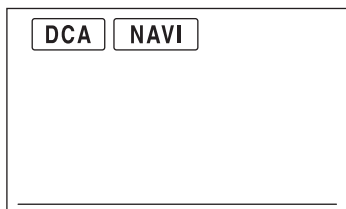
車両情報ディスプレイはメーター内にあります。

ZPA0447

①ナビ協調機能表示

制御対象となるカーブを検出している場合、点灯します。

■ナビ協調機能の作動

制御対象となるカーブを検出したとき

●ナビ協調機能表示が点灯します。

ZPA0466

制御対象となるカーブに近づいたとき

●アクセルペダルを戻すと、システムがブレーキをかけて減速します。

●運転者がアクセルペダルを踏んだままの場合は、システムがペダルを押し戻し、アクセルペダルを戻す操作を支援します。

知識

●自車の推定進路は以下のように判定します。

ルートガイドを行っている場合

・ナビゲーションシステムのルートを進路と推定します。

ルートガイドを行っていない場合

・ナビゲーションシステムの自車マーク前方道路を進路と推定します。

また、分岐路の場合は以下のように進路方向の推定を行います。

・道路種別による進路方向の推定

例：国道と県道での分岐路の場合は、国道を進路方向として推定します。

・道路種別が同様の場合は、みちなりの道路を進路方向として推定します。

■運転者操作時の作動

●次の場合は運転者の操作を優先します。
・アクセルペダルを踏み増ししたとき。
・ブレーキペダルを踏んでいるとき。

注意

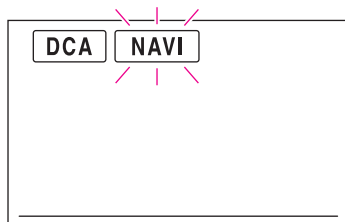
●アクセルペダルを押し戻す力が発生（ペダル制御）しているときに、運転者がアクセルペダルを踏み増すと、ペダル制御を中止します。
●アクセルペダルを踏んでいるときは、システムの制御によるブレーキ操作は行いません。
●ブレーキペダルを踏んでいるときは、システムの制御によるブレーキ操作も警報も行いません。（ナビ協調機能表示が消灯します。）
●インテリジェントクルーズコントロールをセットしたときは、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）の作動が中止されるため、ナビ協調機能の作動も中止します。
●ナビ協調機能表示が点灯していないときは、システムによる制御も警報も行いません。
●ナビ協調機能作動中に先行車を検出した場合は、先行車に対する車間制御を優先するため、ナビ協調機能は作動しません。
（ナビ協調機能表示が消灯します。）
機能によって制御内容が異なりますので、作動中の機能を車両情報ディスプレイの表示で必ず確認してください。

知識

●ナビ協調機能の制御によりブレーキが作動したときは、自車の制動灯が点灯します。

■警報及び警告表示

●ナビ協調機能により十分に減速できないとシステムが判断した場合は、次のようにブザーと車両情報ディスプレイの表示によって運転者に注意を促します。
この場合は、ブレーキを踏んで減速し、適切な車速で走行してください。

・ブザーが“ピッ、ピッ、ピッ、ピッ…”と鳴ります。
・車両情報ディスプレイのナビ協調機能表示が点滅します。

ZPA0467

ECOペダル

アクセルペダル操作に応じてアクセルペダルの踏力を少し重くすることで、エコドライブをサポートするシステムです。

● ドライブモードセレクター（P.169）でドライブモードをECOにして走行中に、ECOペダルが作動します。
● ECOドライブインジケーター（P.172）と連動して作動します。

〈作動例〉

アクセルペダル踏み込み状態	なし<停車時>	エコ運転領域内	エコ運転領域を超えそうなとき	エコ運転領域を超えたとき
ECOドライブインジケーター表示	<消灯>	ECO（緑色点灯）	ECO（緑色点滅）	ECO（オレンジ色点灯）
ECOペダルの作動				

ZPA0468

知識

● 次の場合にはECOペダルは作動しません。
・セレクトレバーがN又はRのとき
・インテリジェントクルーズコントロールが作動しているとき
● ECOペダルの反力はアクセルペダル操作を妨げるものではありません。加速が必要な場合は通常通り加速することができます。
● ECOペダル反力発生中にドライブモードセレクターをECOモードから他のモードに切り替えた場合は、一旦、アクセルペダルから足を離すまでECOペダル反力を保持します。
● すばやくアクセルペダルを踏み込んだ場合は、ECOペダル反力は発生しません。
● 故障が原因でECOペダル反力を発生できない場合は、ECOペダル制御が中止されますが、通常のアクセルペダルとして走行することができます。

■ECOペダル反力調整機能

ECOペダル反力の強さを調整することができます。

モニターの項目の選択方法については、ナビゲーションシステム取扱説明書「基本的な操作のしかた」をお読みください。

※車種により、画面表示が一部異なります。

知識

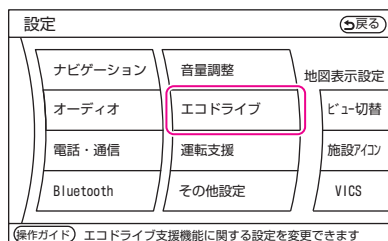
- ECOペダルの反力設定はハイブリッドシステムを停止しても、再度設定を変更するまで維持されます。

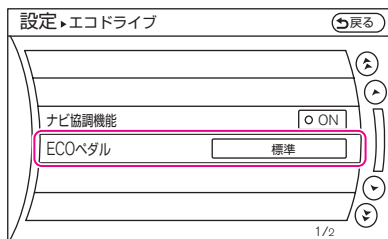
設定変更のしかた

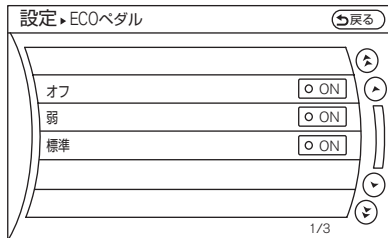
モニターの項目の選択方法については、ナビゲーションシステム取扱説明書「基本的な操作のしかた」をお読みください。

①ナビゲーションシステムの 設定 スイッチを押します。

ZPA0020

②エコドライブ を選択します。

ZPA0953

③ECOペダル を選択します。

ZPA0470

④設定したい項目を選びます。

ZPA0471

知識

- オフ設定を選択した場合は、ECOペダル制御を停止し、通常のアクセルペダルとして使用できます。

ブレーキアシスト（プレビュー機能付）

ブレーキアシスト

ブレーキアシストは、ブレーキペダルを踏む力が一定以上の強さを超えると、より大きな制動力を発生することにより、運転者のブレーキ操作を補助する装置です。

アドバイス

- ブレーキアシストはあくまでも運転者のブレーキ操作を補助する装置です。ブレーキアシストの付いていない車と同様に、スピードを控えめに、早め早めのブレーキで安全運転をしてください。

プレビュー機能

プレビュー機能は、車両前部に取り付けたセンサーで、自車線前方の車両との距離や相対速度を測定し、緊急制動が必要と判断した場合には運転者がブレーキペダルを踏む前に自動的にブレーキに予圧をかけ、運転者がブレーキを操作したときの応答性を向上させるシステムです。

- 車速32km/h以下では作動しません。
- 次の場合は、自動的にシステムが解除します。
  - ・運転者がブレーキペダル又はアクセルペダルを踏んだとき。
  - ・システムが緊急制動を必要と判断したが、運転者がブレーキペダル又はアクセルペダルを踏まなかったとき。（約1秒後に解除します。）

注意

- プレビュー機能は、自動的に車両を減速させるシステムではありません。プレビュー機能の付いていない車と同様に、運転者のブレーキ操作が必要です。早め早めのブレーキで安全運転をしてください。
- プレビュー機能には限界がありますので、システムを過信しないでください。脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意を補助するものではありません。プレビュー機能の付いていない車と同様に、運転者は周囲の状況に注意し、安全運転をしてください。
- 次のような場合は、システムが正しく機能しない場合がありますが、プレビュー機能のない普通のブレーキとして使えます。（ブレーキアシストは働きます。）
  - ・センサー部が汚れていたり、雨滴、雪などが付着した場合、また前方から強い光（太陽光など）を受けたときは前方の車両を検出できない場合があります。
  - ・道路形状（カーブなど）や自車の状況（ステアリング操作や車線内の位置など）によって、前方の車両を検出できなかったり、隣の車線の車両や周囲のものを検出して作動するとき。

■センサー部の取り扱い

P.204をお読みください。

インテリジェントブレーキアシスト

レーダーセンサーにより自車線前方の車両との距離を測定し、ほぼ真後ろから自車線前方の車両に追突するおそれのあるとき、運転者による緊急の回避操作が直ちに必要だと判断した場合は警報を鳴らし、運転者の操作により追突が避けられないと判断した場合はブレーキをかけて減速し追突時の被害を軽減します。

インテリジェントブレーキアシストは、以下の条件のとき作動します。
・電源ポジションがONのとき。
・自車の車速が約15km/h以上のとき。
・自車の車速が自車線前方の車両の車速より約15km/h以上高いとき。

	例	
1	レーダーセンサーにより、自車線前方の車両を検出します。	自車(100km/h) 前方の車両(80km/h) ZPA0399
2	追突を避けるため、緊急の回避操作が直ちに必要だと判断した場合、警報を鳴らし運転者の操作を促します。	ブザー音“ピピピピ・・・・” 自車 前方の車両 ZPA0400
3	運転者の操作により追突が避けられないと判断した場合、ブレーキをかけて減速し、追突時の被害を軽減します 。	ブレーキ制御作動（制動灯が点灯します） 自車 前方の車両 ZPA0402

⚠ 注意

- インテリジェントブレーキアシストは追突を自動的に回避するシステムではありません。常に安全運転を心がけてください。
- システムの制御によりブレーキ操作を行いますが、自動的に車両を停止させるシステムではありません。
- 二輪車に対してシステムは作動しません。
- 急な割り込み車両、歩行者や動物、道路上の落下物に対しては、システムは作動しません。
- 前方の車両との距離が極端に短い場合には、システムは作動しません。
- 次のような場合には、システムは作動しません。
  - ・前方から強い光（太陽光など）を受けたとき。
  - ・センサー窓部が汚れているとき。
- このシステムは前方の車両のリフレクター（反射器）を主に検出しているため、次の場合には前方の車両を正確に検出できず、システムが作動しない場合があります。
  - ・前方の車両のリフレクターが高い位置にある車（トレーラーなど）のとき。
  - ・前方の車両の後部が著しく汚れているとき。
  - ・悪天候（雨、霧、雪など）のとき。
  - ・前方の車両や他車線の車が路上の水や雪などを巻き上げて走っているとき。
  - ・前方の車両や他車線の車からの排煙（黒煙）がひどいときや、走行道路周辺で煙が発生して前方が十分に見通せないとき。
  - ・前方の車両が、リフレクター部分にフィルムなどを貼った車やリフレクターが付いていない車、リフレクター部が破損している車のとき。
  - ・後席やトランク中に極端に重い荷物を積んでいるとき。
  - ・急な加減速を行っているとき。
  - ・急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行しているとき。
- 道路形状（カーブ路、カーブの出入り口）や自車の状況（ステアリング操作、車線内の位置）、前方の車両の状況（車線内の位置）によっては、システムが作動しない場合があります。
- 前方の車両のそばの反射器（ガードレールの反射器や隣車線の車両のリフレクターなど）を検出してしまうおそれがあります。
- 自車走行線の近くに反射物や路面標識、白いレーンマーカーなど反射しやすいものがあると、システムが検出してしまうおそれがあります。
- センサーの汚れを自動的に判定する機能を備えておりますが万全ではありません。
  状況によってはセンサーが汚れていても判定できない場合があります。また雪、氷などが付着したときも判定できない場合があります。
  このような状況では、システムが作動しない場合がありますので、センサー部はいつもきれいにしておいてください。
- 状況によっては外部の騒音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

■警告表示

インテリジェントブレーキアシスト警告灯はメーター内にあります。

ZPA0472

- 次の場合は、システムが作動しなくなります。
  “ピー”というブザー音とともにインテリジェントブレーキアシスト警告灯が点灯し、お知らせします。
  ・センサー部が汚れ、前方の車両との距離の測定が困難になったとき。
  ・インテリジェントブレーキアシストに異常があるとき。

処置

- “ピー”というブザー音とともに点灯した場合は、安全な場所に停車し、一度ハイブリッドステムを停止してから、センサー部が汚れていないか確認してください。
  汚れているときは、汚れている部分を柔らかい布で清掃してから、ハイブリッドシステムを再始動してください。
  センサー部が汚れていないときは、再度ハイブリッドシステムを始動してください。

アドバイス

- 上記の操作をしても表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

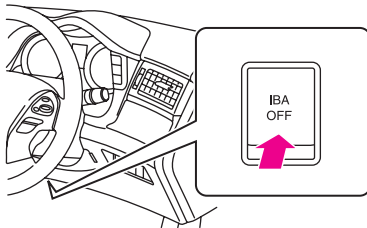
- 次の場合は、システムが一時的に作動しなくなります。
  インテリジェントブレーキアシスト警告灯が点灯し、お知らせします。(ブザー音は鳴りません。)
  ・前方から強い光(太陽光など)を受けたとき。

知識

- 一時的に作動しない状態から復帰すると、インテリジェントブレーキアシスト警告灯は消灯します。

■インテリジェントブレーキアシストOFFスイッチの使いかた

インテリジェントブレーキアシストの作動をやめたいときに使います。

- ハイブリッドシステム始動後、スイッチを1秒以上押すと、インテリジェントブレーキアシストの機能を停止します。（メーター内の表示灯が点灯）
- もう一度1秒以上スイッチを押すとインテリジェントブレーキアシストは再び作動し、表示が消灯します。

ZPA0473

知識

- ハイブリッドシステム停止後もインテリジェントブレーキアシストのON／OFF状態は最後に操作した状態で記録されます。

■センサー部の取り扱い

P.204をお読みください。

ABS

■ABSとは

急ブレーキ時や滑りやすい路面でのブレーキ時に、タイヤのロック（車輪の回転が止まる）を防止して、車両の安定性を向上させると共にハンドル操作による障害物回避をしやすくしたシステムです。

■ABS付車の取り扱いについて

急ブレーキを踏まなければいけないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけることが大切です。万一の危険な状況では次のようにしてください。

①危険だと感じたら、ためらわず思いきりブレーキペダルを踏み込んでください。

TSC0679Z

②ABSが作動すると、ブレーキペダルに振動が伝わったり、作動音が聞こえたりします。これはABSの正常な作動によるものです。そのままブレーキペダルを踏み続けてください。

③障害物回避の際には、ブレーキペダルを踏みながらハンドル操作をしてください。

警告

- ABSはあくまでも運転者のブレーキ操作を補助するシステムです。ABSの付いていない車と同様に、コーナーの手前では十分な減速が必要です。早め早めの操作で安全運転をしてください。
- ABSはブレーキ時の車両の安定性、操舵性を確保しようとするための装置で、制動距離が短くなるとは限りません。でこぼこ道、じゃり道、積雪路などでは、ABSの付いていない車より制動距離が長くなることがあります。このような道を走行するときは、特に速度を控えめにし、車間距離を十分とって運転してください。
- ABSは各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。タイヤ交換時は、必ず指定サイズのタイヤを4輪に装着してください。指定サイズ以外ではABSが正常に作動しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- 電源ポジションをONにしたときや、ハイブリッドシステム始動後最初の発進時に、エンジンルームからモーターなどの音が聞こえることがありますが、これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。
- 車両を確実に停止させるために、ABSは低速では作動しません。路面の状況により異なりますが、約10km/h以下では作動しません。

室内装備の使いかた 4

エアコンの使いかた

エアコンについて

■内気循環、外気導入について

通常は吸い込み口を自動制御、又は外気導入で使い、内気循環は必要なときだけ使ってください。

⚠ 警告

- 内気循環で長時間使用すると、窓ガラスがくもりやすくなり視界が損われ危険ですので、一時的に使ってください。

アドバイス

- 外気導入に固定していると、夏場など外気温が高いときは、冷房の効きが悪くなる場合があります。その場合は、一時的に内気循環にしてください。

知識

- リチウムイオンバッテリーの温度が高くなると、内気循環から外気導入に自動的に変更することがあります。

■自動温度調節について

自動温度調節は日射センサーと温度センサーで行っています。

アドバイス

- センサーをふさいだり、クリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。

ZAA0512

ZAA0513

■長期間エアコンを使わないとき

エアコン装置のオイルの循環を切らさないために、ときどき冷房又は除湿暖房をしてください。

アドバイス

- 外気温が0℃近くまで下がるとエアコン装置が作動しないことがあるため、暖かい日に行ってください。

■エアコンガス

この車のエアコンガスはHFC134a（R134a）を使用しています。

アドバイス

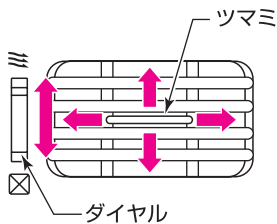
- エアコンガスは必ずHFC134a（R134a）を入れてください。
- 地球温暖化防止のため大気放出はしないでください。
- エアコンの冷え具合が悪いときは、日産販売会社にご相談ください。

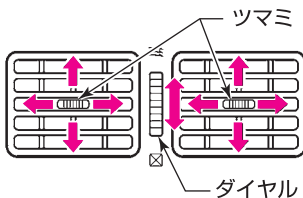
吹き出し口について

■吹き出し風の調節

●吹き出し口のツマミを上下又は左右に動かして風向きを調節します。
●ダイヤルを回して風量の調節と開閉ができます。
(閉：⊠、開：≋)

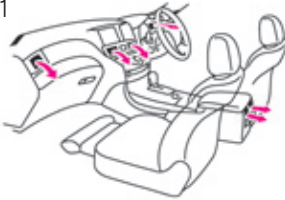
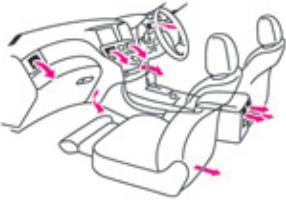
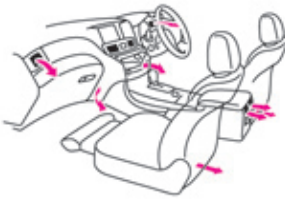
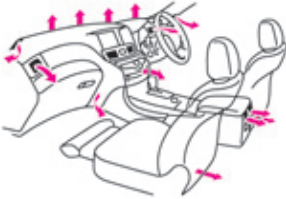
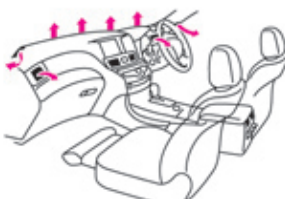
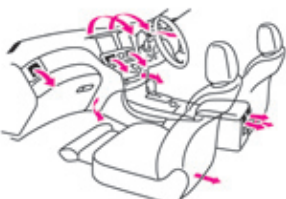
前席中央吹き出し口

前席左右吹き出し口

ZAA0514

後席吹き出し口

ZAA0515

⚠ 注意

●特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方などには、吹き出し風が長時間連続して当たらないように運転者が注意してください。
低温やけどや思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

知識

●冷房時、吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがありますが、これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので、異常ではありません。

■吹き出し口の切り替えと使用目的

使用目的に合わせて、吹き出し口を切り替えます。

吹き出し口切り替えスイッチ位置、デフロスタースイッチ位置…P.253
アッパーベント風の切り替え…P.257

使用目的	上半身に送風したいとき	上半身、足元に送風したいとき
表　示	ECE0121Z	ECE0122Z
吹き出し口	※1 ZAA0552	ZAA0553

使用目的	足元に送風したいとき	足元への送風と窓ガラスのくもりを取りたいとき
表　示	ECE0123Z	ECE0124Z
吹き出し口	ZAA0554	ZAA0555

使用目的	前面及び側面ガラスのくもりを取りたいとき	上半身に間接的な送風をしたいとき（アッパーベント※2）
表　示	ECE0125Z	ZAA0593
吹き出し口	ZAA0556	ZAA0557

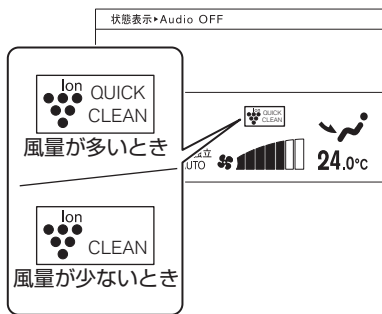
※1：冷房開始直後は足元の温度を下げるために足元からも冷風が出ることがあります。車内の温度が安定すると足元の冷風は止まります。

※2：フォレストスイッチがONのとき、ゆらぎ風（P.251）が作動します。

フォレストエアコンについて

■プラズマクラスターイオン®フルオートエアコン（除菌機能付）

高濃度プラズマクラスターイオンをエアコンの吹き出し風に含ませ、除菌とともに内装に染みついたにおいを低減します。さらに肌の保湿効果をプラスしました。

●送風中は常時作動し、風量によりCLEANモードとQUICK CLEANモードが切り替わります。

ZAA0465

知識

- プラズマクラスター、プラズマクラスターイオン及びPlasmaclusterはシャープ株式会社の商標です。
- 運転席側の吹き出し口周辺で小さな音が聞こえることがありますが異常ではありません。

■排出ガス・臭気検知式内外気自動切換え機構

車外の排気ガスや不快なにおい（家畜臭、工場の排気臭など）及び車内の不快なにおい（タバコ、食べ物のにおいなど）をセンサーで検知し、吸い込み口を切り替えるシステムです。

●車内のセンサーでにおいを検知したときは、風量を少し多めにしてすばやく車内のにおいを除去します。

●フォレストスイッチを押すと作動します。
（スイッチの表示灯が点灯）
🔍フォレストエアコンの作動…P.258

知識

- 風向きによっては排気ガス・においを検知できないことがありますが異常ではありません。
- ハイブリッドシステム始動直後は作動しないことがありますが異常ではありません。

■湿度制御機能

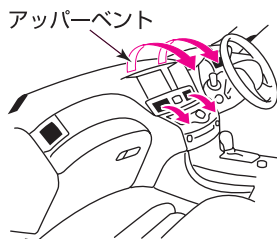
車内の湿度、窓面の温度をフロントガラス上部のセンサーで検知し、車内の乾燥を抑えます。また、窓ガラスのくもりはじめを検知したときは、自動的にくもり取りを行います。

●AUTOスイッチ又はフォレストスイッチを押すと作動します。（スイッチの表示灯が点灯し、モニターに「AUTO DEF」と表示されます。）
フォレストエアコンの作動…P.258

アドバイス

- 外気温が0℃近くまで下がると、湿度制御機能が作動しないことがあります。
- 風量又は吹き出し口をマニュアル操作すると、モニターの「AUTO DEF」の表示が消灯し、湿度制御機能がOFFになります。

■ゆらぎ風

前席中央の上半身吹き出し口及びアッパーベントからの吹き出し風をランダムに制御して自然のそよ風ような空調風を実現します。

ZAA0516

●フォレストスイッチを押します。（スイッチの表示灯が点灯）

●上半身のみ又は足元のみに送風しているときに、車内の温度が安定すると自動的に作動を開始します。

知識

- 風量や吹き出し口をマニュアル操作で変えた場合は作動しません。
- ハイブリッドシステム始動直後は作動しないことがありますが異常ではありません。
- 日射量、外気温、吹き出し口の温度に応じて、最適なパターンに自動で切り替わります。

■高性能フィルター

●ほこりや粉じん、花粉などを集じんし、ブドウポリフェノールによって除去するクリーンフィルターを装着しています。

●集じん性能を維持するため、メンテナンスは確実に行ってください。
交換時期：
1年ごと又は12,000km走行ごと

アドバイス

- 交換時期に満たない場合でも、エアコンやヒーターの吹き出し風量が極端に減少したり、窓ガラスがくもりやすくなった場合は交換してください。

●フィルターの取り付け、交換などについては、日産販売会社にご相談ください。

■アロマディフューザー

『みどりの香り』『香木の香り』の2種類の香りを交互に、助手席ドア側の吹き出し口から供給します。

- フォレストスイッチを押します。（スイッチの表示灯が点灯）
- 車内の温度が安定すると自動的に作動を開始します。
- 2種類の香りは約1時間ごとに切り替わります。切り替わったときの最初の15分間は、香りを間けつ的に供給します。

みどりの香り（青葉アルコール）

ZAA0606

多くの植物に含まれる成分です。気分を落ち着かせる効果があるといわれ、疲労軽減効果が検証されています。

香木の香り（ボルネオール）

ZAA0605

熱帯雨林に自生する竜脳樹（りゅうのうじゅ）やラベンダーに含まれる成分です。気分を落ち着かせ、集中力を高める効果があるといわれています。

知識

- ハイブリッドシステム始動直後は作動しないことがありますが異常ではありません。
- 風量が多いときや、吹き出し口がデフロスターのときなどは、香りが出ないことがありますが、異常ではありません。

アドバイス

- 性能を維持するため、アロマディフューザーのカートリッジを定期的に交換してください。
  交換時期：1年ごと又は12,000km走行ごと。または香りが弱くなったとき。
- カートリッジの取り付けや、交換などについては、日産販売会社にご相談ください。

■インテリジェントキーとの連動機能について

エアコンの設定をインテリジェントキーごとに自動的に記憶します。

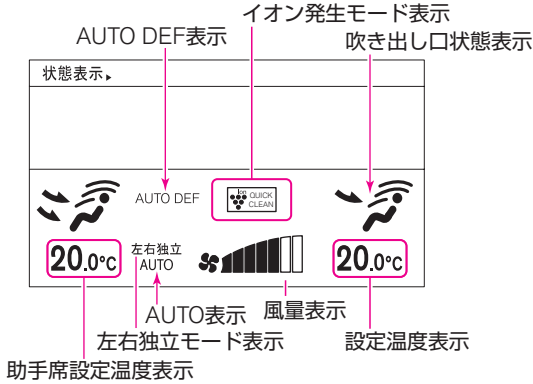
- 電源ポジションをOFFにすると、そのときのエアコンの設定が自動的に記憶されます。
- 電源ポジションをONにしたとき、記憶していたエアコンの設定を自動的に呼び出します。

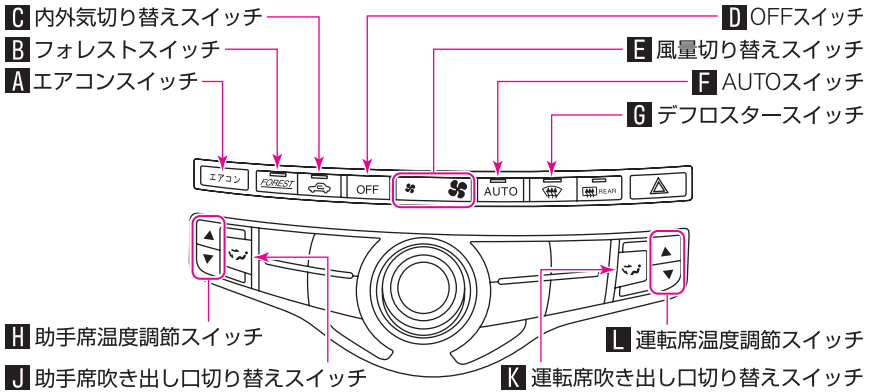
知識

- 設定が呼び出された場合は、モニターに「ご使用のキーと連動しました」と表示されます。（前回呼び出したインテリジェントキー以外と連動した場合のみ）

フォレストエアコン

●エアコンは、ハイブリッドシステムを作動させた状態で使ってください。

■エアコン画面表示

ZAA0780

■操作スイッチ

ZAA0781

オートで使うとき

吹き出し口、風量、内外気切り替えを自動調節して設定した温度に保ちます。

■作動のさせかた

①AUTOスイッチFを押します。
（スイッチの表示灯が点灯）
②運転席温度調節スイッチLを押して希望の温度に調節します。
・温度の調節範囲は18～32℃です。
③フォレストスイッチBを押して、吸い込み口を自動制御に切り替えます。
（スイッチの表示灯が点灯）

■止めかた

OFFスイッチDを押します。

知識

- オートで使用中に、風量、吹き出し口をマニュアル操作するとモニターの「AUTO」、「AUTO DEF」の表示は消えますが、操作したスイッチ以外は自動調節されます。
- 外気温が0℃近くまで下がると、エアコンスイッチが点灯していてもエアコンが作動しないことがあります。
- ハイブリッドシステム始動直後でエンジン冷却水の水温が低いときは、足元への吹き出し風量が少なくなります。
- 外気温が低いときは、外気温に応じてフロントデフロスターへの風量が多くなります。

設定を変えて使うとき

■内気循環・外気導入の切り替えかた

●内外気切り替えスイッチCを押すごとに内気循環、外気導入に切り替わります。

●フォレストスイッチBを押すと自動制御に切り替わります。

表示灯	使用目的
内気循環 ZAA0526 点灯	トンネル内や渋滞などで外気が汚れているときや、早く冷暖房したいとき。
外気導入 ZAA0528 消灯	外気を取り入れたいときや、タバコの煙などを外に出したいとき。
自動制御 ※	車内の温度や車内外の不快なにおいに応じて、吸い込み口を自動制御させるとき。

※自動制御時は、内外気切り替えスイッチCの表示灯が制御に合わせて点灯・消灯します。

※外気温が0℃以下のときにフォレストスイッチBを押すと、スイッチの表示灯は点灯しますが、不快なにおいに応じた自動制御は行われません。

■風量の切り替えかた

●風量切り替えスイッチEを押すごとに切り替わります。

- ：風量を多くする
- ：風量を少なくする

■吹き出し口の切り替えかた

●運転席吹き出し口切り替えスイッチK、又は助手席吹き出し口切り替えスイッチJを押して切り替えます。

●運転席側と助手席側のスイッチで別々に吹き出し口を切り替えることができます。

ESE1120Z

アッパーベント風については、アッパーベント風の切り替え…P.257をお読みください。

■窓ガラスのくもりの取りかた

- デフロスタースイッチGを押します。
  （スイッチの表示灯が点灯）
  デフロスターから風が吹き出し、吸い込み口が外気導入になります。

- 止めるときは、もう一度スイッチを押します。
  （スイッチの表示灯が消灯）

注意

- デフロスタースイッチGをONにしているときは、エアコンの設定温度を低くすると、フロントウインドーガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

アドバイス

- デフロスタースイッチGをONにしているときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。

知識

- エアコンがOFFのとき、デフロスタースイッチGを押すとエアコンも自動的に作動します。
- 手動でデフロスタースイッチGをONにしているとき、フォレストスイッチBがOFFになります。
  フォレストエアコンの作動…P.258

■エアコンの切り替えかた

モニターの項目の選択方法については、ナビゲーションシステム取扱説明書「基本的な操作のしかた」をお読みください。

ZAA0893

①エアコンスイッチAを押します。
（モニターにエアコン設定画面が表示されます）

②A/Cを選択するごとにエアコン（冷房・除湿機能）の作動／停止が切り替わります。

知識

- エアコン（冷房・除湿機能）が作動していないときは、エアコン設定画面内の項目を選択できません。
- 外気温が0℃近くまで下がると、表示灯が点灯していてもエアコン（冷房・除湿機能）が作動しないことがあります。

■運転席と助手席を別々に温度調節する

🔍モニターの項目の選択方法については、ナビゲーションシステム取扱説明書「基本的な操作のしかた」をお読みください。

ZAA0894

①エアコンスイッチAを押します。（モニターにエアコン設定画面が表示されます）

②(左右独立)を選択するごとに左右独立のON／OFFが切り替わります。

③運転席側と助手席側の温度調節スイッチ（L、H）及び吹き出し口切り替えスイッチ（K、J）で別々に温度調節及び吹き出し口の切り替えをします。（左右独立モード）

知識

- 助手席側の温度調節及び吹き出し口切り替えを行っても、自動的に左右独立モードに切り替わります。
- デフロスタースイッチの表示灯が点灯しているときは、左右独立モードに切り替えることができません。

■アッパーベント風の切り替え

🔍モニターの項目の選択方法については、ナビゲーションシステム取扱説明書「基本的な操作のしかた」をお読みください。

ZAA0895

①エアコンスイッチAを押します。（モニターにエアコン設定画面が表示されます）

②(Upper Vent)を選択するごとにアッパーベントのON／OFFが切り替わります。

知識

- 外気温が－10℃以下のときは作動しないため、選択できません。

目次 警告 走行する前に 走行するとき 室内装備の使いかた 車との上手なつきあいかた 万一のとき サービスデータ さくいん

■フォレストエアコンの作動

●フォレストスイッチBを押します。(スイッチの表示灯が点灯)

ZAA0539

●フォレストエアコン設定(P.259)の中でONに設定されているもののみ作動を開始します。
また、風量及び吹き出し口はAUTOになり、AUTOスイッチFの表示灯も点灯します。

●止めるときは、もう一度スイッチを押します。スイッチの表示灯が消灯し、通常のフルオートエアコンとなります。

知識

- 外気温が0℃近くまで下がると、表示灯が点灯していても排出ガス・臭気検知式内外気自動切換えは作動しません。

知識

- エアコンがOFFのとき、フォレストスイッチBを押すとエアコンも自動的に作動します。
- フォレストエアコンがONのとき、手動で内外気を切り替えると、排出ガス・臭気検知式内外気自動切換えがOFFになります。もう一度排出ガス・臭気検知式内外気自動切換えをONにするときは、一旦フォレストエアコンをOFFにし、再度フォレストエアコンをONにします。
- フォレストエアコンがONで、風量、吹き出し口を操作したとき、ゆらぎ風や湿度制御機能はOFFとなります。このときもう一度フォレストスイッチBを押すと、通常のフォレストエアコンとなります。
- フォレストエアコンがONのとき、デフロスタースイッチGを押すと、フォレストスイッチBの表示灯は消灯し、デフロスターが作動します。
デフロスタースイッチ位置…P.253

■フォレストエアコンの設定

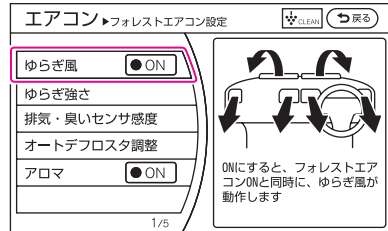
モニターの項目の選択方法については、ナビゲーションシステム取扱説明書「基本的な操作のしかた」をお読みください。

①エアコンスイッチAを押してから、フォレストエアコン設定を選択します。

ZAA0896

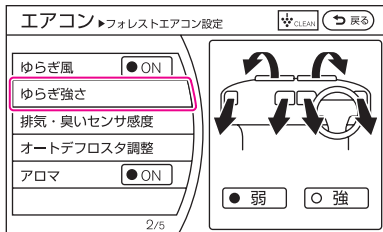
> **知識**
> ●フォレストエアコンの設定は、湿度制御機能調節以外はフォレストスイッチBがONのときにしかできません。

ゆらぎ風の切り替え

●ゆらぎ風を選択するごとにON／OFFが切り替わります。

ZAA0541

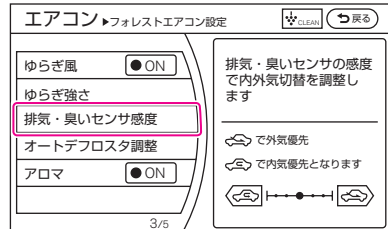
> **知識**
> ●ゆらぎ風が選択できないときは、フォレストスイッチBを押します。

ゆらぎ風の調節

①ゆらぎ強さを選択します。
②強、弱を選択してゆらぎ風の強さを設定できます。

ZAA0542

- 強に設定すると、ゆらぎの変化が大きくなります。

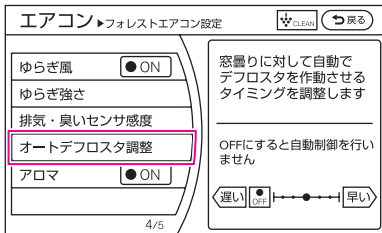
排出ガス・臭いセンサの調節

①排気・臭いセンサ感度を選択します。
②[内気循環]、[外気導入]を選択して、外気導入と内気循環のバランスを調節します。

ZAA0913

- [内気循環]、[外気導入]の間にある目盛りで、現在のバランスを確認できます。
- [内気循環]側にすると内気循環優先となり、[外気導入]側にすると外気導入優先となります。

湿度制御機能の調整

①（オートデフロスタ調整）を選択します。

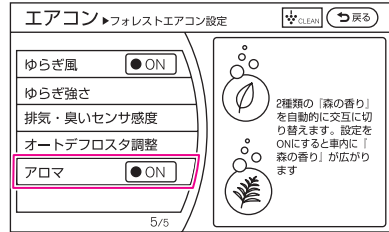
②（遅い）、（早い）を選択して、自動くもり取りが作動する時期を調整します。

ZAA0546

- （遅い）、（早い）の間にある目盛りで、現在の設定を確認できます。
- （OFF）にすると、自動くもり取りを停止できます。

アロマディフューザーの切り替え

- （アロマ）を選択するごとに、ON／OFFが切り替わります。

ZAA0547

目次 警告 走行する前に 走行するとき 室内装備の使いかた 車との上手なつきあいかた 万一のとき サービスデータ さくいん

■フォレストエアコン表示画面について

●現在の車内外の空気の状態をイラストとアニメーションで表示します。

モニターの項目の選択方法については、ナビゲーションシステム取扱説明書「基本的な操作のしかた」をお読みください。

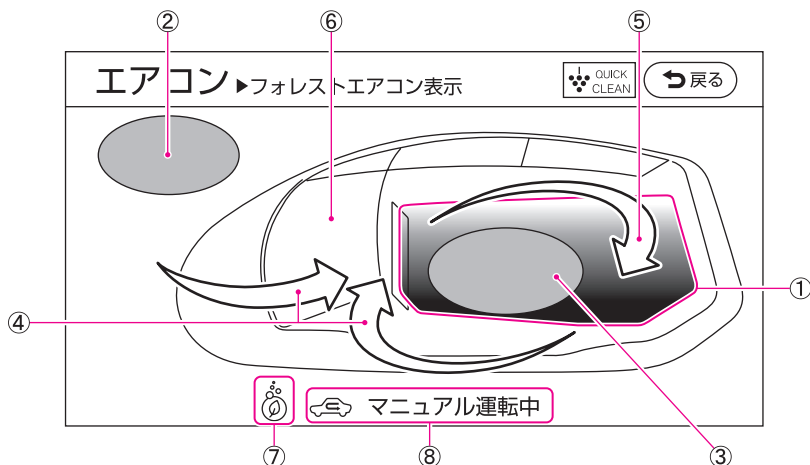
エアコンスイッチAを押して（フォレストエアコン表示）を選択します。

ZAA0897

モニターにフォレストエアコンの作動状態を表示します。

知識

● フォレストエアコン表示画面でマルチファンクションスイッチ及びタッチパネル操作（戻る以外）を行っても、フォレストエアコンの設定を変更することはできません。

フォレストエアコンの設定…P.259

※②～④の矢印や丸い部分は、それぞれの空気の状態を表しています。次の２色で表示します。
青色：空気がきれいなとき
オレンジ色：空気が汚れているとき

①ゆらぎ風
・ゆらぎ風がONのとき、ゆらぎ風をイメージしたアニメーションが流れます。

②外気の状態
・現在の車外の空気の状態を表示します。

③内気の状態
・現在の車内の空気の状態を表示します。

④吸い込み口の状態
・現在の吸い込み口が内気循環・外気導入のどちらなのか、及び取り入れている空気の状態を表示します。

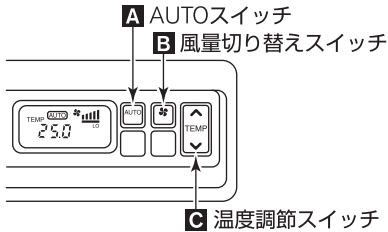
⑤エアコン風
・フォレストエアコンからの吹き出し風を表示します。

⑥湿度制御機能の状態
・窓ガラスのくもりの状態を表示します。
・窓ガラスのくもりはじめを検知すると白くなります。

⑦アロマディフューザーの状態
・現在のアロマディフューザーの状態を表示します。
・アロマがONのときは、2種類の香りのどちらを使用しているか表示します。
アロマディフューザー…P.252

⑧内外気切り替えの状態
・内外気切り替えが自動のときは、又はのみが表示されます。
・内外気切り替えをマニュアル操作で設定しているときは、マニュアル運転中と、のどちらかが表示されます。

■後席でのエアコン操作★

●リヤセンターアームレスト部のスイッチ（P.277）でもエアコンの温度、吹き出し風量の調節ができます。

ZAA0551

通常の使いかた

①AUTOスイッチAを押します。
（表示部にAUTOと表示）

②温度調節スイッチCを押して希望温度にします。温度の調節範囲は18℃～32℃です。
∧：温度が上がる
∨：温度が下がる

知識

- 後席で温度を調節すると、前席も連動して変わります。
- 左右独立モード表示（P.257）がONで運転席と助手席の設定温度が異なる場合は、助手席は後席の設定温度と同じになり、運転席は元の助手席との温度差分だけ上下します。
- エアコンをOFFにすることはできません。

風量を変更したいとき

風量切り替えスイッチBを押すごとに切り替わります。

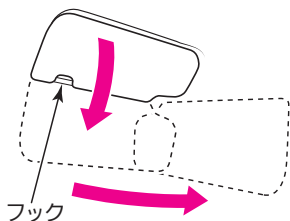
ESC1004Z

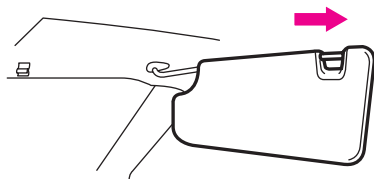
知識

- 後席で風量を変更すると、前席も連動して変わります。

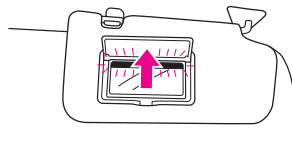
室内装備品の使いかた

サンバイザー

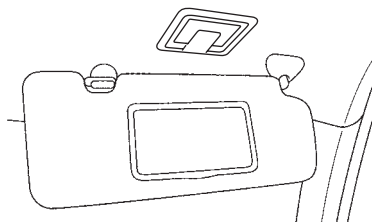
●前方からの日差しを防ぐときは、下に下げて使います。
●横からの日差しを防ぐときは、下に下げてフックから外し、横にして使います。

ESG0420Z

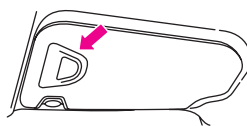
●サンバイザーを横方向に引き出すと、より横からの日差しを防ぐことができます。

ZAA0466

照明付バニティミラー

●サンバイザー裏側にバニティミラー（鏡）が付いています。

ESE0914Z

カードホルダー

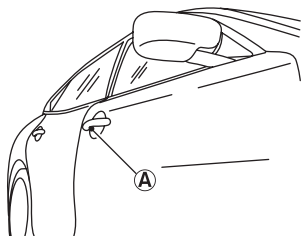
●運転席側のサンバイザーを下げ、カードを挟みます。

ZAA0596

●領収書や通行券などを挟みます。

ZAA0592

アドバイス

●炎天下での駐車は車内が大変高温になるため、カードを入れたままにしないでください。カードが変形するおそれがあります。

ウエルカムライト

インテリジェントキーを携帯して車に近づくと（約1m）、ランプⒶと室内の照明が点灯します。

ZAA0565

※イラストは、運転席側です。

■設定の切り替えかた

以下の手順でウエルカムライトの作動／非作動を切り替えることができます。

①電源ポジションをONにします。

②電源ポジションをONにしてから20秒以内に、運転席ドアのリクエストスイッチを5秒以上押します。

・設定が切り替わると、ブザーが鳴ります。

■作動可能条件

●ウエルカムライトは、以下の条件が満たされたときのみ作動します。

・全ドアが施錠されているとき。

・電源ポジションがLOCK又はOFFのとき。

・セレクトレバーがⓅのとき。

・インテリジェントキーが車外にあるとき。

・ウエルカムライトの作動期間内にランプⒶが点灯したとき。

知識

●リクエストスイッチ又はリモートコントロールエントリー機能で、ドアを開けたり解錠したときは、ウエルカムライトの設定の作動／非作動に関わらずランプⒶが点灯します。

●12Vバッテリーのバッテリーあがりを防止するため、次の場合には一時的にウエルカムライトが非作動になります。

・ドアが解錠されることなく15回連続でウエルカムライトが作動したとき。
再度ウエルカムライトを作動させるには、ドアを解錠してください。

・14日間ハイブリッドシステムを作動させなかったとき。
再度ウエルカムライトを作動させるには、ハイブリッドシステムを作動させてください。

トータルコーディネート室内照明

アドバイス

- ハイブリッドシステム停止時に長時間点灯させないでください。12Vバッテリーがあがりハイブリッドシステムの始動ができなくなります。

バッテリーセーバー（12Vバッテリー）

- 室内照明が点灯したまま約15分以上放置した場合は、12Vバッテリーのバッテリーあがりを防止するためランプが消灯します。

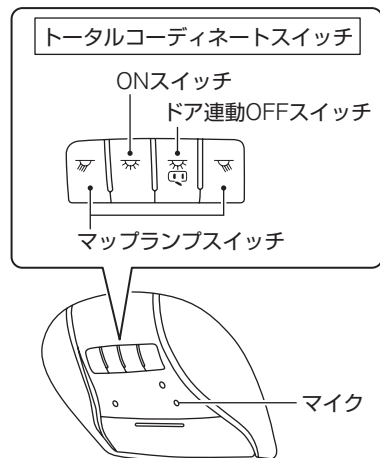
知識

- ドア連動OFFスイッチが押し込まれていない状態でドアを開けたままのときは、ONスイッチやそれぞれのランプのスイッチを押し戻しても常時点灯します。
- マップランプには、アクティブ・ノイズ・コントロール（P.284）のマイクがあります。

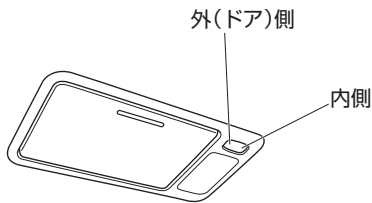
■トータルコーディネートスイッチ

- 次のようにマップランプと後席用パーソナルランプの点灯・消灯のしかたを変えられます。

スイッチ	点灯・消灯のしかた
ONスイッチ	マップランプ及び後席用パーソナルランプが常時点灯します。
ドア連動OFFスイッチ	スイッチが押し込まれていないとき、ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。（電源ポジションがOFF又はLOCKのときは、ドアを閉めると約15秒間点灯後、消灯します。）
マップランプスイッチ（左右）	スイッチをONにした方のマップランプが点灯します。

マップランプ

後席用パーソナルランプ

●スイッチの位置により、次のように点灯・消灯します。

スイッチ位　置	点灯・消灯のしかた
外(ドア)側	常時点灯します。
内　　側	ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。(電源ポジションがOFF又はLOCKのときは、ドアを閉めると約15秒間点灯後、消灯します。)

ZAA0882

キー連動室内照明システム

ドアの施錠、解錠に連動してマップランプと後席用パーソナルランプが点灯・消灯します。
ドア連動OFFスイッチが押し込まれていないときに作動します。

乗車時

●運転席ドアを解錠すると、ランプが約15秒間点灯後、消灯します。
●ランプ点灯中に、電源ポジションをAcc又はONにするか、運転席ドアを施錠すると消灯します。

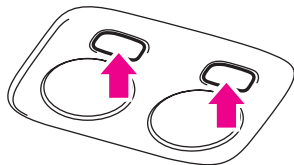
降車時

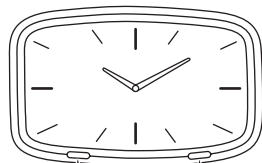
●電源ポジションをOFF又はLOCKにするとランプが約15秒間点灯後、消灯します。
●ランプ点灯中に運転席ドアを施錠すると消灯します。

知識

● キー連動室内照明システムの設定を解除することができます。
別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。

後席読書灯

●スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

ZAA0881

アナログ時計

ZAA0567

■時刻を合わせるとき

進むスイッチ又は戻るスイッチを押すと指針が動きます。

●スイッチを押し続けると途中から指針が速く動きます。

カップホルダー

⚠ 警告

● 運転中は、信号待ちなどの停車中に使ってください。走行中に飲物を出し入れすると前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

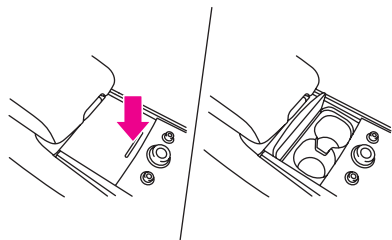
⚠ 注意

● 飲物の容器によっては確実に固定されないことがあるため、こぼさないよう注意してください。

■前席用

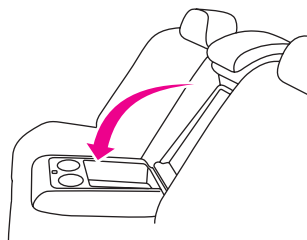
● ふたの前側を押して開きます。

● 使わないときは、ふたを押し戻します。

● 内側のケースを取り外して清掃することができます。

ZAA0568

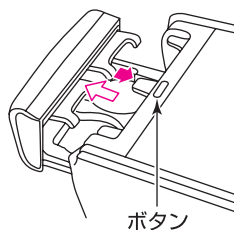
■後席用

リヤセンターアームレストにあります。

リヤセンターアームレスト内蔵コントロールスイッチ無車

ZAA0834

リヤセンターアームレスト内蔵コントロールスイッチ付車

● ボタンを押して開けます。

● 使わないときはふたを閉めます。

ZAA0836

グローブボックス

⚠ 注意

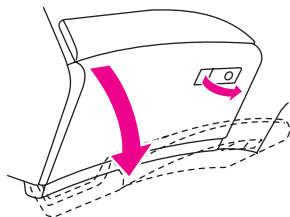
- グローブボックスを開けたまま走行しないでください。ブレーキをかけたとき収納した物が飛び出したり、ふたに当たるなどして、思わぬケガをするおそれがあります。
- ふたを開けるときは、ゆっくり開けてください。ふたを全開にしたとき、身体に当たるおそれがあります。

知識

- グローブボックス内には、ETCユニット（別冊）及びリヤセンターアームレスト内蔵コントロールスイッチ★（P.277）（オーディオ・エアコン操作部）のキャンセルスイッチがあります。

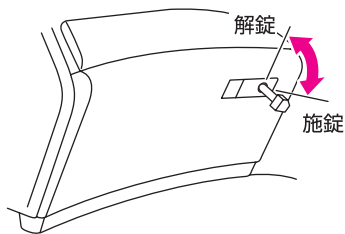
■開閉のしかた

●ノブを手前に引いて開けます。

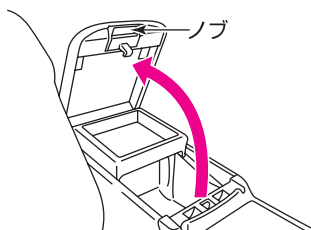
●閉めるときは、前方へ押してロックします。

ZAA0570

■施錠・解錠のしかた

●メカニカルキー（P.38）で施錠、解錠します。

●メカニカルキーは半分ぐらい差し込んだ状態で止まります。

ZAA0571

センターコンソールボックス

●ロックノブを引き上げ、ふたを開けます。
●閉めるときは、ふたを押してロックします。

ZAA0572

⚠ 注意

● コンソールボックスを開けたままにしないでください。開けたふたで思わぬケガをするおそれがあります。

知識

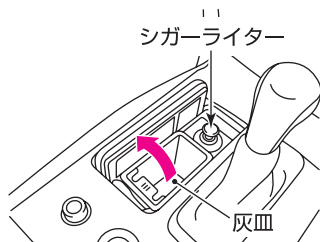
● コンソールの上側は、アームレストとして使えます。
● コンソールボックス内には、USBコネクタ、携帯電話コネクタ、電源ソケットがあります。
🔍別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。

灰皿／シガーライター

⚠ 注意

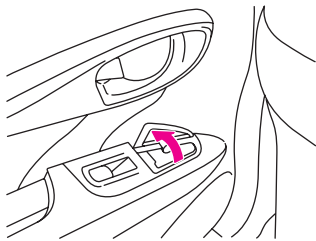
● 灰皿を使ったあとはマッチやタバコの火が消えていることを確認し、ふたを必ず閉めてください。また、紙くずなど燃えやすい物は入れないでください。出火するおそれがあります。

■前席用灰皿

●ふたを押すと開きます。
●閉めるときは、ふたを押し戻します。
●取り外すときは、灰皿内側のケースを持って引き出します。
●取り付けるときは、そのまま押し込みます。

ZAA0573

■後席用灰皿

後席ドア左右にあります。

●ふたをドア側に開けます。
●取り外すときは、ふたを持って引き出します。
●取り付けるときは、そのまま押し込みます。

ZAA0574

■シガーライター

電源ポジションがAcc又はONのとき使えます。

①前席用灰皿のふたを開けます。
②シガーライターを押し込み、手を離して約10秒待ちます。
③自動的に元の位置に戻ったら引き抜いて使います。

⚠ 警告

- シガーライターは信号待ちなどの停車中に使ってください。走行中に使うと前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- シガーライターの金属部分に触れないでください。やけどをするおそれがあります。
- シガーライターを押し込んだまま押さえないでください。過熱して焼損するおそれがあります。
- 他車のシガーライターを差し込まないでください。また、シガーライターの差し込み口からは、日産純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。焼損や火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 30秒たっても自動的に戻らないときは、元の位置まで引き戻し、日産販売会社で点検を受けてください。

電源ソケット

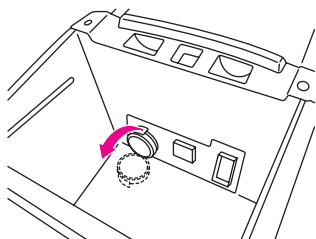
電源ポジションがAcc又はONのとき使えます。

- カーアクセサリーの電源をとるときや、市販の車載電話及び携帯電話の車載キットの電源をとるときに使います。

容量は12V（ボルト）、10A（アンペア）、120W（ワット）です。

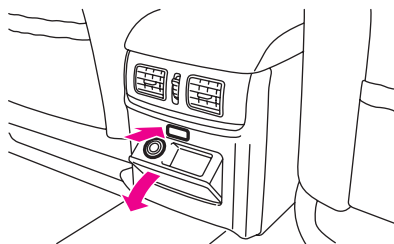
前席用

センターコンソールボックス内にあります。

- ふたを開けて使います。
- 使わないときは、ふたを閉めます。

ZAA0575

後席用

センターコンソールボックス背面にあります。

- ボタンを押すとふたが開きます。
- 使わないときは、ロックするまでふたを押し戻します。

ZAA0884

知識

- 後席プライベートシアターシステム付車には、外部機器の入力端子があります。
  別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。

⚠ 注意

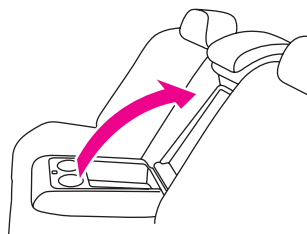
- 2マタソケットなどでタコ足配線をしないでください。
- 安全のため、消費電力120W以下のものを使ってください。
- 相手プラグをソケットの奥まできちんと挿入して使ってください。挿入が不完全になると、異常発熱し、車内のヒューズが切れる場合があります。
- 相手プラグを挿入したり抜いたりするときは、使用機器側の電源スイッチをOFFにするか、電源ポジションをLOCKにしてください。
- 使用中や使用直後は、ソケットや相手プラグが熱くなっていることがあるため、注意してください。
- シガーライターをソケットに差し込まないでください。
- ソケットに水などがかからないようにしてください。
- ソケットには指や金属などを入れないでください。

アドバイス

- 12Vバッテリーのバッテリーあがりを防止するため、ハイブリッドシステムを始動させて使ってください。

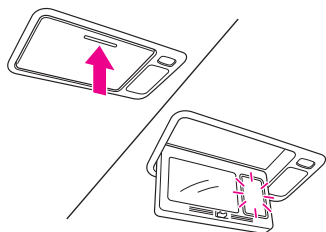
リヤセンターアームレスト（ボックス付）

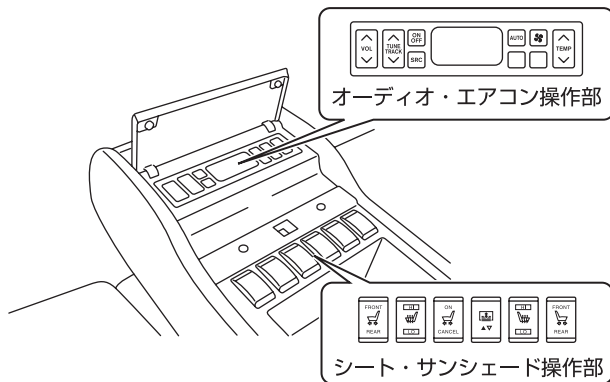
●ロックノブを押し上げながらふたを開けます。

●閉めるときは、ふたを押してロックします。

ZAA0835

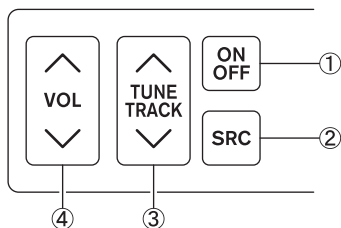
※車種によりアームレストの形状が異なります。

後席照明付バニティミラー

- 開けるときは、矢印の部分を押します。
- 閉めるときは、ロックするまで押します。

ESD0865Z

リヤセンターアームレスト内蔵コントロールスイッチ★

ZAA0598

■オーディオ操作スイッチ★

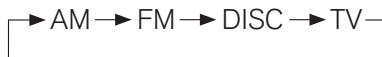
●後席で、オーディオの簡単な操作が行えます。

ZAA0599

①電源スイッチ

・電源ポジションがAcc又はONのとき、押すごとにON／OFFが切り替わります。

②モード（ソース）切り替えスイッチ

・押すごとに次のように切り替わります。

→AM→FM→DISC→TV→（AMに戻る）

知識

- メディアが接続又は挿入されていない場合は、そのモード（ソース）をとばして切り替わります。
- 一部のモード（ソース）では、リヤセンターアームレスト内蔵コントロールスイッチの画面上に現在のモード(ソース)が表示されないことがありますが、異常ではありません。
- ナビゲーション画面が地図表示画面などのときにモード（ソース）を切り替えると、音声のみ切り替わります。画面も切り替えたいときは、前席側のスイッチで操作してください。

③選曲・頭出しスイッチ

ラジオ／テレビを視聴するとき

登録済みの放送局から選ぶ（プリセット選局）

- ∧を押すごとに、プリセットリストに登録されたチャンネルが上がります。
- ∨を押すごとに、プリセットリストに登録されたチャンネルが下がります。

プリセット選局については、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。

自動で選ぶ

- ∧又は∨を約1秒以上押すと、自動的に感度の良い放送局を受信したところで止まります。

知識

- 電波が弱い所では自動的に選曲できないことがあります。

音声／動画ファイルを再生するとき

ファイルを選ぶ

- ∧を押すごとに、現在再生されているファイル（チャプター）又はそれ以前のファイル（チャプター）の最初に戻ります。
- ∨を押すごとに、次のファイル（チャプター）以降の最初に戻ります。

フォルダを選ぶ

- ∧を約1 秒以上押すと、現在再生しているファイルが保存されているフォルダより、1 つ前のフォルダに移動します。
- ∨を約1 秒以上押すと、現在再生しているファイルが保存されているフォルダより、1 つ後のフォルダに移動します。

知識

- CD（MP3／WMA／AACを除く）やiPod®、Bluetooth®Audio を再生しているときは、現在選択されているフォルダ内のファイルのみ切り替えることができます。

④音量調節スイッチ

- 音量の調節ができます。
  ∧…音量が大きくなる
  ∨…音量が小さくなる

■エアコン操作スイッチ★

後席でのエアコン操作…P.264

■後席シート操作スイッチ★

後席ヒーターシート…P.71
後席パワーリクライニングシート…P.70
後席オートリターン機構…P.72

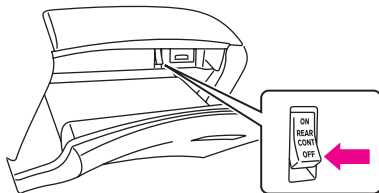
■リヤ電動サンシェード操作スイッチ★

リヤ電動サンシェード…P.282

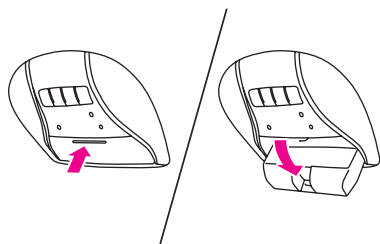
■オーディオ・エアコン操作部のロックのしかた★

- グローブボックス内にあるスイッチのOFF側を押すと、後席でのオーディオ及びエアコンの操作ができなくなります。
- ロックを解除するときは、スイッチのON側を押します。

ZAA0597

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

オーバーヘッドコンソール

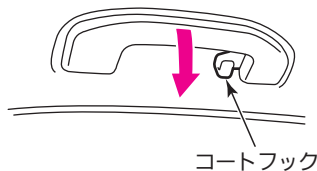
サングラスなどを入れることができます。

●ふたを押すと開きます。
●閉めるときは、ロックするまで押し戻します。

ZAA0577

⚠ 注意

- 開閉は停車中に行い、開けたまま走行しないでください。また、重量のある物を入れないでください。落下して思わぬケガにつながるおそれがあります。
- 炎天下での駐車は大変高温になりますのでサングラス、メガネ、ライターなどを入れたままにしないでください。変形するおそれがあります。

アシストグリップ

●後席左右には、コートフックが付いています。

ESG0366Z

⚠ 注意

- コートフックにハンガーなど先のとがった物を掛けないでください。SRSエアバッグが作動したときに飛ばされて、思わぬ傷害につながるおそれがあります。

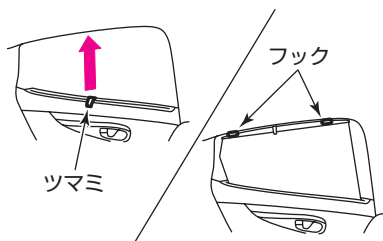
アドバイス

- コートフックには1kg以上の物を掛けないでください。

リヤドアサンシェード

後席ドア左右にあります。

●ツマミを持って上方向に引き出し、フックに引っ掛けます。

●格納するときは、フックから外して元の位置に格納します。

ZAA0885

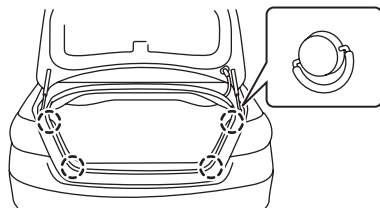
⚠ 注意

- 操作中は、リヤドアサンシェードから手を離さないでください。ケガや破損の原因になります。

アドバイス

- リヤドアサンシェードが破損する原因になるため､以下のことをお守りください。
  - ・上方向以外に引っ張らない。
  - ・フックに掛けた状態で引っ張らない。
  - ・リヤドアサンシェードの格納部に液体や異物を入れない。

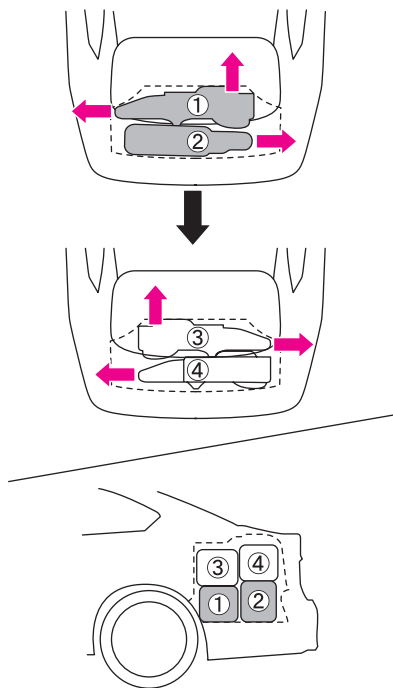
トランクフック

積荷の固定用としてネットなどを掛けるときに使います。

ZAA0784

アドバイス

- フックには大きな力がかからないようにしてください。破損するおそれがあります。

トランク

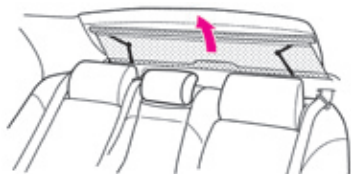
トランクにゴルフバッグを4個載せるときは、以下のように組み合わせると載せやすくなります。

ZAA0789

①1個目のゴルフバッグのヘッド側を左に向けて入れ、そのまま奥まで押し込みます。
②2個目のゴルフバッグのヘッド側を右に向けて入れます。
③3個目のゴルフバッグのヘッド側を右に向けて入れ、①の上に押し込みます。
④4個目のゴルフバッグのヘッド側を左に向けて入れます。

知識

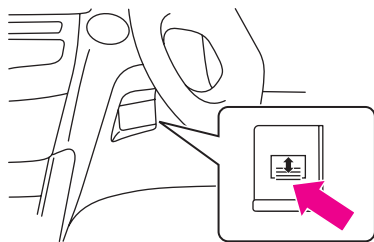
- 9インチのゴルフバッグまで収納できますが、形状・大きさにより収納できない場合があります。

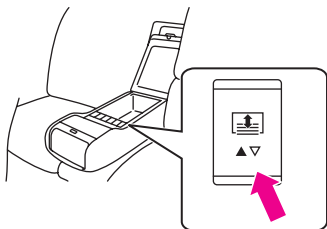
リヤ電動サンシェード

電源ポジションがONのとき操作できます。
前席及び後席で操作することができます。

ESA1500Z

■サンシェードの開閉

- スイッチを押すと、サンシェードが上昇・下降します。
- 上昇・下降しているときにもう一度スイッチを押すと、反対方向に動きます。
- サンシェードは完全に上昇・下降すると止まります。
- サンシェード使用中にセレクトレバーをRに入れると、自動的にサンシェードが下降します。

前席スイッチ

ZAA0785

後席スイッチ★

ZAA0559

※後席スイッチはスイッチの下側を押します。

警告

- サンシェード作動時にアームに触れたり、サンシェードの収納口に手などを入れないでください。巻き込まれたり、挟まれたりして重大な傷害につながるおそれがあります。

TSA5547Z

- サンシェード収納口に髪などが掛からないように注意してください。サンシェード下降時に巻き込まれ重大な傷害につながるおそれがあります。

TCA0575Z

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

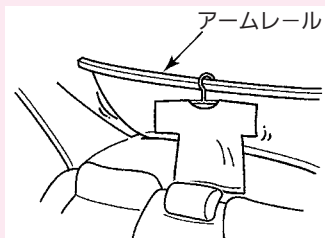
⚠ 警告

- サンシェード作動時に、サンシェード収納口をのぞかないでください。サンシェード上昇時に顔などにぶつかり重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- サンシェード収納口に物を載せたり、入れたりしないでください。物の重みや作動時に巻き込まれたりすることで故障の原因になります。

TSA5548Z

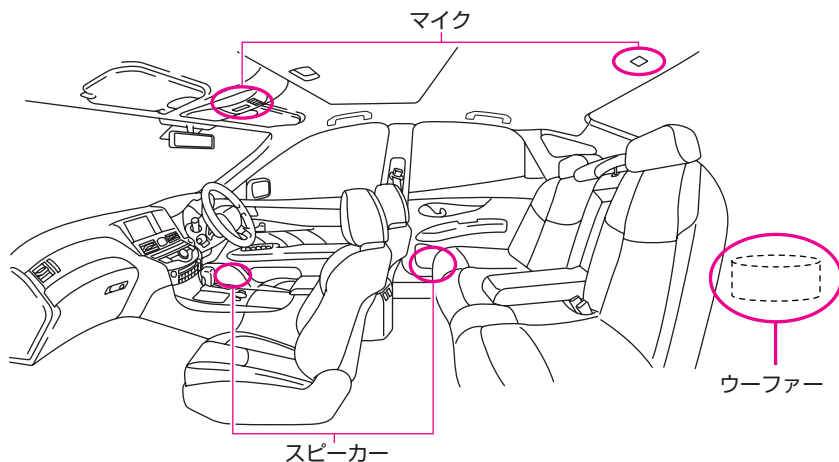
- アームレールにハンガーなどを掛けたり、手や顔などでアームを押すなどしてアームを曲げないでください。破損の原因になります。

TSB0625Z

- サンシェードを引っ張らないでください。破損の原因になります。

アドバイス

- サンシェードが正常に作動しないときは、日産販売会社で点検を受けてください。

アクティブ・ノイズ・コントロール

天井のマイクでエンジンのこもり音を検知し、スピーカーから自動的にこもり音を打ち消す音を出すことで車内の静粛性を高めます。

※車両前方のマイクはマップランプ（P.267）にあります。
※スピーカーは全ドアの下側にあります。

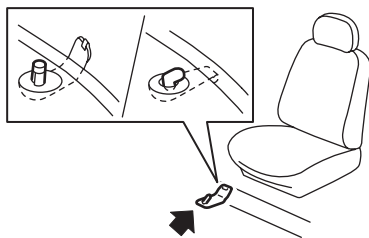
アドバイス

- アクティブ・ノイズ・コントロールを正常に作動させるために以下のことをお守りください。
  - ・スピーカーの周辺に物を置かない。
  - ・マイクの穴をふさがない。
  - ・スピーカー、ウーファー、パワーアンプなどのオーディオ機器を交換又は改造しない。
  - ・スピーカーやマイク取付部周辺を改造（デッドニングなど）しない。

フロアカーペット★

この車（年式）専用のフロアカーペットが設定されています。床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。

■固定のしかた

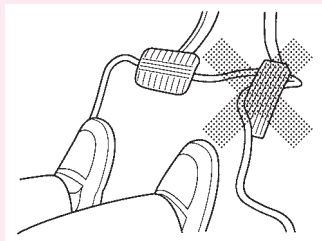
床面には日産純正フロアカーペット用の固定クリップが付いています。
①フロアカーペットを床の形状に合わせて敷きます。
②フロアカーペットの取付穴に固定クリップのピンを通し、確実に固定します。

ZSS0043

※車種により、固定クリップ・ピンの形状や、各シートごとに設定されている数量は異なります。詳しい固定方法は、日産販売会社にお問い合わせください。

⚠ 警告

- この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

運転席にフロアカーペットを敷くときは

- 日産純正品であっても、他車種及び異なる年式のフロアカーペットは使用しない。
- フロアカーペットでペダルを覆わない。
- フロアカーペットを重ねて敷かない。
- フロアカーペットがずれないように固定クリップで確実に固定する。
- 運転席専用のフロアカーペットを使用する。
- フロアカーペットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しない。

ESD0143Z

運転する前に

- フロアカーペットが正しく固定されていることを定期的に確認し、洗車後は必ず確認する。
- ハイブリッドシステム停止時及びセレクトレバーがⓅのときに各ペダルをいっぱいに踏み込み、フロアカーペットと干渉しないで運転に支障がないことを確認する。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

車との上手なつきあいかた 5

快適ドライブのために

雨の日の快適ドライブ

■窓ガラスがくもるとき

フロント、サイドウインドーガラス

エアコンで除湿します。

エアコンの吹き出し口を にして、吸い込み口は外気導入にします。

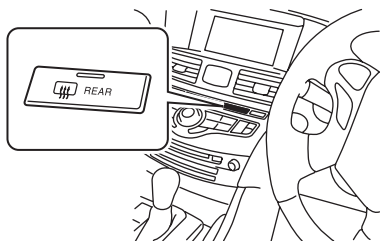
冬でもエアコンを活用してください。

窓ガラスのくもりの取りかた…P.256

知識

- 早くくもりを取りたいときは、吹き出し温度を高くし、吹き出し風量を多くします。
- 湿度制御機能（P.251）をONにしておくと、自動的に窓ガラスのくもりを取ることができます。

リヤウインドーガラス

リヤデフォッガースイッチ（P.152）を使い、くもりを取ってください。

ZPA0502

■ガラスが油膜でギラギラするとき

ガラスクリーナーを使って、ガラスの表面やワイパーのゴムを清掃してください。

アドバイス

- 油膜があると、ワイパー作動時に音がしたり、雨の夜などは対向車の光が乱反射することがあります。

■ワイパーのふき残しがあるとき

- ワイパーブレードのゴムが摩耗していたり、異物がかみ込んでいると線が残ります。ワイパーブレードを清掃し、異物を取り除いてください。
- ゴムが摩耗しているときは、早めにゴムを交換してください。（P.302）

夏の快適ドライブ

■オーバーヒートを防ぐために

日常点検で冷却水の量を点検してください。

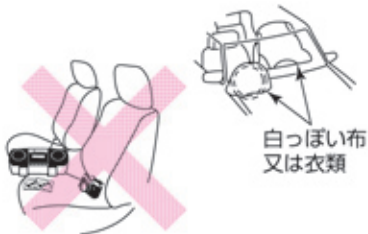
高水温警告灯が点灯した場合は、安全な場所に停車して冷やしてください。

オーバーヒートしたときは…P.317

アドバイス

- 地面に水漏れの跡があるときや、冷却水が早くなくなるときは、日産販売会社で点検を受けてください。

■炎天下で駐車するとき

シートやハンドルに白い布やサンシェードなどを掛けたり、ボディにカバーなどを掛けて温度の上昇を防いでください。熱に弱い製品は車内に置かないでください。

ZCE0312

警告

- お子さまや介護が必要な方だけを車内に残さないでください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

注意

- 炎天下では、樹脂部品や金属部品が高温になっていることがあり、触れるとやけどをするおそれがあります。特に小さいお子さまを乗せるときは注意してください。
  また、車内が高温になるので、CD、カメラ、サングラスなど樹脂製の小物、ガスライターや炭酸系の飲物などを置いたままにしないでください。変形したり爆発するおそれがあります。特にインストルメントパネルの上など、直射日光の当たる場所は大変高温になるので注意してください。

■海に出かけたあとは

- 車体に付着した塩分を早めに落としてください。塩分を付着させたまま放置しておくと、サビの原因となります。
- 洗車するときは、下回りも念入りに洗ってください。

寒冷時の取り扱い

車の冬じたく

■エンジンオイルの準備

外気温に応じたエンジンオイルを使ってください。

サービスデータ（エンジンオイル）…P.342

■12Vバッテリー液の点検、補給

メンテナンスノート「簡単な整備のしかた」をお読みください。

■冷却水の濃度点検

冷却水の凍結を防ぐため、エンジンクーラントの濃度を点検してください。

エンジンクーラントの濃度	凍結温度
30%	約−15℃
50%	約−35℃

冷却水を補充・交換するときは、日産純正スーパーロングライフクーラント（50%希釈品）をお使いください。

サービスデータ（エンジン冷却水、インバーター冷却水）…P.343

アドバイス

- 寒冷地仕様車は、工場出荷時に50%にしてあります。
- 冷却水の点検・補充・交換は日産販売会社にご相談ください。

■冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

- 冬用タイヤに交換するときは、4輪とも必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤに交換してください。（P.303）
- タイヤチェーンはお客さまのタイヤサイズに合った日産純正品をおすすめします。（P.294）

■ウオッシャー液の濃度点検

ウオッシャー液の凍結を防ぐため、ウオッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合（濃度）にしてください。

日産純正ウインドーウオッシャー液をおすすめします。

ウオッシャー液の補給…P.300

⚠ 注意

- 外気温に応じた希釈割合に合わせてください。不適合の場合、ウインドーガラスに噴射した液が凍結し、視界不良となるおそれがあります。

■寒冷地用ワイパーブレードの装着

寒冷地用のワイパーブレードを装着するときは、お車に合った日産純正部品をお使いください。

⚠ 注意

- 高速走行時は通常のワイパーブレードよりふき取りにくくなります。速度を落として走行してください。

アドバイス

- 降雪期以外は通常ブレードに戻してください。

出発前の準備

■窓ガラスの雪や霜を落とす

プラスチックの板などを使って、ガラスを傷つけないように落としてください。

警告

- ルーフに積もった雪は落としてください。窓ガラスに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■足回りの着氷を落とす

足回り（ブレーキホース、フェンダー裏側など）に付着した氷塊を、部品を破損しないように注意して取り除いてください。

■靴の雪を落とす

乗車時、靴に付いた雪はよく落としてください。ペダル類の操作時に滑ったり、窓ガラスのくもりの原因となります。

■車が凍結したら

凍った部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐにふき取ってください。

アドバイス

- ドアなどの開閉部分を無理に開けないでください。ゴムがはがれたり損傷するおそれがあります。
- ワイパー、ドアミラー、パワーウインドーなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結するおそれがあります。

雪道を走行するとき

■滑りやすい路面の走りかた

●滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのでしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離をとり、ゆとりある運転をしてください。

●雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。

タイヤチェーンについて…P.294

●雪道を走行するときは、ドライブモードをSNOWに切り替えます。

ドライブモードセレクター…P.169

■走行中の雪の付着に注意

●ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。
効きが悪いときは、低速走行でブレーキを軽く踏み、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。

●フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。ときどき確認して雪を取り除いてください。

寒冷時の駐車

■長時間駐車するとき

●セレクトレバーをPに入れ、パーキングブレーキをかけずに輪止めをしてください。パーキングブレーキをかけると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。

●フロントグリルを風が吹いてくる方向に向けて駐車しないでください。エンジンルームに雪が入ったりエンジンが冷えて始動しにくくなります。

●軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪で車が損傷するおそれがあります。

●雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ブレードと窓ガラスが凍結し、破損するおそれがあります。

ワイパーアームを起こすとき…P.152

雪道を走行したあとは

●凍結防止剤をまいた道路を走行したあとは、サビの原因となるので早めに洗車してください。洗車するときは、下回りも念入りに洗ってください。

アドバイス

- 寒冷時に洗車をするときはブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。

タイヤチェーンについて

- タイヤチェーンは必ず後2輪に装着してください。
- お客さまのタイヤサイズに合ったタイヤチェーンでも使用できない場合があります。
  タイヤチェーンはお客さまの車に適合した日産純正品をおすすめします。適合するタイヤチェーンについては日産販売会社にご相談ください。

■装着の前に

- 安全に作業できる平坦な場所に停車してください。
- パーキングブレーキをかけハイブリッドシステムを停止します。さらに、非常点滅表示灯を点滅させ、必要に応じて停止表示板（又は停止表示灯）を置きます。

■装着のしかた

- タイヤチェーンは付属の取扱説明書に従って正しく装着してください。

注意

- 不適正に装着したり、タイヤサイズに合わないものなどを使用すると、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

アドバイス

- スペアタイヤにはタイヤチェーンを装着できません。後輪がパンクした場合は、スペアタイヤを前輪に取り付け、外した前輪を後輪に取り付けてから、チェーンを装着してください。
- タイヤチェーンを装着すると、アルミホイールに傷をつけるおそれがあります。
- タイヤチェーンを装着したときはタイヤチェーンに付属の取扱説明書で指示された速度で走行してください。安全が損われたりタイヤチェーンが切れやすくなります。
- 雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。路面を損傷したり、チェーンの摩耗を早め、寿命が短くなります。
- タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行したり、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。

お手入れのしかた

外装のお手入れ

塗装面を美しく保つために

■駐車、保管場所に注意

風通しの良い車庫や屋根のある場所をおすすめします。

■洗車・ワックスがけの実施

●塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。次のような場合はすぐに洗車してください。

・ばい煙、虫の死がいや鳥のふん、樹液、鉄粉、コールタールなどが付着したとき。
・海岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したあと。
・ほこり、汚れがひどいとき。

アドバイス

●ケミカル用品などは用途により使い分けが必要です。用途にあったものをお使いください。
●ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。

洗車のしかた

■水洗いするとき

①水をかけながら下回りの汚れを洗い流します。
②水をかけながら塗装面の高い位置から低い位置の順にセーム皮や柔らかいスポンジなどで汚れを落とします。
・汚れがひどいときは、ボディーシャンプーなどを使い、その後十分に水で洗い流します。
③はん点が残らないように水をふき取ります。

⚠ 注意

●下回りを洗うときはケガをしないように注意してください。

アドバイス

●洗車するときは、エンジンルーム内に水をかけないでください。ハイブリッドシステムの始動不良や不調、電気部品の故障などの原因になるおそれがあります。
●硬いブラシや、たわしなどは使わないでください。塗装面などを傷つけるおそれがあります。
●寒冷時に洗車をするときはブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。

■洗車機を使うとき

自動洗車機

ドアミラー（P.73）を格納してください。

高圧（コイン）洗車機

洗車ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。

アドバイス

- 自動洗車機で洗車すると、ブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めることがあります。
- ドアガラスのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。車内に水が漏れるおそれがあります。

アルミロードホイールのお手入れ

- 中性洗剤を含ませたスポンジなどを使い、汚れを洗い落としてください。日産純正クリーナーをおすすめします。

※詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- 変色やしみの原因になったり、傷をつけるおそれがあるため、次のことをお守りください。
  - ・強酸性、強アルカリ性の洗剤は使わない。
  - ・洗剤はホイールの表面が冷えているときに使用する。（体温以下が目安）
  - ・洗剤を使用したあとは、早めに十分洗い流す。
  - ・硬いブラシやコンパウンド（研磨剤）の入った洗剤などは使わない。

ワックスをかけるとき

ワックスがけは1か月に1回程度、又は水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリック及びパール塗装車とも同じです。

■ワックスのかけかた

①塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。
②塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。

アドバイス

- 塗装されていないバンパー、スポイラーなどの樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ムラになることがあります。
- コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われることがあります。
- バックビューモニターカメラのレンズ部にワックスを付けないでください。ワックスが付いた場合は、中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、ふき取ってください。

■ワックスの選びかた

- コンパウンド（研磨剤）の入っていない、塗装に適したワックスを使ってください。
日産純正カーワックスをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

軽い補修のしかた

塗装面の小さい傷は、タッチアップペイントを使い、早めに傷部を補修してください。サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。
日産純正タッチアップペイントをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

内装のお手入れ

 注意

- 車内に水をかけないでください。オーディオやスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。

アドバイス

- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがありますので確認してから使ってください。

カーペットの汚れ取り

電気掃除機でほこりを取り除き、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。
フロアカーペットを取り外したときは、敷き直すときにフロアカーペットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。
フロアカーペット…P.285

TCA0145Z

布、ビニールレザーの汚れ取り

中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。
汚れがひどいときは、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。

TCA0146Z

スエード調ルーフの汚れ取り★

スエード調ルーフ付車の天井、サンバイザー、ピラー部位は、次のように清掃してください。

■水溶性の汚れを取るとき

柔らかい布でぬるま湯に浸し、固くしぼってから軽くたたくようにして汚れを取ります。
汚れを除去したあと、乾いた布で軽くたたくように水分を除去してください。

■油性の汚れを取るとき

ぬるま湯に中性洗剤を溶かし（濃度2～3%)、柔らかい布に含ませ、軽くたたくようにして汚れを取ります。
汚れを除去したあと、乾いた布で軽くたたくように水分を除去してください。

アドバイス

- 汚れた部分をこすらないでください。表皮が毛羽立ったり、汚れが広がるおそれがあります。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は使わないでください。色落ちや、光沢がなくなるおそれがあります。

本革シートのお手入れ★

■通常のお手入れ

ガーゼなど柔らかい布でふきます。

■水溶性の汚れを取るとき

柔らかい布をぬるま湯に浸し、固くしぼってからふき取ります。次に乾いた柔らかい布でふきます。

■油性の汚れを取るとき

①ぬるま湯に中性洗剤を溶かし（濃度2～3%)、柔らかい布に含ませ汚れを取ります。
②真水に浸した布を固くしぼってふき取ります。
③乾いた柔らかい布でふき、風通しのよい日陰で乾燥させます。

アドバイス

- 直射日光は変色、変質の原因になります。日よけに心がけてください。
- 水などでぬれたときは早めにふき取ってください。皮革が硬化、収縮する原因となります。

知識

- 本革シートのお手入れ用品（クリーナーなど）のご購入については、日産販売会社にご相談ください。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

リヤウインドーの清掃

●ガラスの内側を清掃するときは、熱線やアンテナ線を切らないように水を含ませた柔らかい布で熱線やアンテナ線にそって軽くふいてください。

●ガラスクリーナー、洗剤などは使わないでください。

メーター表面の汚れ取り

柔らかい布を真水に浸し、固くしぼってからふき取ります。

アドバイス

- 乾いた布やウエットティッシュなどを使用しないでください。傷がついたり、変色の原因になります。
- ワックスやコーティング剤、油などが付着した布ではふかないでください。変色の原因になります。

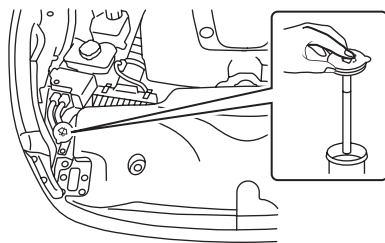
その他のお手入れ

ウオッシャー液の補給

●ウオッシャー液が不足しているときは、ウオッシャータンクのキャップを外し、ウオッシャー液を補給してください。ウオッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合（濃度）にして補給します。

●ふたの穴を押さえ、引き抜くと、スポイト式にウオッシャー液の残量が点検できます。
引き抜いたときにウオッシャー液がチューブ下端にしか入らないと、ウオッシャータンクはほぼ空の状態です。
日産純正ウインドーウオッシャー液をおすすめします。
ウオッシャータンク容量…P.343

ZSD0056

注意

- ウオッシャー液を補給するときは、液を高温部にかけないようにしてください。出火するおそれがあります。

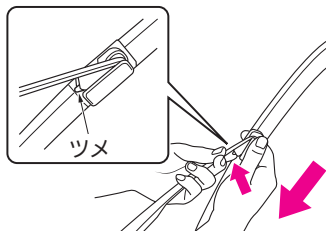
アドバイス

- ウオッシャー液のかわりに石けん水などを入れないでください。
  塗装面がしみになるおそれがあります。

ワイパーの交換

ワイパーアームを起こすときや格納するときは、ワイパーアームを起こすとき…P.152をお読みください。

ワイパーブレードの交換

①ワイパーアームを起こします。
②ワイパーブレードを持ち上げ、ブレードを少し傾けます。
③ブレードのツメを押しながらブレードを矢印の方向に引きます。

ESG0395Z

④ブレードをアームから取り外します。
⑤新しいブレードを取り付けます。
取り付けは取り外したときと逆の手順で行い、ブレードが確実に固定されていることを確認します。

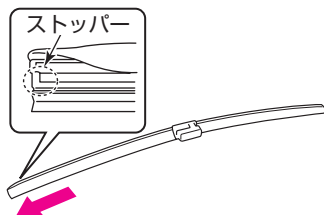
注意

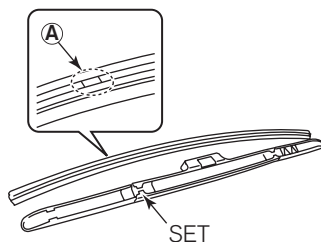
- 交換するときは、ワイパーアーム及びワイパーブレードがガラスに当たらないよう気をつけてください。ガラスに当たるとガラスが破損するおそれがあります。

アドバイス

- ワイパーブレードに大きな力を加えて変形させないでください。ふき取りにくくなったり、破損するおそれがあります。

ワイパーゴムの交換

①ワイパーアームからワイパーブレードを取り外します。
②ワイパーゴムを矢印方向にスライドし、取り外します。

ZSD0042

③取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。
・ワイパーゴムのストッパーがない側からブレードに沿って差し込みます。
・ワイパーゴムのⒶ部をワイパーブレードの「SET」の位置で確実に押し込み、固定します。

ZSD0003

知識

- ワイパーゴムに石けん水を塗ると脱着しやすくなります。

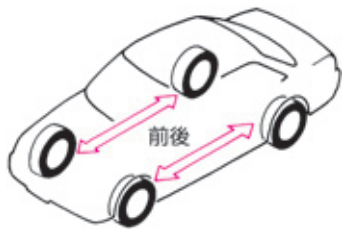
タイヤの交換

⚠ 注意

- タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。安全を確保するため、5～7年を目安に必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社へご相談ください。

■タイヤの位置交換（ローテーション）

左右それぞれで前後タイヤの交換を行ってください。
タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命を伸ばすために、約5,000km走行ごとに定期的な位置交換をおすすめします。

タイヤ交換のしかた…P.336

TSC1842Z

⚠ 注意

- タイヤ間に著しい摩耗差があったり、空気圧が規定値より著しく異なると、車の性能が十分発揮できなくなり、安全性を損ねたり故障の原因になります。

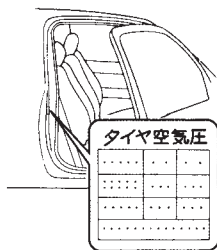
アドバイス

- タイヤの位置交換と同時に空気圧も点検してください。
- タイヤの位置交換については、日産販売会社にご相談ください。

知識

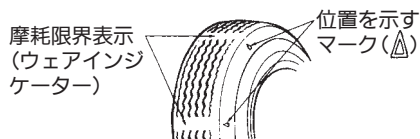
- 車載のジャッキを使って、タイヤの交換を行うときは、スペアタイヤを使って1輪ずつ交換してください。
- タイヤの位置交換をしたとき、タイヤ空気圧センサーのIDコードが交換した位置に自動的に切り替わる機能があります。
  - ・タイヤの位置交換を行ったあと、25km/h以上で数分間走行すると、ナビゲーションシステムのタイヤ空気圧情報にタイヤの空気圧が表示されます。
  - ・この機能を作動させるには、タイヤ空気圧センサーの専用IDコードを4輪セットで登録する必要があります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

■タイヤ空気圧の点検

- タイヤの空気圧は、走行前のタイヤが冷えているときに点検・調整してください。
  タイヤ接地部のたわみが大きいときは、空気圧が不足しています。すみやかに調整するか、日産販売会社にご相談ください。偏平タイヤの空気圧はたわみ状態ではわかりにくいので、タイヤエアゲージを使用し点検してください。
- タイヤ空気圧は自然に少しずつ低下します。月に一度はタイヤエアゲージを使用してタイヤ空気圧が適正であるか点検してください。
- タイヤ空気圧は走行に伴い約1割程度上がることがあります。
- タイヤの空気圧は運転席ドア開口部に表示、及び巻末のサービスデータに記載してあります。

TCB0059Z

> ⚠ **注意**
>
> - タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■タイヤ摩耗の点検

摩耗限界表示（ウェアインジケーター）が表れたら、タイヤを交換してください。

TCD0071Z

■タイヤ・ロードホイールを交換するとき

- タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付けてください。
- タイヤサイズは運転席ドア開口部のタイヤ空気圧表示を参照してください。

注意

- 指定サイズ以外のタイヤ・ロードホイールは絶対に取り付けないでください。不適合なタイヤ・ロードホイールを取り付けると、安全性が損われ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 径が異なるタイヤを装着すると、VDCシステムが正常に作動しないことがあります。次のようなタイヤの装着はしないでください。
  - ・摩耗差の大きいタイヤの装着
  - ・前輪又は後輪だけに冬用タイヤを装着
  - ・サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着
- タイヤの交換をするときは、日産販売会社にご相談ください。

- ロードホイールを交換するときは、必ず指定サイズで同一種類のロードホイールを取り付けてください。ロードホイールのサイズは、巻末のサービスデータに記載してあります。

アドバイス

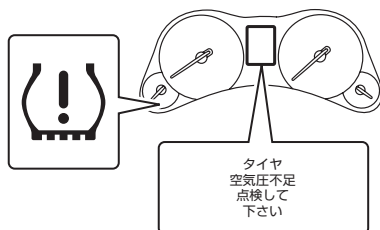
- ロードホイールは、リムサイズやインセットが同じでも、他の車の物は使えない場合があります。お手持ちの物をご使用になるときは、日産販売会社にご相談ください。
- タイヤ空気圧センサーが付いていないロードホイールを装着すると、タイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅後、点灯します。
  元のタイヤ空気圧センサーが付いているロードホイールを取り付けたあと、約25km/h以上でしばらく走行するとタイヤ空気圧警告灯は消灯します。
- 新しいタイヤ空気圧センサーを取り付けた場合は、専用のIDコードを登録する必要があります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。
  タイヤ空気圧警報システム…P.306
- アルミロードホイールには荷重制限がありますので、交換するときは日産販売会社にご相談ください。
- タイヤやロードホイールを交換したときは、ホイールバランスを確実にとってください。

知識

- 夏用タイヤから冬用タイヤなど、タイヤを4輪セットで交換したとき、交換後のタイヤの空気圧を自動的に検出する機能があります。
  - ・タイヤを交換したあと、25km/h以上で数分間走行すると、ナビゲーションシステムのタイヤ空気圧情報に交換したタイヤの空気圧が表示されます。
  - ・この機能を作動させるには、タイヤ空気圧センサーの専用IDコードを4輪セットで登録する必要があります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。
  - ・装着タイヤ以外にタイヤ空気圧センサーが付いたタイヤを積んでいると、正常に作動しないことがあります。

タイヤ空気圧警報システム

タイヤ空気圧警報システムは、タイヤ空気圧が不足していることを知らせるシステムです。

- タイヤ空気圧が指定の空気圧から約30%低下すると、メーター内のタイヤ空気圧警告灯が点灯し、車両情報ディスプレイに警告を表示します。

ZSD0055

タイヤ空気圧警告灯…P.137
タイヤ空気圧警告表示…P.111

- 空気圧を正しく調整したあと、25km/h以上でしばらく走行するとタイヤ空気圧警告灯と車両情報ディスプレイの警告表示が消灯します。
- 25km/h以上で走行したときに、作動します。
- システムに異常があるときは、タイヤ空気圧警告灯（P.137）が約1分間点滅したあとに点灯を続けます。

⚠ 注意

- タイヤ空気圧警告灯が点灯及び警告表示したときは、安全な場所に停車し、タイヤを確認してください。放置して走行し続けると、タイヤがバースト（破裂）したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- タイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅したあとに点灯を続けたときは、日産販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- タイヤ空気圧警報システムは、日常点検を補助するものです。必ず日常点検でタイヤの空気圧を点検してください。
- タイヤ空気圧センサーは、日本の電波法の認証に適合しています。次のことを必ずお守りください。
  - ・日本国内のみで使用する。
  - ・正しい使用方法以外では使用しない。
  - ・分解や改造はしない。（分解や改造したものを使用することは法律で禁止されています。）
- タイヤ空気圧センサーにはお客さまの車に適合する固有のIDコードが登録されています。他の車のタイヤ空気圧センサーを使用すると、システムが作動しません。
- タイヤを修理・交換するときはタイヤ空気圧センサーの取り付けやIDコードの登録をする必要があるため、日産販売会社へご相談ください。

アドバイス

- 以下の場合は、タイヤ空気圧警報システムが正常に作動しない場合があります。
  - ・タイヤチェーンを装着しているとき。
  - ・日産純正品以外のタイヤやロードホイールを使用したとき。
  - ・近くに同じような無線周波数を使っている施設や器具があるとき。
  - ・車両、特にロードホイールハウスの周りに多くの雪や氷などが付いたとき。
  - ・タイヤ空気圧センサーのIDコードがシステムに登録されていないとき。
  - ・タイヤ空気圧センサーの電池が消耗したとき。
- タイヤ空気圧センサーには、車両と通信するための電池が内蔵されています。走行中は、常時車両と通信しているため電池を消耗しており、電池が切れると、タイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅後、点灯します。電池が消耗したときは、日産販売会社にご相談ください。電池単品での交換はできません。
- 凹凸のある道路を走行するときは注意して走行してください。タイヤ空気圧センサーを破損させるおそれがあります。

知識

- 温度による空気圧の変化や自然に空気圧が減少したときにもタイヤ空気圧警告灯が点灯しますが、適切な空気圧に調整して消灯すれば故障ではありません。
- 高速走行時はタイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅したあと点灯することがありますが、減速して消灯すれば故障ではありません。
- 一台の車両で2セット（1セット4輪）のIDコードを登録することができます。2セット目の登録については、日産販売会社にご相談ください。

より良い環境のために

環境に配慮した省エネ運転をするために

●**タイヤの空気圧を適正にしましょう**
定期的にタイヤ空気圧を点検し、適正値で走行すると、燃料を節約できます。

●**不要な荷物は降ろして走行しましょう**
重い荷物を降ろして走行すると、燃料を節約できます。

●**計画的なドライブをしましょう**
長い停車や加速・減速を繰り返すと、燃費の悪化につながります。事前に交通情報などを確認して渋滞を避けると、燃料と時間を節約できます。

●**急発進、急加速を控えましょう**
なめらかなアクセル操作をすると、燃料を節約できます。

●**一定速度で走行しましょう**
速度を抑え、一定の速度で走行すると、燃費が向上します。
※法定速度を守り、安全運転に心がけてください。

●**エアコンは控えめに使いましょう**
必要なとき以外はエアコンをOFFにすると、燃料を節約できます。

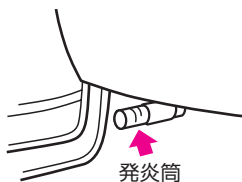
使用済み部品は適切に処理しましょう

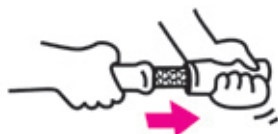
使用済みのバッテリーやタイヤなどの部品を廃棄するときは、購入した販売店に処分を依頼してください。
エンジンオイルなどの廃液やエアコンの冷媒（エアコンガス）も必ず適切な処理をしてください。

万一のとき 6

発炎筒の使いかた

故障や事故などで緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

①助手席足元部のホルダーから発炎筒を外します。

TSG0027Z

②本体を回しながらケースから引き抜きます。

TSC0694Z

③点火部をケースのすり薬でこすって点火します。

TCA0159Z

警告

- お子さまには触らせないでください。いたずらなどで発火するおそれがあり危険です。
- 可燃物の近くで使わないでください。引火する危険があります。
- 点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけないでください。やけどをする危険があります。
- トンネル内では使わないでください。煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり事故をまねくおそれがあります。このときは非常点滅表示灯を使ってください。

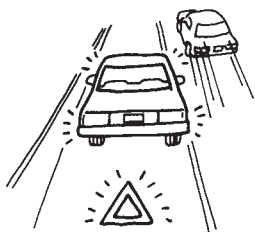
知識

- 点火後は約5分間燃え続けます。
  発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- 発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。

路上で故障したときは

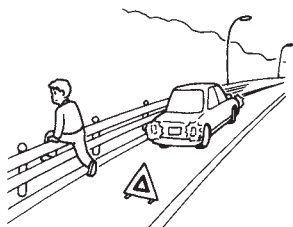
必ず安全な場所に車を退避させ、非常点滅表示灯などで後続車に危険を知らせてください。
安全な場所に退避できないときは、発炎筒（P.312）で後続車に危険を知らせてください。

■路上で故障したとき

①車を路肩などに止め、非常点滅表示灯を点滅させせます。
②高速道路や自動車専用道路では、車の後方に停止表示板又は停止表示灯を置きます。

TCA0160Z

知識

- 高速道路や自動車専用道路では、停止表示板（停止表示灯）の表示が法律で義務づけられています。

③全員車から降り、ガードレールの外など安全な場所に、すみやかに避難してください。

TCA0161Z

④安全を確保後、救援を頼みます。

■走行できなくなったとき

①あわてずハイブリッドシステムを始動し直してみます。
②ハイブリッドシステムが始動しないときは、付近の人に救援を求めて、車を押してもらい、安全な場所に移動してください。このときセレクトレバーをNにしてください。

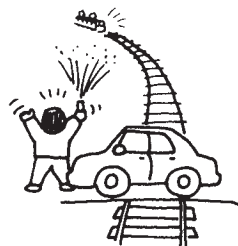
TSC1843Z

③安全な場所に移動後、救援を頼みます。

⚠ 注意

- ハイブリッドシステムが停止していると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなりますので注意してください。

■踏み切りで出られないとき

①ただちに踏み切りの非常ボタンを押してください。
②発炎筒で一刻も早く列車に知らせてください。

TCA0163Z

けん引するときは

車が動かなかったり、異常な音がするときは、けん引せずに日産販売会社へご連絡ください。
けん引が必要なときは、できるだけ日産販売会社、又は専門業者に依頼してください。

JAFの営業所一覧…メンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

他車にけん引してもらうとき

警告

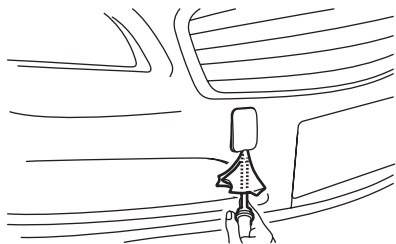
- 電源ポジションがLOCKで12Vバッテリーがあがると、ステアリングロックの解除ができなくなるため、このままの状態でけん引しないでください。けん引するときは救援車のバッテリーとつなぎ、電源ポジションをAcc又はONにしてハンドル操作ができる状態で行ってください。また、けん引中は電源ポジションをLOCKにしないでください。ハンドル操作ができなくなり危険です。

注意

- ハイブリッドシステムが停止していると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなりますので注意してください。
- 長い下り坂では、ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。このような場所でけん引するときは、レッカー車で引いてもらってください。
- 前輪を上げてけん引するときは、電源ポジションをONにしないでください。VDCが作動しブレーキがかかることがあります。

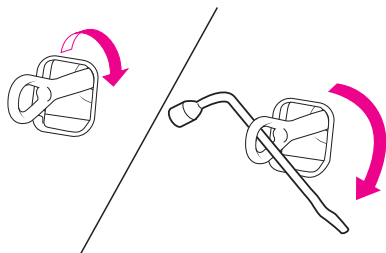
アドバイス

- けん引してもらうときは、速度30km/h以下、距離30km以内にしてください。高速走行や長距離走行をすると、トランスミッションが破損するおそれがあります。できるだけレッカー車、又はトレーラーを依頼してください。
- けん引ロープはできるだけソフトロープを使い、バンパーに傷をつけないように注意してください。

①カバーの溝にマイナスドライバーのような先の細いお手持ちの工具を差し込み、カバーを外します。

ZCE0597

アドバイス

- 工具に布などを当てながら外してください。傷をつけるおそれがあります。

②ホイールナットレンチを使ってけん引フックを確実に取り付けます。
工具…P.330

ZCE0028

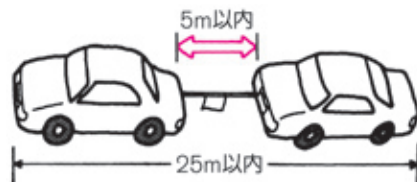
③自車及び他車のけん引フックにロープを掛けます。

⚠ 注意

- 指定以外のフックは絶対に使わないでください。フック部が破損するおそれがあります。

アドバイス

- ロープを掛けるときは、できるだけ同じ側で水平になるように掛けてください。

④ロープ中央に30cm×30cm以上の白い布を必ず付けます。

TSC1844Z

⑤ハイブリッドシステムを始動させ、セレクトレバーをNにします。

ZCE0351

⑥パーキングブレーキを解除します。

⚠ 注意

- ハイブリッドシステムを始動できないときは、電源ポジションをAcc又はONにしてください。

⑦けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。

TSA5604Z

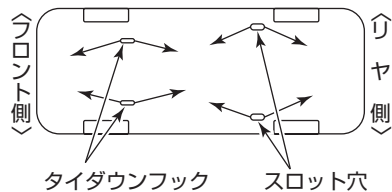
●使い終わったら、けん引フックを取り付けたときと逆の手順で取り外します。

後ろ側のフックについて

後ろ側のフックは船舶輸送時の固定専用です。
けん引やトレーラー輸送時などの固定には絶対に使わないでください。
この車で他車をけん引することはできません。

ZCE0595

アドバイス

- トレーラーなどで輸送するときは、車両下側のスロット穴とタイダウンフックを使い固定してください。

ZCE0353

オーバーヒートしたときは

次のようなときは、オーバーヒートです。

- 高水温警告灯（P.130）が点灯したとき。
- エンジンルームのすき間から蒸気が出ているとき。

⚠ 警告

- エンジンルーム内は高温になっているため、エンジンフードを開けるときは十分に注意してください。
  やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- エンジンが十分に冷えていないときは、ラジエーターやリザーバータンクのキャップを外さないでください。蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。

■処置のしかた

①ただちに安全な場所に停車します。

②ハイブリッドシステムを作動させたままエンジンフードを開け、風通しをよくしてエンジンを冷やします。
万一、冷却ファンが回っていないときは、ただちにハイブリッドシステムを停止し、自然冷却してください。

⚠ 警告

- 蒸気が出ているときは、エンジンフードを開けないでください。やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
  エンジンを止め蒸気が出なくなるまで待ち、エンジンフードを開けてください。

③高水温警告灯が消灯したら、ハイブリッドシステムを停止させしばらく待ちます。
エンジンが十分冷えてから冷却水の量、ホースなどからの水漏れを点検してください。

④冷却水が不足しているときは、エンジン冷却用のラジエーターとリザーバータンクに冷却水を補充してください。

・補充後は、しっかりキャップを閉めてください。

ラジエーター、リザーバータンク位置…P.345
サービスデータ（冷却水）…P.343

アドバイス

- 応急的に水だけを補充したときは、できるだけ早くエンジンクーラントを交換してください。

⑤走行中、再度高水温警告灯が点灯したときは、①～④の作業を繰り返し行ってください。

⑥早めに日産販売会社で点検を受けてください。

メーター内の車両情報ディスプレイに「ハイブリットシステムオーバーヒート」と表示されたときは、ハイブリッドシステムオーバーヒート警告…P.110をお読みください。

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車とのじょうずなつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

12Vバッテリーがあがったときは

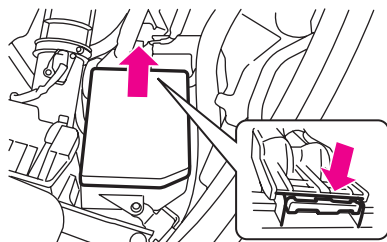
次のようなときは、12Vバッテリーのバッテリーあがりです。

- メーターが表示されない、または各種警告灯がうす暗く点灯するとき。
- ライトがいつもより極端に暗いとき。
- ホーンの音が小さい。又は鳴らないとき。

■処置のしかた

12V（ボルト）バッテリー仕様の救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつなぎ始動してください。

①電源ポジションをOFF又はLOCKにします。

②ヒューズボックスのふたを外します。

ZCE0509

③ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

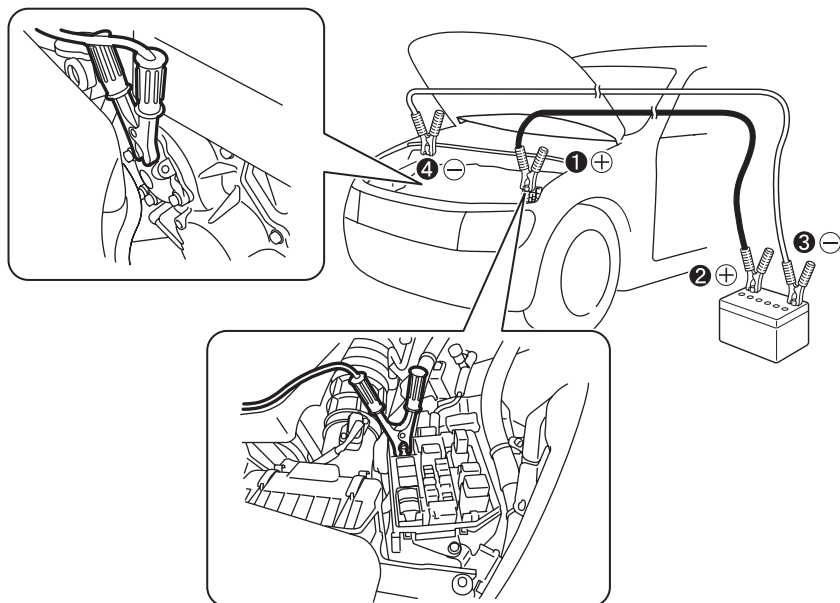
1本目

❶自車（12Vバッテリーがあがった車両）のヒューズボックスの⊕端子

❷救援車（正常な）バッテリーの⊕端子

2本目

❸救援車（正常な）バッテリーの⊖端子

❹自車の車体（バッテリーから離れたボルトなど）

ZCE0510

> ⚠ **警告**
>
> ● ブースターケーブルをつなぐときは、以下のことを必ずお守りください。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
> ・ブースターケーブルを正しい順番と位置でつなぐ。
> ・ブースターケーブルを自車バッテリーの⊖端子に直接つながない。
> ・ブースターケーブルの⊕端子と⊖端子を接触させない。

④救援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を少し高めにします。

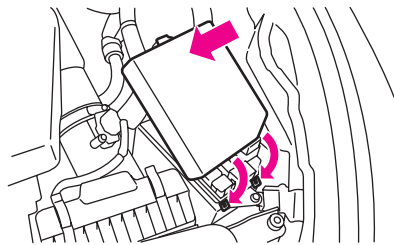
⑤自車のハイブリッドシステムを始動します。

・ヘッドランプやエアコンなどはOFFにしてください。

・ハイブリッドシステムが始動しても、しばらくエアコンやオーディオを使わないでください。

> **アドバイス**
>
> ● ハイブリッドシステムが始動できない場合には、一旦電源ポジションをOFFにして、10秒以上待ってから再始動してください。

⑥ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。

⑦ヒューズボックスのカバーを取り付けます。

ZCE0511

⑧早めに日産販売会社で点検を受けてください。

> ⚠ **警告**
>
> ● 12Vバッテリーを充電するときは換気を十分に行い、火気は近づけないでください。12Vバッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
>
> ● バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。万一、付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診療を受けてください。

注意

- ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触しないように注意してください。
- ブースターケーブルは、エンジン始動時の振動で外れたりしないように、確実につないでください。
- ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンに巻き込まないように注意してください。

アドバイス

- 押しがけでの始動はできません。
- 12Vバッテリーはお客さまの車に適合した日産純正部品をおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。
- 12Vバッテリーがあがるとステアリングロックの解除が行えず、電源ポジションが切り替わらなくなります。すみやかに12Vバッテリーを充電してください。

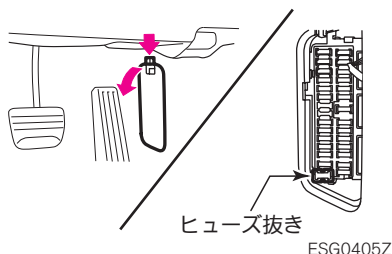
ヒューズを点検・交換するときは

ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。
故障の状況から、関係するヒューズの位置を確認してください。

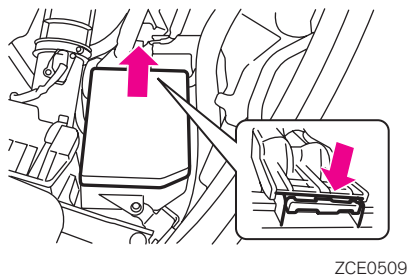
■ヒューズボックスの位置

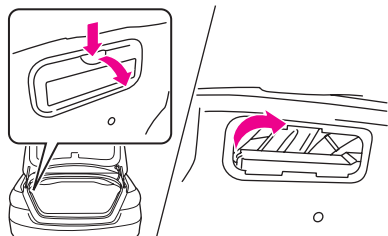
ヒューズボックスは運転席足元とエンジンルーム及びトランクルーム左側にあります。

運転席足元

ESG0405Z

エンジンルーム

ロックを外してふたを開けます。

ZCE0509

トランクルーム

トランクルームの左側にあります。
①トリムカバーの中央を下に押し下げてカバーを外します。
②ロックを外してふたを開けます。

ZCE0560

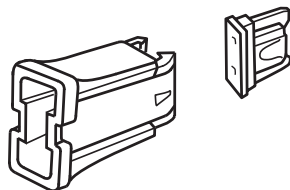
■ヒューズの位置

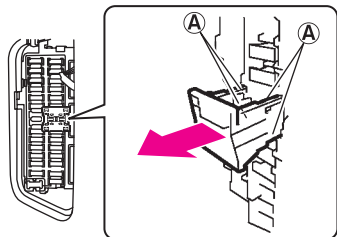
- ヒューズボックスのふたに表示してあります。
- 車種により、付いていないヒューズがあります。

■ヒューズの交換のしかた

①電源ポジションをOFF又はLOCKにします。
②ヒューズボックスを開けます。
③ヒューズ抜きをヒューズに差し込んで引き抜き、ヒューズが切れていないか確認します。

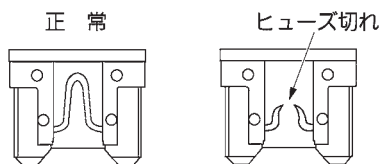
TCG0005Z

目次 警告 走行する前に 走行するとき 室内装備の使いかた 車との上手なつきあいかた 万一のとき サービスデータ さくいん

アドバイス

- 下記のイラストのような部品が付いている場合は、その部品の中にもヒューズがあります。中のヒューズを点検・交換するときは、Ⓐを上下につまみながら矢印の方向に引き抜いてください。

ZCE0563

④ヒューズが切れているときは、同じ容量のヒューズと交換します。

正　常

ヒューズ切れ

TCE0058Z

警告

- 規定容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使わないでください。配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。

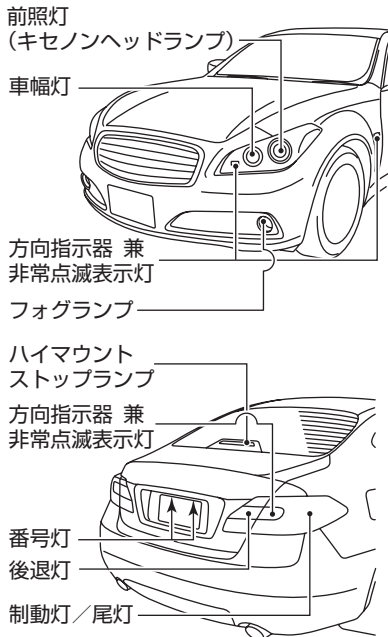
アドバイス

- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズ抜きは、ヒューズに対して垂直に差し込み、引き抜いてください。
- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。

電球（バルブ）を交換するときは

外装ランプが点灯しないときは、バルブ切れが考えられます。バルブを点検し、切れているときは交換してください。

●バルブの交換作業が不慣れな方や部品の破損などが心配な方は、日産販売会社にご相談ください。

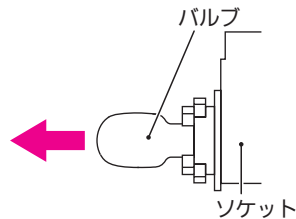
■外装ランプの位置

ZCE0596

●以下のバルブが点灯しないときは、日産販売会社で点検を受けてください。
・前照灯（キセノンヘッドランプ）
・方向指示器 兼 非常点滅表示灯（側面）
・ハイマウントストップランプ
・制動灯／尾灯

⚠ 警告

●キセノンヘッドランプは点灯時高電圧になります。感電防止のため、ランプの脱着、バルブの交換は絶対に行わないでください。

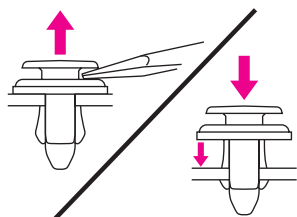
■バルブの外しかた

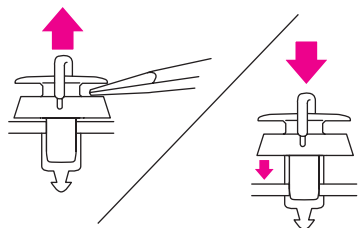
各バルブ（フォグランプを除く）をソケットから外すときは、バルブを持ち、引き抜きます。

ESH0775Z

■クリップの脱着のしかた

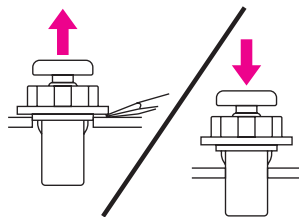
バルブの交換作業をするときは、クリップを外し、内装などを脱着します。
以下の方法で、各クリップを脱着してください。

クリップA

●切り欠きにお手持ちの工具（マイナスドライバーなど）を差し込み、ロックを解除してから引き抜きます。
●取り付けるときは、ロックが解除された状態で取り付け、指でロックを押し込みます。

ESG0457Z

クリップB

ZCE0379

バンパーラバー

●バンパーラバーと取り付け面の間にお手持ちの工具（マイナスドライバーなど）に布などを当てて差し込み、引き抜きます。
●取り付けるときは、そのまま押し込みます。

ESG0458Z

■バルブ交換のしかた

- 交換をする前に12Vバッテリーの⊖端子を外してください。
- 指定された容量のバルブ（P.344）に交換してください。
- 交換したあとは、点灯することを確認してください。
  点灯しない場合は、日産販売会社で点検を受けてください。

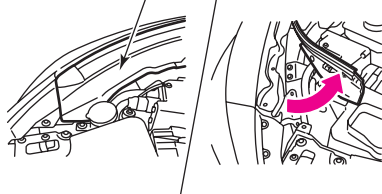
⚠ 注意

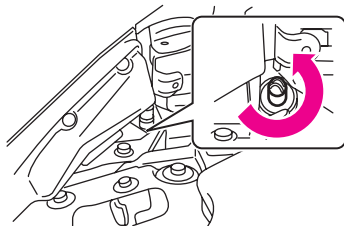
- バルブの交換は、エンジンルームやバルブが冷えた状態で行ってください。やけどをするおそれがあります。
- バルブ交換をするときは、軍手などを着用して作業してください。
- ステーなどの端で指や腕をケガしないように十分注意してください。

アドバイス

- 外した部品は確実に取り付けてください。水が入り故障の原因になるおそれがあります。
- バルブに油が付着したときは柔らかい布などでふき取ってください。また、素手でガラス部分に触れないでください。バルブの寿命が短くなったりバルブが破損するおそれがあります。

車幅灯

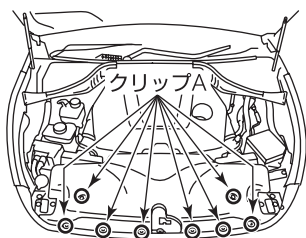
①ウェザーストリップをめくります。（ウェザーストリップのクリップも合わせて外れます。）

ZCE0513

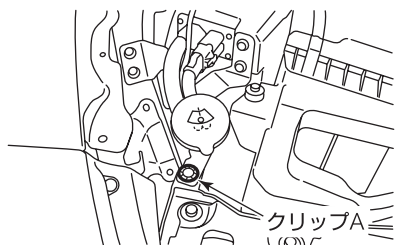
②ソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。

ZCE0514

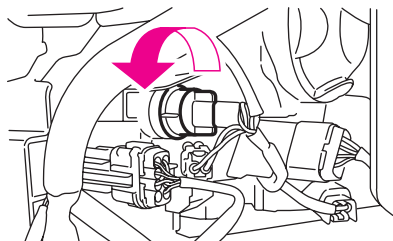
③取り外したときと逆の手順で取り付けます。

方向指示器 兼 非常点滅表示灯（前面）

①エアクリーナーダクトを外します。

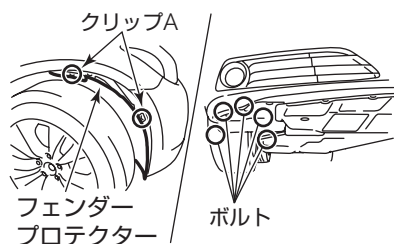
・お手持ちの工具を使ってクリップA（8箇所）を外し、エアダクトを外します。

ZCE0515

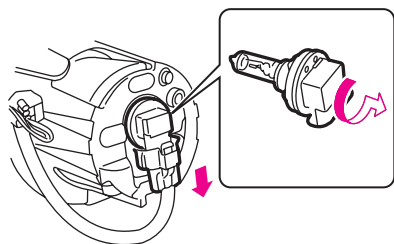
②運転席側のバルブを交換する場合は、クリップを外し、ウオッシャータンクインレットを外します。
（助手席側の交換の場合は③以降をお読みください。）

ZCE0517

③ソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。

ZCE0516

④取り外したときと逆の手順でエアクリーナーダクトを取り付けます。

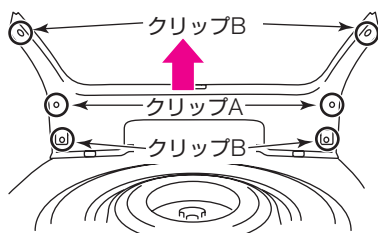
フォグランプ

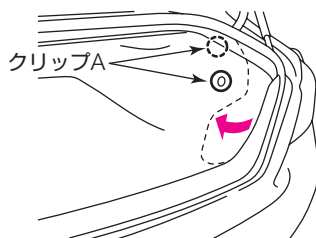
①作業スペースを確保するために、作業する側と反対方向にハンドルを切ります。
②フェンダー裏側のクリップA（2箇所）とフロントバンパー下側のボルト（5箇所）を外し、フェンダープロテクターをめくります。

ZCE0598

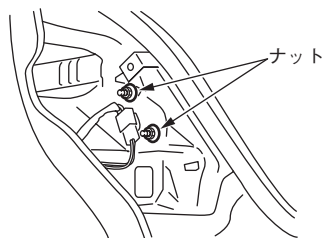
③コネクターを外します。
④バルブを反時計回りに回して外し、交換します。

ZCE0376

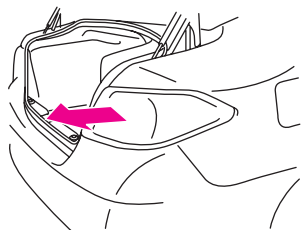
⑤取り外したときと逆の手順で取り付けます。

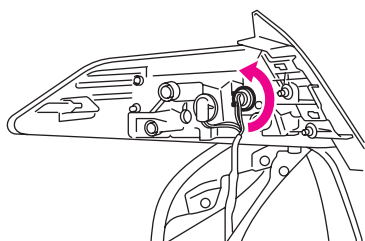
方向指示器 兼 非常点滅表示灯（後面）

①トランクを開けます。
②トランクフロアカーペットを取り出します。
③クリップA（2箇所）とクリップB（4箇所）を外し、トランクリヤフィニッシャーを上方へ引いて外します。

ZCE0369

④クリップA（2箇所）を外し、リヤホイールハウストリムの後端をめくります。

ZCE0368

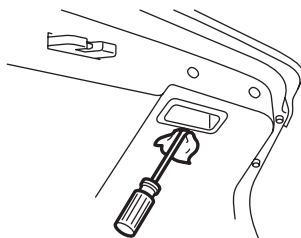
⑤お手持ちの工具を使って、ナット（2箇所）を外します。

ZCE0370

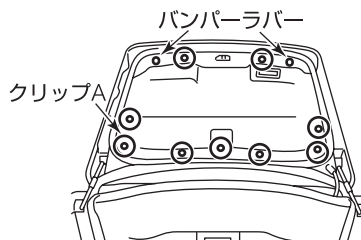
⑥リヤコンビネーションランプを車両後方に引いて外します。

ZCE0371

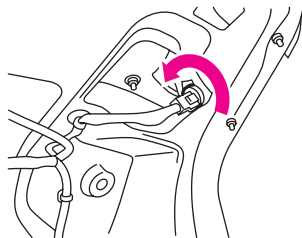
⑦ソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。

ZCE0372

⑧取り外したときと逆の手順で取り付けます。

後退灯

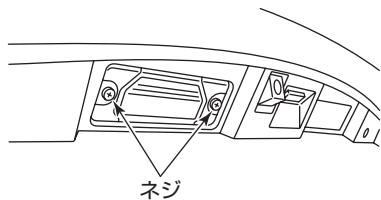
①トランクを開けます。
②トランクリッドのグリップを外します。

ZCE0373

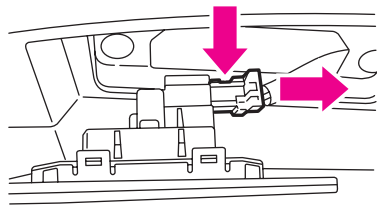
③クリップA（9箇所）とバンパーラバー（2箇所）を外し、トランクリッドトリムを外します。

ZCE0374

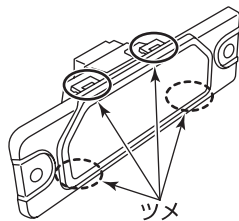
④ソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。

ZCE0375

⑤取り外したときと逆の手順で取り付けます。

番号灯

①お手持ちの工具でネジを外し、ランプを外します。

ZCE0385

②コネクターを外します。

ZCE0386

③レンズ側のツメ（4箇所）をハウジングから外し、バルブを交換します。

ZCE0387

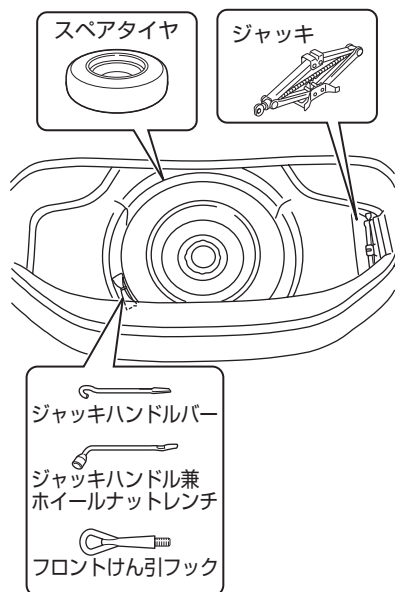
アドバイス

- レンズをハウジングから外すときは、レンズ側のツメが破損しないように注意してください。

④取り外したときと逆の手順で取り付けます。

工具・ジャッキ・スペアタイヤについて

格納場所

工具、ジャッキ、スペアタイヤはトランクルームに格納されています。

⚠ 注意

- 工具、ジャッキ、スペアタイヤを使ったあとは、元の場所に格納してください。車内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- 停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。
- 工具の種類やジャッキ、発炎筒（P.312）などは、万一のときに困らないようにあらかじめ位置を確認しておいてください。

スペアタイヤについて

スペアタイヤは応急用タイヤを搭載してあります。
タイヤがパンクしたときに、応急用として一時的に使うタイヤです。

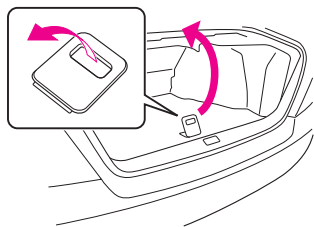
⚠ 注意

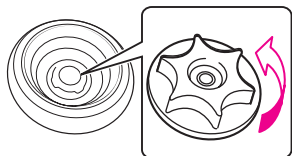
- スペアタイヤの空気圧はときどき点検してください。また、年に一度はタイヤエアゲージを使用してタイヤ空気圧が適正であるか点検してください。長期間放置すると空気圧が減り、万一のとき使用できないことがあります。
  スペアタイヤの空気圧は420kPa（4.2kg/cm^2）です。
- タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。安全を確保するため、5〜7年を目安に必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社にご相談ください。
- スペアタイヤを取り付けたときは、タイヤ接地部のたわみを確認してください。たわみが大きいときは空気圧が不足しています。すみやかに空気圧を調整してください。
  空気圧が不足したまま走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 間違った使いかたをすると、思わぬ事故につながるおそれがありますので、次のことをお守りください。
  ・スペアタイヤ及びホイールはこの車専用です。他車のスペアタイヤを使ったり、他車に使わないでください。
  ・スペアタイヤに交換したときは、100km/h以下で走行してください。
  ・スペアタイヤには、タイヤチェーンは取り付けられません。
  雪道、凍結路で後輪がパンクしたときは、スペアタイヤを後輪に使わず、前輪に付け、外した前輪を後輪に取り付けてください。
  ・スペアタイヤに交換したときは、できるだけ早く標準タイヤに戻してください。

アドバイス

- スペアタイヤに交換すると、車高が少し低くなります。地面の突起物などを乗り越えるときは、車体が接触しないように注意してください。

■スペアタイヤの取り出しかた

①ボードの取っ手部を引いて、ボードを取り外します。

ZCE0557

②タイヤを固定しているクランプをゆるめてタイヤを取り出します。

ESH0713Z

●スペアタイヤを格納するときは、取り出したときと逆の手順で行ってください。

アドバイス

- スペアタイヤはクランプでしっかりと固定してください。ゆるんでいると、走行の妨げになります。

ジャッキアップのしかた

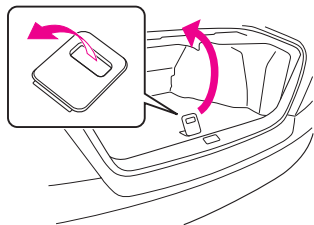
⚠ 警告

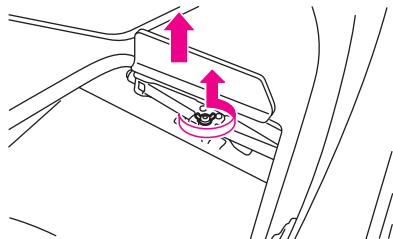
- ジャッキアップしたときは絶対に車両の下に入らないでください。
  ジャッキが外れると、重大な傷害につながるおそれがあり非常に危険です。
- ジャッキアップ中は、ハイブリッドシステムを始動しないでください。
  車が発進し、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- ジャッキを使うときは、次のことを必ず守ってください。
  - ・ジャッキは必ず車載されたものを使い、他車のジャッキは使わないでください。また、車載されたジャッキは他車に使わないでください。
  - ・ジャッキはタイヤ交換又はタイヤチェーンの脱着以外には使わないでください。
  - ・平坦で硬いところに駐車して作業してください。
  - ・使用前にパーキングブレーキをかけ、セレクトレバーをPにしてください。
  - ・輪止めなどで車を固定してください。
  - ・ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。
  - ・人や荷物は必ず車から降ろしてください。

■ジャッキの取り出しかた

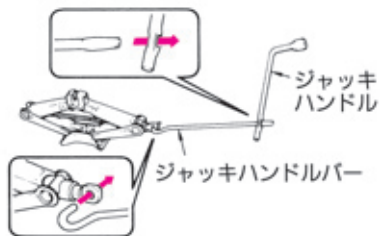
①ボードの取っ手部を引いて、ボードを取り外します。

ZCE0557

②右側のふたを引き上げ外します。
③ジャッキを固定しているネジを反時計回りに回して取り外します。

ZCE0359

④ジャッキを取り出します。

●格納するときは、取り出したときと逆の手順で行い、ガタツキがなくなるまでネジを締め付けます。

■ジャッキハンドルのセットのしかた

●ジャッキにジャッキハンドルバーとジャッキハンドルをセットします。
格納場所…P.330

TSC1849Z

アドバイス

●ジャッキハンドルバーは、確実にジャッキハンドルの穴に差し込んでください。

■ジャッキアップのしかた

交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車し、人や荷物を車から降ろします。

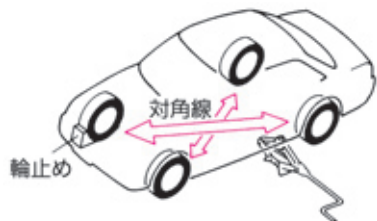
注意

- やわらかい地面の上では行わないでください。ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。

①パーキングブレーキをかけ、セレクトレバーをPにします。

TSC1850Z

②ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。

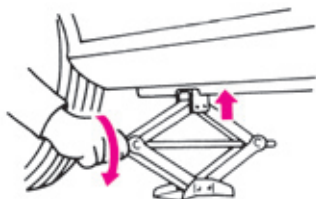
・輪止めは、前輪をジャッキアップするときは後輪の後ろ側、後輪をジャッキアップするときは前輪の前側に置きます。

TSC1851Z

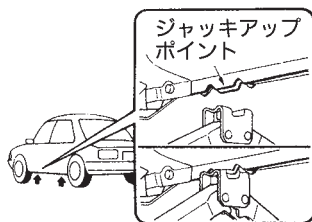
注意

- やむを得ず傾斜地で作業する場合は、ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤの下り側に輪止めをし、車が動き出さないようにしてください。

知識

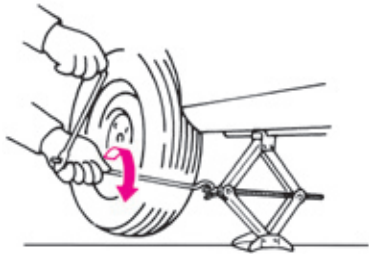
- 輪止めは標準で搭載されていませんので必要に応じて準備してください。なお、輪止めはタイヤを固定できる大きさの石、木片などで代用できます。

③ジャッキを手で回し、ジャッキの溝がジャッキアップポイントの中央に入るまで上げます。

TSC0704Z

ジャッキアップポイント

TCA0173Z

アドバイス

- ジャッキアップポイント以外の所にはジャッキをかけないでください。車体が変形するおそれがあります。

④ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまで、ジャッキアップします。

TSC0706Z

注意

- ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

パンクしたときは

タイヤ交換のしかた

⚠ 注意

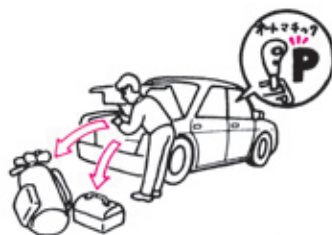
- タイヤ交換をするときは、軍手などを着用して作業してください。
  走行直後はホイールナットが熱いため、やけどやケガをするおそれがあります。

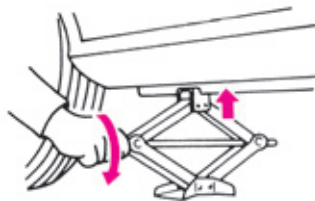
アドバイス

- この車両のタイヤには、走行中にタイヤから発生するロードノイズを低減するための特殊なスポンジが内蔵されているため、パンク修理剤によるパンク修理は行わないでください。

知識

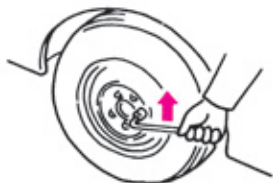
- スペアタイヤにはタイヤ空気圧センサーを装着していないため、スペアタイヤを装着するとタイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅したあと点灯し続けます。

①交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車します。
・人や荷物を降ろします。
・必要に応じて、非常点滅表示灯を点滅させ、停止表示板（又は停止表示灯）を置きます。
・工具、ジャッキやスペアタイヤを取り出します。
🔍ジャッキの取り出しかた…P.333
🔍スペアタイヤの取り出しかた…P.332

TSC1850Z

② ジャッキをセットします。
・ジャッキを手で回し、ジャッキの溝がジャッキアップポイント（🔍P.334）の中央に入るまで上げます。
・スペアタイヤをジャッキ近くの車体の下に置きます。

TSC0704Z

アドバイス

- スペアタイヤを置くときは、ラベル貼付側を上にしてください。

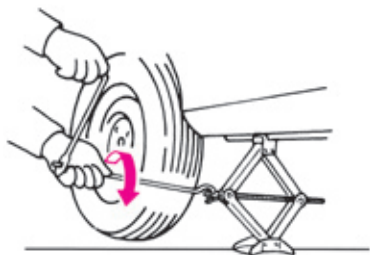
③ホイールナットレンチで、全てのナットを反時計回りに約1回転ゆるめます。

TSC0707Z

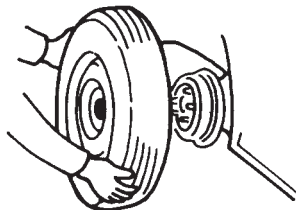
アドバイス

- タイヤを接地状態にして行います。

④ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまでジャッキアップします。

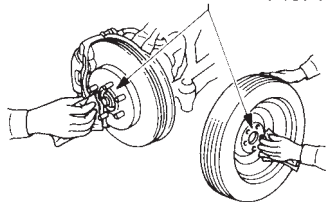
TSC0706Z

⚠ 注意

- ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

⑤ナットを外し、パンクしたタイヤを外して車体の下に置きます。

TSA1464Z

アドバイス

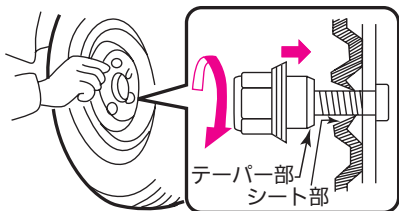
- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。

⑥ハブの取付面とホイール裏側の取付面を布でよくふき、スペアタイヤを取り付けます。

TCE0093Z

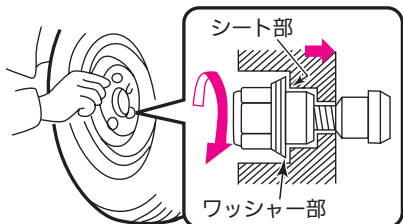
⚠ 注意

- 取付面が汚れていると、走行中にナットがゆるみタイヤが外れるおそれがあります。
- スペアタイヤは、ラベル貼付側が外側になるように取り付けてください。逆に付けると他の部品と当たり、思わぬ故障につながるおそれがあります。

⑦ナットを取り付けます。

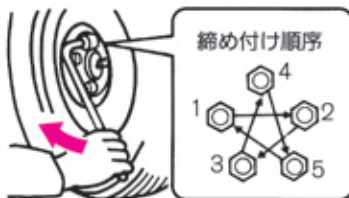
・ナットのテーパー部が、ホイール穴のシート部に軽く当たるくらいまで、時計回りに回して締め付けます。

TSG0028Z

スペアタイヤからアルミホイールに交換するとき

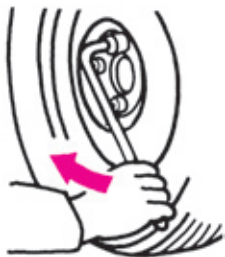
・ナットのワッシャー部がホイール穴のシート部に軽く当たるくらいまで、時計回りに回して締め付けます。

ESG0640Z

⚠ 警告

● 工場出荷時に装着される本車両専用のアルミホイールには、必ず上記イラストの専用平座ナットを使用してください。また、ナットを取り付けるときは、ナットやボルトにオイルやグリースなどを塗らないでください。走行中にナットがゆるみ、タイヤが外れるおそれがあります。

⑧ナットを、図の順序で2～3回に分けて締め付けます。

TSC1854Z

⑨ジャッキを下げます。
さらにナットを⑧の締め付け順序で十分に締め付けます。

● ホイールナット締め付けトルク
108N・m（11kg・m）

TSC0710Z

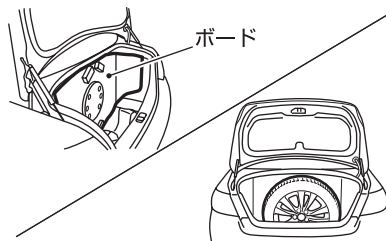
⚠ 注意

● ジャッキを下げるときは、ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを両手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

アドバイス

● ホイールナットレンチを足で踏んで回したり、パイプなどを使って必要以上に締め付けないでください。ボルトが折れるおそれがあります。

⑩パンクしたタイヤや使用した工具、ジャッキなどをトランクルームに格納します。

・パンクしたタイヤは、トランクルームのボードを外して奥に立てかけて、手前のすき間に格納します。

ZCE0558

⚠ 注意

● タイヤを取り付けてしばらく走行したあと、ナットのゆるみや車体の振動などの異常がないか確認してください。

事故がおきたときは

あわてずに次の処置をしてください。

1 続発事故の防止
他の交通の妨げにならないような安全な場所に車を移動させ、ハイブリッドシステムを停止します。

2 負傷者の救護
負傷者がいる場合は、医師・救急車が到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

3 警察への届け出
事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを連絡します。

4 相手方の確認とメモ
相手方の氏名、住所、電話番号などを確認してメモします。
同時に事故状況もメモしておいてください。

5 販売会社と保険会社への連絡
ご購入された販売会社と加入の保険会社へ連絡をします。

サービスデータ

■点検・整備について

メンテナンスノートに、点検・整備及び保証の内容について記載してあります。ご使用前に必ずお読みください。

- ●点検・整備の実施、記録、保存は法律で義務づけられています。
- ●点検や清掃に使用した工具や布などを、エンジンルーム内に置き忘れないようにしてください。故障や車両火災につながるおそれがあります。

■点検値

<table>
<tr><th colspan="2">項　　　目</th><th>点　検　値</th></tr>
<tr><td rowspan="2">ブレーキペダル※</td><td>遊び</td><td>3～11mm</td></tr>
<tr><td>床板とのすき間
約196N（約20kg）で
踏んだとき</td><td>129mm以上</td></tr>
<tr><td>パーキングブレーキ</td><td>踏みしろ
約196N（約20kg）で
踏んだとき</td><td>2～3ノッチ</td></tr>
</table>

※ブレーキペダルの床板とのすき間の調整が必要なときは、日産販売会社にご相談ください。

■交換油脂類

油脂類の交換は、下記の指定油脂（規格品）を規定量でご使用ください。
また、交換時期についてはメンテナンスノートをお読みください。
なお、詳しくは日産販売会社にご相談ください。

項　目	適　用	規定量（ℓ）※		指定油脂
		オイルのみ交換	オイルとオイルフィルター交換	
エンジンオイル	VQ35HR	4.6	4.9	日産純正SMストロングセーブ・XEスペシャル（API：SM、SAE：5W－30）

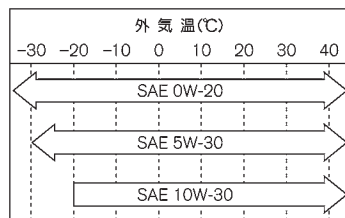
※規定量はドレーンプラグからオイルを抜いた場合の量で、エンジンの内部に残ったオイル量を差し引いた目安の量です。よって、レベルゲージにより確認を行ってください。

〈指定エンジンオイルについて〉

API規格又はILSAC規格に適合した指定油脂をお使いください。
なお、規格適合油には右記マークが表示されています。
日産純正銘柄のご使用をおすすめします。
指定油脂の範囲で、外気温に適した粘度（SAE規格）のものをご使用ください。
（右表参照）
交換時期についてはメンテナンスノートをお読みください。
詳しくは日産販売会社にご相談ください。

APIマーク

ILSACマーク

TCB0064Z

ECD0023Z

項　　目	規定量（ℓ）※1	指定油脂（規格）
トランスミッションフルード	7.0	日産純正マチックフルードS　※2
リヤデファレンシャルオイル	1.15	日産純正デフオイルハイポイドスーパーS（API：GL－5、SAE：75W－90）
パワーステアリングフルード	1.0	日産純正パワーステアリングフルード E-PSF　※3
ブレーキフルード	－	日産純正ブレーキフルード No.2500（DOT3）
エンジン冷却水	8.6　※4	日産純正スーパーロングライフクーラント（エンジンクーラント）
インバーター冷却水	2.68　※5 ※6	日産純正スーパーロングライフクーラント（エンジンクーラント）
ウオッシャー液	4.1	日産純正ウインドウオッシャー液 ● 外気温に応じて濃度を調節してください。

※1：規定量は目安ですので、レベルゲージにより確認を行ってください。
なおレベルゲージで確認できないものについては、日産販売会社へご相談ください。

※2：トランスミッションフルードは、指定のマチックフルードを必ずご使用ください。
それ以外のフルードを使用すると、オートマチックトランスミッションが破損するおそれがあります。

※3：パワーステアリングフルードは、パワーステアリングフルードE-PSFを必ずご使用ください。それ以外のフルードを使用すると、操舵力が著しく重くなったり、パワーステアリングシステムが故障する原因となります。

※4：リザーバータンクのMAXレベル容量（0.8ℓ）を含みます。

※5：リザーバータンクのMAXレベル容量（0.5ℓ）を含みます。

※6：インバーター冷却水が極端に不足しているときは、水漏れのおそれがあります。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

■電球（バルブ）の容量

電球（バルブ）		容量（V−W）	バルブタイプ
前照灯（ヘッドランプ）		キセノンバルブ12−35	D2S
前部霧灯（フォグランプ）		12−55	H11
車幅灯		12−5	W5W
番号灯		12−5	W5W
制動灯／尾灯		LED	−
ハイマウントストップランプ		LED	−
後退灯		12−16	W16W
方向指示器 兼 非常点滅表示灯	前面	12−21（アンバー）	WY21W
	後面	12−21（アンバー）	WY21W
	側面	12−5 ※	−

※：電球（バルブ）単体の交換はできません。

電球（バルブ）の交換のしかたは、P.323をお読みください。

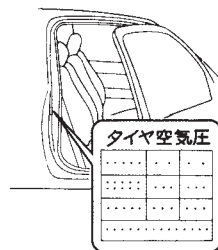
■タイヤ・ロードホイールサイズ

タイヤサイズ	ロードホイールサイズ		
	リムサイズ	P.C.D.	インセット
245/50R18	18×8J	114.3mm（5穴）	43mm

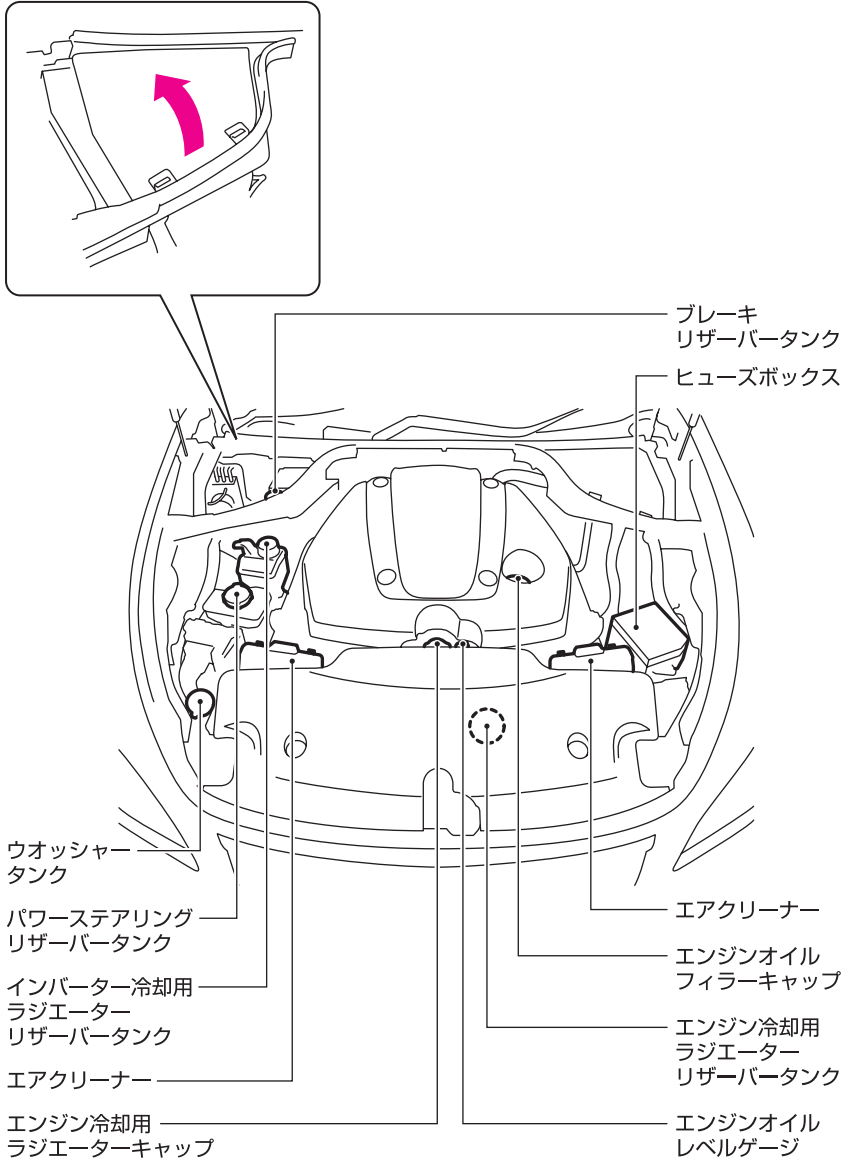
■タイヤ空気圧　　kPa（kg/cm^2）

タイヤサイズ	空　気　圧	
	前輪	後輪
245/50R18	230（2.3）	230（2.3）
T165/80R17 ※1 T165/80D17 ※1	420（4.2）	420（4.2）

※タイヤの空気圧は運転席ドアの開口部に表示してありますので、確認してください。

※1：応急用タイヤです。

TCB0059Z

■エンジンルーム内配置図

※ブレーキリザーバータンクは、カバーの下にあります。

■五十音さくいん

＊赤色文字は、万一のときや困ったときについての項目です。

ア

イ

ウ

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車とのじょうずなつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

ヒ

フ

ヘ

■アルファベットさくいん

■警告灯・警告表示さくいん

警告灯又は警告表示が出たら、すみやかに適切な処置をしてください。
下記は警告灯及び警告表示のみ記載しています。
その他の表示については表示灯（P.120）、車両情報ディスプレイ（P.100）をお読みください。

メーター内警告灯			
	ハイブリッドシステム警告灯 P.136		マスターウォーニング P.137
	タイヤ空気圧警告灯 P.137		

メーター内車両情報ディスプレイ

表示	内容	表示	内容
警告 キーがありません 戻る	インテリジェントキー持ち出し警告 P.108	警告 ハイブリッド システム オーバーヒート 戻る	ハイブリッドシステムオーバーヒート警告 P.110
警告 ドア トランク が開いて います 戻る	ドア、トランク開き警告 P.108	P SHIFT	P戻し警告 P.111
警告 パーキング ブレーキを 解除して ください 戻る	パーキングブレーキ戻し忘れ警告 P.109	タイヤ 空気圧不足 点検して 下さい	タイヤ空気圧警告 P.111
警告 航続可能距離 000 km 戻る	燃料残量警告 P.109	NO KEY	インテリジェントキー持ち出し警告 P.117
警告 キーシステム 戻る	キーシステム警告 P.110	PUSH	電源ポジションOFF忘れ警告 P.119

日産車の環境保全への取組みを詳細に紹介した「車種別環境情報」をインターネットでご覧いただけます。

（http://www.nissan.co.jp/INFO/E_NOTE/）

日産自動車へのご相談は下記にお願いいたします。

お客さま相談室

0120-315-232

受付時間：**9:00～17:00**

お問い合わせ・ご相談内容につきましては、お客さま対応や品質向上のために記録し活用させていただいております。
なお、内容によっては、当社の販売会社等から回答させていただくことが適切と判断した場合には、必要な範囲で情報を開示し、当該販売会社等からお客さまにご連絡をとらせていただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。
当社における個人情報の取り扱いの詳細については、日産自動車ホームページ（http://www.nissan.co.jp）にて掲載しています。

日産自動車株式会社

〒220-8686 神奈川県横浜市西区高島一丁目1番1号